SHARP®

# カラー液晶ファクシミリ複合機
# 取扱説明書

形名 UX-MF70CL（ユーエックス エム エフ シーエル）／UX-MF80CL（ユーエックス エム エフ シーエル）
UX-MF70CW（ユーエックス エム エフ シー ダブル）／UX-MF80CW（ユーエックス エム エフ シー ダブル）

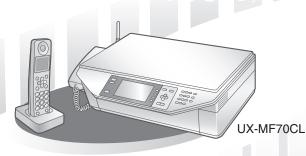
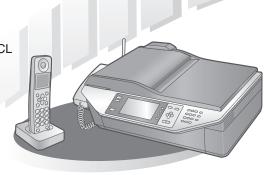
UX-MF70CL

UX-MF80CL

技術基準適合品

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ
※NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）

ナンバー・ディスプレイサービスのお問い合わせは
局番無しの116番へ

別売品・消耗品　<ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください>
インクカートリッジ（日本ヒューレット・パッカード㈱製）

| 形名 | 製品番号 | 希望小売価格 |
|---|---|---|
| **インクカートリッジ 黒** | | |
| HP130 プリントカートリッジ　黒（増量） | C8767HJ | オープン価格 |
| HP131 プリントカートリッジ　黒 | C8765HJ | オープン価格 |
| **インクカートリッジ カラー** | | |
| HP134 プリントカートリッジ カラー（増量） | C9363HJ | オープン価格 |
| HP135 プリントカートリッジ カラー | C8766HJ | オープン価格 |
| **インクカートリッジ フォト** | | |
| HP138 プリントカートリッジ フォトカラー | C9369HJ | オープン価格 |

増設子機

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| JD-KS17 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| JD-KS25 | 19,950円（税抜価格19,000円） |
| JD-KS15 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| JD-KS21 | 19,950円（税抜価格19,000円） |
| JD-KS11 | 16,800円（税抜価格16,000円） |

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。**
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ 本書内の親機のイラスト・画面表示は、おもにUX-MF70CL／UX-MF70CWのものを使用しています。

# もくじ



## ご使用の前に



## 電話

## フォトプリント



## ケータイリンク



## スキャン



## 電子ファイル



## 便利な機能

## ナンバー・ディスプレイ

# もくじ

## こまったときは



## ご参考に



## さくいん



お調べになりたい内容がもくじから探しにくいときは、さくいん（☞ 288～292ページ）をご覧になると見つかる場合があります

# 安全に正しくお使いいただくために



この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 図記号について

⚠**危険** 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠**警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

## 図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

## ⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。
■充電池の端子は⊕⊖を逆にして接続しないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、純正品を使用してください。
■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
失明のおそれがあります。

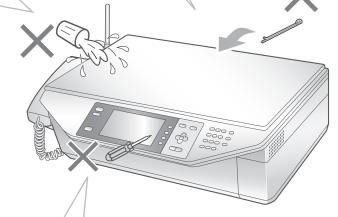
■充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。
■充電するときは、専用の充電器以外では使用しないでください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

## ⚠警告

■水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池をはずして販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

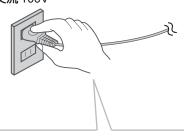
■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

■病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

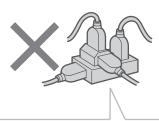
■充電池のビニールカバーを、はがさないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

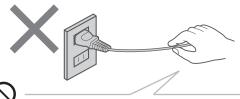
■充電池を水や海水につけたり、濡らしたりしないでください。
充電池が発熱したり、サビの原因となります。

■充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚に障害をおこすことがあります。

## ⚠警告

■**差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。**
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。**
感電の原因になります。

■**この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流 100V）に接続してください。**
海外や交流 100V 以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■**ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。**
感電の原因になります。

■**電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
次のようなことはしないでください。

| | |
|---|---|
| ・傷つける | ・無理に曲げる |
| ・加工する | ・無理にねじる |
| ・熱器具に近づける | ・重い物を載せる |
| ・無理に引っ張る | ・束ねる |

傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

■**この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。**
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■**雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
火災・感電・故障の原因になります。

■**煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。**
火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

## ⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■暑い場所や直接日光のあたるところ、冷暖房機の近くにはおかないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■充電器の上に、コインなどの金属を置かないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。

■充電器から磁力線が出ていますので、磁気に弱い物（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。また、磁気に弱いものは使えなくなることがあります。

■表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いものや先のとがったもので押さないでください。
破損・けがの原因になることがあります。

■原稿台（ガラス面）を強く押さえたり、上から物を落としたりしないでください。
破損やけがの原因になることがあります。

■コピーやスキャン時に、読み取り部の光源を直視しないでください。
目を痛めるおそれがあります。

■インクキャリッジが移動しているときは、手を触れないでください。
けがの原因になることがあります。

■インクカートリッジを取り扱う際は、インクが目や皮膚に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。万が一異常が残る場合は、直ちに医師に相談してください。失明のおそれがあります。

■インクカートリッジを強く振ったり、分解したりしないでください。
インクが漏れて衣服や周囲を汚す原因となることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■充電池は、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。

■インクカートリッジは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
けがの原因となることがあります。

■プリンタカバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管／電話専用アース／避雷針／
水道管や蛇口

# 取扱説明書の見かた

ファクスを送る

ダイヤルしてファクスを送る

相手の方とお話ししないでファクスを送るときの操作です。

**1** 原稿をセットする（☞111ページ）
・送信する面を下にしてセットします。

**2** 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ
・このあとダイヤルボタンでダイヤルして、読み込み（手順5）に進むこともできます。

**3** を押し、 で「送る」を選ぶ

**4** を押し、ダイヤルボタンでダイヤルする
・番号をまちがえたときは、（取消）を押して消去したあと入力し直します。

**5** （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき
→上記の操作に続いて手順7へ

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、（画質）を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押す、という操作をくり返します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・読み込みを途中でやめて、送信を中止するときは、（読込み中止）を押します。

**6** 原稿台使用時は、読み込みが終了したら を押す

**7** 送信が始まる
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。
・送信中に途中でやめるときは、（停止）を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞121ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには（送信待ちリスト）を押してから、 を2回押します。

■ 送信前に途中でやめるときは
（停止）を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。番号入力時は（取消）を押します。

■「通信エラーがありました。」と聞こえたら
（☞256ページ）

■ 複数の相手の方にまとめてファクスを送るには（同報送信）（☞124～125ページ）

■ 相手の方にファクスを送信する前に、送信するデータをディスプレイで確認するときは（☞118ページ）

お知らせ
●読み込み中にメモリーがいっぱいになると（当社標準原稿で99枚まで）、読み込みの終了した分の原稿を送信します。
●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
●ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントしますので、日付・時刻は正しく設定してください（☞47ページ）。

コピー／ファクス　ファクスを送る

117

**タイトル**
項目の大まかな内容を表しています。

**中見出し**
説明している操作などの具体的な内容を表しています。

**機能説明**
機能の内容を説明しています。

**操作手順**
基本的な操作を説明しています。
特に指定がない場合、待ち受け画面の状態（何も操作をしていない状態）で、説明のとおりに最初から順番にボタンを押してください。

**インデックス**
操作したい項目を簡単に検索できます。

**補足説明**
操作に関する補足事項を説明しています。

**追加説明**
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

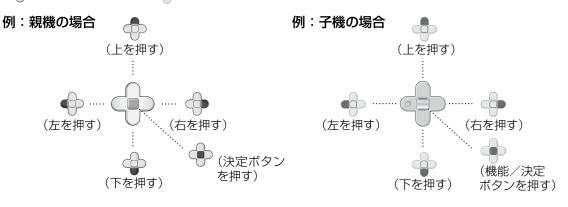
**お知らせ**
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

## 操作手順でのボタンやマークの意味

取扱説明書内では次のように表記しています。

■ （登録 / 機能）などの表記は、ソフトボタン（ ）を押す操作です。
ソフトボタンは、操作によって画面に表示される機能名が切り替わりますので、（登録 / 機能）や（戻る）のように機能名をつけて表記しています。

■ マルチファンクションキーの4方向（左・右・上・下）を押す操作を、下図のように示しています。
は親機の決定ボタン、 は子機の機能／決定ボタンを押す操作を示しています。

# 特長



## 大きな 4.3 型カラー液晶画面

大きな4.3型ASV液晶なので、写真も文字も大きく見やすく表示できます。
また、壁紙の画像を変更したり、お好みの写真をディスプレイの壁紙として設定することができます。

## 誰からコール（☞ 213 ページ）

**※ナンバーディスプレイの契約が必要です。**
親機も子機もかかってきた相手の名前を音声でお知らせするので、遠くからでも電話に出る前に相手が分かり、安心です。

## 戻って録音、通話中再生（☞ 189 ～ 190 ページ）

通話の証拠やメモ代わりに、45秒前からボタンを押すまでの通話を録音することができます。また、録音した内容を通話中に相手に聞かせることもできます。
録音した内容は、パソコンで再生できるファイル形式に変換できるので、迷惑電話の証拠として提出できます（☞ パソコン活用マニュアル）。

## 見てから操作

受信したファクスは、ディスプレイで確認でき、必要なものだけプリントできるので経済的です（見てからプリント ☞ 129～132ページ）。コピーやファクス送信のときには、スキャンした原稿をディスプレイで確認してからプリントや送信ができます（見てからコピー ☞ 113ページ、見てからファクス送信 ☞ 118ページ）。また、携帯電話から赤外線で受信した写真画像をディスプレイで確認してからプリントすることもできます（見てからフォトプリント ☞ 166ページ）。

## 迷惑電話拒否機能（☞ 232 ～ 233 ページ）

来客があったようにチャイムを鳴らして切りやすくする「チャイムでお断り」
お断りメッセージを流して自動的に電話を切る「メッセージでお断り」
15秒前の会話内容を相手に聞かせて撃退する「録音でお断り」
を選んで行うことができます。
また、迷惑電話の種類にあわせて、自動的にお断りに設定したり、お断り番号として登録したりすることもできます（ナンバー・ディスプレイの契約が必要です）。

## ケータイリンク（☞ 159 ～ 167 ページ）

IrSimple™対応の携帯電話から手軽に写真プリントや電話帳の取り込みができます。さらに、メモリーカードを利用すれば、本機でスキャンしたデータをPDFデータや画像データとして携帯電話に保存することもできます。

## 電子ファイル機能（☞ 176 ～ 179 ページ）

かさばる雑誌や新聞のスキャンデータ、受信したファクスのデータ、携帯電話などで撮った写真などをメモリーカードに保存できます。
保存したデータは、本機のディスプレイやネットワークで接続されたパソコンなどで確認してプリントすることができます。

## TV でフォト機能（☞ 180 ～ 182 ページ）

携帯電話やデジタルカメラで撮影した写真が、Webブラウザを搭載したテレビで見られます。
また、気に入った写真はプリントすることができます。

## パソコンからのプリント・スキャン
**（☞ UX-MF70 ／ UX-MF80 シリーズパソコン活用マニュアル）**

お使いのパソコンに接続して、プリンタやスキャナとしてご利用になれます。USB接続に加えて、LAN接続にも標準対応していますので、複数のパソコンからネットワークプリンタとしてご利用になれます。

## PC-FAX 送信
**（☞ UX-MF70 ／ UX-MF80 シリーズパソコン活用マニュアル）**

パソコンで作成した文書などを印刷せずに、直接ファクス送信することができます（LAN接続時）。

## 受信 FAX 転送設定
**（☞ UX-MF70 ／ UX-MF80 シリーズパソコン活用マニュアル）**

本機で受信したファクスを、E-mail（FAX to E-mail）、FTP、ファクスのいずれかに自動的に転送させることができます（LAN接続時）。

## スキャン to E-mail 機能
**（☞ 173 ～ 175 ページ）**

本機でスキャンしたデータを、電子メールで送信することができます（LAN接続時）。

## フォトプリント機能（☞ 144 ～ 158 ページ）

お好みの写真をお好みの枚数だけプリントしたり、複数の写真をまとめて選択してプリントできます。また、パソコンを使わずにシール用紙やハガキにプリントできます。

## カラー液晶操作ガイド（☞ 56 ページ）

基本的な操作や、エラーが起こったときの操作方法などを文字とアニメーションでガイドします。

# 付属品の確認

このたびは、「カラー液晶ファクシミリ複合機」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

**親機** 1台
UX-MF70CL/UX-MF70CW　　UX-MF80CL/UX-MF80CW

本書内の親機イラスト・画面表示は、おもにUX-MF70CL／UX-MF70CWのものを使用しています。

**子機**
UX-MF70CL／UX-MF80CL ：1台
UX-MF70CW／UX-MF80CW：2台

**充電器（子機用）**
UX-MF70CL／UX-MF80CL ：1個
UX-MF70CW／UX-MF80CW：2個

**充電池（子機用）**
UX-MF70CL／UX-MF80CL ：1個
UX-MF70CW／UX-MF80CW：2個

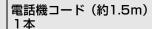
**充電池ふた（子機用）**
UX-MF70CL／UX-MF80CL ：1個
UX-MF70CW／UX-MF80CW：2個

**受話器：1個**
**受話器コード：1本**

**インクカートリッジ**
**HP132　黒（小）：1個**
**HP136　カラー（小）：1個**

**インクカートリッジカバー1個**

※使い切っていないインクカートリッジの保管用に使います（☞40ページ）。

**電話機コード（約1.5m）1本**

**取扱説明書（本書）**※ .......... 1冊
**セットアップガイド** .......... 1部
**保証書** .......... 1部
**CD-ROM（「UX-MF70／UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」・プリンタドライバ・スキャナドライバなど）** .......... 1枚

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

- ●パソコンとUSB接続でお使いになるとき（☞58～60ページ）は、USBケーブルが必要です。USBケーブルは付属していませんので、市販のUSBケーブル（ABタイプで長さ5m以内のもの）をお買い求めください。
- ●パソコンとLAN接続でお使いになるとき（☞61～67ページ）は、LANケーブルが必要です。LANケーブルは付属していませんので、市販の10BASE-T／100BASE-TX対応のストレートケーブルをお買い求めください。

**お知らせ**

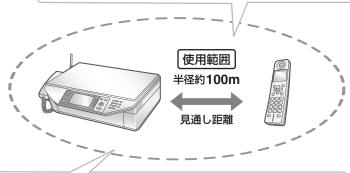
- ●この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください（☞287ページ）。
- ●お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ●この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

# ご使用の前に知っていただきたいこと



## 本機の取り扱いについて

■ **親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**

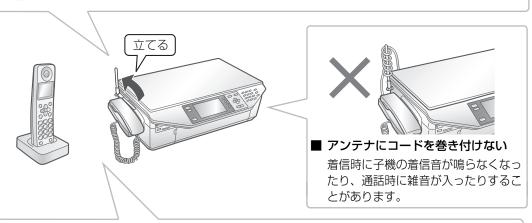
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **子機の使用範囲を確かめる**

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☞75ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ **親機のアンテナは、立ててお使いください**

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ず立てて、お使いください。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■ **本機を設置するときは**

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約３m以上離してください。

●電子レンジ　●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局　●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム　●マイクロ波治療器
●2.4GHzコードレス電話機

その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

■ “傍受”にご注意ください

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■子機の電波について

**子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です**

移動体識別装置の帯域が回避できません。
変調方式：FH-SS方式　与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

**本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- ●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
- ●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ●アマチュア無線局（免許を要する無線局）
  - ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。
- ●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

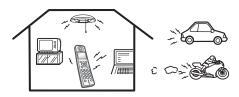
■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがあります。また、待機状態でも、ガラス面（原稿台）が少し温かくなりますが故障ではありません。

■ **子機に雑音が入ることがあります**

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の着信音が鳴らないことがあります。
  これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。
- アンテナの近くに、AC アダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、声がとぎれたり着信音が鳴らないことがありますので、離してください。
  また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声がとぎれることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。
  設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

## ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

**この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。**
**This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.**

## この装置について

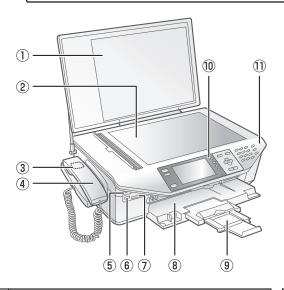
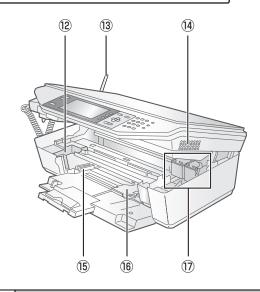
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ASV カラー液晶パネルについて

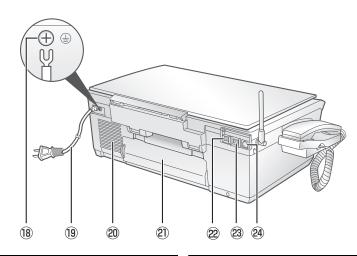
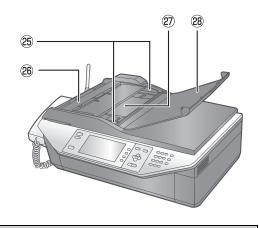
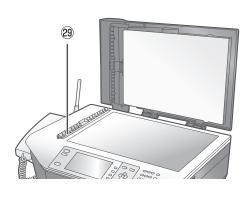
- ASV カラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

# 親機各部の名前とはたらき

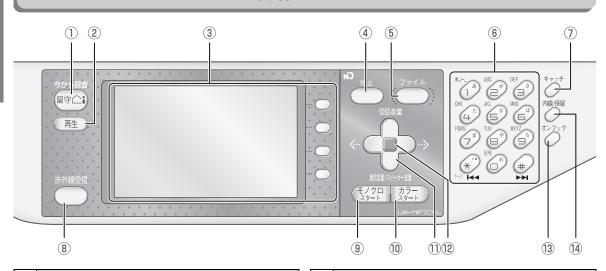
## 各部の名前

### UX-MF70CL／UX-MF70CW／UX-MF80CL／UX-MF80CW 共通部

| 番号 | 名前・はたらき |
|---|---|
| ① | **原稿カバー**<br>原稿をセットするときに開きます。 |
| ② | **原稿台**<br>ここに原稿をセットします。 |
| ③ | **フックスイッチ** |
| ④ | **受話器・受話器コード**<br>相手の方とお話しするときに使います。 |
| ⑤ | **赤外線ポート**<br>IrSimple™／IrDA®通信規格に対応した機器と赤外線受信を行うときに使用します（☞166ページ）。 |
| ⑥ | **外部メモリー接続端子**<br>USBメモリーや当社推奨のカードリーダーを接続することができます。 |
| ⑦ | **メモリーカードスロット**<br>市販のメモリーカードを取り付けます（☞142ページ）。 |
| ⑧ | **用紙トレイ（フロントカバー兼用）**<br>プリント用紙をセットします。<br>用紙をセットしていないときは閉じてお使いください。 |
| ⑨ | **用紙補助トレイ**<br>プリント用紙をセットしたときに引き出します。 |
| ⑩ | **操作パネル**<br>本機を操作するときに使用します。また、このカラー液晶ファクシミリ複合機の形名が表示されています。 |
| ⑪ | **プリンタカバー（本体上面）**<br>インクカートリッジを交換するときに開きます。 |
| ⑫ | **予備インク入れ**<br>交換用のインクカートリッジを収納できます（☞40ページ）。 |
| ⑬ | **アンテナ** |
| ⑭ | **スピーカー**<br>キータッチ音やエラー音、録音再生時の音声などは、ここから聞こえます。 |
| ⑮ | **用紙ガイド**<br>セットするプリント用紙の幅に合わせます。 |
| ⑯ | **L判／ハガキ用紙トレイ**<br>L判（写真サイズ）の用紙とハガキをセットします。 |
| ⑰ | **インクキャリッジ**<br>左側にカラーインク、右側に黒インクまたはフォトインクをセットします。プリンタカバーを開けると、自動的に右端へ移動します。 |

| | |
|---|---|
| ⑱ | **アース端子** |
| | 電源コード接続部のとなりにあります。 |
| ⑲ | **電源コード・差し込みプラグ** |
| ⑳ | **通気孔** |
| ㉑ | **Uターンユニット** |
| | 紙詰まりが起きたときは、この部分を取り外して、詰まった紙を取り除きます。 |

| | |
|---|---|
| ㉒ | **USB接続端子** |
| | USBケーブルを差し込んで、パソコンと接続します。 |
| ㉓ | **LAN接続端子** |
| | LANケーブルを差し込んで、ネットワークに接続します。 |
| ㉔ | **回線接続端子（回線差込口）** |
| | 電話機コードを差し込みます。 |

**UX-MF80CL／UX-MF80CW のみ**

| | |
|---|---|
| ㉕ | **原稿ガイド** |
| | セットした原稿の幅に合わせます。 |
| ㉖ | **ADF（自動原稿送り装置）** |
| | 原稿詰まりが起きたときは、この部分のカバーを開けて、詰まった原稿を取り除きます。 |
| ㉗ | **原稿挿入口** |
| | ここに原稿をセットします。 |

| | |
|---|---|
| ㉘ | **原稿トレイ** |
| | ADFに原稿をセットするときは、ここを開けます。 |
| ㉙ | **原稿読み取り部** |
| | ADFに原稿をセットしたときは、この部分で読み取ります。 |

## 操作パネル

| | |
|---|---|
| ① | 今から録音 留守 **留守ボタン（表示ランプ兼用）（☞101、104、188ページ）** |
| | 外出時、留守番電話にするときに使います。<br>留守設定時に点灯しています。<br>今から録音をするときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ② | 再生 **再生ボタン** |
| | 本機に録音された内容を再生するときに使います（☞106、190ページ）。 |

| | |
|---|---|
| ③ | **カラー液晶ディスプレイ・ソフトボタン（☞22ページ）** |

| | |
|---|---|
| ④ | 停止 **停止ボタン** |
| | 操作や送信を途中で止めるときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ⑤ | ファイル **電子ファイルボタン** |
| | 電子ファイルを使用するときに使います（☞176～179ページ） |

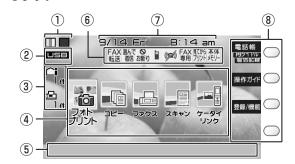
| | |
|---|---|
| ⑥ | **ダイヤルボタン** |
| | ダイヤルするときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。<br>また、次の機能を兼用しています。<br>＊（トーン ⏮）**：戻し／トーン（☞ 106、195ページ）**<br>再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。<br>また、ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。<br>＃（⏭）**：送り（☞ 106ページ）**<br>再生中に次の録音内容を聞くときに使います。<br>PQRS 7 ま **：一定時間聞き戻し（☞ 106ページ）**<br>録音再生中に、約30秒間聞き戻すことができます。<br>WXYZ 9 ら **：一定時間聞きとばし（☞ 106ページ）**<br>録音再生中に、約1分間聞きとばすことができます。 |

| | |
|---|---|
| ⑦ | キャッチ **キャッチボタン** |
| | キャッチホンを切り替えるときに使います（☞196ページ）。 |

| | |
|---|---|
| ⑧ | 赤外線受信 **赤外線受信ボタン** |
| | 赤外線ポートを利用した受信を行うときに使います（ ☞166ページ）。 |

<table>
<tr><td rowspan="2">⑨</td><td>モノクロ スタート **モノクロスタートボタン**</td></tr>
<tr><td>モノクロプリントやファクス送受信をするときに使います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑩</td><td>カラー スタート **カラースタートボタン**</td></tr>
<tr><td>カラープリントやカラーファクス送受信をするときに使います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑪</td><td>**マルチファンクションキー**</td></tr>
<tr><td>各種の項目を選ぶときや、ディスプレイに表示した画像をスクロールさせるときに使います。<br>また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。<br><br>**：受話音量（☞51ページ）**<br>お話し中に、受話音量を変えることができます。<br><br>**：着信音量／スピーカー音量（☞49、51ページ）**<br>着信音の大きさを変えたり、鳴らさないようにするときに使います。<br>また、スピーカーから音声が出ているときに、スピーカー音量を変えることができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑫</td><td>**決定ボタン**</td></tr>
<tr><td>選択や入力した内容の決定に使います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑬</td><td>オンフック **オンフックボタン**</td></tr>
<tr><td>受話器を取らずにスピーカーで相手の方の声を聞くときに使います（☞68ページ）。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑭</td><td>内線/保留 **内線/保留ボタン**</td></tr>
<tr><td>子機と内線通話をするときや、通話中に相手の方をお待たせするときに使います（☞72、75ページ）。</td></tr>
</table>

# ディスプレイ表示

待受画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
節電のため、ディスプレイのバックライトは一定時間で自動的に消えますが、いずれかのボタンを押すと点灯します。

| | |
|---|---|
| ① | **インクカートリッジ状態表示エリア** |
| | セットしているインクカートリッジの種類や、インクの残量を表示します。<br>※表示するインクの残量は目安です。 |

| | |
|---|---|
| ② | **外部メモリー表示エリア** |
| | セットしている外部メモリーの種類を表示します。<br>SD ：SDカード<br>USB ：USBメモリー |

| | |
|---|---|
| ③ | **メモリー表示エリア** |
| | **（留守録音件数表示）**<br>メモリーに保存されている留守録音の件数を表示します。<br>**（ファクス受信件数表示）**<br>メモリーに保存されている受信ファクスの件数を表示します。 |

| | |
|---|---|
| ④ | **機能選択エリア** |
| | フォトプリント・コピー・ファクス・スキャン・ケータイリンクの、各機能の入り口を表示します。 |

| | |
|---|---|
| ⑤ | **ガイドメッセージ表示エリア** |
| | 各種メッセージを表示します。メッセージがないときは、表示されません。 |

※ 上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

| | |
|---|---|
| ⑥ | **設定状態表示エリア** |
| | FAX 転送<br>Web画面の設定で受信FAX転送を設定しているときに表示します(☞UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル)。<br>選んで 着信<br>選んで着信設定時に表示します (☞229～231ページ)。<br>お断り<br>着信お断り（☞226～228ページ）設定時に表示します。<br>携帯とくとくダイヤル (☞197～198ページ) 設定時に表示します。<br>**または** 誰から コール<br>親機の着信音を鳴らさない設定にしているとき (☞49ページ)、または誰からコール (☞213ページ) 設定時に表示します。<br>FAX 専用<br>FAX専用に設定されているときに表示します (☞271ページ)。<br>見てから プリント **または** 受信後 プリント<br>ファクス受信方法の設定（☞129～135ページ）を表示します。<br>本体 メモリー **または** 外部 メモリー<br>受信ファクスの保存先を表示します。外部 メモリー のときは、本機に取り付けているメモリーカードに保存されます。 |

| | |
|---|---|
| ⑦ | **日付・時刻表示エリア** |
| | 日付・時刻を表示します。 |

| | |
|---|---|
| ⑧ | **ソフトボタン名表示エリア／ソフトボタン** |
| | ディスプレイの右にあるソフトボタン ( ⬭ )に割り当てられている機能名が表示されます。<br>⬭ を押すと、ディスプレイに表示されている機能を実行します。 |

■ **通常モード時のバックライトの明るさを調整する**

通常モード時の液晶ディスプレイのバックライトの明るさを調整することができます（8段階）。

① (登録/機能) を押し、 で「画面設定」を選ぶ
② を押し、 で「バックライト明るさ調整」を選ぶ
③ を押し、 で「通常モード」を選ぶ
④ を押し、 で明るさを調整する
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

■ **省電力モードへの移行時間を変更する**

節電のため、省電力モードに移行するまでの時間を変更することができます。

① (登録/機能) を押し、 で「画面設定」を選ぶ
② を押し、 で「省電力モード移行時間」を選ぶ
③ を押し、ダイヤルボタンで点灯時間（1分～5分）を入力する
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ **省電力モード時のバックライトの有無を設定する**

省電力モード時の液晶ディスプレイのバックライトの有無を設定することができます（点灯、消灯）。

① (登録/機能) を押し、 で「画面設定」を選ぶ
② を押し、 で「バックライト明るさ調整」を選ぶ
③ を押し、 で「省電力モード」を選ぶ
④ を押し、 で［消灯］または［点灯］を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

■ **画面の配色を変更する**

画面の配色を変更することができます（グリーン・ブルー・オレンジ・パープル・レッドの5種類）。

① (登録/機能) を押し、 で「画面設定」を選ぶ
② を押し、 で「配色設定」を選ぶ
③ を押し、 で変更したい色を、「グリーン」、「ブルー」、「オレンジ」、「パープル」、「レッド」の5種類から選ぶ
④ を押す

## ■ 液晶ディスプレイにお好みの写真を壁紙として設定する（お好み画面設定）

あらかじめ、壁紙に登録したい画像（JPEGファイル）をメモリーカードに入れておき、本機にメモリーカードを取り付けておいてください（☞ 142ページ）。

① （登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② を押し、 で「オリジナル壁紙設定」を選ぶ

③ を押し、 で「壁紙登録」を選ぶ

④ 画像が表示されるので で壁紙にしたい画像を選ぶ

⑤ を押す

⑥ 画像が表示される
（回転）を押して、画像を右回りに90°ずつ回転させることができます。

⑦ を押す

・壁紙として設定すると、設定が保存されます。「■液晶ディスプレイの壁紙を選んで変更する」（☞ 右記）の操作で「プリセット1」、「プリセット2」、「なし」に設定しても、「オリジナル」に設定し直すと、保存した壁紙の設定に戻すことができます。
・保存できる設定は1つのみです。別の画像を使って壁紙を設定すると、保存された設定は上書きされます。
・モノクロのJPEG画像など、画像の種類によっては、壁紙に設定できないものがあります。
・設定した壁紙の色調に合わせて「■画面の配色を変更する」（☞ 23ページ）の操作で配色も変更すれば、よりお好みに合った画面でお使いいただくことができます。

## ■ 液晶ディスプレイの壁紙を選んで変更する

以下の操作で、本機の壁紙を選んで設定できます。はじめは「プリセット1」に設定されています。

① （登録/機能）を押し、 で「画面設定」を選ぶ

② を押し、 で「壁紙設定」を選ぶ

③ を押し、 で「壁紙選択」を選ぶ

④ を押す

⑤ で「プリセット1」、「プリセット2」、「オリジナル」、「なし」から選ぶ

⑥ を押す

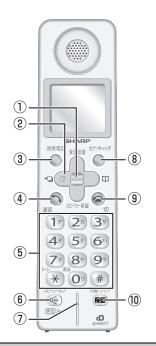
・「プリセット1」、「プリセット2」は、あらかじめ本機に登録されている壁紙です。
・「オリジナル」は、「■液晶ディスプレイにお好みの写真を壁紙として設定する（お好み画面設定）」（☞ 左記）の操作で設定された壁紙です。
・「なし」は、壁紙が表示されません。

**お知らせ**

●ガイドメッセージ表示エリアに長いメッセージを表示するときは、文字を流して表示するため、にじんで見えることがありますが、故障ではありません。
●省電力モード時のバックライトは、工場出荷時は「消灯」に設定されています。
●ガイドメッセージ表示エリアにメッセージが表示されている場合は、省電力モードに移行時、「消灯」に設定されている場合でも、点灯してメッセージを表示します。
●プリンタカバーが開いているときは、「省電力モード移行時間」の設定に関わらず5分で省電力モードへ移行します。
●FAX送信待ち中は省電力モードには移行しません。

# 子機各部の名前とはたらき

## 各部の名前

前面

| | |
|---|---|
| ① | 機能／決定ボタン（☞128、185 ページ） |
| | 選択した項目を決定するときや、各機能を呼び出すときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ② | マルチファンクションキー |
| | 電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。<br>また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。<br>：（受話音量）（☞52ページ）<br>お話し中に、受話音量を変えるときに使います。<br>：（スピーカー音量）（☞52ページ）<br>スピーカーから音声が出ているときに、スピーカー音量を変えることができます。<br>：（再ダイヤル／着信記録）／ポーズ（☞74、92、222～223ページ）<br>同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います（再ダイヤル）。<br>ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。<br>また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います（ポーズ）。<br>：（電話帳）（☞92ページ）<br>電話帳に登録するときなどに使います。 |

| | |
|---|---|
| ③ | 迷惑電話ボタン（☞232 ページ） |
| | 迷惑電話拒否機能を使用するときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ④ | 通話 通話ボタン（☞69 ページ） |
| | 外へ電話をかけるときや受けるときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ⑤ | ダイヤルボタン |
| | 電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。また、次の機能を兼用しています。<br>5ナ：戻し（☞108ページ）<br>再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音を聞いたりするときに使います。<br>6ハ：送り（☞108ページ）<br>再生中に次の録音内容を聞くときに使います。<br>9ラ：早聞き（☞108ページ）<br>録音内容を早く（約1.5倍速）聞くときに使います。<br>トーン ＊：トーン（☞195ページ）<br>ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。<br>※ダイヤルボタンは点灯しません。 |

| | |
|---|---|
| ⑥ | スピーカーホン 発信/ﾊﾟ° スピーカーホンボタン（☞69 ～ 70 ページ） |
| | 子機を置いたままダイヤルするときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ⑦ | マイク |
| | 相手の方とお話しするときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ⑧ | カナ／キャッチボタン（☞94 ～ 96、196 ページ） |
| | 文字を入力するとき、入力モード（カナ、英字、数字）の切り替えに使います。<br>また、キャッチホンを利用するときに使います。 |

| | |
|---|---|
| ⑨ | 切 切ボタン |
| | 通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。 |

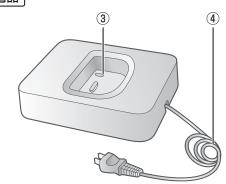
| | |
|---|---|
| ⑩ | 保留／内線／クリアボタン（☞72、76 ～ 77、96 ページ） |
| | 親機や他の子機と内線通話をするときや、通話中に相手の方をお待たせするときに使います。<br>また、入力した文字を消すときにも使います。 |

**背面**

| ① | **スピーカー** |
|---|---|
| | 留守録音の再生などがここから聞こえます。 |

| ② | **充電池ふた** |
|---|---|

| ③ | **充電部** |
|---|---|
| | 子機をこの上に立てて充電します。 |

| ④ | **電源プラグ** |
|---|---|
| | コンセントに差し込みます。 |

## ディスプレイ表示

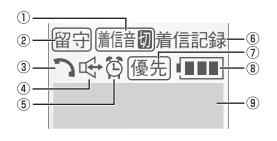
| ① | 着信音を「キリ」に設定しているときに表示します。 |
|---|---|

| ② | 留守番電話に設定しているときに表示します。 |
|---|---|

| ③ | 通話ボタンを押すと表示します。 |
|---|---|

| ④ | ：スピーカーホン通話をしているときに表示します。<br>：受話通話をしているときに表示します。 |
|---|---|

| ⑤ | アラームを設定しているときに表示します。 |
|---|---|

※ 上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

| ⑥ | 着信記録の確認中に表示します。 |
|---|---|

| ⑦ | 優先呼出を設定しているときに表示します。 |
|---|---|

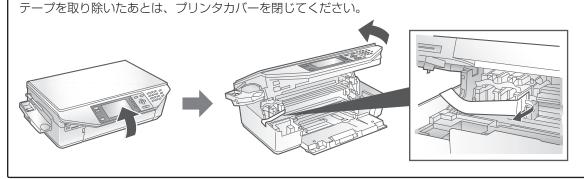
| ⑧ | 充電池残量の目安を表示しています。<br>：充分に残っています。<br>：少なくなっています。<br>：ほとんどありません。すぐに充電してください。<br>：「デンチアリマセン」と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。 |
|---|---|
| | ：充電中は点滅しています（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。 |

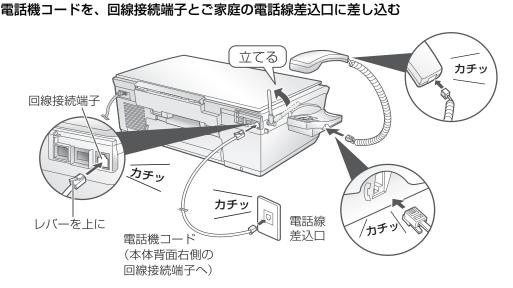
| ⑨ | 電話番号、現在時刻、電話帳、通信時間などを表示します。 |
|---|---|

# 親機を接続する



<電源を入れる前に>

お買いあげ時は、本体内部のインクキャリッジが、テープで仮止めされています。電源を入れる前に、プリンタカバーを開けて必ず取り除いてください。
テープを取り除いたあとは、プリンタカバーを閉じてください。

## 電話回線に接続する／日付・時刻を設定する

**1** 受話器を取り付け、アンテナを立てたあと
**電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線差込口に差し込む**

・ADSL回線、ISDN回線、IP電話、光回線（ひかり電話など）をお使いのときは、32〜33ページをご覧ください。

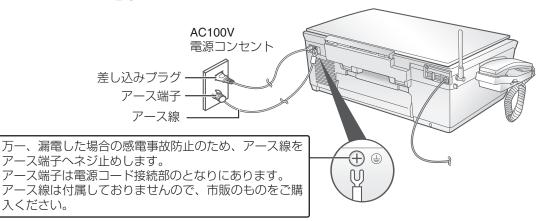
**コンセントのタイプについて**

●直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。
●３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプターをお買い求めいただくか、資格者の工事が必要です。
●資格者の工事については、最寄りのNTTにご相談ください。
●電話機コードは付属のものをお使いください。市販のコードをご使用になるときは、６極２芯のものをお使いください。

次ページへ→

→つづき

## 2 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、アース線をアース端子へネジ止めします。
アース端子は電源コード接続部のとなりにあります。
アース線は付属しておりませんので、市販のものをご購入ください。

## 3 電源が入り、下記の画面が表示されたら を押す

日付・時刻を
設定してください。
[決定]で設定に
入ります。

## 4 ダイヤルボタンで日付を入れる

例：
２００７年　９月　１４日

- 数字を入れまちがえたときは、（取消）を押して、もう一度入れ直します。
- 年は西暦年の下２桁を入れます。
  【年入力】　２００７年⇒０７　～　２０４８年⇒４８
- ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントするので日付・時刻は正しく設定してください。
- 親機の接続が終わってから、日付・時刻を設定し直すこともできます（☞ 47ページ）。

## 5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

例：
午後２時　０５分

- 時刻は24時間制で入れます。待受画面での表示は12時間制（AM／PM）になります。

## 6 を押す

- ０秒から時計がスタートします

次ページへ→

→つづき

**7** 携帯とくとくダイヤルの設定画面が表示される

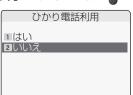
・電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルすると、下記の画面がディスプレイに表示されます。ディスプレイの指示のとおり操作すると、携帯電話への通話料金がおトクになる「携帯とくとくダイヤル（☞197ページ）」を設定することができます。携帯とくとくダイヤルを利用しないときは、停止を押します。

・**ひかり電話をご利用のときは、携帯とくとくダイヤルを利用することができません。手順9の「ひかり電話利用」で「はい」を選んでください。**

携帯電話に電話をかける時
通話料金がおトクになる
サービスを利用できます。
[決定]で設定に
入ります。

**8** を押す

**9**「ひかり電話利用」の確認画面が表示されるので、で「はい」または「いいえ」を選ぶ

ひかり電話利用
1 はい
2 いいえ

・「はい」を選ぶと、設定が終了します。手順14へお進みください。

**NTT東日本、NTT西日本のサービスをご利用の場合**

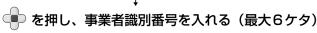
**10** で「NTT東日本0036」または「NTT西日本0039」を選ぶ

・NTT東日本のサービスはNTT東日本サービス提供エリア内のみとなります。
・NTT西日本のサービスはNTT西日本サービス提供エリア内のみとなります。

**NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者をご利用の場合**

**10** で「その他事業者」を選ぶ

↓

を押し、事業者識別番号を入れる（最大6ケタ）

事業者識別番号指定
事業者識別番号=

**携帯とくとくダイヤルを使用しない場合**

**10** で「設定なし」を選ぶ

次ページへ→

→つづき

**11** を押す

**IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合**

**12** で「あり」を選ぶ

↓

を押し、ご利用のIP電話の「加入電話選択番号」を入れる（最大6ケタ）

IP電話利用
加入選択=0000

・「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。

**IP電話をご利用にならない場合**

**12** で「なし」を選ぶ

・IP電話を利用していないときは、[IP電話利用] を [なし] にしてください。

**13** を押す

**14** 電話回線が自動的に設定される

・ 10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。

**回線種別とは…**

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと、電話やファクスを使用できません（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります）。

**「回線種別選択」と表示されたときは**

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと、電話やファクスを使用できなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。

こんなときは 1 〜 3 で回線を選んでください。

20PPS ▶ 

トーン（プッシュホン） ▶ 

10PPS ▶ 3

■ **回線の種類がわからないときは（☞35ページ）**

■ **回線を手動で設定するときは（☞35ページ）**

■ **日付・時刻を設定し直すときは**

日付・時刻を間違って設定してしまったり、設定を変えたいときは、47ページを参照して、あらためて設定し直してください。

■ **パソコンに接続してお使いになるときは**

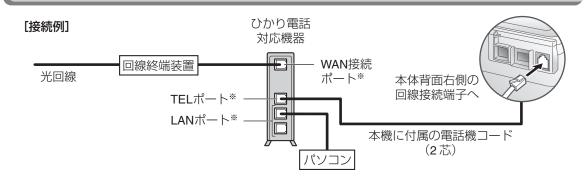
「パソコン接続設定をする」（☞66ページ）の操作で、「接続する」に設定してください。
パソコンに接続してお使いになるときは、57ページをご覧ください。

**お知らせ**

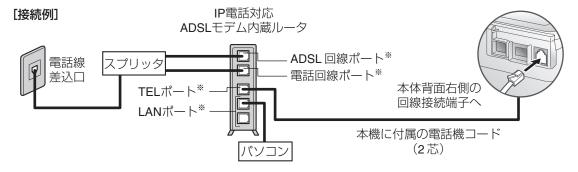
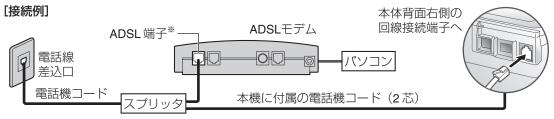
●IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
●電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。また、日付・時刻を設定中に設定を中断したり、操作の途中で約3分間何もしないでいると、日付・時刻は設定されずに待受画面に戻ります。
「日付・時刻を設定し直すときは」（☞47ページ）をご覧になって日付・時刻を合わせてください。
●時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください（時計精度：平均月差±60秒以内）。
●日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。
●構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
●IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（☞35ページ）。
●電源を入れると、親機の側面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
●電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
●この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの成形過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

# いろいろな接続



## ひかり電話などの光回線をご利用のとき

## ADSLによるIP電話をご利用のとき

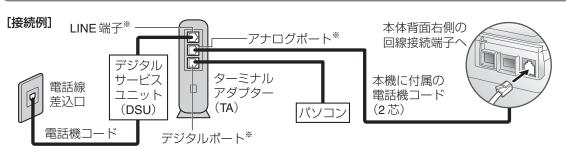
基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプタ」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。
接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

●本機はIP電話に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので、完全な動作を保証するものではありません。

## ADSL回線に接続するとき

ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ１）と共有しないタイプ（タイプ２）があります。
タイプ２のときは、基本的には本機をお使いになれませんが、IP電話のサービスによってはお使いになれる場合もあります。

●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

## ISDN回線に接続するとき

**■ISDN回線に接続後は、回線種別を「トーン」に設定してください(☞35ページ)。**

ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

● ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
● ナンバー・ディスプレイやネーム・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。
● ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください（☞210ページ）。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

**お知らせ**

● 一般回線やISDNから光回線やADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。
  - FAX が送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各光回線／ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。
  - 電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。通知したいときは、NTTを選択して発信してください（NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください）。
  - 発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定を確認し、手動で設定しなおしてください（☞35ページ)。サービスによっては、回線種別を合わせてもつながらないことがあります。
  - ISDN、ADSL、光回線やIP電話をご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「回線調整」の設定を変更してください。(☞272ページ)
  - IP電話をご利用のときは、留守モードで設定した着信回数より少ない回数で着信することがあります。
● 一般回線から光回線やIP電話などに変更した場合、携帯電話につながらなくなることがあります。このときは、「携帯とくとくダイヤル」の設定を [使用しない] にしてください（☞ 197〜198ページ)。

# その他の接続について

■ ブランチ式（並列）に接続しない

● 電話機や他のファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。

● 建物に複数の電話線差込口があっても、電話回線は1つだけの場合があります。そのときは、別々に機器をつないでも並列接続になります。

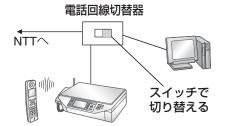
● ナンバー・ディスプレイやモデムダイヤルインサービスをご利用のときは、他の機器と並列にしないでください。誤動作の原因になります。

● 並列に接続している機器が使用中のときは、電話やファクス機能を使用することができません。

● 他の機器と並列に接続すると、共鳴りすることがあります。

● ガスメーターやBS／CSチューナー、パソコン、AV機器などを並列に接続してお使いの場合、それらの機器が動作中のときは、電話やファクス機能を使用することができません。並列して接続する機器に関しては、その機器のメーカーにお問い合わせください。

● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。ただし、スイッチがパソコンなどの外部機器側に切り替えられている場合、電話の発着信、ファクスの送受信はできません。

● AV機器などに電話回線を並列して接続するときは、市販の「電話自動転換器（両切りタイプ）」をお使いになることをおすすめします（動作の保証をするものではありません）。

■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

● **ビジネスホンとは**
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

● **ホームテレホンとは**
電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

● **構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は、工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認お願いします。**

● ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にしてお使いください（☞210ページ）。

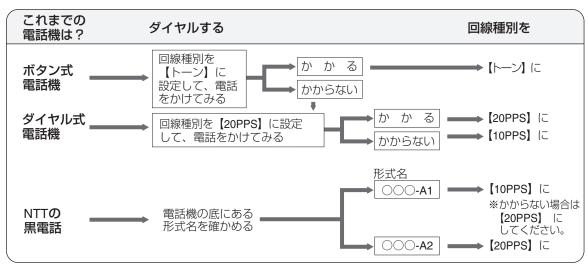
● 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

■ 回線を接続せずに使用するとき

● 回線種別自動設定機能を解除するために、手動で回線種別を設定してください（例：トーン）。
回線種別を設定していないと、回線種別自動設定機能が常に働き、この機能の動作中はボタンが効かないことがあります（設定のしかた ☞35ページ）。

# 手動で回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話やファクスを使用できないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

●**回線の種類がわからないときは**
回線の種類は、電話をかけて調べることができます。わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

# インクカートリッジを取り付ける

## インクカートリッジの種類と使い分け

インクカートリッジには次の3種類の色があります。
この商品には、インクカートリッジの黒（小）: HP132と、カラー（小）: HP136が1個ずつ付属しています（これらのインクカートリッジは、一部のオンラインショップでのみ取り扱っています）。

| 形名 | 製品番号 | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|
| **インクカートリッジ 黒** | | | |
| HP130 プリントカートリッジ 黒（増量） | C8767HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| HP131 プリントカートリッジ　黒 | C8765HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| **インクカートリッジ カラー** | | | |
| HP134 プリントカートリッジ カラー（増量） | C9363HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| HP135 プリントカートリッジ カラー | C8766HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| **インクカートリッジ フォト** | | | |
| HP138 プリントカートリッジ フォトカラー | C9369HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |

プリントしたいものによって、次のように使い分けてください。

■ **写真以外のカラーのプリントや、モノクロでプリントすることが多い場合**
インクキャリッジの左側：　カラーインクカートリッジ
インクキャリッジの右側：　黒インクカートリッジ

■ **写真など、カラーの画像を鮮明にプリントしたい場合**
インクキャリッジの左側：　カラーインクカートリッジ
インクキャリッジの右側：　フォトインクカートリッジ

フォトインクカートリッジはこの商品には付属していません。
上記の指定品をお買い求めください。

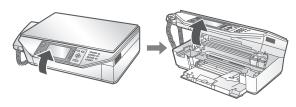
**お知らせ**

●インクカートリッジを１種類だけ取り付けているときは、下記の条件でプリントできます。
ただし、最適な印刷品位を得るため、２種類とも取り付けた状態でお使いいただくことをお勧めします。
**カラーインクカートリッジのみ取り付けている場合：**
フォトプリント、カラーコピー、モノクロコピーができます。
**黒インクカートリッジ、またはフォトインクカートリッジを１個だけ取り付けている場合：**
モノクロプリント（モノクロのファクスのプリント、モノクロのコピー）はできますが、フォトプリント、カラーコピーはできません。

●インクカートリッジ２種類のうち片方のインクが切れた場合、正しくプリントできないことがあります。
なお、片方がインク切れになっても、プリント前およびプリント中に自動的に停止することはありません。早めにインクカートリッジを交換してください。

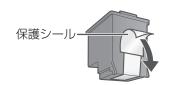
## インクカートリッジを取り付ける

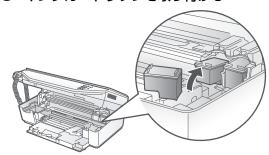
はじめてお使いになるときは、下記の操作でインクカートリッジを取り付けてください。
新しいインクカートリッジを取り付けたときは、「プリンタ位置調整」の操作が必要です。A4サイズの普通紙をご用意ください。プリント用紙は付属していませんので、当社推奨品をお買い求めください（☞264〜265ページ）。

プリンタカバーを開けるときは、壁などに当たらないように、アンテナを前に倒しておいてください。

### 1 プリンタカバーを開く

- 「ガチッ」という音がして、プリンタカバーが固定されるまで動かしてください。
- インクキャリッジが右端まで移動します。右端で止まるまでさわらないでください。
- プリンタカバーを開いてからインクカートリッジが動き出すまで時間がかかることがあります。

**⚠注意**
●インクキャリッジが移動しているときは、手を触れないでください。けがの原因となるおそれがあります。

### 2 インクカートリッジを袋から取り出し、保護シールをはがす

- インクカートリッジのインクノズルや、銅製の電極部分には手を触れないでください。インク詰まり、損傷、電気の接触不良の原因となります。また、銅板の部分をはがさないでください。この部分はインクカートリッジが動作するために必要な部分です。

### 3 インクカートリッジを取り付ける

**左側にカラーインク、右側に黒インクまたはフォトインクをセットします。**

- 「カチッ」と音がして、カートリッジが動かなくなるまで押し込んでください。
- カートリッジをまちがえていると、正しく取り付けられません。

### 4 プリンタカバーを閉じる

- ディスプレイに「プリンタ位置調整が必要です ➡操作ガイド 」と表示されます。

**⚠注意**
●プリンタカバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後までプリンタカバーを持って閉めてください。けがの原因となるおそれがあります。

次ページへ→

→つづき

**5** （操作ガイド）を押し、画面のメッセージにしたがって、A4サイズの新しい普通紙をセットする（☞43ページ）

**6** （プリンタ位置調整）を押す

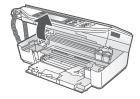
- プリンタ位置調整が始まります。テストパターンが印刷されますので、プリント中はプリンタカバーを絶対に開けないでください。
- テストパターンのプリントが完了すると、自動的にプリンタの位置調整が完了します。

**お知らせ**

- ●プリンタカバーを開けたままにしておくとインクキャリッジが左端へ戻ります。その場合は、一度プリンタカバーを閉めて、もう一度開けてください。
- ●手順５～６のプリンタ位置調整を行わないと、正確にプリントできないことがあります。

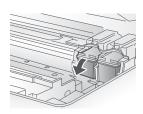
## インクカートリッジを交換する

インクが残り少なくなると、親機のディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。
インク残量が少ないまま印刷を行うと、かすれなどが発生しやすくなりますので、メッセージが表示されたら、早めにインクカートリッジの交換を行ってください。
新しいインクカートリッジを取り付けたときは、「プリンタ位置調整」の操作が必要です。A4サイズの普通紙をご用意ください。プリント用紙は付属していませんので、当社推奨品をお買い求めください（☞264〜265ページ）。

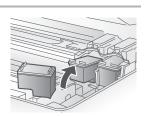
プリンタカバーを開けるときは、壁などに当たらないように、アンテナを前に倒しておいてください。

**1 プリンタカバーを開く**

・インクキャリッジが右端まで移動します。右端で止まるまでさわらないでください。
・プリンタカバーを開いてからインクカートリッジが動き出すまで時間がかかることがあります。

> ⚠**注意**
> ●インクキャリッジが移動しているときは、手を触れないでください。けがの原因となるおそれがあります。

**2 古いインクカートリッジを取り外す**

・インクカートリッジを押し下げて、インクキャリッジから取り外します。

**3 新しいインクカートリッジを袋から取り出し、保護シールをはがす（☞37ページ）**

**4 新しいインクカートリッジを取り付ける**

・「カチッ」と音がして、カートリッジが動かなくなるまで押し込んでください。
・左側にカラーインク、右側にフォトインクまたは黒インクをセットします。カートリッジをまちがえていると、正しく取り付けられません。

**5 プリンタカバーを閉じる**

> ⚠**注意**
> ●プリンタカバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後までプリンタカバーを持って閉めてください。けがの原因となるおそれがあります。

**6 ◯（操作ガイド）を押す**

**7 画面のメッセージにしたがって、A4サイズの新しい普通紙をセットし（☞43ページ）、プリンタ位置調整をする**

・プリンタ位置調整が始まります。プリント中はプリンタカバーを絶対に開けないでください。

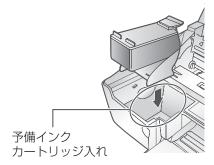
**お知らせ**

- プリンタカバーを開けたままにしておくとインクキャリッジが左端へ戻ります。その場合は、一度プリンタカバーを閉めて、もう一度開けてください。
- 39ページの手順6～7でプリンタ位置調整を行わないと、正確にプリントできないことがあります。

■ **使い切っていないインクカートリッジの保管について**

インクカートリッジを親機から取り外したときは、インクカートリッジを安全に保護し、インクノズルの乾燥を防ぐために、付属のインクカートリッジカバーに取り付けて保管してください。

インクカートリッジを
少し傾けて差し込みます。

プリンタカバーを開けると、左側に予備インクカートリッジ入れがあります。使いかけのインクカートリッジは、インクカートリッジカバーに取り付けたあと、ここに収納しておくと便利です。

インクカートリッジの保存状態によっては、インクを取り付けたあとクリーニングが必要な場合があります（☞236ページ）。

**お知らせ**

- インクカートリッジは当社の指定品をお使いください（☞36ページ）。当社の指定品以外のインクカートリッジをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

■ **使用済みインクカートリッジの取り扱いについて**

ご使用済みのインクカートリッジは、再資源化処理を行って再利用するため、店頭に設置されている日本ヒューレット・パッカード社（HP社）の回収ボックスにて回収しております。

※ご使用済みインクカートリッジの回収および回収ボックスの設置店舗リストにつきましては、HP社のホームページにてご確認ください。
http://www.hp.com/jp/supply_recycle/

回収ボックスのない地域で、使用済みのインクカートリッジを廃棄するときは、インクが飛び散らないように注意し、お住まいの地域の規則にしたがって、「プラスチック製容器包装」として廃棄してください。

# プリント用紙をセットする

お使いの用途に合わせた用紙をセットします。

**プリント用紙は付属していませんので当社推奨品をお買い求めください。(☞264～265ページ)推奨品以外の用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くプリントされることがあります。**



## セットできる用紙の枚数

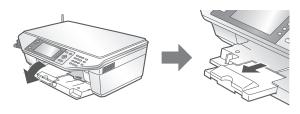
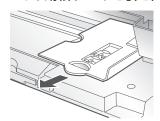
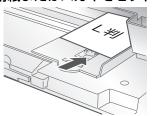
| 用　　紙 | 一度にセットできる枚数 | 用　　紙 | 一度にセットできる枚数 |
|---|---|---|---|
| フォト用紙・光沢紙 ※1 | 30枚まで | コート紙、マット紙 ※1 | 30枚まで |
| はがき※2 | 30枚まで | 普通紙 ※3 | 100枚まで |
| シール用紙（ラベル紙）※1 | 1枚ずつ | | |

※1 当社推奨品をご使用ください。
※2 官製はがきをお使いください。DPEショップ等で販売されている写真貼り合わせはがきや喪中はがきなど、厚みのあるものは給紙できない場合があります。
※3 坪量60～90g/㎡、厚み86～106μmの用紙をご使用ください。

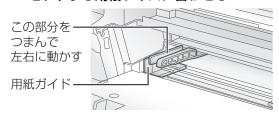
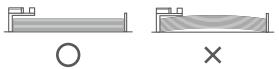
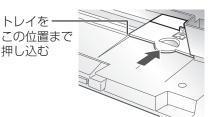
**お知らせ**

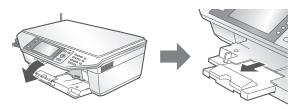
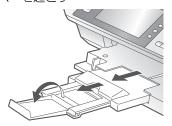
- 一度にセットできる枚数は、用紙の種類によって異なります。
- 厚めの用紙をセットしたり、用紙のさばき方によっては、上記の枚数でもうまく給紙できない場合があります。そのときは、枚数を減らしてセットするなどの調整をしてみてください（シール紙の場合を除く）。
- プリント時に用紙の後端に近い部分でスジやムラが発生する場合があります。また用紙が反った状態で印刷すると、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

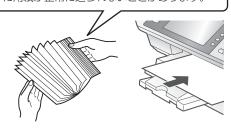
## Ｌ判／ハガキサイズの用紙のセットのしかた

**1** 用紙トレイを開き、
用紙補助トレイを引き出す

**2** Ｌ判／ハガキ用紙トレイを引き出す

**3** 印刷する面を**下向き**にし、縦向きに
Ｌ判用紙またはハガキをセットする

例：Ｌ判の用紙をセットするとき

**4** Ｌ判用紙をセットしたときは
奥のストッパーを起こす、
ハガキをセットしたときは
手前のストッパーを起こす

**5** 用紙ガイドをスライドさせて、
セットする用紙サイズに合わせる

・用紙ガイドは、用紙の幅より少し余裕をもたせて合わせてください。

**6** Ｌ判／ハガキ用紙トレイを元の位置に戻す

## その他の用紙のセットのしかた

### 1 用紙トレイを開き、用紙補助トレイを引き出す

・用紙がA4より大きいときは、2段目を引き出し、ストッパーを起こす

### 2 印刷する面を**下向き**にし、用紙トレイにセットする

**用紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、用紙の先端が奥にあたるまで挿入してください。**
さばかずにセットすると、紙の先端がそろわずに用紙が正常に送られないことがあります。

・用紙はトレイの右側に合わせます。
・用紙を強く差し込まないでください。

■ **用紙を追加するときは**

いったん用紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、用紙を追加しないでください。

■ **用紙が詰まったときは（☞240ページ）**

### 3 用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせる

・用紙ガイドは、用紙の幅より少し余裕をもたせて合わせてください。

■ **排紙される普通紙の枚数について**

プリント後の普通紙は、用紙トレイに30枚以上溜まらないようにしてください（枚数に関係なく、できるだけこまめに取り除いてください）。

■ **おもな用紙の用途について**

本機で使用できるおもな用紙は、それぞれ下記のような用途に適しています。

・フォト用紙／光沢紙：
写真などのカラー印刷全般に適しています。
・コート紙（インクジェット紙）：
厚手でこしがあり、カラーのレポートやプレゼンテーション資料などに適しています。
・普通紙：
モノクロでのコピーや、受信したファクスのモノクロ出力に適しています。

**お知らせ**

●しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている用紙はセットしないでください。紙詰まりの原因になります。
●長期間、用紙トレイに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した用紙をそのままお使いになると、給紙不良や紙詰まりなどの原因になることがあります。
●用紙トレイや用紙補助トレイは、使用しないときは元通りに戻しておいてください。

# 子機を充電する

## 充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
**必ず10時間以上充電** してください。

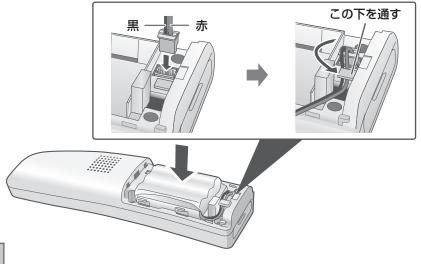
### 充電池の寿命

- 充電池にも寿命があり、古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、寿命の目安は約2年程度で、それ以降は、子機の使用時間が短くなります。
- 長時間充電してもすぐに残量表示がなくなり、「デンチアリマセン」と表示されるときは新しい別売の充電池に交換してください（別売品／消耗品 ☞264〜265ページ）。

**通話時間について**

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で**約6時間**です。ただし、電波サポート設定（☞69、186ページ）を「する」に設定しているときは、通話時間が短くなります。

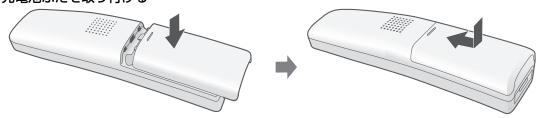
- 子機ディスプレイにある ▮▮▮ は、充電池の残量を目安として表示しています。
  - ▮▮▮：充分に残っています。
  - ▮▮：少なくなっています。
  - ▮：ほとんどありません。すぐに充電してください。
  - □：「デンチアリマセン」と表示されて使用できません。10時間以上、連続して充電してからお使いください。
  - ▮▮▮（点滅）：充電中は点滅しています（充分に残っている状態から充電した場合は、点滅しません）。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**「デンチアリマセン」**と表示されます）。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- 充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

**1** 充電池をセットして子機を充電する

⚠ 警 告

充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

次ページへ→

→つづき

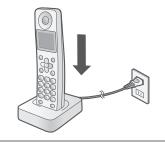
## 2 充電池ふたを取り付ける

「カチッ」と音がするまで充電池ふたをスライドさせて閉める

## 3 電源コードをコンセントに差し込む

⚠注 意

・充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。金属物が熱くなることがあり、やけど、けがの原因となります。
・磁力線がでていますので、磁気に弱い物を近づけないでください。キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど使えなくなることがあります。

## 4 子機を充電器に置く

・はじめてお使いになるときは、必ず **10時間以上充電** してください。

・子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り、充電が始まります。
・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます（親機の「時計バックアップ」が設定されているときのみ ☞273ページ）。
・子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。

**お知らせ**

●旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。
●充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください（できるだけ離してください）。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●UX-MF70CW／UX-MF80CWをお使いのときや、子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
●電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。
●電磁誘導による無接点充電方式をとっています。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器とを50cm以上離してください。

親機と充電器とを**50cm以上**離してご使用ください

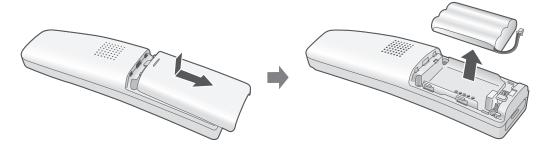
## 充電池を交換する

長時間充電しても通話できる時間が短いときは、新しい別売りの充電池と交換してください。

**充電池を交換すると次の項目データが消えたり、初期状態に戻ったりします。これ以外の内容は変わりません。**
●時刻、アラーム設定

**約2年程度で交換してください**

**子機に内蔵している専用の充電池は消耗品です。連続通話時間は消耗とともに短くなります。長時間（約10時間）充電しても連続通話時間が短い場合は、新しい別売りの充電池（☞265ページ）に交換してください。**

### 1 充電池ふたを外して、充電池を取り外す

### 2 新しい充電池を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞44～45ページ）をご覧ください。

■ **充電池について**

●充電池は使わないで放置しておいても自己放電します。
このため、新しい充電池でもはじめから容量が少なくなっていたり、全くないことがあります。
これは、充電池の不良ではありません。
●充電池をはじめて使うときや、長時間使わなかったときは、必ず充電してください。
●充電池が自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。
このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すと通常の状態に戻ります。

■ **充電式電池のリサイクルご協力のお願い**

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

●交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
●リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
- この商品またはニッケル水素電池をお買い求めいただいた販売店または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
- （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センタ、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。

●電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
●リサイクル時のご注意
- 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池を分解しないでください。

# 日付・時刻を合わせる

日付と時刻を設定することができます。
親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機の時計を転送して子機の時計を設定したり、子機の時計を転送して親機の時計を設定したりすることもできます。

## 親機の日付と時刻を合わせる

**1** （登録/機能）を押し、

で「初期登録」を選ぶ

**2** を押し、

で「日付・時刻」を選ぶ

**3** を押す

**4** ダイヤルボタンで日付を入れる

例：0 7 0 9 1 4
2007年 9月 14日

・時刻のみを合わせたい場合でも、年月日から入力してください。

**5** ダイヤルボタンで時刻を入れる

・時刻は24時間制で入れます（表示は12時間制です）。

例：1 5 0 0
午後3時 00分

・1ケタのときは、最初に「0」をつけて入れます。

例：0 9 0 8
午前9時 8分

・数字を入れまちがえたときは、 でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

**6** を押す

**7** 停止 を押す

・待受画面に戻り、0秒から時計がスタートします。
・親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（☞273ページ）が、[使用する] に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に転送されて親機の登録が上書きされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）または （取消）を押します。

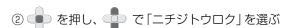
■「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

■ 子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

① を押し、 で「システムセッテイ」を選ぶ

② を押し、 で「ニチジトウロク」を選ぶ

③ を押す

④ ダイヤルボタンで日付を入力する

（年は西暦年の下二ケタ）

例：

2007年 9月 14日

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する

（時間は24時間制）

例：

午後3時 45分

⑥ を押す

・途中でやめるとき： 切
・数字を入れまちがえたときは、 でまちがえた数字を選び、あらためて入力します。

■ **親機に登録されている日付や時刻を子機に転送する（時計転送）**

親機で操作します。
親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

①（登録/機能）を押す

②  を4回押し、で「時計転送」を選ぶ

③ を押し、で「子機へ送信」を選ぶ

④ を押す

・途中でやめるとき：停止／
　1つ前に戻るとき：（戻る）
・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。
・時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

■ **子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）**

親機で操作します。
子機の日時が登録されていないときは、転送できません。

①（登録/機能）を押す

② を4回押し、で「時計転送」を選ぶ

③ を押し、で「子機から受信」を選ぶ

④ を押す

・途中でやめるとき：停止／
　1つ前に戻るとき：（戻る）
・親機に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

■ **停電などで親機の日時登録が消えたときは**

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、親機の日時を登録します。
時計転送を行わないようにするには、「時計バックアップ」（☞273ページ）を［使用しない］に設定してください。

**お知らせ**

●時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
●子機の充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」（☞273ページ）が［使用する］に設定されているとき、子機が充電されると、親機から自動的に日時が登録されます。
●時刻だけを合わせたいときも、手順に従って日付から入力してください。
●時計転送しているとき、親機のディスプレイには「子機使用中」と表示されます。

# 着信音量や着信音の種類を変える

## 親機の着信音量を変える／鳴らさないようにする

ファクスや電話を着信したときの着信音の大きさを変えることができます。5段階の音量と、「切」（鳴らさない）の中から選ぶことができます。

**1** を押す

・５段階に設定できます（押すたびに切り替わりますので、音を聞きながら設定してください）。
・はじめは「３段階目」に設定されています。
・着信音を「切」にするときは、を押し続けてください。「着信音＝切」と表示されたあと、が表示されます。
・を押すと、着信音量の調整になり、再び着信音が鳴ります。

## 親機の着信音の種類を変える

ファクスや電話を着信したときの着信音の種類を変えることができます。
6種類の着信音が内蔵されています。

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「親機着信音選択」を選ぶ

**3**  を押し、で着信音を選ぶ

・「電話ベル音」、「鳥の声」、「電子音」、「バッハのインベンション」、「ジュ・ト・ブ」、「シンフォニー 40番」のいずれかを選べます。
・（再生）を押すと、選択している着信音を試聴することができます。
試聴を中止するときは（戻る）を押してください。

**4** を押す

**5** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

## 子機の着信音量を変える／鳴らさないようにする

**1** を押し、

で「チャクシンオンリョウ」を選ぶ

ユウセンヨビ゛ダ゛シ
▶チャクシンオンリョウ

**2** を押す

**3** で音量を選ぶ

・「ダイ」、「ヒョウジュン」、「ショウ」、「キリ」のいずれかを選びます。着信音を鳴らさないようにするときは、「キリ」を選びます。
・はじめは「ヒョウジュン」に設定されています。
・「キリ」に設定すると 着信切 が表示されます。

**4** を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

## 子機の着信音の種類を変える

**1** を押し、

で「チャクシンネイロ」を選ぶ

チャクシンオンリョウ
▶チャクシンネイロ

**2** を押す

チャクシンネイロ
♦ネイロセンタク

・現在設定されている着信音が鳴ります。

**3** で着信音の種類を選ぶ

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。
・はじめは「プルルルル　プルルルル」に設定されています。
・着信音の種類は表示されません。

| | |
|---|---|
| 01 | 「プルルルル　プルルルル」 |
| 02 | 「ポロロロ　ポロロロ」 |
| 03 | 「ピロン　ピロン」 |
| 04 | 「ショートメロディー①」 |
| 05 | 「ショートメロディー②」 |
| 06 | 「ショートメロディー③」 |
| 07 | 「ショートメロディー④」 |
| 08 | 「ショートメロディー⑤」 |
| 09 | 「ジムノペティ」 |
| 10 | 「ジュピター」 |

**4** を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

**お知らせ**

●着信音を鳴らさない設定にしていても、親機や他の子機、ドアホンからの着信音は「ショウ」の音量で鳴ります。親機や他の子機、ドアホンからの着信音を変えることはできません。
●優先呼出（☞71 ページ）を設定した子機の着信音を「キリ」にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
●親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定にしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

# 受話音量やスピーカーの音量を変える

## 親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

**1** 通話中に

 **を押す**

・5 段階に設定できます（押すたびに切り替わり、ディスプレイに現在の音量が表示されます)。
・はじめは「2段階目」に設定されています。

## 親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通話時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます（それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

**1** スピーカーから音が聞こえているときに

 **を押す**

・5 段階に設定できます（押すたびに切り替わり、ディスプレイに現在の音量が表示されます)。
・はじめは「3段階目」に設定されています。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量を調整する ☞234ページ)**

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音 ☞272ページ)**

**お知らせ**

●受話音量を最大に設定しているとき、音が歪む場合があります。
このときは、音量を下げてください。

## 子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

**1** 通話中に
 **を押す**

・4段階に設定できます（押すたびに切り替わりますので、音を聞きながら設定してください）。
・はじめは「2段階目」に設定されています。

## 子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音声の大きさを変えることができます。

**1** スピーカーから音が聞こえているときに
 **を押す**

・4段階に設定できます（押すたびに切り替わりますので、音を聞きながら設定してください）。
・はじめは「2段階目」に設定されています。

## 子機の通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

**1** 通話中に
 **を押す**

・「タカイ」（高音を強調する）、「ヒクイ」（低音を強調する）、「フツウ」のいずれかを選びます。
・「フツウ」を選ぶと、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。
・すべての子機の通話音質を変更したいときは、「子機受話音質を調整する」（☞235ページ）をご覧ください。
・通話 を押したときに、「タカイ」、「ヒクイ」、「フツウ」が約5秒間表示されます。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量を調整する ☞234ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量を調整する ☞235ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音 ☞185ページ）**

**お知らせ**

●受話音量を最大に設定しているとき、音が歪む場合があります。
このときは、音量を下げてください。

# あなたの電話番号や名前を登録する



## あなたの電話番号を親機に登録する

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の用紙にプリントされます。

**1** （登録/機能）を押し、
で「初期登録」を選ぶ

**2** を押し、
で「発信元番号」を選ぶ

**3** を押し、 で「登録」を選ぶ

**4** を押す

**5** ダイヤルボタンで電話番号を入れる
（最大20ケタ）

発信元番号
NO.=0312345678

・番号を入れまちがえたときは （取消）を押して、もう一度入れ直します。
・スペース（空白）を入れるときは # を押します。
プラス（+）を入れるときは * を押します。

**6** を押す

**7** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）または （取消）を押します。

■ 登録した電話番号を消すときは

① 左記手順1～2の操作を行う
② を押し、 で「消去」を選ぶ
③ を押し、 で「する」を選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ 登録した電話番号を変えるときは

一度消してから、もう一度登録します。

**お知らせ**

●電話番号や名前は、LAN 接続されたパソコンからも登録できます。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」の「機器基本情報ページについて」をご覧ください。

## あなたの名前を親機に登録する

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の用紙にプリントされます。

**1** （登録/機能）を押し、
で「初期登録」を選ぶ

**2** を押し、
で「発信元名」を選ぶ

**3** を押し、
で「登録」を選ぶ

**4** を押す

**5** 名前を入れる
（最大全角12文字／半角24文字）

・ 文字の入力方法は 88 ～ 91 ページをご覧ください。

**6** を押す

**7** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）または（取消） を押します。

■ **登録した名前を消すときは**

① 左記手順１～２の操作を行う

② を押し、で「消去」を選ぶ

③ を押し、で「する」を選ぶ

④ を押す

⑤ 停止 を押す

■ **登録した名前を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

## 使う人の名前を子機に登録する

登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。

**1** を押し、

で「システムセッテイ」を選ぶ

デ゛ンワチョウテンソウ
▶システムセッテイ

**2** を押し、

で「シヨウシャヒョウジ」を選ぶ

クイックツウワ
▶シヨウシャヒョウジ

**3** を押す

**4** 名前を入れる（最大９文字）

・文字の入力方法は 94 ～ 96 ページをご覧ください。

**5** を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

# 操作ガイドを使う

待受画面で ◯（操作ガイド）を押すと、液晶操作ガイドを表示することができます。
操作ガイドでは、基本的な操作やエラーの対処方法などをご案内します。

## ■ 操作ガイドで使用するボタン

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| （上下左右キー） | 項目の選択やページ送りに使用します。 |
| （決定キー） | 選んだ項目の表示に使います。 |
| 停止 | 操作ガイドを終了し、待受画面に戻るときに使います。 |
| ◯（目次へ） | 下記の「操作ガイドのもくじ」に戻るときに使います。 |
| ◯（前ページ） | ひとつ前の画面を表示するときに使います。 |
| ◯（次ページ） | 次の画面を表示するときに使います。 |
| ◯（残量確認） | 「インクカートリッジの交換」で、インクの残量を確認するときに使います。<br>また、「受信／録音メモリー不足」で、メモリー残量を確認するときにも使います。 |
| ◯（プリンタ位置調整） | 「プリンタ位置調整」で、プリンタ位置調整を行うときに使います。 |
| ◯（プリンタリセット） | 「プリンタエラーのとき」で、プリンタリセットを行うときに使います。 |
| ◯（受信FAX一覧） | 「受信／録音メモリー不足」で、受信FAX一覧を表示するときに使います。 |
| ◯（留守録再生） | 「受信／録音メモリー不足」で、留守録を再生するときに使います。 |
| ◯（子機増設） | 「子機を増設するには」で、子機増設を行うときに使います。 |
| ◯（戻る） | 「目次」で、待受画面に戻るときに使います。 |

## ■ 操作ガイドのもくじ

操作ガイド

1 インクカートリッジの交換
2 用紙のセット
3 用紙が詰まったとき
4 プリンタエラーのとき
5 プリンタ位置調整
6 受信/録音メモリー不足
7 子機でファクスを受ける
8 応答がありません
9 通信エラー1～15のとき
0 子機を増設するには

**お知らせ**

●操作ガイドを表示しているときは、子機で電話をかけることはできません。

# インストールする前に



## パソコン側で必要な動作環境

本機を接続して正しくお使いになるには、パソコン側に下記の動作環境が必要です。

| 対応OS |
|---|
| **USB接続の場合：**<br>Windows® 2000／Windows® XP ／Windows Vista® プレインストールモデル<br>**LAN接続の場合：**<br>Windows® 2000 SP4以降／Windows® XP／Windows Vista® プレインストールモデル |
| **必要インターフェース** |
| USBインターフェース（USB1.1とUSB2.0（フルスピード）に対応）または<br>LANインターフェース（10BASE-T/100BASE-TX） |
| **必要CPU** |
| Windows® 2000／XPの場合：Pentium®Ⅲプロセッサ 500MHz以上<br>Windows Vista® の場合：プロセッサ800MHz以上（Windows Vista® が正常に動作する環境でご使用ください） |
| **必要メモリ** |
| Windows® 2000／XPの場合：128MB以上（256MB以上推奨）<br>Windows Vista® の場合：512MB以上（1GB以上推奨）（Windows Vista® が正常に動作する環境でご使用ください） |
| **必要ハードディスク空き容量** |
| 300MB以上 |
| **CD-ROMドライブ** |
| 必要 |

## 接続方法を選ぶ

本機をパソコンやネットワークに接続してお使いになるには、２通りの方法があります。下記の内容に従って、それぞれの説明ページをご覧ください。

本機を直接パソコンと接続してお使いになるとき ▶ **USB接続**
（☞58ページへ）

ブロードバンドルータなどを使用して、本機を含めた複数の機器を、ネットワーク環境に接続してお使いになるとき ▶ **LAN接続**
（☞61ページへ）

# USB接続でお使いになるとき

本機とパソコンを、USBケーブルで接続する操作です。対応OSなど、必要な環境については57ページをご覧ください。
付属のCD-ROMからドライバやソフトウェアをインストールし、最後にUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。ドライバとは、本機のプリンタやスキャナの機能を、パソコンから使用できるようにするためのソフトウェアです。
インストール後の操作については、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」（Manualフォルダ内の「UXMF70_80_online.pdf」ファイル）をご覧ください。
CD-ROM内のマニュアルは、ドライバインストール画面の「電子マニュアル」をクリックしてご覧ください。

## 接続する前に

●USBケーブルは付属していませんので、市販のUSBケーブル（ABタイプで長さ5m以内のもの）をお買い求めください。
●パソコン上で動作しているソフトウェア（ウィルスチェックなどの常駐ソフト含む）は、すべて終了しておいてください。
●本機とパソコンとは直接接続してください。ハブなどを中継しての接続はしないでください。
●パソコンに接続している他のUSB機器は、取り外しておいてください。

## ドライバをインストールして接続する

下記の手順で、お使いのパソコンにドライバをインストールします。
操作方法や画面例は、OSがWindows Vista®の場合のものです。その他のOSをお使いのときは、項目名などが異なる場合がありますが、表示される画面に従って操作してください。

**本機とパソコンは、まだ接続しないでください。**
**本機の電源が入っていることを確認してください。**

**1** パソコンを起動し、管理者（Administrator）権限でログオンする

もし次のような画面が表示されたら

**Windows Vista®の場合**

**Windows®XPの場合**

**USBケーブルが接続されています。**
以下の操作を行ってください。
1. **USBケーブルを抜く**
2. **[キャンセル]をクリックする**
3. **手順の *2* から操作する**

次ページへ→

→つづき

## 2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

・自動的にインストーラが起動します。
・インストーラが起動しないときは、下記の操作で起動してください。

Windows Vista®の場合は、ボタンをクリックして[コンピュータ]をクリックし、[CD-ROM]アイコン（）をダブルクリックする
Windows® XPの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（）をダブルクリックする
Windows®2000の場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]アイコン→[Launch]アイコンの順にダブルクリックする

## 3 「ドライバインストール」をクリックする

## 4 「USB接続で使用する」をクリックする

## 5 「インストール開始」をクリックする

## 6 「次へ」をクリックする

## 7 インストーラ以外のプログラムを終了し、「次へ」をクリックする

次ページへ→

→つづき

## 8 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認し、「次へ」をクリックする

・ ドライバのインストールが始まります。

## 9 「完了」をクリックする

・「USBケーブルを接続してください。」というメッセージが表示されます。

## 10 本機の 停止 を押して待受画面にする

## 11 USBケーブルで本機とパソコンを接続する

USB接続端子（背面）

・ ドライバのインストールが始まり、すべてのドライバのインストールが完了します。

## 12 「完了」をクリックする

・「インストール結果確認」をクリックしてインストール結果を確認してください。
・ インストール終了後、インストーラを終了させて、CD-ROMをパソコンから取り出してください。

### プリンタ・スキャナの機能を使うには

本機のプリンタ・スキャナ機能をパソコンから利用するときは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
スキャナ機能については、168～175ページもご覧ください。

### ドライバをアンインストールするときは

パソコン側の「プログラムの追加と削除」(Windows Vista®、Windows® XP) ／「アプリケーションの追加と削除」(Windows® 2000)で、「SHARP UX-MF70/80」をアンインストールしてください。

### お知らせ

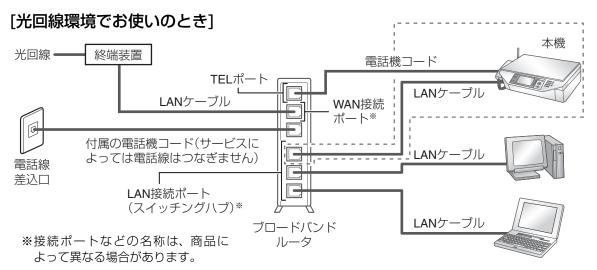
●Windows® 2000 SP1・SP2では本体に挿入したメモリーカードをパソコンのリムーバブルディスクとして使用することはできません。
●子機を使用しているときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

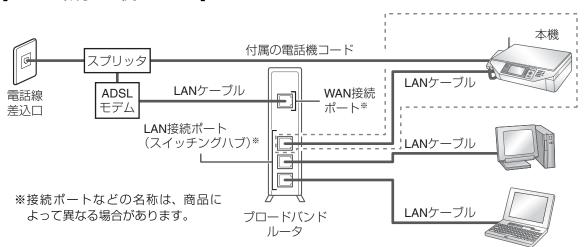
# LAN接続でお使いになるとき



本機をLANケーブルでネットワーク環境に接続する操作です。対応OSなど、必要な環境については57ページをご覧ください。
LANケーブルで本機をネットワーク環境に接続し、付属のCD-ROMからドライバやソフトウェアをインストールします。ドライバとは、本機のプリンタやスキャナ機能を、パソコンから使用できるようにするためのソフトウェアです。
ここでは、すでにお使いになっているネットワーク環境に、本機を追加する形で説明しています。
インストール後の操作については、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
CD-ROM内のマニュアルは、ドライバインストール画面の「電子マニュアル」をクリックしてご覧ください。

## 接続例

本機をLANケーブルでネットワーク環境に接続する場合の例です。接続にはブロードバンドルータやスイッチングハブを使用します（例はブロードバンドルータ使用時のものです）。お使いの接続機器の取扱説明書もご覧下さい。

### [光回線環境でお使いのとき]

### [ADSL環境でお使いのとき]

## プリンタドライバをインストールして接続する

下記の手順で、お使いのパソコンにプリンタドライバをインストールします。複数のパソコンから本機の機能をお使いになるときは、すべてのパソコンにインストールしてください。

●LANケーブルは付属していませんので、市販のLANケーブル（10BASE-T／100BASE-TXのストレートケーブル）をお買い求めください。

●パソコン上で動作しているソフトウェア（ウィルスチェックなどの常駐ソフト含む）は、すべて終了しておいてください。

工場出荷時の設定では、インストールに必要なIPアドレスなどの設定を、本機が自動的に行うようになっています。各設定を個別に行うときは、「手動で設定するときは」（☞65〜66ページ）をご覧ください。

操作方法や画面例は、OSがWindows Vista® の場合のものです。その他のOSをお使いのときは、項目名などが異なる場合がありますが、表示される画面に従って操作してください。

**1** **接続するブロードバンドルータやスイッチングハブが正しく動作していることを確認し、背面のLAN接続端子と、ブロードバンドルータやスイッチングハブのLANポートをLANケーブルで接続する（☞61ページ）**

**2** **本機の 停止 を押して待受画面にする**

**3** **パソコンを起動し、管理者（Administrator）権限でログオンする**

**4** **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする**

・自動的にインストーラが起動します。
・インストーラが起動しないときは、下記の操作で起動してください。

> Windows Vista®の場合は、 ボタンをクリックして[コンピュータ]をクリックし、[CD-ROM]アイコン（ ）をダブルクリックする
> Windows® XPの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（ ）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（ ）をダブルクリックする
> Windows®2000の場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]アイコン→[Launch]アイコンの順にダブルクリックする

**5** **「ドライバインストール」をクリックする**

**6** **「LAN接続で使用する」をクリックする**

**7** **「インストール開始」をクリックする**

次ページへ→

→つづき

## 8「次へ」をクリックする

## 9「次へ」をクリックする

## 10「検出に成功しました」と表示されたら本機が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする

・この画面が表示されないときは、「本機の検出に失敗したときは」（☞64ページ）の内容をご確認ください。

**プリンタの機能を使うには**

本機のプリンタ機能をパソコンから利用するときは、付属の CD-ROM 内の「UX-MF70 ／ UX-MF80シリーズ　パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

**ドライバをアンインストールするときは**

パソコン側の「プログラムの追加と削除」(Windows Vista®、Windows® XP) ／「アプリケーションの追加と削除」(Windows® 2000) で、「SHARP UX-MF70/80 (LAN)」をアンインストールしてください。

## 11「はい」または「いいえ」をクリックする

・本機に挿入するメモリーカードへの接続方法をLAN経由にしたい場合は、「はい」をクリックします。
・本機にメモリーカードが挿入されていると LAN接続に切り替えられません。「はい」をクリックする前に、本機にメモリーカードが挿入されていないことを確認してください。

## 12「OK」をクリックする

## 13「完了」をクリックする

・ドライバのインストールが始まります。

## 14「完了」をクリックする

・「インストール結果確認」をクリックしてインストール結果を確認してください。
・インストール終了後、インストーラを終了させて、CD-ROMをパソコンから取り出してください。

■ **本機の検出に失敗したときは**

本機の検出に失敗した場合は、「ネットワーク上にUX-MF70/80が検出できませんでした。」という画面が表示されます。その場合は、画面上に表示されている各項目や以下の内容を確認し、「再開」をクリックしてください。

- ●パソコンのファイアウォールソフト（セキュリティ対策ソフト）を一時的に停止してみてください。
- ●Windows Vista®およびWindows® XP SP2をお使いのときは、Windows® XP SP2のファイアウォール設定で、「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。
  ファイアウォール設定は、「スタート」→「コントロールパネル」とクリックし、「セキュリティセンター」をクリックしたあと、「Windowsファイアウォール」をクリックすると開きます。
  インストール後も、チェックを入れた状態でご使用ください。

また、「設定したネットワーク情報を確認する」（☞66ページ）の操作でネットワーク情報を確認してください。

- ●IPアドレス欄に「DHCP取得失敗」と表示されているときは、LANケーブルを抜き差しして、「再開」をクリックしてください。また、ネットワーク内部でDHCPサーバー機能を使用していない場合は、「手動で設定するときは」（☞65〜66ページ）の操作でIPアドレスなどを設定したあと、「再開」をクリックしてください。
- ●「継続」をクリックすると、本機のホスト名またはIPアドレスを直接入力してインストールすることができます。

**お知らせ**

- ●インストール中は本機の操作をしないでください。
- ●Windows Vista®およびWindows® XP SP2をお使いのとき、インストール中に「Windowsセキュリティの重要な警告」が表示された場合は「ブロックを解除する」をクリックしてインストールを継続してください。
- ●インストールが完了すると、パソコンのデスクトップに3種類のアイコンが作成されます。
  それぞれのアイコンのはたらきは以下のとおりです。
  「メモリーカードアクセス」アイコン：
  ダブルクリックすると、本機のメモリーカードスロットに取り付けられているメモリーカードの内容が表示されます。
  「Web設定」アイコン：
  ダブルクリックするとWeb画面が開きます。Web画面では、本機の状態の確認や設定の変更ができます。
  詳しくは付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
  「電子ファイル」アイコン：
  ダブルクリックすると、電子ファイル画面が開きます。電子ファイル画面では、本機の電子ファイル（☞176ページ）で保存した画像や、メモリーカード内に保存されている画像が表示されます。
  詳しくは付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
- ●Windows Vista®およびWindows® XP SP2をお使いの場合、ドライバをインストールしているパソコンであっても、「アクセス制限されています」と表示されて、WEB画面が正しく表示されないことがあります。このときは、Windows Vista®およびWindows® XP SP2のファイアウォール設定で、「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。

## 手動で設定するときは

DHCPサーバー機能をお使いでない場合は、下記の設定を、ネットワークを管理されている方が個別に行ってください。必要な設定を行ってから、プリンタドライバをインストールしてください。
DHCPサーバー機能とは、LANに接続されている機器に対して、自動的にIPアドレスなどを提供する機能です。

| **IPアドレスの設定** | 「IPアドレスを入力する」（☞下記）をご覧ください。 |
|---|---|
| **サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの設定** | 「サブネットマスクの設定をする」および「デフォルトゲートウェイの設定をする」（☞下記）の操作で、番号を入力してください。 |
| **DNSの設定** | DNSサーバーをお使いの場合のみ、「DNSの設定をする」（☞下記）の操作でアドレスを入力してください。 |

**※入力時の注意**

IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・DNSの各数値の入力画面では、３ケタごとに「．」で区切られています。数値のケタ数が足りないときは、「0」を頭に入力し、３ケタにして入力してください。

例：（実際の数値）172.16.3.100 → （入力する数値）172.016.003.100

### ■ IPアドレスを入力する

IPアドレスは、同一ネットワーク上の機器に割り当てられている他のIPアドレスと重複しないようにしてください。
あらかじめ「000.000.000.000」が入力されています。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ を押し、 で「IPアドレス」を選ぶ
④ を押し、ダイヤルボタンでIPアドレスを入力する
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

### ■ サブネットマスクの設定をする

サブネットマスクの番号を入力します。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ を押し、 で「サブネットマスク」を選ぶ
④ を押し、ダイヤルボタンでサブネットマスクの番号を入力する
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

### ■ デフォルトゲートウェイの設定をする

デフォルトゲートウェイの番号を入力します。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ を押し、 で「デフォルトゲートウェイ」を選ぶ
④ を押し、ダイヤルボタンでデフォルトゲートウェイの番号を入力する
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

### ■ DNSの設定をする

DNSサーバーをお使いの場合のみ、アドレスを入力します。「プライマリ」および「セカンダリ」の２種類があります。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ を押し、 で「DNS（プライマリ）」または「DNS（セカンダリ）」を選ぶ
④ を押し、ダイヤルボタンでDNSのアドレスを入力する
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

■ **IPアドレスなどを自動取得しない設定にする**

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの設定を個別に行ったときは、各設定の完了後、この設定を「しない」にしておいてください。

① (登録/機能) を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定」を選ぶ
③ を押し、 で「DHCPによる自動取得」を選ぶ
④ を押し、 で「しない」を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

■ **設定したネットワーク情報を確認する**

① (登録/機能) を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク情報表示」を選ぶ
③ を押す
④ 確認したら 停止 を押す

## その他のパソコン設定

■ **設定したネットワーク情報を消去する**

① (登録/機能) を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワーク設定初期化」を選ぶ
③ を押し、 で「する」を選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ **パソコン接続設定をする**

パソコンに接続してお使いになるときは、この設定を「接続する」にしてください。
「接続しない」にしておくと、待機時の消費電力を下げることができます（省電力モードでバックライトが消灯しているとき）。
「接続しない」の設定でパソコンやUSBメモリーを接続する場合は、その前にいずれかのボタンを押して、通常モードで動作していることをご確認ください。
通常モードで動作時にパソコンを接続すると「接続する」に自動的に切り替わります。

① (登録/機能) を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「パソコン接続設定」を選ぶ
③ を押し、 で「接続しない」または「接続する」のいずれかを選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ 外部メモリーの書き込み設定を変更する

本機に取り付けているメモリーカードに、パソコンからのデータ書き込みを許可する・しないの設定ができます。この設定にかかわらず、本機からの操作では、メモリーカードにデータを書き込むことができます。
メモリーカードの書き込み禁止スイッチでロックされている場合は、「許可する」に設定しても書き込みはできません（☞142ページ）。
また、カードを取り付けている状態では設定できません。取り外してから設定してください。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「外部メモリー書き込み設定」を選ぶ
③ を押し、 でどちらかの項目を選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ 外部メモリーのアクセス方法を設定する

本機に取り付けているメモリーカードなどを、USB接続のパソコンからのみ読み込めるようにするか、LAN接続のパソコンからのみ読み込めるようにするかの設定ができます。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「外部メモリーアクセス設定」を選ぶ
③ を押し、 で「USB接続PCのみ許可」または「ネットワーク接続PCのみ許可」のいずれかを選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

■ アクセス制限の設定をする（LAN接続でお使いのときのみ）

本機に取り付けているメモリーカードなどを、本機のドライバをインストールしたパソコンからのみ読み込めるようにするか、ネットワーク上のすべてのパソコンから読み込めるようにするかを設定できます。
また、この設定の内容は、Web画面の表示についても適用されます。

① （登録/機能）を押し、 で「パソコン関連設定」を選ぶ
② を押し、 で「ネットワークアクセス制限」を選ぶ
③ を押し、 で「インストールPCのみ許可」または「制限なし」のいずれかを選ぶ
④ を押す
⑤ 停止 を押す

# 親機で電話する



## 電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

**1** 受話器を取って
**ダイヤルする**

・まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

**2** **相手の方とお話しする**

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**3** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

オンフック を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です
電話を切るときは、もう一度 オンフック を押します。
この操作では通話はできませんので、相手の方とお話ししたいときは、相手の方の声が聞こえたら受話器を取って通話してください。

■ **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）**

を押してからダイヤルします。

## 電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。

**1** 着信音が鳴ったら、
**受話器を取る**

**2** **相手の方とお話しする**

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**3** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

■ **着信音の大きさを変えるときは（**☞49ページ**）**

**お知らせ**

●ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます（☞212ページ）。

# 子機で電話する

## 電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

**1** 充電器から取って
**ダイヤルする**

**2** 通話 を押す

・通話ボタンを押してからダイヤルして電話をかけることもできます。まちがい電話を防ぐために、通話ボタンを押したあと、「ツー」という音を確かめてから正しくダイヤルしてください。

**3** 相手の方とお話しする

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**4** 通話が終わったら
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。
・通話時間の表示は、約2～3秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ **子機を取らずに電話をかけるときは（スピーカーホン通話）**

スピーカーホン 発信/・・・ を押してからダイヤルします。
マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。通話中の音量が安定しない場合は音量を下げてお使いください（☞52ページ）。

■ **子機を取らずに相手の方の声を聞くには（受話通話）**

スピーカーホン 発信/・・・ を が表示されるまで、3秒以上押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。
通話する場合は、スピーカーホン 発信/・・・ を押してからお話しします。

■ **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）**

トーン ＊ を押してからダイヤルします。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは（☞260ページ）**

■ **着信音の大きさを変えるときは（☞50ページ）**

■ **子機で通話中、電波の状況がよくないときは（電波サポート設定）**

電波サポート設定を「する」に設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポート設定が「する」になります。

①通話中に を押す

② で「デンパサポート」を選ぶ

③ を押す

電波サポート設定を常に [セッテイ] にするときは（電波サポート　☞186ページ）

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします（☞270ページ）。

## 電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の着信音が鳴って、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。

**1** 着信音が鳴ったら

**充電器から取って 通話 を押す**

**2 相手の方とお話しする**

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**3** 通話が終わったら

**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。
・通話時間の表示は、約2～3秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ **子機を取らずに電話を受けるときは（スピーカーホン通話）**

着信音が鳴ったら、 を押します。



マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。通話中の音量が安定しない場合は音量を下げてお使いください（☞52ページ）。

**お知らせ**

●親機のアンテナは必ず立ててください。アンテナを立てていないと、電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ったりすることがあります。
●ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
●親機や他の子機が使用中のときは、子機で電話をかけることはできません。
●子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがありますが、そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは送話音量や受話音量を下げてお使いください（☞234～235ページ）。
●クイック通話の設定（☞185ページ）を「セッテイ」にしているときは、子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。
●子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などからできるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます（☞212ページ）。

# 特定の子機に優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音が鳴ります。

**1** を押し、
で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ

ルスバ゛ンデ゛ンワ
▶ユウセンヨビ゛ダ゛シ

**2** を押し、
で「セッテイ」を選ぶ

カイジ゛ョ
▶セッテイ

**3** を押す

・「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先 が表示されて、優先呼出が設定されます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先 が表示されているときに、

① を押し、 で「ユウセンヨビダシ」を選ぶ

② を押し、 で「カイジョ」を選ぶ

③ を押す

「ピー」と鳴り、ディスプレイの 優先 が消えます。

**お知らせ**

●設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
●優先呼出を設定できる子機は、１台のみです。すでに他の子機が優先呼出に設定されていると、「ピーピー」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
●優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
●優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。

# 通話中にお待たせする

## 親機で通話中にお待たせする

親機で通話中、相手の方をお待たせする（保留）ときに、メロディーを流します。
保留メロディーの曲名：「ビューティフルドリーマー」

**1** 通話中に

内線/保留  **を押し、受話器を戻す**

・保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

**2** 再び通話するときは

**受話器を取る**

・保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

## 子機で通話中にお待たせする

子機で通話中、相手の方をお待たせする（保留）ときに、メロディーを流します。
保留メロディーの曲名：「ビューティフルドリーマー」

**1** 通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

・保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

**2** 再び通話するときは

通話 **または** 内線/クリア 保留 **を押す**

・保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。

**■ 保留中に親機や他の子機で電話に出るときは**
**（ひとり転送** ☞81ページ**）**

# 親機の再ダイヤルを使う

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、再ダイヤルは最大10件記憶されています。

## 親機で電話をかけ直す

**1** (電話帳)を押す

**2** (再ダイヤル)を押す

**3** で相手の方を選ぶ

・親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。

**4** 受話器を取る

**5** 相手の方とお話しする

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**6** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

## 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する

**1** (電話帳)を押す

**2** (再ダイヤル)を押す

**3** で相手の方を選び、
(電話帳登録)を押す

**4** 名前を入れる
(最大全角10文字/半角20文字)

・文字の入力方法は88~91ページをご覧ください。
・名前の入力を省略するときは、決定ボタンを押して手順7に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。また、メールアドレスのみ登録すると、名前のところにメールアドレスが表示されます。

**5** を押す

・「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

**6** 「読み」が正しければ
**を押す**

**7** 電話番号を確認して、を押す

**8** メールアドレスを入れる(最大半角50文字)

・メールアドレスの入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順9に進んでください。

**9** を押す

・続けて登録するときは手順3~9をくり返し行ってください。

**10** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
(戻る)を押します。文字入力時は(取消)を押します。

# 子機の再ダイヤルを使う

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、再ダイヤルは最大10件記憶されています。また、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することもできます。

## 子機で電話をかけ直す

**1** 子機を充電器から取って

 **を押す**

| サイダ゛イヤル　01 |
| --- |
| 0312345678 |

・最後にかけた相手の方が表示されます。

**2** で選び、通話 を押す

・子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。

**3 相手の方とお話しする**

**4** 通話が終わったら

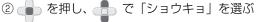
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **子機の再ダイヤルを1件ずつ消去するときは**

① を押し、 で消したい番号を選ぶ

② を押し、 で「ショウキョ」を選ぶ

③ を2回押す

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

① を押し、 で「ショウキョ」を選ぶ

② を押し、 で「サイダイヤル」を選ぶ

③ を2回押す

「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去し、待受画面に戻ります。

## 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する

**1** を押す

・最後にかけた相手の方を表示します。

**2** で登録する電話番号を選んだあと、  を押す

**3** で「トウロク」を選び、  を押す

| ▶トウロク |
| --- |
| ショウキョ |

**4 名前を入れる（最大12文字）**

・名前の入力を省略するときは手順5へ進みます。

**5** を2回押す

・「ピー」と鳴り、登録を完了します。

■ **文字を入力するときは**
（☞94～96ページ）

**お知らせ**

●呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

# 親機と子機、子機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機と子機、子機と子機の間でお話しすることができます。通話料はかかりません。

## 親機から子機を呼び出してお話しする

**1** 親機

**受話器を取って 内線/保留 を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す**

・登録されているすべての子機を呼び出すときは、子機の内線番号の代わりに ＊(トーン) を押してください。

・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

■呼び出された子機の操作

着信音が鳴ったら
**充電器から取って 通話 を押す**

**2** 親機

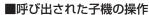
**お話しする**

■呼び出された子機の操作

**お話しする**

**3** 親機

通話が終わったら
**受話器を戻す**

■呼び出された子機の操作

通話が終わったら
**充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切 を押します。

### ■ 内線通話に出られないときは（子機）

着信音が鳴っているときに 切 を押します。

### ■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機や子機のスピーカーからそれぞれに着信音が聞こえます。
・親機で話すには：受話器を戻してから、受話器を取ります。
・子機で話すには：切 を押し、子機の着信音が鳴ったら、通話 を押します。

**お知らせ**

●内線通話では、保留はできません。
●子機では、内線通話中に スピーカーホン(発信/ﾊﾟｵ) を押して、スピーカーホンで通話することができます。
●内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
●内線通話の着信音色を変えることはできません。
●子機の着信音量を 「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさで鳴ります。

## 子機から親機を呼び出してお話しする

**1** 子機

**子機を充電器から取って**  **を押し、**

**0 を押す**

■呼び出された親機の操作

着信音が鳴ったら

**受話器を取る**

**2** 子機

**お話しする**

■呼び出された親機の操作

**お話しする**

**3** 子機

通話が終わったら

**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

■呼び出された親機の操作

通話が終わったら

**受話器を戻す**

**お知らせ**

●内線通話では、保留はできません。

●子機では、内線通話中に スピーカーホン を押して、スピーカーホンで通話することができます。

●内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。

●内線通話の着信音色を変えることはできません。

●親機の着信音量を 「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

## 子機と子機の間でお話しする

UX-MF70CW／UX-MF80CWをお使いのときや、子機を増設してお使いのときのみ

**1**  子機

**子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押し、呼び出したい子機の内線番号を押す**

・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、子機で内線通話をしようとした場合、相手の子機が使用者登録（☞55ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、 で通話したい子機の表示者名を選んで を押してください。

・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

■呼び出された子機の操作

着信音が鳴ったら

**充電器から取って 通話 を押す**

**2** 子機

**お話しする**

■呼び出された子機の操作

**お話しする**

**3**  子機

通話が終わったら

**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは 切 を押します。

・どちらの子機からも通話をやめることができます。

■呼び出された子機の操作

通話が終わったら

**充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切 を押します。

**お知らせ**

●内線通話では、保留はできません。

●子機では、内線通話中に スピーカーホン 発信/ を押して、スピーカーホンで通話することができます。

●内線通話の着信音色を変えることはできません。

●子機の着信音量を「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさで鳴ります。

# 3人でお話しする（三者通話）

内線通話と外の相手との3人でお話しすることができます。

## 親機で通話中に内線で呼び出して三者通話する

**1** 親機

外線通話中に

内線/保留 **を押し、**

**呼び出したい子機の内線番号を押す**

・登録されているすべての子機を呼び出すときは、子機の内線番号の代わりに ＊ を押してください。

・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

■呼び出された子機の操作

着信音が鳴ったら

**充電器から取って**

通話 **を押す**

**2** 親機

内線通話中に

**を押す**

・呼び出された子機で を押しても、三者通話はできません。

**3** 親機

**三者通話をする**

・三者通話中は、保留を行うことができません。どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

■呼び出された子機の操作

**三者通話をする**

**4** 親機

通話が終わったら

**受話器を戻す**

・親機または子機のどちらかが通話をやめても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話できます。

■呼び出された子機の操作

通話が終わったら

**充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは  切 を押します。

## 子機で通話中に内線で呼び出して三者通話する

**子機２台と外の相手との三者通話は、UX-MF70CW／UX-MF80CWをお使いのときや、子機を増設してお使いのときのみ**

**1** 

外線通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、呼び出したい親機、または子機の内線番号を押す**

- 親機の内線番号は 0ワ です。
- 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、子機で内線通話をしようとした場合、相手の子機が使用者登録（☞55ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、 で通話したい子機の表示者名を選んで を押してください。
- 相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

**■呼び出された親機、または子機の操作**

内線の着信音が鳴ったら

**親機：**

**受話器を取る**

**子機：**

**充電器から取って 通話 を押す**

**2** 

内線通話中に

 **を押す**

- 呼び出された親機で を押しても、三者通話はできません。また、呼び出された子機で を押しても、三者通話はできません。

**3** 

**三者通話をする**

- 三者通話中は、保留を行うことができません。どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

**■呼び出された親機、または子機の操作**

**三者通話をする**

**4** 

通話が終わったら

**充電器に戻す**

- 充電器に戻さないときは、 切 を押します。
- 親機または子機のどちらかが通話をやめても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話できます。

**■呼び出された親機、または子機の操作**

**親機：受話器を戻す**

**子機：充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、 切 を押します。

# 電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

外の相手からの電話を、内線通話を使って他の方にとりつぐことができます。

## 親機から子機へ電話をとりつぐ

**1** 親機

通話中に

内線/保留 **を押し、**

**呼び出したい子機の内線番号を押す**

- 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- 登録されているすべての子機を呼び出すときは、子機の内線番号の代わりに ＊（トーン） を押してください。
- 相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- 呼び出し中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、内線/保留 を2回押します。または、呼び出し中に受話器を一度戻してから取り上げてください。

■呼び出された子機の操作

着信音が鳴ったら

**充電器から取って**

**通話 を押す**

**2** 親機

電話をとりつぐことを伝えて

**受話器を戻す**

■呼び出された子機の操作

**相手の方とお話しする**

■ **電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）**

① 親機で通話中に 内線/保留 を押し、受話器を戻す

② 子機を充電器から取って 通話 を押す

**お知らせ**

●着信音を鳴らさない設定にしていても、内線からの着信音は、「プルルル、プルルル」と鳴ります。

## 子機から、親機や他の子機へ電話をとりつぐ

**他の子機へのとりつぎは、UX-MF70CW／UX-MF80CWをお使いのときや、子機を増設してお使いのときのみ**

**1** 子機

通話中に

**内線/クリア 保留 を押し、呼び出したい親機、または子機の内線番号を押す**

・親機の内線番号は 0ワ です。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、子機で内線通話をしようとした場合、相手の子機が使用者登録（☞55ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、 で通話したい子機の表示者名を選んで を押してください。
・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

**■呼び出された親機、または子機の操作**

内線の着信音が鳴ったら

**親機：**
**受話器を取る**

**子機：**
**充電器から取って 通話 を押す**

**2** 子機

電話をとりつぐことを伝えて
**充電器に戻す**

**■呼び出された親機、または子機の操作**

**相手の方とお話しする**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

### ■ 電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）

① 子機で通話中に 内線/クリア 保留 を押し、充電器に戻す
② 親機：着信音が鳴ったら、受話器を取る
　子機：充電器から取って 通話 を押す

**お知らせ**

●着信音を鳴らさない設定にしていても、内線からの着信音は「プルルル、プルルル」と鳴ります。
●子機でひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「プルルル」と鳴ります。

# 親機の電話帳に登録する

## 電話帳に登録する

よく利用する番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大200人分の番号を登録できます（工場出荷時に登録されている2件を含む）。
また、親機の電話帳に登録した名前を、音声で確認したり（おしゃべり電話帳 ☞86ページ）、電話がかかってきたときに相手の方の名前を読み上げたり（誰からコール ☞213ページ）することができます。

**1** （登録/機能）を押し、
 で「電話帳」を選ぶ

**2** を押し、
 で「新規登録」を選ぶ

**3** を押す

**4** 名前を入れる
（最大全角10文字／半角20文字）
・文字の入力方法は88～91ページをご覧ください。
・名前の入力を省略するときは、決定ボタンを押して手順7に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。また、メールアドレスのみ登録すると、名前のところにメールアドレスが表示されます。

**5** を押す
・「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・「読み」の入力が間違っていると、おしゃべり電話帳（☞86ページ）は正しく働きません。
・名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

**6** 「読み」が正しければ
を押す

**7** 電話番号を入れる（最大32ケタ）
・番号を入れまちがえたときは、（取消）を押すと、1つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
・メールアドレスのみを登録する場合は、電話番号の入力は省略できます。
省略するときは手順8に進んでください（メールアドレスを入れない場合、電話番号の入力は省略できません）。
・ナンバー・ディスプレイご利用時に、電話帳に登録した相手先を登録した名前で表示させるとき（☞212ページ）や、着信鳴り分けをさせるとき（☞224ページ）は、必ず市外局番から登録してください。

**8** を押す

**9** メールアドレスを入れる
（最大半角50文字）
・電話番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください（電話番号を入力していない場合、メールアドレスの省略はできません）。

**10** を押す
・続けて登録するときは手順3～10をくり返し行ってください。

**11** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。文字入力時は（取消）を押します。

■ **登録した内容の一覧を表示するときは**

①（登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ
② を押し、で「一覧表示」を選ぶ
③ を押す
登録した内容が一覧表示されます。
④ 確認後、停止を押す

■ **電話帳の一覧画面から登録するときは**

①（登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ
② を押し、で「一覧表示」を選ぶ
③ を押す
④（新規登録）を押す
⑤「電話帳に登録する」の手順４以降の操作で登録する（☞82ページ）

■ **親機の電話帳の内容をプリントするときは**

①（登録/機能）を押し、で「各種プリント」を選ぶ
② を押し、で「電話帳リスト」を選ぶ
③ を押し、で「する」を選ぶ
④ を押す

■ **一括保存した親機の電話帳をメモリーカードから読み込むときは**

この操作を行うと、登録されている電話帳の内容はすべて上書きされます。
「外部メモリーへの一括保存」で保存したデータを読み込む専用のメニューです。
① メモリーカードを親機に取り付ける
②（登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ
③ を押し、で「外部メモリーから一括読込」を選ぶ
④ を2回押す
⑤ 停止を押す

■ **親機の電話帳をメモリーカードに保存するときは**

親機からメモリーカードへ、電話帳データを一括で保存することができます。
① メモリーカードを親機に取り付ける
②（登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ
③ を押し、で「外部メモリーへの一括保存」を選ぶ
④ を2回押す
⑤ 停止を押す

■ **親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞99ページ）**

■ **ポーズについて**

番号の入力中に を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）が入力できます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話やファクスを使用できないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

■ **おしゃべり電話帳を設定または解除するときは（☞86ページ）**

■ **おしゃべり電話帳のアクセントを変更するときは（☞87ページ）**

**お知らせ**

- 親機の着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞221ページ）。
- 電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号の一覧を表示して確認してください。
- 「おしゃべり電話帳」（☞86ページ）や「誰からコール」（☞213ページ）は、親機の電話帳にのみ対応しています。子機の電話帳では動作しません。
- 親機の電話帳は、LAN 接続されたパソコンからも登録できます。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80　パソコン活用マニュアル」の「電話帳リストページについて」をご覧ください。

## 電話帳を修正する

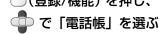
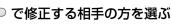
登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

**1** （登録/機能）を押し、

で「電話帳」を選ぶ

**2** を押し、 で「一覧表示」を選ぶ

**3** を押し、

で修正する相手の方を選ぶ

**4** （ボタン切替）を押す

**5** （修正）を押す

**6** 名前を入れ直す

- 文字の入力方法は 88 ～ 91 ページをご覧ください。
- 名前を修正しないときは手順７に進んでください。

**7** を押す

**8** 「読み」を入れ直す

- 「読み」を修正しないときは手順９に進んでください。

**9** を押す

**10** 電話番号を入れ直す

- （取消）を押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- 電話番号を修正しないときは手順 11 に進んでください。

**11** を押す

**12** メールアドレスを入れ直す

- メールアドレスを修正しないときは手順 13 に進んでください。

**13** を押す

**14** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

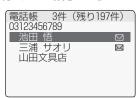
（戻る）を押します。文字入力時は （取消）を押します。

## 電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

**1** （登録/機能）を押し、
で「電話帳」を選ぶ

**2** を押し、 で「一覧表示」を選ぶ

**3** を押し、
で消去する相手の方を選ぶ

**4** （ボタン切替）を押す

**5** （消去）を押す

**6** もう一度 （消去）を押す

**7** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**

① （登録/機能）を押す

② で「全消去メニュー」を選ぶ

③ を押し、 で「電話帳」を選ぶ

④ を押し、 で「全消去する」を選ぶ

⑤ を押す

## 親機の電話帳を音声で読み上げる（おしゃべり電話帳）

親機の電話帳を音声で読み上げる／読み上げないを設定できます。電話帳に登録されている「読み」にしたがって読み上げます。
工場出荷時は、読み上げる設定になっています。

**1** （登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ

**2** を押し、で「おしゃべり電話帳」を選ぶ

**3** を押す

**4** で「使用する」または「使用しない」のいずれかを選ぶ

・「おしゃべり電話帳」を「使用しない」に設定しても、「誰からコール」（☞213ページ）は読み上げます。

**5** を押す

**6** 停止を押す

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **名前の読み上げの後に「さん」を付けるには／「さん」を外すには**

親機の電話帳を新しく登録したり、子機から親機へ電話帳を転送したときは、名前の読み上げのあとに「さん」を付ける設定になっています。電話帳1件ごとに「さん」を付けるかどうかを設定できます。

① （登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ

② を押し、で「一覧表示」を選ぶ

③ を押し、で変更したい名前を選ぶ

④ 再生を押す
名前を「さん」付けで読み上げます。

⑤ もう一度再生を押す
名前を「さん」なしで読み上げます。
再生を押すごとに「さん」あり、「さん」なしが変更されます。

⑥ 停止を押す

・待受画面から（電話帳）を押すことで表示される一覧表示からは、変更できません。
・あらかじめ登録されている [≫時報 117]、[≫天気予報 177]の2件には、「さん」を付ける設定にすることはできません。

**お知らせ**

●おしゃべり電話帳の音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると発音やイントネーションが不自然なことがあります。
●おしゃべり電話帳では、「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか読み上げられないことがあります。「親機の電話帳でかける」（☞97ページ）の手順1～2の操作をして確かめてください。
●おしゃべり電話帳は、受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。
●おしゃべり電話帳では、記号は次のように読み上げます。
＊（スター）、＃（シャープ）、．（テン）、＠（アット）、＆（アンド）
次の記号は読み上げません。
－　スペース　，　：　／　！　？　（　）　［　］

## おしゃべり電話帳のアクセント位置を変更する

登録した親機の電話帳の音声を聞いたとき、アクセントの位置によっては不自然に聞こえることがあります。
このときは、アクセントの位置を「姓」、「名」それぞれについて変更することができます。
また、会社名や愛称などに「さん」を付けるとおかしく聞こえる場合は、登録されている名前ごとに「さん」を取ることもできます（はじめは「さん」が付くように設定されています）。

**1** （登録/機能）を押し、で「電話帳」を選ぶ

登録/機能
1 初期登録
2 着信設定
3 電話帳
4 画面設定
5 プリンタメンテナンス
6 ダイヤルイン機能

**2** を押し、で「一覧表示」を選ぶ

**3** を押し、で変更したい名前を選ぶ

**4** 再生 を押す
（名前を音声で読み上げます）

・おしゃべり電話帳を解除していても、名前を読み上げます。

**5** 「姓」のアクセントを変更するときは、名前を読み上げて3分以内に 1 〜 9 、0 で調整する

（例）1文字目にアクセントを付けたいときは 1 を押す

・電話帳の「読み」のスペースで区切られている部分までのアクセントを変更しますので、「読み」の「姓」と「名」の間にスペースを入れておいてください。
・9 を選ぶと、親機に登録されているアクセントに自動で設定されます。はじめは 9 に設定されています。
・0 は平坦なアクセントになります。

**6** 「名」のアクセントを変更するときは、# を押して、1 〜 9 、0 で調整する

・「姓」のアクセント変更に戻るときは * を押してください。

**7** アクセントの変更が終わったら、停止 を押す

・続けて変更したいときは、停止 を押さずにで変更したい名前を選んでください。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●待受画面から（電話帳）を押すことで表示される一覧表示からは、変更できません。

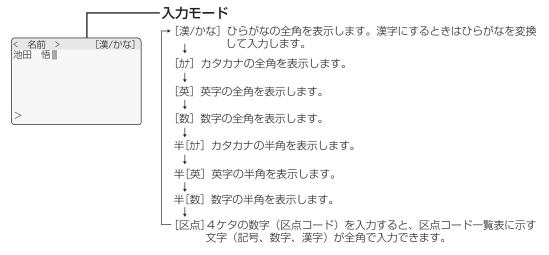
電話　電話帳　留守番

親機の電話帳に登録する

# 親機で文字を入力する

電話帳に名前を登録するとき（☞82ページ）など、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。

## 文字の種類（入力モード）を選ぶ

**1** （文字切替）を押して入力モードを切り替える

**2** 入力モードを選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

**［漢／かな］モード**

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞89ページ）のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。

（例）1 を押したとき

押すたびに表示される文字が切り替わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

**［カナ］、［英］、半［カナ］、半［英］モード**

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の文字が全角または半角で入力できます。

**［数］、半［数］モード**

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

**［区点］モード**

区点コード一覧表（☞278～279ページ）を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。
（例）区点コード：4567の「翼」を入れるとき

4 5 6 7 と押す

■ 漢字を入力するときは（☞90ページ）

## 文字入力一覧表

| 入力モード／入力ボタン | 全角 |  |  |  | 半角 |  |  | 全角 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|  | ひらがな<br>[漢／かな] | カタカナ<br>[ｶﾅ] | 英字<br>[英] | 数字<br>[数] | カタカナ半[ｶﾅ] | 英字半[英]※1 | 数字半[数] | 区点コード<br>[区点] |
| @./-_ 1 あ | あいうえお<br>ぁぃぅぇぉ | アイウエオ<br>ァィゥェォ | @．／ー＿ | 1 | ｱｲｳｴｵ<br>ｧｨｩｪｫ | @./-_ | 1 | 「区点コード一覧表」参照※2 |
| ABC 2 か | かきくけこ | カキクケコ | ＡＢＣ<br>ａｂｃ | 2 | ｶｷｸｹｺ | ABC<br>abc | 2 |  |
| DEF 3 さ | さしすせそ | サシスセソ | ＤＥＦ<br>ｄｅｆ | 3 | ｻｼｽｾｿ | DEF<br>def | 3 |  |
| GHI 4 た | たちつてと<br>っ | タチツテト<br>ッ | ＧＨＩ<br>ｇｈｉ | 4 | ﾀﾁﾂﾃﾄ<br>ｯ | GHI<br>ghi | 4 |  |
| JKL 5 な | なにぬねの | ナニヌネノ | ＪＫＬ<br>ｊｋｌ | 5 | ﾅﾆﾇﾈﾉ | JKL<br>jkl | 5 |  |
| MNO 6 は | はひふへほ | ハヒフヘホ | ＭＮＯ<br>ｍｎｏ | 6 | ﾊﾋﾌﾍﾎ | MNO<br>mno | 6 |  |
| PQRS 7 ま | まみむめも | マミムメモ | ＰＱＲＳ<br>ｐｑｒｓ | 7 | ﾏﾐﾑﾒﾓ | PQRS<br>pqrs | 7 |  |
| TUV 8 や | やゆよ<br>ゃゅょ | ヤユヨ<br>ャュョ | ＴＵＶ<br>ｔｕｖ | 8 | ﾔﾕﾖ<br>ｬｭｮ | TUV<br>tuv | 8 |  |
| WXYZ 9 ら | らりるれろ | ラリルレロ | ＷＸＹＺ<br>ｗｘｙｚ | 9 | ﾗﾘﾙﾚﾛ | WXYZ<br>wxyz | 9 |  |
| 記号 0 わ | わ を ん ー<br>□（スペース）<br>。 、 | ワヲン ー<br>□（スペース）<br>。 、 | ， ： ！ ？ ＆<br>／ （ ） ［ ］<br>□（スペース） | 0 | ﾜ ｦ ﾝ ｰ<br>□(スペース) | ※3 | 0 |  |
| ＊ トーン ⏮ | 濁点/半濁点 |  | 無効 | ＊ | 濁点/半濁点 | ※4 | ＊ | 無効 |
| ＃ ⏭ | 無効 |  |  | ＃ | 無効 |  | ＃ | 無効 |
| （カーソルキー） | カーソル左右移動 |  |  |  |  |  |  |  |
| （変換） | かな漢字変換 | 無効（非表示） |  |  |  |  |  |  |
| （取消） | カーソル上、または前の１文字を消去／かな漢字変換の取り消し |  |  |  |  |  |  |  |
| （文字切替） | 文字の種類の切り替え |  |  |  |  |  |  |  |

※1 半角英字の小文字は、メールアドレスの登録・編集とスキャナ名称変更のときに変換できます。
※2 区点コードについては278～279ページをごらんください。
※3 電話帳や名前を登録・編集するとき…「,」「:」「!」「?」「&」「/」「(」「)」「[」「]」□(スペース)
メールアドレスを登録・編集するとき…「,」「:」「;」「!」「?」「&」「¥」「$」「%」「+」「=」「/」「|」「~」「"」「'」「^」「(」「)」「<」「>」「[」「]」「{」「}」□(スペース)
※4 定型文が入力できます。「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」を選んだあと、（カーソルキー）を押して入力します。

## ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

**1** （文字切替）で
**文字の種類［漢／かな］を選ぶ**

・はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢／かな］になっています（かなは一度に10文字まで入力できます）。

**2** 1 **を２回押す**
**（「い」を入力）**

・くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

**3** 2 **を４回押す**
**（「け」を入力）**

**4** 4 **を押す**
**（「た」を入力）**

**5** ＊ **を押す**
**（「た」に「 ゛」を付ける）**

**6** （変換）**を押して**
**「池田」を選ぶ**

・ボタンを押すたびに切り替わります。
・ を押して選ぶこともできます。

**7** （採用）**を押す**

・文字を採用します。
・続けて文字を入力するときは手順１～７をくり返し操作します。
・ を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

■ **文字の種類を選ぶときは（☞88ページ）**

■ **変換の区切りを変えたいときは**
ひらがなを入力したあと、 を押して変換する部分を変更します。

■ **ひらがなを入力するときは**
［漢／かな］モードでひらがなを入力したあと、漢字に変換せずに を押します。

電話帳 留守番 電話 親機で文字を入力する

## カタカナ／英字／数字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

**1** (文字切替)で
**文字の種類［カナ］を選ぶ**

・はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢／かな］になっています。

**2** 1 を2回押す
**(「イ」を入力)**

・くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

**3** 2 を4回押す
**(「ケ」を入力)**

**4** 4 を押す
**(「タ」を入力)**

**5** ＊ を押す
**(「タ」に「゛」を付ける)**

■ **文字の種類を選ぶときは(☞88ページ)**

■ **カタカナ(半角)、英字(全角／半角)、数字(全角／半角)を入力するときは**

(文字切替)で入力する文字の種類に切り替えたあと、ダイヤルボタンで入力してください。

## 文字を修正する

■ **文字を消すには**

(取消)を押すと、カーソルの1つ前が消えます(カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます)。
すべての文字を一度に消すことはできません。

■ **文字を入れ直すには**

訂正したい文字を で選んだあと、(取消)を押して消去します。そのあとダイヤルボタンで正しい文字を入力してください。

# 子機の電話帳に登録する

## 電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。

**1** を押す

**2** で「デンワチョウトウロク」を選び、 を押す

デ゛ンワチョウケンサク
▶デ゛ンワチョウトウロク

**3** 名前を入れる（最大12文字）

ナマエ　　　　　カ ナ
イケダ゛ サト█

- 文字を入力するときは（☞94～96ページ）
- 名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順5に進みます。
  名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます（12ケタまで）。
- 内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての文字が消えます。

**4** を押す

**5** 電話番号を入れる（最大24ケタ）

- 番号を入力せずに、電話帳に登録することはできません。
- 番号を入れまちがえたときは内線 / クリア / 保留ボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。
- 内線/クリア/保留ボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。
- 「ハイフン（－）」や「スペース」は入力できません。

**6** を押す

- 「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。
- 続けて登録するときは手順１～6をくり返し行ってください。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞100ページ）**

■ **ポーズについて**

番号の入力中に を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

**お知らせ**

- 子機の着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞223ページ）。
- 子機の電話帳には、あらかじめ次の2人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。
  「≫ジホウ117」
  「≫テンキヨホウ177」
- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞212ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞225ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞212ページ）や着信鳴り分け（☞225ページ）が働かなくなります。

## 電話帳を修正する

**1** で修正したい番号を選ぶ

**2** を押し、 で「ヘンコウ」を選ぶ

トクバ゛ンダ゛イヤル
▶ヘンコウ

**3** を押し、名前を入れ直す

ナマエ　　　　　カ ナ
イケダ゛ サト█

・文字を入力するときは（☞94〜96ページ）
・名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順5に進みます。

**4** を押す

**5** 電話番号を入れ直す

・内線/クリア/保留ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
・内線 / クリア / 保留ボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

**6** を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

## 電話帳から選んで消去する

**1** で消したい番号を選ぶ

**2** を押し、
で「ショウキョ」を選ぶ

ヘンコウ
▶ショウキョ

**3** を２回押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

## 電話帳をすべて消去する

**1** を押し、

で「ショウキョ」を選ぶ

システムセッテイ
▶ショウキョ

**2** を押し、
で「デンワチョウ」を選ぶ

セ゛ンショウキョ
♦テ゛ンワチョウ

**3** を２回押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

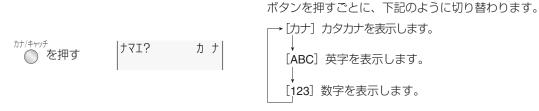
切 を押します。

# 子機で文字を入力する

子機ではカナ/キャッチボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

## 文字の種類（入力モード）を選ぶ

**1** カナ/キャッチボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

はじめは、カナ入力モードになっています。
ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

**2** 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[カナ] モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のカタカナが表示されます。

[ABC] モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の英字が表示されます。

[123] モード
ダイヤルボタンに表示されている数字が入力できます。

■ 子機の文字一覧表を見る（☞95ページ）

## 文字入力一覧表

| 入力モード／入力ボタン | カタカナ[カナ] | 英字[ABC] | 数字[123] |
|---|---|---|---|
| 1ア | アイウエオ<br>ァィゥェォ | 無効 | 1 |
| 2カ | カキクケコ | ABC<br>abc | 2 |
| 3サ | サシスセソ | DEF<br>def | 3 |
| 4タ | タチツテト<br>ッ | GHI<br>ghi | 4 |
| 5ナ | ナニヌネノ | JKL<br>jkl | 5 |
| 6ハ | ハヒフヘホ | MNO<br>mno | 6 |
| 7マ | マミムメモ | PQRS<br>pqrs | 7 |
| 8ヤ | ヤユヨ<br>ャュョ | TUV<br>tuv | 8 |
| 9ラ | ラリルレロ | WXYZ<br>wxyz | 9 |
| 0ワ | ワ ヲ ン ー<br>□（スペース） | ー□（スペース）／<br>[ ] : , . ! ( ) & ? @ | 0 |
| トーン ＊ | 無効 | | ＊ |
| # | 無効 | | # |
| スピーカーホン 発信/ﾞﾟ | 濁点/半濁点※ | 無効 | |
| （カーソルキー） | カーソル左右移動 | | |
| 内線/クリア 保留 | カーソルの１文字を消去（２秒以上押し続けると、すべての文字を消去） | | |
| カナ/キャッチ | 文字の種類の切り替え | | |

※濁点／半濁点をつけたい文字を入力したあとに押してください。

# 文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。
ディスプレイは電話帳に登録する（☞92ページ）ときのものです。

**1**  **で文字の種類を選ぶ**

```
ナマエ?          カ ナ
```

・はじめは「カナ入力モード」になっています。

**2**  **を２回押す**

```
ナマエ          カ ナ
█
```

・くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

**3** 2カ **を４回押す**

```
ナマエ          カ ナ
イ█
```

**4** 4タ **を押す**

```
ナマエ          カ ナ
イケ█
```

**5**  **を押す**

```
ナマエ          カ ナ
イケタ█
```

・濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは、文字を入力したあと、スピーカーホンボタンを押します。スピーカーホンボタンを続けて押すと、濁点・半濁点が切り替わります。

**6**  **を押す**

・文字入力が終了します。

■ **文字の種類を選ぶときは（☞94ページ）**

■ **同じボタンを使って入力する文字を続けて入力するときは**

同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは１文字目を入力したあと、（右）を押して、カーソルを移動してから２文字目を入力します。

■ **英字、数字を入力するときは**

手順１で入力したい文字の種類を選んで、手順２以降の操作をしてください。

■ **入力した文字を消すときは**

① 消したい文字を（左右）で選ぶ
② 内線/クリア 保留 を押す

■ **入力した文字を訂正したいときは**

① 訂正したい文字を（左右）で選ぶ
② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す
③ 正しい文字を入力する

■ **文字の間にスペースを入れたいときは**

（右）を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

# 電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単な操作で相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→カナ（50音順）

## 親機の電話帳で電話をかける

**1** （電話帳）を押す

**2** で相手の方を選ぶ

・ディスプレイに、選んだ相手の方の名前が表示されます。また、選んだ相手の方の名前を、音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 ☞86ページ）。

**3** 受話器を取る

**4** 相手の方とお話しする

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**5** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

### ■ 途中でやめるときは

相手先を選択しているときは 停止 を、通話中は受話器を戻します。

### ■ 33ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① 上記の手順3で （電話帳）を押す
② で次の番号を選ぶ
③ を押す

### ■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話帳で電話をかけるには

① 受話器を取る
② 184や186などをダイヤルする
③ （電話帳）を押す
④ で相手の方を選び、 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

### ■ 電話帳から名前で検索して電話をかけるときは

① 受話器を取る
② （電話帳）を押し、（検索）を押す
③ 名前を入力する（途中まででも可能）
④ （検索）または を押す
⑤ 目的の相手先が選ばれていないときは、
　 で選ぶ
⑥ を押す
⑦ 相手の方とお話しする
⑧ 通話が終わったら受話器を戻す

### ■ 電話帳から、頭文字で検索して電話をかけるときは

① 受話器を取る
② （電話帳）を押す
③ ダイヤルボタンで、相手の名前の頭文字が含まれる行を入力する
（例：「井上」を探すときは @./-_ 1 あ ）
④ 目的の相手先が選ばれていないときは、
　 を押す
⑤ を押す
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら受話器を戻す

## 子機の電話帳で電話をかける

**1** 子機を充電器から取って
 **で相手の方を選ぶ**

| イケダ゛ サトシ |
|---|
| 1234567890 |

**2** 通話 **を押す**
・ダイヤルを始めます。

**3** **相手の方とお話しする**

**4** 通話が終わったら
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話帳で電話をかけるには（特番ダイヤル）**
① で番号を選ぶ
② を押す
③ で「トクバンダイヤル」を選び、を押す
④ 184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して 通話 を押す
⑤ 通話が終わったら充電器に戻す

■ **25ケタ以上の番号をダイヤルするときは**
電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。
① で最初の番号を選ぶ
② 通話 を押す
③ を押す
④ で次の番号を選ぶ
⑤ 通話 を押す

■ **電話帳から名前で検索して電話をかけるときは**
① を押す
② で「デンワチョウケンサク」を選ぶ
③ を押し、名前を入力する
（途中まででも可能）
④ を押す
⑤ 目的の相手先が選ばれていないときは、
で選ぶ
⑥ 通話 を押す
⑦ 相手の方とお話しする
⑧ 通話が終わったら充電器に戻す

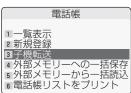
■ **電話帳から、頭文字で検索して電話をかけるときは**
① を押す
② ダイヤルボタンで、相手の名前の頭文字が含まれる行を入力する
（例：「イノウエ」を探すときは 1ア ）
③ 目的の相手先が選ばれていないときは、
で選ぶ
④ 通話 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す

# 親機と子機の間で電話帳を転送する

## 親機の電話帳を子機に転送する

親機で登録した電話帳を子機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると、電話帳の内容（「読み」と電話番号）が子機に追加されます。

**1** （登録/機能）を押し、
で「電話帳」を選ぶ

**2** を押し、
で「子機転送」を選ぶ

**3** を押す

**すべて転送するときは**

**4** で「全件転送」を選ぶ

**1件ずつ転送するときは**

**4** で「1件毎転送」を選ぶ
↓
を押し、
で転送したい電話帳データを選ぶ

**5** を押し、
で転送先の子機を選ぶ

**6** を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
（戻る）を押します。

■ **「転送できないデータがあります　操作を続けますか？」と表示されたときは**
この表示は、親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります）。
を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

**お知らせ**

- 転送する件数を確認して、子機の電話帳が 100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 100件登録された時点で「ピピピピ」と鳴り、画面に「件数が一杯です」と表示されます。
- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません（ディスプレイには「完了しました」と表示されます）。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

## 子機の電話帳をすべて転送する

**1** を押し、
で「デンワチョウテンソウ」を選ぶ

アラームセッテイ
▶デ゛ンワチョウテンソウ

**2** を押し、 で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

ゼ゛ンテンソウ
⬍オヤキ

・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（55ページ）をしている場合は、その名前が表示されます。

**3** を押す

・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「ゼンテンソウカンリョウシマシタ」と表示されたあと、待受画面に戻ります（切を押しても、待受画面に戻ります）。

■ 途中でやめるときは

切を押します。

## 子機の電話帳を1件ずつ転送する

**1** で転送したい相手の方を選んだあと、
を押す

**2** で「テンソウ」を選んだあと、
を押す

ショウキョ
▶テンソウ

**3** で親機、または他の子機から転送したい相手を選んだあと、 を押す

・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（55ページ）をしている場合は、その名前が表示されます。
・親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
・転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「テンソウカンリョウシマシタ」と表示されたあと、待受画面に戻ります（切を押しても、待受画面に戻ります）。

■ 途中でやめるときは

切を押します。

**お知らせ**

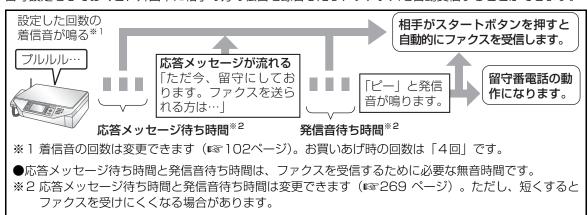
●親機から子機へ、13文字以上の「読み」で登録している相手先を転送すると、名前は12文字までしか転送されません。
●転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
●電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
この場合、コードを伸ばすなどしてコードの位置を変えてください。
●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
●名前の先頭が”》”ではじまっているもの（工場出荷時にあらかじめ登録されている天気予報、時報を含む）は、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
●転送する件数と登録できる件数を確認して、親機の電話帳が200件、子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。件数を超えた電話帳の内容は転送されません。
●同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません（ディスプレイには「テンソウカンリョウシマシタ」または「ゼンケンカンリョウシマシタ」と表示されます）。
ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
●子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
●転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

# 留守に設定する

留守設定をしておくと、外出中に相手の方の伝言を録音したり、ファクスを自動受信することができます。

※１ 着信音の回数は変更できます（☞102ページ）。お買いあげ時の回数は「４回」です。

●応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。

※２ 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞269 ページ）。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

・相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約21分間、または30件まで録音できます。
・録音した内容の保存先を外部メモリーに設定できます。そのときは、最大約21分間という制限はありません（1件につき最大約3分間、合計50件という制限はあります）。最大録音時間は外部メモリーの空き容量により異なります。

## 親機で設定する

**1** 今から録音 留守 を押して点灯させる

・留守ボタンが点灯し、設定している応答メッセージが流れます
・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

■ 応答メッセージを切り替えるときは

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、 で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、 で「応答メッセージ」を選ぶ
④ を押し、 で「メッセージ選択」を選ぶ
⑤ を押し、 で「固定メッセージ1」、「固定メッセージ2」（☞102ページ）、「オリジナルメッセージ」（☞105ページ）のいずれかを選ぶ
⑥ を押す
⑦ 停止 を押す

## 子機で設定する

**1** を押し、
で「ルスバンデンワ」を選ぶ

▶ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ
ﾕｳｾﾝﾖﾋﾞﾀﾞｼ

**2** を押し、
で「ルスセッテイキリカエ」を選ぶ

ｻｲｾｲ
▶ﾙｽｾｯﾃｲｷﾘｶｴ

**3** を押し、 で「セッテイ」を選ぶ

ｶｲｼﾞｮ
▶ｾｯﾃｲ

**4** を押す

・設定している応答メッセージが流れ、親機の留守ボタンが点灯して、子機のディスプレイに 留守 と表示されます。
・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

■ **固定応答メッセージ**

留守に設定しているとき、相手の方に流れる固定応答メッセージの一覧です。
「応答メッセージを切り替えるときは」（☞101ページ）の操作で「固定メッセージ2」を選択すると、「ただ今、留守にしております。」の部分がすべて「ただ今、電話に出ることが出来ません。」に変わります。
留守であることを知られたくない場合などは、「固定メッセージ2」、またはオリジナルメッセージ（☞105ページ）を録音してお使いください。

| | |
|---|---|
| 通常 | **固定メッセージ1：**<br>「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」<br>**固定メッセージ2：**<br>「ただ今、電話に出ることができません。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」 |
| ファクス受信できるが、録音できないとき | **固定メッセージ1の場合：**<br>「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」 |
| 録音はできるが、ファクス受信できないとき | **固定メッセージ1の場合：**<br>「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」 |
| ファクス受信も録音もできないとき | **固定メッセージ1の場合：**<br>着信音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。）<br>※ ただし、リモート操作（☞191～193ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。 |

■ **応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは2秒に設定されています。1秒または4秒に変更することができます（発信音待ち時間☞269ページ）。

■ **応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を設定します。

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、 で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、 で「留守時コール回数」を選ぶ
④ を押し、 で「回数選択」を選ぶ
⑤ を押し、ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回～25回）
⑥ を押す
⑦ 停止 を押す

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞269ページ）**

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます（工場出荷時は「あり」に設定されています）。
「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

**お知らせ**

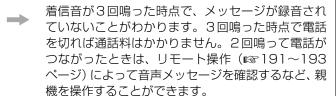
- 留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせしたときは、不要な録音を消してください（☞109ページ）。
- ファクスの受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中は、他の受信モード（FAX 専用）は働きません。留守設定が優先されます。

### 着信音の回数とトールセーバー

留守モードでは、着信音の回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

**<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>**
外出先から自宅に電話をかけて、応答メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

**メッセージがあるとき…着信音２回で着信**
**メッセージがないとき…着信音５回で着信**

着信音が３回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。３回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。２回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☞191～193ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

### ■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、 で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、 で「留守時コール回数」を選ぶ
④ を押し、 で「トールセーバー」を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

### ■ 録音したデータを外部メモリーに保存するには

外部メモリーが本機に挿入されていることを確認してから、以下の操作を行ってください。

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、 で「録音データの外部メモリー保存」を選ぶ
③ を押す
④ 保存が完了したことを確認し、 停止 を押す

**お知らせ**

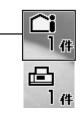
- 応答メッセージが流れている間や録音している間でも、子機で電話に出ることができます。
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクス受信や録音ができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、受信データまたは不要な録音を消去してください（☞109、140ページ）。
- 録音とファクス受信には同じメモリーを使用しています。受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

# 留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

## 親機で解除する

**1** **留守設定中に 今から録音 留守 を押す（留守設定中に録音があると点滅しています）**

ディスプレイ左部に録音されている件数が表示されます（この例では1件）。

・留守ボタンが消灯します。
・留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
・再生中は、「早聞き」、「遅聞き」、「次の録音にとばす」、「1つ前の録音に戻す」の操作ができます。
・録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

### ■ 留守設定以降の再生について

留守設定　　留守設定解除

| 1件目 | 2件目 | 3件目 | 4件目 | 5件目 | 6件目 |
|---|---|---|---|---|---|
| 再生スミ | 未再生 | 未再生 | 再生スミ | 未再生 | 未再生 |

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

### ■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（☞106ページ）

### ■ 再生中の操作について（☞106ページ）

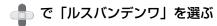
### ■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■ 留守ボタンが点滅しているときは

●留守設定中に1回点滅しているときは、新しく入った録音があります。
●留守を解除したあとでも、2回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音があります。約3秒以上再生すると再生済みになります。すべて再生済みになると消灯します。
●まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生する」（☞106ページ）の操作をします。

## 子機で解除する

**1** **を押し、**
**で「ルスバンデンワ」を選ぶ**

▶ルスハ゛ンテ゛ンワ
ユウセンヨヒ゛タ゛シ

**2** **を押し、**
**で「ルスセッテイキリカエ」を選ぶ**

サイセイ
▶ルスセッテイキリカエ

**3** **を押し、 で「カイジョ」を選ぶ**

▶カイシ゛ョ
セッテイ

**4** **を押す**

・留守ボタンが消灯します。

**お知らせ**

●一度聞いた不要な用件は消去してください（☞109ページ）。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
●消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
●親機に設定した日付と時刻が、録音といっしょに記録されます。日付と時刻は正しく合わせてください（☞47ページ）。

# 自分で応答メッセージを録音する

留守設定にしたときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます（オリジナルメッセージ）。

**1** （登録/機能）を押し、
で「FAX/録音設定」を選ぶ

登録/機能
3 電話帳
4 画面設定
5 プリンタメンテナンス
6 ダイヤルイン機能
7 各種プリント
8 FAX/録音設定

**2** を押し、で「留守録設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「応答メッセージ」を選ぶ

**4** を押し、
で「オリジナル録音」を選ぶ

**5** を押す

**6** 受話器を取り、を押す

**7** 応答メッセージを録音する

・応答メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

**8** 録音が終わったら
停止 を押し、受話器を戻す

■ **録音した応答メッセージの内容を聞くときは**

① （登録/機能）を押し、で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、で「応答メッセージ」を選ぶ
④ を押し、で「オリジナル再生」を選ぶ
⑤ を押す

■ **録音した応答メッセージを消すときは**

① （登録/機能）を押し、で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、で「応答メッセージ」を選ぶ
④ を押し、で「オリジナル消去」を選ぶ
⑤ を押し、で「する」を選ぶ
⑥ を押す

■ **固定メッセージに戻すには**

① （登録/機能）を押し、で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、で「留守録設定」を選ぶ
③ を押し、で「応答メッセージ」を選ぶ
④ を押し、で「メッセージ選択」を選ぶ
⑤ を押し、で「固定メッセージ1」または「固定メッセージ2」のいずれかを選ぶ
⑥ を押す

また、録音したオリジナルメッセージを消しても固定メッセージに戻ります（自動的に変更されます）。

# 録音されている内容を再生する

親機に録音されたメッセージを再生するときの操作です。

## 親機で録音内容を再生する

**1** [再生] を押す

- 約3秒以上再生した内容は、再生済みになります。
- 留守設定中に録音があった場合、留守ボタンが点滅します。この状態で留守ボタンを押すと、留守設定中に録音されたメッセージを再生することができます（☞104ページ）。

**2** 再生が終わると、下記の画面が表示されます

聞き直す　　　　　：[再生]
再生した録音消去：[消去]

- 聞き直すときは [再生] を押してください。
- 再生した録音を消去するときは、（消去）を2回押してください。
- 終了するときは、[停止] を押してください。

### 再生中は次のような操作ができます。

**次の録音にとばすときは**

**再生中に、**  **を押す**

**早聞きや遅聞きするときは**

**再生中に、（速度変更）を押す（速い）**

↓

**もう一度、（速度変更）を押す（遅い）**

↓

**もう一度、（速度変更）を押す（標準）**

**一定時間聞きとばすときは（約1分間）**

**再生中に、**  **を押す**

**今聞いている録音を聞き直すときは**

**再生中に、**  **を押す**

**一定時間聞き戻すときは（約30秒間）**

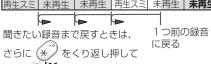
**再生中に、**  **を押す**

**1つ前の録音に戻すときは**

**再生中に、[＊] を2回続けて押す**

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して [＊] を押します（1回押すごとに1件ずつ）。

■ **再生を途中でやめるときは**

 を押します。

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まります。このあと電話に出ると、通話できます。

## 録音データをメモリーカードに保存する

**1** 再生 を押す

**2** 録音データ再生中に
（サブメニュー）を押す

**3** で「全て外部メモリーに保存する」を選ぶ

**4** を押す

・本体内の録音データが保存されます。
・外部メモリーの録音データ保存件数は最大50件です（本体メモリーは最大30件です）。
・メモリーカードに録音しても、本体の録音データは消えません。必要に応じて、録音データの消去を行ってください（☞109ページ）。
・メモリーカードのデータ再生中や、メモリーカードが取り付けられていないときは、エラー音が鳴ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **再生中の録音データのみを保存するときは**

録音したいデータを再生中に （外部メモリー保存）を押してください。
メモリーカードのデータ再生中や、メモリーカードが取り付けられていないときは、エラー音が鳴ります。

## メモリーカードに保存した録音データを再生する

**1** 再生 を押す

**2** 録音データ再生中に
（サブメニュー）を押す

**3** で「本体⇔外部メモリー切替」を選ぶ

**4** を押す

・メモリーカード内の録音データが再生されます。
・本体に保存されている録音データを再生したいときは、もう一度「本体⇔外部メモリー切替」を行ってください。
・メモリーカードが取り付けられていないときは、エラー音が鳴ります。

**5** 再生が終わると、下記の画面が表示されます

聞き直す　　　　：[再生]
再生した録音消去：[消去]

・聞き直すときは 再生 を押してください。
・再生した録音を消去するときは、（消去）を2回押してください。
・終了するときは、停止 を押してください。

■ **再生を途中でやめるときは**

停止 を押します。

# 子機で録音内容を再生する

留守設定中に録音されたメッセージは、子機でも再生することができます。
子機では、メモリーカード内の録音データは再生できません。

**1** を押し、
で「ルスバンデンワ」を選ぶ

▶ルスバ゛ンデ゛ンワ
ユウセンヨビ゛ダ゛シ

**2** を押し、 で「サイセイ」を選ぶ

▶サイセイ
ルスセッテイキリカエ

**3** を押す

・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守設定にしていないと、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

**再生中は次のような操作ができます。**

次の録音にとばすときは

**再生中に、6ハ を押す**

早聞きするときは

**再生中に、9ラ を押す**

**もとに戻すときは、もう一度、9ラ を押す**

今聞いている録音を聞き直すときは

**再生中に、5ナ を押す**

1つ前の録音に戻すときは

**再生中に、5ナ を2回続けて押す**

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して 5ナ を押します（1回押すごとに1件ずつ）。

■ **再生を途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まってから着信音が聞こえます。このあと 通話 を押すと通話できます。

**お知らせ**

●一度聞いた不要な用件は、消去してください（☞109ページ）。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
●消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
●親機に設定した日付と時刻が、録音といっしょに記録されます。日付と時刻は正しく合わせてください（☞47ページ）。

# 録音されている内容を消去する

留守中に録音されたメッセージを消去します。

## 親機で録音を1件消去する

消したい録音の再生中に操作します。

**1** （消去）を２回押す

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するときは（メモリー残量表示）**

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「メモリー残量表示」を選ぶ

③ を押す

受信FAXの件数、留守録音メッセージの件数、メモリー残量（%）が約5秒間表示されます。

④ 停止 を押す（待受画面に戻ります）

## 親機で録音をすべて消去する

**1** （登録/機能）を押し、

で「全消去メニュー」を選ぶ

**2** を押し、 で「一般録音」を選ぶ

全消去メニュー
1 一般録音
2 着信記録
3 受信ＦＡＸ
4 確認済受信ＦＡＸ
5 お断り番号
6 選んで着信番号

**3** を押し、

で「全消去する」を選ぶ

**4** を押す

## 子機で録音を1件消去する

消したい録音の再生中に操作します。

**1** 0ワ を２回押す

## 子機で録音をすべて消去する

**1** を押し、

で「ルスバンデンワ」を選ぶ

▶ルスバ゛ンテ゛ンワ
ユウセンヨヒ゛ダ゛シ

**2** を押し、

で「ゼンショウキョ」を選ぶ

ルスセッテイキリカエ
▶セ゛ンショウキョ

**3** を2回押す

**お知らせ**

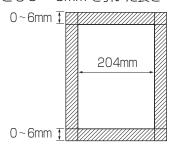
●一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。

●録音と受信 FAX は同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音メッセージを消去する、または受信FAXをプリントしたあと、消去するなどしてください。

# コピー／ファクスをする前に

## 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れないことがありますので、ご注意ください。
原稿台またはADFにA4サイズの原稿をセットした場合は、下記のようになります。

- ●最大読み取り幅　204mm
- ●最大読み取り長　送信原稿長 (297mm) から上下とも 0 ～ 6mm を引いた長さ※

※パソコンのアプリケーションでスキャナとして使用しているときは、上下とも紙の端まで読み取りが可能です。

## ADFにセットできる原稿

UX-MF80CL／UX-MF80CWをお使いのとき、ADFにセットできる原稿の種類は以下のとおりです。

- ● 最小 148 × 148mm ～最大 210 × 297mm の普通紙（厚み 0.06mm ～ 0.1mm）
- ● 一度にセットできる枚数：最大 10 枚まで

<注意>
- ● コート紙、マット紙、フォト紙、光沢紙など、普通紙以外のものは使用しないでください。

**お知らせ**
- ●薄い原稿をきれいにコピー／ファクスしたいときは、原稿台を使用してください。
- ●カールしていたり、めくれていたり、傷んでいる原稿は、正しく給紙できずに故障の原因になることがありますので、原稿台を使用してください。
- ●ADFを使用した場合、先端部に色ムラがでる場合があります。よりきれいにコピー／ファクスするには、原稿台を使用してください。

## コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。
ご注意ください。

### ■ 法律で禁止されているもの

- ●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）。
- ●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）。
- ●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています（郵便切手類模造等取締法）。
- ●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません（印紙等模造取締法）。

### ■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの

- ●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- ●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

### ■ 著作権に注意するもの

- ●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

## 原稿台に原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿台にセットしてください。

**1** 原稿カバーを開ける

**2** 原稿台の左中央に合わせて、原稿をセットする

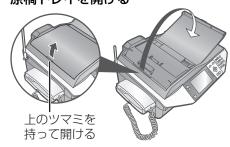
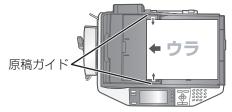
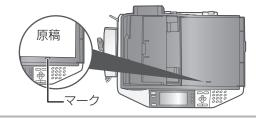
**3** 原稿カバーを閉じる

**お知らせ**

- ●原稿に糊や修正液、ボールペンのインクなどが付いているときは、よく乾かしてからセットしてください。原稿台が汚れたときは239ページをご覧ください。
- ●本や雑誌などをコピーするときは、原稿台に密着していない部分は読み取れません。
- ●厚みのある本や雑誌などをコピーするときは、原稿カバーを開けたままでお使いください。厚みのある本や雑誌を原稿カバーで押さえつけると、故障や破損の原因になることがあります。
- ●本機でコピーしたものは、元の原稿の色合いと多少異なることがあります。

## ADFに原稿をセットする（UX-MF80CL／UX-MF80CWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）をお使いになるときは、コピーや送信する面をウラ向きにしてセットしてください。

**1** 原稿トレイを開ける

**2** 原稿をセットし（一度に10枚まで）、原稿ガイドを合わせる

- ・ディスプレイに「原稿をセットしました」と表示されます。
- ・A4 サイズの原稿をセットするときは、原稿トレイ上のマークの内側に原稿の端を合わせて、まっすぐにセットしてください。

**お知らせ**

**ADFをお使いになるときのご注意**

- ●ADF に原稿がセットされているときは、原稿台でのコピーはできません。
- ●コピーやファクスが終わった原稿は、早めにADFから取り出してください。
- ●読み取り終えた原稿は、きれいに整頓されないことがあります。また、セットした順番どおりには排出されません。
- ●ローラーが紙の粉などで汚れていると、原稿を送り込めないことがあります。そのときは、ローラーを清掃してください（☞239ページ）。

# コピーのしかた

## コピーする

**1** 原稿をセットする（☞111ページ）

**2** 待受画面で を押し、「コピー」を選ぶ

・このあとダイヤルボタンを押して、枚数入力（手順4）に進むこともできます。

**3** を押す

**4** ダイヤルボタンまたは で
コピー枚数（1～99枚）を入力する

・（設定変更）を押すと、コピー設定メニュー（☞114～116ページ）を表示することができます。

**5** モノクロスタート または カラースタート を押す

・モノクロコピーをするときはモノクロスタートボタンを、カラーコピーをするときはカラースタートボタンを押してください。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **1枚だけコピーするときは**

待受画面で「コピー」が選択されている状態で、モノクロスタート または カラースタート を押すと、1枚だけコピーすることができます。
コピーの設定は、前回のコピー時に設定されていた内容になります。

■ **原稿データをディスプレイで確認してからコピーするときは（☞113ページ）**

**お知らせ**

●「フチなし」の設定にしているときは、モノクロコピーはできません。
●原稿によっては、複数枚のコピーができないことがあります。その場合は1枚ずつコピーしてください。

# 見てからコピーでコピーする

原稿のデータを本機のディスプレイで確認してからコピーすることができます。
UX-MF80CL/UX-MF80CWをお使いの場合、**ADF使用時は見てからコピーはできません。**

## 1 原稿をセットする（☞111ページ）

## 2 待受画面で を押し、「コピー」を選ぶ

・このあとダイヤルボタンを押して、枚数入力（手順4）に進むこともできます。

## 3 を押す

## 4 ダイヤルボタンまたは で コピー枚数（1～99枚）を入力する

・（設定変更）を押すと、コピー設定メニュー（☞114～116ページ）を表示することができます。

## 5 （見てから）を押す

現在のコピー設定

| | | |
|---|---|---|
| 倍率 | | 等倍(100%) |
| 用紙種類 | PL | 普通紙 |
| サイズ | A4 | A4 |
| 画質 | | ふつう |
| 原稿種類 | T | 文字 |
| フチ | | フチあり |
| 濃度 | | |

設定すると、見てからの表示が見てからに変わります。

・見てからコピーをやめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

## 6 モノクロスタート または カラースタート を押す

・モノクロコピーをするときはモノクロスタートボタンを、カラーコピーをするときはカラースタートボタンを押してください。

## 7 ディスプレイで原稿データを確認する

・ でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。

## 8 確認が終わったら、（プリント）を押す

・印刷が始まります。

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●設定を「フチなし」にしてコピーする場合、用紙全体にコピーされるように、原稿は少し拡大してスキャンされます。そのため、表示されている画像と印刷結果が異なることがあります。
●原稿によっては、見てからコピーができないことがあります。その場合は112ページの手順でコピーしてください。

## コピー設定メニューを利用する

コピーをするときは、あらかじめ「コピー設定メニュー」で、倍率や画質などを詳しく設定しておくことができます。

### 1 待受画面で を押し、「コピー」を選ぶ

### 2 を押す

・現在のコピー設定が表示されます。

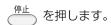
### 3 （設定変更）を押す

### 4 で項目を選び、を押して決定する

・項目の内容については、「設定できる項目について」（☞115～116ページ）をご覧ください。

### 5 設定が終わったら、（設定完了）を押す

・コピーをするときに、設定した内容が適用されます。

■ **途中でやめるときは**

を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **設定の内容を初期値に戻すときは**

① 待受画面で を押し、「コピー」を選ぶ

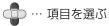
② を押す

③ （初期値に戻す）を押す

④ 停止 を押す

■ **設定できる項目について**

コピー設定メニューでは、「倍率」、「用紙種別」、「用紙サイズ」、「画質」、「原稿種類」、「フチあり／なし設定」、「濃度」の各項目を設定することができます。
コピー設定メニューを表示してから、下記の表を参照して設定してください。

操作に使用するボタン

 … 項目を選ぶ　… 項目を決定する　ダイヤルボタン … 任意倍率の入力

（設定完了）… 変更した内容を適用して、設定を終了する

| 項目名と内容 | 選択できる項目 |
|---|---|
| **倍率**<br>原稿に対するコピー後の倍率を設定します。 | **等倍**：サイズ変更なし<br>**A4⇒L判**：約42%に縮小　**A4⇒ハガキ**：約47%に縮小<br>**A4⇒A5**：約70%に縮小　**A4⇒B5**：約86%に縮小<br>**L判⇒ハガキ**：約112%に拡大　**B5⇒A4**：約115%に拡大<br>**A5⇒A4**：約141%に拡大　**ハガキ⇒A4**：約200%に拡大<br>**L判⇒A4**：約233%に拡大<br>**任意倍率**：25%から400%まで（1%単位で指定）の倍率を指定してコピーします。<br>「任意倍率」を選択して を押し、ダイヤルボタンで倍率を入力したあと、もう一度 を押して決定します。 |
| **用紙種別**<br>印刷する用紙のタイプに合わせて設定します。 | PL **普通紙**：普通紙をセットするときに選びます。<br>Ph **フォト用紙**：フォト用紙をセットするときに選びます。<br>GL **光沢紙**：光沢紙をセットするときに選びます。<br>CO **コート紙**：コート紙をセットするときに選びます。<br>AT **自動**：用紙タイプを自動で判別させるときに使います。用紙の種類がわからないときなどに選択してください。 |
| **用紙サイズ**※1<br>印刷する用紙のサイズに合わせて設定します。 | A4 **A4**：210mm×297mm<br>B5 **B5**：182mm×257mm<br>L **L判**：89mm×127mm<br>2L **2L判**：127mm×178mm<br>PC **ハガキ**：100mm×148mm<br>A5 **A5**：148mm×210mm |
| **画質**<br>コピーの画質を設定します。 | **ふつう**：標準的な画質でコピーするときに選びます。<br>**きれい**：写真などを高画質でコピーするときに選びます。<br>**はやい**：コピー速度を優先するときに選びます。用紙種別を「フォト用紙」および「光沢紙」に設定していると表示されません。 |

※1 ハガキについては、官製はがきをお使いください。DPEショップ等で販売されている写真貼り合わせはがきや喪中はがきなど、厚みのあるものは給紙できない場合があります。

| 項目名と内容 | 選択できる項目 |
|---|---|
| **原稿種類**<br>読み込ませる原稿の種類に合わせて設定します。 | **文字**：文字原稿のときに選びます。<br>**写真**：濃淡のある原稿や、写真のときに選びます。 |
| **フチあり／なし設定**※2<br>用紙の端の部分に印刷しない領域（フチ）を設けるかどうかを設定します。 | **フチあり**：用紙の上下左右の辺から、内側に約3mmずつフチを設けます。<br>**フチなし**：フチを設けません。 |
| **濃度**<br>コピーの濃度を設定します。 | で濃度を変更（5段階）したあと、 で決定します。 |

※2 用紙種別が「光沢紙」または「フォト用紙」の場合に設定できます。ただし、用紙サイズが「ハガキ」の場合は、「自動」以外であればフチなし印刷を設定できます。

# ファクスを送る

## ダイヤルしてファクスを送る

相手の方とお話ししないでファクスを送るときの操作です。

### 1 原稿をセットする（☞111ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

### 2 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ

・このあとダイヤルボタンでダイヤルして、読み込み（手順5）に進むこともできます。

### 3 を押し、 で「送る」を選ぶ

### 4 を押し、ダイヤルボタンでダイヤルする

・番号をまちがえたときは、（取消）を押して消去したあと入力し直します。

### 5 モノクロスタート または カラースタート を押す

UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき
→上記の操作に続いて手順7へ

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、（画質）を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押す、という操作をくり返します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・読み込みを途中でやめて、送信を中止するときは、（読込み中止）を押します。

### 6 原稿台使用時は、読み込みが終了したら を押す

### 7 送信が始まる

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。
・送信中に途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞121ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには（送信待ちリスト）を押してから、 を2回押します。

■ **送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。番号入力時は（取消）を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞256ページ）**

■ **複数の相手の方にまとめてファクスを送るには（同報送信）（☞124～125ページ）**

■ **相手の方にファクスを送信する前に、送信するデータをディスプレイで確認するときは（☞118ページ）**

**お知らせ**

●読み込み中にメモリーがいっぱいになると（当社標準原稿で99枚まで）、読み込みの終了した分の原稿を送信します。
●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
●ファクスを送ったとき、相手側の用紙に日付と時刻、曜日をプリントしますので、日付・時刻は正しく設定してください（☞47ページ）。

# 見てからファクスでファクスを送る

相手の方にファクスを送る前に、送信するデータをディスプレイで確認することができます。
UX-MF80CL/UX-MF80CWをお使いの場合、**ADF使用時は見てからファクスは使用できません。**

## 1 原稿をセットする（☞111ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

## 2 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ

・このあとダイヤルボタンでダイヤルして、読み込み（手順5）に進むこともできます。

## 3 を押し、で「送る」を選ぶ

## 4 を押し、（見てから）を押す

・見てからファクスの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

## 5 ダイヤルボタンでダイヤルする

・番号をまちがえたときは、（取消）を押して消去したあと入力し直します。

## 6 モノクロスタート または カラースタート を押す

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、（画質）を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・読み込みを途中でやめて、送信を中止するときは、（読込み中止）を押します。

■ **送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。番号入力時は（取消）を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞256ページ）**

## 7 ディスプレイで原稿データを確認する

・ でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。

## 8 確認が終わったら、（決定）を押す

・ファクスを続けて読み込むときは、原稿を新しくセットしてから モノクロスタート または カラースタート を押してください。

## 9 原稿台使用時は、読み込みが終了したら を押す

## 10 送信が始まる

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。
・送信中に途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞121ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには（送信待ちリスト）を押してから、を2回押します。

## 親機でお話ししてからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。

**1** **原稿をセットする（☞111ページ）**

・送信する面を下にしてセットします。

**2** **受話器を取ってダイヤルする**

**3** 電話がつながったら

[モノクロスタート] **または** [カラースタート] **を押す**

UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき
→上記の操作に続いて手順8へ

**4** **で「ファクスを送る」を選ぶ**

**5** **を押す**

**6** [モノクロスタート] **または** [カラースタート] **を押し、受話器を戻す**

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、(画質)を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押す、という操作をくり返します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください)。
・約30秒間操作が行われないと、自動的に読み込み待ちを終了します。

**7** 原稿台使用時は、読み込みが終了したら

**を押す**

**8** **送信が始まる**

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

## 子機でお話ししてからファクスを送る

子機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。

**1** **原稿をセットする（☞111ページ）**

・送信する面を下にしてセットします。

**2** **充電器から取ってダイヤルする**

**3** 通話 **を押す**

**4** 電話がつながったら

**を押し、**

**で「FAXソウシン」を選ぶ**

▶FAXソウシン
FAXジュシン

**5** **を押し、子機を充電器に戻す**

・送信が始まります。

■ **子機で通話中に親機の操作でファクスを送るときは**

子機で通話中に、親機で下記の操作をします。

① 親機に原稿をセットする
② 親機の待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ
③ を押し、 で「ファクスを送る」を選ぶ
④ を押す
⑤ [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す
⑥ 原稿台使用時に続けて送るときは、[モノクロスタート] または [カラースタート] を、送らないときは を押す

**お知らせ**

●親機でお話ししてからファクスを送る場合は、ダイヤルしてファクスを送るときより通信時間が長くなることがあります。
●子機の操作で送信する場合は、モノクロ送信になります。カラー送信したい場合は、親機で操作を行ってください。

■ **ファクス送信時の画質について**

ダイヤル中の画面で ⬭（画質）を押すと、モノクロ送信時の画質を8種類から選ぶことができます（右のように切り替わります）。
原稿の文字などが薄いときは、「FAX 濃く」の付いている設定を選びます。
カラー送信時には、画質の設定は無効となります。

「T 普通字」「T 普通字 FAX 濃く」:
原稿の文字が大きくはっきりと見えるときに選びます。

「T 小さな字」「T 小さな字 FAX 濃く」:
「T 普通字」の2倍の密度で読み取ります。原稿の文字が小さいときに選びます。文字が小さくなることはありません。

「▦ 精細」「▦ 精細 FAX 濃く」:
「T 普通字」の4倍の密度で読み取ります。原稿に非常に小さい文字や、細い線を使った図面などがあるときに選びます。

「Ph 写真」「Ph 写真 FAX 濃く」:
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真を送信するときに選びます。
Ph は Photo (写真) の略です。

T 普通字 → T 小さな字 → ▦ 精細 → Ph 写真 → T 普通字 FAX 濃く → T 小さな字 FAX 濃く → ▦ 精細 FAX 濃く → Ph 写真 FAX 濃く → (T 普通字)

一巡すると「FAX 濃く」を表示し、濃度が変わります。

※選択されている画質は、ディスプレイ左に表示されます。

■ **海外へファクスを送るときは**

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。

■ **通信結果表をディスプレイで確認したりプリントしたりするときは**

ファクス送信の結果（新しいものから30件まで）を、ディスプレイで確認したりプリントして確認したりすることができます。

① 待受画面で ✥ を押し、「ファクス」を選ぶ

② ✥ を押し、⬭（通信結果リスト）を押す

③必要に応じて ✥ で画面を切り替える

④ プリントするときは モノクロスタート を押す

# FAX自動再ダイヤルについて

本機には、相手先が通話中などでファクスが正しく送信できなかったときに、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直す機能があります。

ファクス送信に
失敗すると…

5分ごとに、最大3回まで再送信します。
3回目の送信に失敗すると、送信を中止します。

■ **FAX自動再ダイヤルで送信待ちのファクスを取り消すには**

ディスプレイに「FAX送信待ち中です。確認する時は…」と表示されているあいだに、下記の操作をします。

① (送信待ちリスト) を押す
送信待ちリストが表示されます。

② で送信を中止したいファクスの相手先を選び、を押す

③ もう一度、を押す

■ **FAX自動再ダイヤルの設定を変更するときは**

工場出荷時は「する」に設定されています。「しない」に設定すると、FAX自動再ダイヤルでの再送信は行いません。

① (登録/機能) を押し、で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、で「FAX設定」を選ぶ

③ を押し、で「FAX自動再ダイヤル」を選ぶ

④ を押し、で「する」または「しない」を選ぶ

⑤ を押す

⑥ 停止 を押す

**お知らせ**

- お話ししてからファクスを送信したときは、正しくファクスを送信できなくても自動再ダイヤルを行いません。
- FAX 自動再ダイヤルで、同時に送信待ちにできるファクスは3件までです。3件の送信待ちファクスがある場合でも、通話中のファクス送信、または1グループの同報送信（☞124〜125ページ）は可能です。
- 送信待ちのファクスがある状態で、FAX 自動再ダイヤルの設定を変更することはできません。
- FAX 送信待ち中は、ファクス送受信以外の他の機能(コピー、フォトプリント等)を使用することはできません。また、受信したファクスを画面で見ることもできません。
- 受信 FAX の自動転送設定をしている場合、送信待ちのファクスがあるときにはファクス受信を行いません。
- 相手先に発信中、または応答待ち中に 停止 を押したときは、FAX送信待ち中になり、FAX自動再ダイヤルを行います。
- ファクス通信中に 停止 を押したときは、FAX自動再ダイヤルを行いません。
- 複数枚のファクス送信をしている途中で通信エラーが発生した場合、自動再ダイヤルでの再送信は、通信エラーしたページから送信を行います。
- ファクスを正しく送信できなかったときは、FAX自動再ダイヤルの送信待ち中でも、「FAX送信待ち中」ではなく、「応答がありません」のようにエラーの原因が表示されます。停止ボタンを押すと、エラー表示が消え、「FAX送信待ち中」が表示されます。

## 電話帳／再ダイヤル／着信記録を使ってファクスを送る

電話帳に番号を登録（☞82〜83ページ）しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。また、直前にダイヤルした番号にかけ直す再ダイヤルを使って、簡単にファクスを送ることもできます。

### 1 原稿をセットする（☞111ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

### 2 待受画面で を押し､「ファクス」を選ぶ

### 3 を押し、 で「送る」を選ぶ

### 4 を押す

**電話帳でファクスを送るとき**

### 5 （電話帳）を押し、 で相手の方を選んだあと、 を押す

**再ダイヤルでファクスを送るとき**

### 5 （電話帳）→ （再ダイヤル）を押し、 で相手の方を選んだあと、 を押す

**着信記録でファクスを送るとき**

### 5 （電話帳）→ （再ダイヤル）→ （着信記録）を押し、 で相手の方を選んだあと、 を押す

### 6 モノクロスタート または カラースタート を押す

**UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき**
→上記の操作に続いて手順8へ

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、 （画質）を押します（☞120ページ）。
・見てからファクスを使用したいときは、（見てから）を押してからモノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押してください（☞118ページ）。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットしてもう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押す、という操作をくり返します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・読み込みを途中でやめるときは、（読込み中止）を押します。

### 7 原稿台使用時は、読み込みが終了したら を押す

### 8 送信が始まる

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。
・送信中に途中でやめるときは、 停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞121ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには （送信待ちリスト）を押してから、 を2回押します。

**■ 送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

**■「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞256ページ）**

■ **電話帳から相手先を検索してファクスを送るときは**

電話帳の一覧表示画面から、相手先を検索してファクスを送ることができます。
検索は、電話帳に登録されている「読み」を入力して行います。

① 原稿をセットする
② 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ
③ を押し、 で「送る」を選ぶ
④ を押し、 (電話帳) を押す
⑤ (検索) を押す
⑥ 相手先の名前の「読み」を入力する
⑦ (検索) または を押す
入力された「読み」に最も近い相手先が選択されます。
⑧ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑨ を押す
⑩ モノクロ送信時の画質を選ぶときは (画質) を押します。
⑪ モノクロスタート または カラースタート を押す
⑫ 原稿台使用時に続けて送るときは、 モノクロスタート または カラースタート を、送らないときは を押す

■ **電話帳から、頭文字で検索してファクスを送るときは**

① 原稿をセットする
② 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ
③ を押し、 で「送る」を選ぶ
④ を押し、 (電話帳) を押す
⑤ ダイヤルボタンで、相手の名前の頭文字が含まれる行を入力する
(例：「井上」を探すときは ) を押す
⑥ 目的の相手先が選ばれていないときは、 で選ぶ
⑦ を押す
⑧ モノクロ送信時の画質を選ぶときは (画質) を押します。
⑨ モノクロスタート または カラースタート を押す
⑩ 原稿台使用時に続けて送るときは、 モノクロスタート または カラースタート を、送らないときは を押す

**お知らせ**

- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信記録からファクスを送ることもできます(☞220ページ)。
- 相手側のファクスがカラープリント対応機 (ITU-T準拠カラーファクシミリ) でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示されます。
- ファクス通信中に停止ボタンを押すと、FAX自動再ダイヤルをせずに終了します。

## 複数の相手の方にまとめてファクスを送る（同報送信）

ファクスを送るときに、複数の相手の方（最大30件まで）を指定して、一度に送ることができます。

**1** 原稿をセットする（☞111ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

**2** 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ

**3** を押し、 で「同報送信」を選ぶ

**4** を押す

**5** 相手の方を指定する

・相手の方の指定には、電話帳から選ぶ方法と、直接ダイヤルする方法があります。

**電話帳に登録されている相手の方を指定するとき**

 で相手の方を選び、 を押す

・（サブメニュー）を押し、 で「検索」を選んで を押すと、電話帳から相手の方を検索できます。「電話帳から相手先を検索してファクスを送るときは」（☞123ページ）の手順⑥〜⑨の操作をしてください。

・（サブメニュー）を押し、 で「詳細表示」を選んで を押すと、選んだ相手の方を詳細表示できます。

・（直接入力）を押すと、直接ダイヤルする画面に変わります。

**相手の方の番号をダイヤルするとき**

ファクス番号をダイヤルし、 を押す

・（電話帳）を押すと、電話帳から選ぶ画面に戻ります。

**6** 相手の方をすべて指定したら、（宛先指定完了）を押す

・同報送信の一覧が表示されます。 で相手の方を選んで （消去）を押すと、送信先から取り消します。

**7** モノクロスタート または カラースタート を押す

**UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき**
→上記の操作に続いて手順9へ

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信をするときはカラースタートボタンを押してください。
・モノクロ送信時の画質を選ぶときは、（画質）を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・見てからファクスを使用したいときは、（見てから）を押してからモノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押してください（☞118ページ）。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットして、もう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押す、という操作をくり返します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・読み込みを途中でやめるときは、（読込み中止）を押します。

**8** 原稿台使用時は、読み込みが終了したら を押す

**9** 送信が始まる

・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。
・送信中、途中でやめるときは 停止 を押します（同報送信キャンセルになり、再ダイヤル待ちになります）。

■ **送信前に途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **同報送信結果表をディスプレイで確認したりプリントしたりするときは**

前回の同報送信の結果を、ディスプレイで確認したりプリントして確認したりすることができます。新たに同報送信を行うと、前回の結果は消えてしまいます。

① プリント用紙をセットする（☞43ページ）

② 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ

③ を押し、 で「同報送信」を選ぶ

④ （同報結果リスト）を押す

⑤ 同報結果リストが表示されるので、確認する

⑥ 印刷するときは モノクロスタート を押す

■ **同報送信を途中で中止するには**

（送信待ちリスト）を押してから、 で「同報送信」を選択し、 を2回押します。

**お知らせ**

●同報送信では１つの相手先への通信が終了してから、次の相手先への通信を開始するまで、1分間の待ち時間が入ります。
●同報送信で入力した相手先番号は、再ダイヤルには保存されません。
●話し中や通信エラーで正しく通信できなかったときは、その相手先にのみFAX自動再ダイヤルします（５分間隔で最大３回）。
●すべての通信が終了する前に中止したり、通信エラーがあったときは「同報送信エラーがありました」と表示します。（同報結果リスト）を押して、結果表をディスプレイで確認、またはプリントした用紙で詳細を確認してください。
●同報送信中に、別の同報送信をすることはできません。



## 通信結果リストの結果一覧

● OK：送受信が正常に終了した。
● 通信エラー 1～15：回線の状態などにより、送受信中の手順信号や画像信号が乱れて、送受信が正常に行われなかった。
● キャンセル：通信中に停止ボタンを押した。
FAX送信待ち中の一覧から選択して中止した。
● 停電：ダイヤル中、通信中、FAX送信待ち中に電源が切れた。
● ビジー：相手が通話中で送信できなかった。
● 応答なし：相手がファクス通信に切り替わらなかった。
● メモリーフル：受信中にメモリーがいっぱいになった。
● 発信音検出できず：発信音が検出できなかった。
● カラー機能なし：相手機にカラー通信機能がないため送信できなかった。
● 原稿詰まり：読み込み中に原稿が詰まって送信できなかった（通話中にファクスを送ったとき）。

**お知らせ**

●自動再ダイヤルを行った時は、最後に行った通信結果が記載されます。
●通信結果リストでは、同報送信の詳細な内容は記載しません。同報送信結果リストをディスプレイで確認、またはプリントした用紙で確認してください。
●OK(1) やキャンセル (2) など、結果の後ろに括弧付きの数字が記載されている場合、その数字は通信エラーによるFAX自動再ダイヤルを行った回数を示します。

# 親機でのファクスの受けかた

## ファクスの受けかた

ファクスを使う頻度や目的に応じて、受信方法を設定できます。

①**手動でファクスを受信したいとき（お買いあげ時は、この設定になっています）**
着信音が鳴っている間に電話に出て、受信の操作をします（☞128ページ）。

②**留守設定にして、自動的にファクスを受信したいとき**
外出中、相手の方のメッセージを録音したり、自動的にファクスを受信するように設定します。
「留守モード時コール回数」（☞102ページ）を設定して、

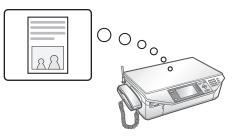
を押して点灯させます（☞101ページ）。

## いろいろな使いかた

●着信音の回数を１回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。応答メッセージを流さないように設定することはできません。
●着信音を鳴らさずに自動でファクス受信することができます（**FAX専用**　☞271ページ）。

## 「見てからFAX受信プリント」と「受信後自動プリント」

**見てからFAX受信プリント**

受信したファクスはメモリーに保存され、自動的にプリントされません。
内容を確認してからプリントしたり消したりできます（☞129〜132ページ）。

メモリーに保存

**受信後自動プリント**

受信したファクスは自動的にプリントされます（☞133ページ）。
プリントが終わったあと、受信した内容をメモリーから消す、消さないの設定ができます。

消す　　：プリントが終わったページを自動的に消去します。インク残量が少ないときや不明なときは、自動的にプリントしません。
消さない：プリントが終わっても自動的に消去しません。インク残量が少ないときや不明なときも自動的にプリントします。

自動的にプリント

■ **受信ファクスの保存先を外部メモリーにするには**
メモリーカードを接続してお使いのときは、ファクスの保存先をメモリーカードにすることもできます（「FAX／録音メモリー選択」 ☞184ページ）。
録音内容の保存先も変更されます。

**お知らせ**

●保存先を外部メモリーにした場合は、受信後自動プリントしてもデータは消去されず、外部メモリーに残ったままになります。保存先を外部メモリーにした場合、最大99件、1件あたり99ページまで受信できます。
●パソコンと本機をUSB接続している場合に保存先を外部メモリーにしたときは、パソコンから外部メモリーが見えなくなります。受信ファクスを保存する場所を本体メモリーに変更し、その外部メモリーを一度本機に取り付け直すと、再度パソコンから見えるようになります。
●パソコンと本機をLAN接続している場合に保存先を外部メモリーにしたときは、パソコンから外部メモリーは見えますが、中のファイルが読み取り専用になります。受信ファクスを保存する場所を本体メモリーに変更し、本機の外部メモリーを取り付け直すと、再び書き込みができるようになります。
●本体メモリー内部にあるデータは、パソコンから追加、削除、編集することはできません。
●Web画面の設定で受信FAX転送機能を使用しているときは、転送後、自動的にプリントされます（詳しくは付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください）。
●ファクス送信待ち中(電話がつながらないときなど)には、ファクスは受信できません。

### 送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約95%に縮小します。

受信したファクスをプリントするときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約95%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定（☞270ページ）を「なし」にします。
※ただし、「なし」に設定しても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や用紙の状態によって、正確に1対1の比率にならない場合があります。

# 電話に出てからファクスを受信する

電話に出たあと、ファクス受信に切り替えることができます。

## 親機の操作でファクスを受信する

**1** 着信音が鳴ったら、
**受話器を取る**

・おまかせ受信に設定していると、自動的にファクスを受信することができます（☞下記）。

**2** 通話中に
 **または** カラースタート **を押す**

**3** 〔十字キー〕**で「ファクスを受ける」を選び、**
〔決定〕**を押す**

**4** 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
〔決定〕**を押して、**
**受話器を戻す**

■ **おまかせ受信について**

おまかせ受信とは、電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けることができる機能です（「おまかせ受信」 ☞270ページ）。

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、上記の操作を行ってください。

## 子機の操作でファクスを受信する

**1** 着信音が鳴ったら、
**充電器から取って**
通話 **を押す**

**2** 〔決定〕**を押し、**〔十字キー〕**で「FAXジュシン」を選ぶ**

```
 FAXソウシン
▶FAXジュシン
```

**3** 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
〔決定〕**を押して、**
**充電器に戻す**

■ **子機で通話中に親機でファクスを受けるときは**

子機で通話中に、親機で下記の操作をします。

① 親機の待受画面で〔十字キー〕を押し、「ファクス」を選ぶ
② 〔決定〕を押し、〔十字キー〕で「ファクスを受ける」を選ぶ
③ 〔決定〕を2回押す

**お知らせ**

●キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
●プリント中はファクスを受けることはできません（パソコンからのプリントを除く）。
●相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、ファクス受信の操作を行ってください。

# 受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

## 見てからFAX受信プリントに設定する

ファクスの受信方法を「見てからFAX受信プリント」に設定しておくと、受信したファクスをメモリーに保存したあと、プリントする前に画面で確認することができます。必要なファクスのみプリントできるので経済的です。
工場出荷時は「見てからFAX受信プリント」で受信する設定になっています。
また、ファクスを受信すると、メモリーに保存してから自動的にプリントする「受信後自動プリント」（☞133ページ）に設定することもできます。

**1** （登録/機能）を押し、
で「FAX/録音設定」を選ぶ

**2** を押し、 で「FAX設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「FAX受信方法」を選ぶ

**4** を押し、 で
「見てからFAX受信プリント」を選ぶ

**5** を押す

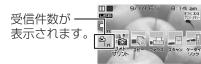
**6** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

## 受信したファクスを画面に表示する

ファクスを受信すると、受信内容を画面に表示して確認することができます。

### 1 「受信FAXがあります」と表示される

・待受画面に受信件数が表示されます。

### 2 を押し、「ファクス」を選ぶ

### 3 を押し、 で「見る」を選ぶ

### 4 を押す

・受信FAX一覧が表示されます。
・6件目以降は でカーソルを移動して表示させます。

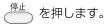
### 5 で表示したい受信データを選び、 を押す

・受信したデータを表示します。
・表示している受信データの操作については、132ページをご覧ください。

### 6 停止 を押す

・待受画面に戻ります。
・受信FAX一覧に戻りたいときは、（戻る）を押してください。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **「データがありません」と表示されたときは**

受信されているデータはありません。

■ **受信枚数・受信件数について**

本体メモリーに保存するときは、A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約60枚まで受信できます。カラーの場合、A4サイズの当社標準原稿を約6枚まで受信できます。ただし、原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります（最大でもモノクロファクス約60枚または30件までです）。
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、受信できない場合があります。
外部メモリーに保存するときは、1件につき最大99枚、99件まで保存できます。

■ **受信FAX一覧について**

受信FAX一覧の表示中に（サブメニュー）を押すと、下記の操作ができます。
**全て外部メモリーに保存する：**
本体メモリーに受信しているファクスを、すべてメモリーカードなどにコピーします。
**本体⇔外部メモリー切替：**
表示中の保存先を切り替えます。

で項目を選んで を押してください。どちらもメモリーカードなどを取り付けているときのみ有効です。

**お知らせ**

●A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。
●受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

■ **メモリー残量を確認したいときは**

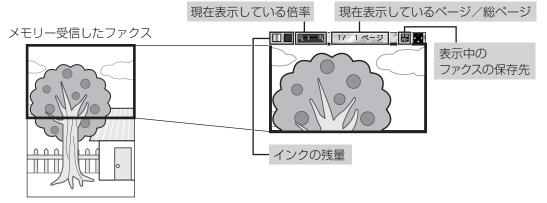
「FAX／録音メモリー選択」（☞184ページ）で保存先として設定されているメモリーを表示します。
本体メモリー設定時に外部メモリーの残量を確認したいときや、外部メモリー設定時に本体メモリーの残量を確認したいときは、設定を変更してから確認してください。

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ
② を押し、 で「メモリー残量表示」を選ぶ
③ を押す
受信FAXの件数、留守録音メッセージの件数、メモリー残量（%）が約５秒間表示されます。
④ 停止 を押す

■ **メモリーがいっぱいになったときは**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「メモリーフルです」と表示されます）。受信した内容や、不要な録音メッセージを消去してください（☞109、140ページ）。

## 表示したファクスの見かた

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。
データの表示部分を上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

### ■ データの表示部分を上下左右に動かす（スクロールする）ときは

を押します。押したボタンの方向へ、表示部分が移動します。
データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

### ■ 表示ページを変えるときは

複数ページを受信しているデータのときは、（次ページ）を押すたびに次のページを表示します。最後のページで（次ページ）を押すと、1ページ目に戻ります。

### ■ 表示中のデータをプリントするときは

① 表示中に（プリント/転送）を押す
② で「表示中のページをプリント」や「全てのページをプリント」、「このページ以降をプリント」のいずれかを選ぶ
③ を2回押す
表示中のページ、すべてのページ、または表示中のページ以降をプリントします（プリントしたあとは、待受画面に戻ります）。

### ■ データの表示部分の倍率を切り替えるときは

①（ボタン切替）を押す
②（倍率切替）を押す
押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。

### ■ データの表示部分を回転させるときは

①（ボタン切替）を押す
②（回転）を押す
押すたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

### ■ 表示中のデータを消去するときは

①（ボタン切替）を押す
②（消去）を押す
③ で「表示中のページを消去」または「全てのページを消去」を選ぶ
④ を押す
⑤（消去）を押す
「全てのページを消去」を選んだときは、表示していないデータも消去されます。

### ■ 受信したデータを1件ずつ消去するときは

（☞140ページ）

**お知らせ**

- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 拡大／縮小表示中にプリントしても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。

# 受信したファクスをプリント／保存する

## 受信後自動プリントに設定する

ファクスの受信方法を「受信後自動プリント」に設定しておくと、受信したファクスを自動的にプリントします。また、ファクスを受信すると、メモリーに保存してプリント前に確認できる「見てからFAX受信プリント」(☞129ページ)に設定することもできます。

**1** (登録/機能)を押し、
で「FAX/録音設定」を選ぶ

**2** を押し、 で「FAX設定」を選ぶ

**3** を押し、 で「FAX受信方法」を選ぶ

**4** を押し、
で「受信後自動プリント」を選ぶ

**5** を押す

**6** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

(戻る)を押します。

■ **プリントしたファクスをメモリーから消去する設定にするには**

「受信後自動プリント」でプリントしたあと、メモリーからデータを消去するように設定できます。

·「しない」のとき
インク残量が無くてもプリントします。

·「する」のとき
インク残量が無いときや、残量が分からないときはプリントしません。

外部メモリーに受信したデータを自動的に消去することはできません。

① (登録/機能)を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「FAX設定」を選ぶ

③ を押し、 で「受信後自動プリント設定」を選ぶ

④ を押し、 で「プリント後本体メモリー自動消去」を選ぶ

⑤ を押し、 で「する」を選ぶ

⑥ を押す

⑦ 停止 を押す

**■ 受信後自動プリントで使用する用紙を設定するには**

セットする用紙の種類に合わせて設定してください。

① (登録/機能) を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「FAX設定」を選ぶ

③ を押し、 で「受信後自動プリント設定」を選ぶ

④ を押し、 で「用紙種別」を選ぶ

⑤ を押し、 で選ぶ

| 普通紙 | 普通紙をセットするときに選びます。 |
|---|---|
| フォト用紙 | フォト用紙をセットするときに選びます。 |
| 光沢紙 | 光沢紙をセットするときに選びます。 |
| コート紙 | コート紙をセットするときに選びます。 |
| 自動 | 用紙タイプを自動で判別させるときに選びます。 |

⑥ を押す

⑦ 停止 を押す

**■ 受信後自動プリントのプリント画質を設定するには**

標準的な画質でプリントする「ふつう」、またはプリント速度を優先する「はやい」のいずれかに設定できます。
ただし、左記の用紙種別設定で、「フォト用紙」、または「光沢紙」を設定しているときは、プリント画質を変更することができません。

① (登録/機能) を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「FAX設定」を選ぶ

③ を押し、 で「受信後自動プリント設定」を選ぶ

④ を押し、 で「プリント画質」を選ぶ

⑤ を押し、 で「ふつう」または「はやい」のいずれかを選ぶ

⑥ を押す

⑦ 停止 を押す

## メモリーに保存されているファクスをプリントする

メモリーに保存されている受信ファクスをプリントする操作です。下記の2通りの方法があります。
●受信FAX一覧から選んでプリントする（選択した受信FAXをプリント）
●まだディスプレイで確認していないファクスをまとめてプリントする（未確認の受信FAXをプリント）

プリント用紙をセット（☞43ページ）してから操作します。

**1 待受画面で を押し､｢ファクス｣を選ぶ**

**2 を押し、 で「見る」を選ぶ**

**3 を押し、 でプリントしたい受信ファクスを選ぶ**

**4 (プリント／転送）を押す**

**5 で「選択した受信FAXをプリント」または「未確認の受信FAXをプリント」を選ぶ**

**6 を押す**

・ (設定変更）を押すと、用紙種別と画質を変更することができます（☞右記）。

**7 を押す**

・ プリントを開始します。

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■ データを表示してからプリントするときは

「表示中のデータをプリントするときは」（☞132ページ）をご覧ください。

### ■ プリント中にインクがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリントをいったん中止してから、インクカートリッジを交換（☞39～40ページ）してください。
受信した内容はプリントしてもメモリーからは消えません。

### ■ 受信ファクスデータをメモリーカードに保存するときは（☞136ページ）

### ■ 用紙種別を変更するときは

セットしているプリント用紙に合わせた用紙タイプを選択することができます。
① 設定の確認画面（☞左記手順６のあと）で、 (設定変更）を押す
② で「用紙種別」を選び、 を押す
③ で選ぶ

| | |
|---|---|
| 普通紙 | 普通紙をセットするときに選びます。 |
| フォト用紙 | フォト用紙をセットするときに選びます。 |
| 光沢紙 | 光沢紙をセットするときに選びます。 |
| コート紙 | コート紙をセットするときに選びます。 |
| 自動 | 用紙タイプを自動で判別させるときに選びます。用紙の種類が分からないときなどに選択してください。 |

④ を押す
選択した用紙タイプに設定されます。変更を取り消したいときは、 (戻る）を押したあと (初期値に戻す）を押します。

### ■ 画質を変更するときは

プリント時の画質を選択することができます。
ただし、上記の用紙種別設定で、「フォト用紙」、または「光沢紙」を設定しているときは、画質を変更することができません。
① 設定の確認画面（☞左記手順６のあと）で、 (設定変更）を押す
② で「画質」を選び、 を押す
③ で選ぶ

| | |
|---|---|
| ふつう | 標準的な画質でプリントするときに選びます。 |
| はやい | プリント速度を優先してプリントします。「ふつう」よりも多少画質は劣ります。 |

④ を押す
選択した画質に設定されます。変更を取り消したいときは、 (初期値に戻す）を押します。

## 受信したファクスをメモリーカードに保存する

本機で受信したファクスを、メモリーカードに保存します。保存したデータは、電子ファイル機能（☞176～179ページ）で使用することができます。

**1** メモリーカードを取り付ける（☞142ページ）

**2** を押し、「ファクス」を選ぶ

**3** を押し、で「見る」を選ぶ

**4** を押す

**5** （サブメニュー）を押す

**6** で「全て外部メモリーに保存する」を選ぶ

**7** を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

## メモリーカードに保存した受信ファクスをプリントする

**1** メモリーカードを取り付ける（☞142ページ）

**2** 待受画面で を押し、「ファクス」を選ぶ

**3** を押し、で「見る」を選ぶ

**4** を押し、（サブメニュー）を押す

**5** で「本体⇔外部メモリー切替」を選ぶ

**6** を押す

**7** でプリントしたい受信ファクスを選ぶ

**8** （プリント／転送）を押す

**9** で「選択した受信FAXをプリント」または「未確認の受信FAXをプリント」を選ぶ

**10** を2回押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

# 受信したファクスを転送する

受信したファクスを、パソコンなどに送ることができます。
●受信したファクスをファクスで送る（☞下記）
●受信したファクスをパソコンに送る（LAN接続時のみ）（☞138ページ）
●受信したファクスを電子メールで送る（LAN接続時のみ）（☞139ページ）

## 受信したファクスをファクスで送る

本機で受信したファクスを、別の相手先へファクス転送することができます。

**1** 待受画面で ◁▷ を押し､｢ファクス｣を選ぶ

**2** ◁▷ を押し、◁▷ で「見る」を選ぶ

**3** △▽ でプリントしたい受信ファクスを選ぶ

**4** ⬭(プリント／転送) を押す

**5** △▽ で「選択した受信FAXをFAX送信」を選ぶ

**6** ◉ を押し、ダイヤルボタンでダイヤルする

・⬭(電話帳) や ⬭(再ダイヤル)、⬭(着信記録) を押すと、電話帳や再ダイヤル、着信記録に登録されている相手先の中から転送先を選ぶことができます。△▽ で相手先を選び、◉ を押してください。

**7** ◉ を押す

・転送を開始します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **データを表示してから転送するときは**

① 受信ファクス一覧画面（☞左記手順３のあと）で、◉ を押す

② 表示中に ⬭(プリント／転送) を押す

③ △▽ で「表示中のページをFAX送信」を選ぶ

④ ◉ を押す

⑤ ダイヤルボタンでダイヤルする、または ⬭(電話帳) や ⬭(再ダイヤル)、⬭(着信記録) を押し、△▽ で相手先を選んで ◉ を押す

⑥ ◉ を押す

**お知らせ**

●Web 画面の設定で、受信後に自動的にその受信ファクスを、パソコンに転送したり電子メールやファクスで転送したりすることができます（LAN接続時）。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

## 受信したファクスをパソコンに送る（FAX to PC）（LAN接続時のみ）

本機で受信したファクスを、ネットワーク上のパソコンまたは指定のFTPサーバーへ送ることができます（FAX to PC機能）。
あらかじめ、パソコンのWeb画面（デスクトップの「UXMFXX-XXXXXXXX-Web設定」※をクリックすると開きます）で設定を確認しておいてください。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80 パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
※XX-XXXXXXXXの部分は、製品ごとに異なります。

**1** 待受画面で を押し､｢ファクス｣を選ぶ

**2** を押し、 で「見る」を選ぶ

**3** を押し、 で転送したい受信ファクスを選ぶ

**4** （プリント／転送）を押す

**5** で
「選択した受信FAXをFTP送信」を選ぶ

**6** を押し、
で接続先を選ぶ

**7** を押す

・ 転送を開始します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **データを表示してから転送するときは**

① 受信ファクス一覧画面（☞左記手順３のあと）で、 を押す

② 表示中に （プリント／転送）を押す

③ で「表示中のページをFTP送信」を選ぶ

④ を押し、 で接続先を選ぶ

⑤ を押す

**お知らせ**

●Web 画面の設定で、受信後に自動的にその受信ファクスを、パソコンに転送したり電子メールやファクスで転送したりすることができます（LAN接続時）。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
●転送できるファクスは、PDF形式で転送されます。ただし、モノクロファクスの場合は、Web画面の「受信FAX転送」からTIFFファイルでの転送を行うように設定することができます。

## 受信したファクスを電子メールで送る（FAX to E-mail）（LAN接続時のみ）

本機で受信したファクスを、電子メール（E-mail）で送ることができます（FAX to E-mail機能）。
あらかじめ、パソコンのWeb画面（デスクトップの「UX-MFXX-XXXXXXXX-Web設定」※をクリックすると開きます）でメールの設定をしてください。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」の「E-mail設定ページについて」をご覧ください。
※ XX-XXXXXXXXの部分は、製品ごとに異なります。

**1** 待受画面で を押し､「ファクス」を選ぶ

**2** を押し、 で「見る」を選ぶ

**3** を押し、 で転送したい受信ファクスを選ぶ

**4** （プリント／転送）を押す

**5** で
「選択した受信FAXをメール送信」を選ぶ

**6** を押し、 で宛先を選ぶ

・（直接入力）を押すと、ダイヤルボタンで直接メールアドレスを入力することができます。

**7** を押す

・転送を開始します。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **データを表示してから転送するときは**

① 受信ファクス一覧画面（☞左記手順２のあと）で、 を押す
② 表示中に （プリント／転送）を押す
③ で「表示中のページをメール送信」を選ぶ
④ を押し、 で宛先を選ぶ
⑤ を押す

**お知らせ**

●Web 画面の設定で、受信後に自動的にその受信ファクスを、パソコンに転送したり電子メールやファクスで転送したりすることができます（LAN接続時）。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
●転送できるファクスは、PDF形式で転送されます。ただし、モノクロファクスの場合は、Web画面の「受信FAX転送」からTIFFファイルでの転送を行うように設定することができます。

# 受信したファクスを消去する

受信した内容を消去する操作です。下記の3通りの方法があります。
●受信FAX一覧から選んで消去する（選択した受信FAXを消去）
●ディスプレイで確認したファクスをまとめて消去する（確認済み受信FAXを消去）
●すべての受信ファクスを消去する（受信FAXを全消去）

**1** 待受画面で を押し､｢ファクス｣を選ぶ

**2** を押し、 で「見る」を選ぶ

**3** を押し、 で消去したい受信ファクスを選ぶ

**4** （消去）を押す

**5** で「選択した受信FAXを消去」、「確認済み受信FAXを消去」、または「受信FAXを全消去」を選ぶ

**6** を押す

「選択した受信FAXを消去」の場合」

もう一度[消去]を押すと、
選択した受信ＦＡＸを
消去します

「確認済み受信FAXを消去」の場合」

もう一度[消去]を押すと、
確認済受信ＦＡＸを
消去します

「受信FAXを全消去」の場合」

もう一度[消去]を押すと、
受信ＦＡＸを
消去します

**7** もう一度 （消去）を押す

・選んだ受信ファクスが消去されます。

**8** 停止 を押す

・他に受信ファクスがないときは、自動的に待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **データを表示してから消去するときは**

「表示中のデータを消去するときは」（☞132ページ）をご覧ください。

■ **登録メニューから操作するときは**

① （登録／機能）を押す

② で「全消去メニュー」を選ぶ

③ を押し で「受信FAX」または「確認済受信FAX」を選ぶ

④ を押し、 で「全消去する」を選ぶ

⑤ を押す

# フォトプリント機能を使う前に

この製品では、市販のメモリーデバイス（SDカードやマルチメディアカード、動作確認済のUSBメモリーなど）をご利用になって、写真を見たり、印刷ができます。画像データは、Exif、DCFに準拠している必要があります。

※DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。

**お知らせ**

●プリント時に用紙の後端に近い部分でスジやムラが発生する場合があります。また用紙が反った状態で印刷するとプリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

## 推奨メモリーデバイスについて

この製品では、以下のタイプのメモリーカード（3.3V用）やUSBメモリーを推奨しています。

●SD メモリーカード／ miniSD カード※：最大 2GB まで
●microSD カード：最大 512MB まで
●マルチメディアカード：最大 2GB まで
●USB メモリー：最大 2GB まで
※本機との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプタ、または市販のカードアダプタが必要です。

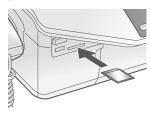
上記以外のメモリーカード（コンパクトフラッシュ、メモリースティック、xDピクチャーカード、スマートメディア、SDHCカードなど）をご利用の場合は、当社推奨のUSBメモリーカードリーダーをご利用ください。
当社推奨のUSBカードリーダーについては、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/mirakuru/

**お知らせ**

●メモリーカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。たとえば、8MBのSDメモリーカードのときは、ユーザー領域は約6.5MBになります。
●メモリーカードやUSBメモリーの登録内容は、使い方を誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●メモリーデバイスは推奨のものをご使用ください。推奨以外のものでは、使用できない場合や正しく動作しない場合があります。
●JPEG形式以外の画像データ（TIFF形式など）は、扱えません。
●デジタルカメラなどで記録された動画は扱えません。
●SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
●miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
●microSD™はSDアソシエーションの商標です。
●マルチメディアカード（MultiMediaCard）は独Infineon Technologies AG社の登録商標です。
●SDHCカードは、本機のメモリーカード取り付けスロットに直接挿入することはできません。

## メモリーカードを取り付ける

待受画面の表示中に操作します。

**1** **裏表を間違わないようにして、カードが止まるまでメモリーカードスロットへ挿入する**

■ **メモリーカードの取り付け位置について**
メモリーカードの取り付けスロットは以下の部分です。

**取り付けスロット**

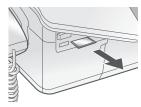
例：SDメモリーカード

端子面を下にして
スロットへ

●USBメモリーやUSBメモリーカードリーダーとメモリーカードは同時に使用できません。メモリーカードを接続する場合はUSBメモリーやUSBメモリーカードリーダーを抜き取ってから接続してください。
●miniSDカード／microSDカードを本機に接続するには、それぞれのカードに付属しているアダプタ、または市販のカードアダプタが必要です。アダプタを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなります。また、アダプタによって規格が異なりますので、アダプタの取扱説明書をお確かめのうえ、規格に合ったスロットに接続してください。

## メモリーカードを取り外す

本機の液晶画面に「外部メモリーを抜かないでください！」と表示しているとき（またはカードアイコンの表示がアクセス中のとき）は、メモリーカードを取り出さないでください。ファイルが開けなくなったり、メモリーカードが破損するおそれがあります。

**1** **まっすぐに、ゆっくりメモリーカードを抜き取る**

■ **書き込み禁止スイッチについて**
SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。

**SD メモリーカード：**
スイッチを下へずらすとロックされます

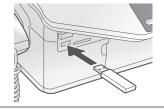
**お知らせ**
- メモリーカード以外のものを挿入すると、破損する恐れがあります。
- メモリーカードを無理に抜き取ると、この製品やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。
- 電源を入れた直後は、メモリーカードを挿入しても、しばらくの間、読み込みができません。
- アダプタを使用して本機に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、アダプタごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、アダプタが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
- パソコンと本体がUSB接続されている場合にフォトプリント機能を使用すると、パソコンからメモリーカードが見えなくなります（取り外された状態と同じ）。こんなときは、いったんメモリーカードを本機から抜き取ってもう一度挿入してください。
- パソコンと本機がLAN接続されている場合にフォトプリント機能を使用すると、パソコンからメモリーカードは見えますが、中のファイルが読み取り専用になります。フォトプリント機能の使用が終わると、再び書き込み可能になります。
- 本商品で扱える画像サイズは次のとおりです。
  縦長の画像のとき：
  縦4096ドット×横3072ドット以下
  横長の画像のとき：
  縦3072ドット×横4096ドット以下
  また、ファイルサイズが6MBを超える画像は表示されません。
- DCF 規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記のサイズ以外の画像、正しく表示されない画像は、印刷できません。
- 画像の表示中や印刷中に、メモリーカードやUSBメモリーを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。
- フォトプリント機能を使用する場合、パソコンと接続しているUSBケーブルを取り外しておくことをおすすめします。

## USBメモリーを接続する

本機の外部メモリー接続端子には、USBメモリーを接続できます。
メモリーカードと同様に、USBメモリーに保存されている画像のプリントなどができます。

**1** 本機の  を押して待受画面にする



**2** 本機前面の外部メモリー接続端子に接続する

**3** USBメモリーを取り外すときは、まっすぐにゆっくりと抜き取る

- USB メモリーとメモリーカードは同時に使用できません。USBメモリーを接続する場合は、メモリーカードを抜き取ってから接続してください。
- すべてのUSBメモリーでの動作を保証するものではありません。

**お知らせ**
- 子機を使用しているときは、USBメモリーを抜き差ししないでください。

# かんたんフォトプリントで印刷する

かんたんフォトプリントで画像を印刷するときは、プリントしたい画像を選ぶだけで、すぐにプリントすることができます。
※ 電子ファイル（☞176～179ページ）のデータを確認、プリントすることはできません。

**1** 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ

**2** を押す

・最新の画像が表示されます。

**3** でプリントしたい画像を選ぶ

**4** を押す

・選択した画像データがプリントされます。

■ **かんたんフォトプリントの設定を変更してプリントするときは**

① 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ
② を押す
③ （設定変更）を押す
④ 現在の設定が表示されるので、 （設定変更）を押す
⑤ 設定を変更する（☞151～152ページ）
⑥ 設定の変更が終わったら、（設定完了）を押す
⑦ （戻る）を押す
⑧ でプリントしたい画像を選ぶ
⑨ を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／ （標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

**お知らせ**

●本商品で扱える画像サイズは次のとおりです。
縦長の画像のとき：
縦4096ドット×横3072ドット以下
横長の画像のとき：
縦3072ドット×横4096ドット以下
また、ファイルサイズが6MBを超える画像は表示されません。
●DCF 規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記のサイズ以外の画像、正しく表示されない画像は、印刷できません。
●画像の表示中や印刷中に、メモリーカードやUSBメモリーを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

# いろいろフォトプリントで印刷する

いろいろフォトプリント機能では、さまざまな目的に合わせて、以下のプリント方法が選べます。

- 選択した画像だけプリントする（「選んでプリントを使う」 ☞下記）
- まとめて選択した範囲の画像をプリントする（「範囲指定プリントを使う」 ☞147ページ）
- 画像を調整してプリントする（「色調整プリントを使う」 ☞148ページ）
- DPOF形式の画像をプリントする（「DPOFプリントを使う」 ☞150ページ）
- すべての画像を一度にプリントする（「全プリントを使う」 ☞151ページ）
- さらに詳細な設定でプリントする（「プリント設定メニューを使う」 ☞151〜152ページ）

※ 電子ファイル（☞176〜179ページ）のデータを確認、プリントすることはできません。

## 選んでプリントを使う

プリントしたい画像だけを選び、それぞれに枚数を指定してプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞42〜43ページ）してから操作します。

**1 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ**

**2 を押す**

・最新の画像が表示されます。

**3 (いろいろフォトプリント）を押す**

**4 で「選んでプリント」を選び、を押す**

**5 でプリントしたい画像を選び、ダイヤルボタンで枚数（1〜99）を入力する**

・選択されている画像に ✔ が付きます。
・プリントするすべての画像について、上記の操作を行います。
・ で枚数を選ぶこともできます。

**6 を押す**

・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、(設定変更)を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151〜152ページ）。

**7 を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は (プリント中止）でも中止します。

■ **画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／ （拡大表示）／ （標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、 を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

■ **画像をすべて選択してプリントするには**

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で「全画像選択」を選ぶ

③ を押す

④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは で入力する
ただし、セットできるフォト用紙や光沢紙の最大枚数は30枚です。

⑤ を押す

## 範囲指定プリントを使う

プリントしたい画像をまとめて選択してプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞42～43ページ）してから操作します。

### 1 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ

### 2 を押す

・最新の画像が表示されます。

### 3 （いろいろフォトプリント）を押す

### 4 で「範囲指定プリント」を選び、を押す

### 5 で選択範囲の先頭の画像を選び、を押す

・選択した画像に ✔ が付きます。

### 6 で選択範囲の最後の画像を選ぶ

・選択範囲内の画像に ✔ が付きます。

### 7 を押し、ダイヤルボタンで範囲選択した画像のプリント枚数（1～99）を入力する

・ で枚数を選ぶこともできます。
・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

### 8 を押す

・選択した画像データがプリントされます。

**■ 途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

**■ 1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**■ 画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

**■ 画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、 を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

# 色調整プリントを使う

画像の「明るさ」「コントラスト」「あざやかさ」を、それぞれ調整してプリントすることができます。

- 明るさ調整：画像の明るさを５段階に調整できます。
- コントラスト調整：画像のコントラスト（明暗差）を５段階に調整できます。
- あざやかさ調整：画像のあざやかさを５段階に調整できます。

プリント用紙をセット（☞42〜43ページ）してから操作します。

**1** **待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ**

**2** **を押す**

・最新の画像が表示されます。

**3** **（いろいろフォトプリント）を押す**

**4** **で「色調整プリント」を選び、を押す**

**5** **で調整したい画像を選び、を押す**

**6** **調整したい項目に合わせて、（明るさ）、（コントラスト）、（あざやかさ）のいずれかを押す**

**7** **で調整する**

例：明るさ調整の場合

・ディスプレイの右側に変更後の画像が表示されます。
・明るさ調整の画面で（明るさ）を押すなど、調整画面を表示した状態で、その画面の選択ボタンを押すと、調整値がひとつ右に移動します。
・「あざやかさ」調整が入ると、処理に時間がかかるので、右側の変更後画像表示に少し時間がかかります。

**8** **ほかの項目も調整したいときは、（明るさ）、（コントラスト）、（あざやかさ）のいずれかを押して選び、で調整する**

**9** **を押す**

**10** **ダイヤルボタンでプリント枚数（1〜99）を入力する**

・ で枚数を選ぶこともできます。
・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151〜152ページ）。

**11** **を押す**

・調整した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に（一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に（サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

# DPOFプリントを使う

DPOF（Digital Print Order Format）形式とは、DPOF対応のデジタルカメラで撮影した画像に対して、プリントする画像や、プリントする枚数などの指定を記録するための形式です。DPOF形式の画像は、本機から画像や枚数の指定をせずにプリントすることができます。

**1** 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ

**2** を押す

・最新の画像が表示されます。

**3** （いろいろフォトプリント）を押す

**4** （DPOF）を押す

・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

**5** を押す

・画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●DPOF プリントができるのは DPOF 対応のデジタルカメラで撮影した画像のみです。DPOFの設定についてはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

●インデックス印刷やレイアウト印刷には対応していません。

## 全プリントを使う

外部メモリー内の画像を一度にすべてプリントすることができます。

プリント用紙をセット（☞42〜43ページ）してから操作します。

**1 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ**

**2 を押す**

・最新の画像が表示されます。

**3 （いろいろフォトプリント）を押す**

**4 （全プリント）を押す**

**5 ダイヤルボタンですべての画像のプリント枚数（1〜99）を入力する**

・ で枚数を選ぶこともできます。
・プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151〜152ページ）。

**6 を押す**

・すべての画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

## プリント設定メニューを使う

いろいろフォトプリント機能で印刷するときは、「プリント設定メニュー」で、セットする用紙サイズや用紙タイプなどを詳しく設定することができます。

**1 いろいろフォトプリント機能の各操作を行い、「現在のプリント設定」画面を表示させる**

・設定した内容を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

**2 （設定変更）を押す**

**3 で項目を選び、を押して決定する**

・項目の内容については、「設定できる項目について」（☞152ページ）をご覧ください。

**4 設定が終わったら、（設定完了）を押す**

・プリントをするときに、設定した内容が適用されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **設定できる項目について**

プリント設定メニューでは、「用紙種別」「用紙サイズ」「画質」「日付印刷」「フチあり／なし設定」の各項目を設定することができます。操作によっては変更できない、または表示されない項目もあります。
プリント設定メニューを表示してから、下記の表を参照して設定してください。

操作に使用するボタン

 … 項目を選ぶ　 … 項目を決定する

（設定完了）… 変更した内容を適用して、設定を終了する

| 項目名と内容 | 選択できる項目 |
| --- | --- |
| **用紙種別**<br>印刷する用紙のタイプに合わせて設定します。 | **普通紙**：普通紙をセットするときに選びます。<br>**フォト用紙**：フォト用紙をセットするときに選びます。<br>**光沢紙**：光沢紙をセットするときに選びます。<br>**コート紙**：コート紙をセットするときに選びます。<br>**自動**：用紙を自動で判別するときに選びます。用紙の種類が分からないときなどに選択してください。 |
| **用紙サイズ**※1<br>印刷する用紙のサイズに合わせて設定します。 | **A4**：210mm×297mm<br>**L判**：89mm×127mm<br>**2L判**：127mm×178mm<br>**ハガキ**：100mm×148mm |
| **画質**※2<br>プリントの画質を設定します。 | **ふつう**：標準的な画質でプリントするときに選びます。<br>**きれい**：高画質でプリントするときに選びます。<br>**はやい**：プリント速度を優先するときに選びます。用紙種別を「フォト用紙」や「光沢紙」に設定していると表示されません。<br>**高画質**※4:「きれい」よりもさらに高画質でプリントするときに選びます。 |
| **日付印刷**<br>日付を用紙にプリントするかどうかを設定します。 | **日付あり**：日付をプリントするときに選びます。<br>**日付なし**：日付をプリントしないときに選びます。 |
| **フチあり／なし設定**※3<br>用紙の端の部分に印刷しない領域（フチ）を設けるかどうかを設定します。 | **フチあり**：用紙の上下左右の辺から、内側に約3mmずつフチを設けます。<br>**フチなし**：フチを設けません。 |

※1 ハガキについては、官製はがきをお使いください。DPEショップ等で販売されている写真貼り合わせはがきや喪中はがきなど、厚みのあるものは給紙できない場合があります。
※2 用紙種別が「光沢紙」または「フォト用紙」の場合は、「きれい」「高画質」は表示されません。
※3 用紙種別が「光沢紙」または「フォト用紙」の場合に設定できます。ただし、用紙サイズが「ハガキ」の場合は、「自動」以外ではフチなし印刷を設定できます。
※4「高画質」での印刷は、印刷に時間がかかります。

# バラエティープリントで印刷する

いろいろフォトプリント機能では、さらに以下のようなプリント機能が使用できます（バラエティープリント）。各機能に専用のメニューが用意されています。

- アルバム風にプリントする（☞下記）
- シールとして使えるようにプリントする（☞155ページ）
- 画像をハガキの半分のサイズにプリントする（☞156ページ）
- 2枚の画像を1枚の用紙にプリントする（☞158ページ）

※ 電子ファイル（☞176～179ページ）のデータを確認、プリントすることはできません。

## アルバムプリントを使う（A4サイズのみ）

用紙1枚につき、画像を3点ずつ、アルバム風にプリントできます。

A4サイズの用紙をセットします。

**1** **待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ**

**2** **を押す**

・最新の画像が表示されます。

**3** **（いろいろフォトプリント）を押す**

**4** **で「バラエティープリント」を選び、を押す**

**5** **で「アルバムプリント」を選び、を押す。**

**6** **でプリントしたい画像を選んで、ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する（プリントするすべての画像に行う）**

・選択されている画像に ✔ が付きます。
・ で枚数を選ぶこともできます。

**7** **を押す**

・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

**8** **を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、 を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

■ **画像をすべて選択してプリントするには**

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で「全画像選択」を選ぶ

③ を押す

④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは で指定する

⑤ を押す

**お知らせ**

- アルバムプリントでは、プリント設定メニューで、「用紙種別」、「画質」以外の項目を変更することはできません。
- 画像の回転はできません。縦向きで撮影した写真は、横向きに印刷されます。

## シールプリントを使う（ハガキサイズのみ）

指定した画像を縮小して、シール用に複数プリントすることができます。シール用紙1枚につき、同じ画像を16点に縮小してプリントします。

シール紙をセットします。

**1** 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ

**2** を押す

・最新の画像が表示されます。

**3** （いろいろフォトプリント）を押す

**4** で「バラエティープリント」を選び、を押す

**5** で「シールプリント」を選ぶ

**6** を押し、でプリントしたい画像を選ぶ

**7** を押す

**8** を押す

・選択した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

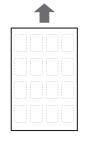
**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

■ **シール用紙をセットするときは**

下図のように、印刷面を裏向きにして、短い辺を本体に向けてセットしてください。

※ 画像を印刷する面を裏向きに

**お知らせ**

●シールプリントでは、プリント設定メニューで設定を変更することはできません。

## 写真ハガキプリントを使う（ハガキサイズのみ）

画像をハガキの半分のサイズに合わせてプリントすることができます。年賀状やあいさつ状を作るときに便利です。
画像を１枚だけ選択してハガキの上半分にプリントするか、または２枚選択して縦に並べてプリントするかの、いずれかの方法が選べます。

ハガキをセットします。

**1** 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ

**2** を押す

・最新の画像が表示されます。

**3** （いろいろフォトプリント）を押す

**4** で「バラエティープリント」を選び、を押す

**5** で「写真ハガキプリント」を選ぶ

バラエティープリント
1 アルバムプリント
2 シールプリント
3 写真ハガキプリント
4 2in1プリント

**6** を押し、でプリントしたい画像を選ぶ

**7** を押す

・1枚目の画像が選択されます。
・2枚目の画像を選択しないときは、カラースタート を押して手順9に進みます。

**8** で2枚目の画像を選び、を押す

・同じ画像を選ぶこともできます。

**9** ダイヤルボタンでプリント枚数（1～99）を入力する

・で枚数を選ぶこともできます。
・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

**10** を押す

・選択した画像データがプリントされます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

■ **ハガキをセットするときは**

下図のように、印刷面を裏向きにして、短い辺を本体に向け、ハガキの上が奥になるようにセットしてください。

※画像を印刷する面を裏向きに

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に（一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に（サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

**お知らせ**

- ●写真ハガキプリントでは、プリント設定メニューで「用紙種別」「画質」「フチあり／なし設定」以外の項目を変更することはできません。
- ●画像を回転することはできないため、縦向きで撮影した写真は横向きにプリントされます。

## 2in1プリントを使う（A4サイズのみ）

1枚の用紙に、指定した画像を2点ずつプリントすることができます。

A4サイズの用紙をセットします。

**1 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ**

**2 を押す**

・最新の画像が表示されます。

**3 （いろいろフォトプリント）を押す**

**4 で「バラエティープリント」を選び、を押す**

**5 で「2in1プリント」を選び、を押す**

**6 でプリントしたい画像を選んで、ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する（プリントするすべての画像に行う）**

・選択されている画像に が付きます。

・ で枚数を選ぶこともできます。

**7 を押す**

・現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

**8 を押す**

・選択した画像データがプリントされます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。
**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

■ **画像をすべて選択してプリントするには**

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で「全画像選択」を選ぶ

③ を押す

④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは で指定する

⑤ を押す

**お知らせ**

●2in1プリントでは、「用紙種別」、「画質」以外の項目を変更することはできません。

●画像を回転することはできないため、縦向きで撮影した写真は横向きに印刷されます。

# ケータイリンク機能を使う

## ケータイリンク機能とは

ケータイリンク機能とは、お手持ちのメモリーカードや赤外線通信（IrSimple™/IrSS™/IrDA®規格対応）を使って、本機と携帯電話の間で画像などをやりとりできる機能です。下記の機能を利用できます。

- ● 本機でスキャンしたデータを、メモリーカードにPDF形式で保存する（☞160ページ）
- ● 本機でスキャンしたデータを、携帯電話の待受画像としてメモリーカードに保存する（☞162ページ）
- ● メモリーカードの画像を本機でプリントする（☞164ページ）
- ● メモリーカードの電話帳データを本機に取り込む（☞165ページ）
- ● 赤外線ポートを使用して、携帯電話の画像を本機でプリントする（☞166ページ）
- ● 赤外線ポートを使用して、携帯電話の電話帳データを本機に取り込む（☞167ページ）

本機は高速赤外線通信（IrSimple™/IrSS™規格）に対応しており、対応の携帯電話やデジタルカメラから高速に通信することが可能です。

ただし、携帯電話のメーカーや機種ごとに、利用できる機能には制限があります（2007年9月現在）。

| | PDF保存 | 待受画像保存 | 画像のプリント | 電話帳取り込み |
|---|---|---|---|---|
| NTTドコモ | ○※ | ○ | ○ | ○ |
| SoftBank（旧Vodafone） | × | ○ | ○ | ○ |
| au | × | ○ | ○ | ○ |

※901iSシリーズ以降のPDF対応ビューアを搭載した機種
詳しくは、当社ホームページ（http://www.sharp.co.jp/mirakuru/）をご覧ください。

**お知らせ**

- ●miniSD カード、microSD カードをお使いの際は、専用のアダプタをお使いください。
- ●ケータイリンク機能を使用すると、パソコン側からメモリーカードが見えなくなります。こんなときは、いったんメモリーカードを本機から抜き取ってもう一度挿入してください。
- ●IrSimple™、IrSS™はInfrared Data Associationの商標です。
  本製品の赤外線通信機能はIrSimple™1.0規格に準拠しています。
  IrSS™機能とは、IrSimple™1.0規格準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）を表します。
  本製品の通信機能はすべての通信に対応するものではありません。相手機器やファイルによっては受信できないものもあります。

## スキャンデータを保存する

本機にセットした原稿をスキャンして、メモリーカードにPDF形式のデータとして保存することができます。下記の制限や条件がありますので、ご使用の前にお読みください。

- 読み取り原稿サイズ：A4サイズのみ
- 保存先：PRIVATE￥DOCOMO￥DOCUMENT￥PUD001、または
  MOBILE￥DOCOMO￥DOCUMENT￥PUD001
  （PRIVATE￥DOCOMO、またはMOBILE￥DOCOMO までのフォルダは携帯電話側で作成していただく必要があります）
- 保存ファイル名：PDFDCxxx.PDF（xxxには、保存した順に001～999の数字が入ります）

**1** メモリーカードを取り付ける（☞142ページ）

**2** 原稿をセットする（☞111ページ）

**3** 待受画面で を押し、「ケータイリンク」を選ぶ

**4** を押し、 で「PDF保存」を選ぶ

**5** を押す

**6** 現在のPDF保存設定を確認する

- このとき、メモリーカードを抜かないでください。
- （設定変更）を押すと、「画質」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」、「PDF回転」の設定を変更することができます。
  で項目を選び、 を押して設定します。設定が終わったら、（設定完了）を押してください。設定項目の内容については、「PDF保存の設定項目について」（☞161ページ）をご覧ください。
- 設定を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

そのままスキャンするとき

**7**  を押す



↓

原稿台使用時は読み取りが終了したら

を押す

- UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのときは、メモリーカードにデータが保存されます。
- 原稿台使用時に、続けて原稿を読み込むときは、モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンを押します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
- 「ファイル形式」を「PDF」に設定している場合に複数の原稿を読み込むときは、（設定変更）を押すと、1枚ごとに「PDF回転」の設定を変更することができます。ただし、UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをご使用の場合は、設定を変更することはできません。
- カラースタートは、JPEG、PDF形式のファイルに対応しています。モノクロスタートは、TIFF、PDF形式のファイルに対応しています。

次ページへ→

→つづき

**見てからスキャンでスキャンするとき**

UX-MF80CL/UX-MF80CW をお使いの場合は、**ADF使用時は、見てからスキャンは使用できません。**

**6 見てからスキャンをご利用のときは、（見てから）を押す**

・見てからスキャンの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

**7 モノクロスタート または カラースタート を押す**

・スキャンが始まります。終了すると、スキャンデータがディスプレイに表示されます。

**8 ディスプレイでスキャンデータを確認し、確認が終わったら、（決定）を押す**

・ でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。
・続けてスキャンするときは、原稿を新しくセットしてから  または カラースタート を押してください。

**9 原稿台使用時は、**

**を押す**

・メモリーカードにデータが保存されます。

## ■ PDF保存の設定項目について

PDF保存する前に、「画質」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」、「PDF回転」の4項目を変更することができます。

| |
|---|
| **画質**<br>「150dpi」、「300dpi」、「600dpi」のいずれかに設定できます。<br>数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。 |
| **原稿種類**<br>「文字」または「写真」のいずれかに設定できます。<br>原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。 |
| **カラー圧縮率（カラー読み込み時のみ）**<br>「高い」、「標準」、「低い」のいずれかに設定できます。<br>圧縮率が低いほど画質は高く、データサイズは大きくなります。 |
| **PDF回転**<br>「回転なし」、「右90゜回転」、「左90゜回転」「右180゜回転」のいずれかに設定できます。 |

**お知らせ**

●メモリーカードに「PDFDC999.PDF」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。
●本機ではデータの削除はできませんので、携帯電話等で消去してください。
●データを回転させたときは、回転した状態で保存されます。

## スキャンデータを待受画像として保存する

本機にセットした原稿をスキャンして、メモリーカードに携帯電話の待受画像（JPEG形式）として保存することができます。
下記の制限や条件がありますので、ご使用の前にお読みください。

- 読み取り原稿サイズ：Ｌ判（ADF使用時は不可）またはA4サイズ
- 読み取り枚数：１枚のみ
- 解像度：150dpi
- 保存データサイズ：
  **Ｌ判：**横240dot×縦320dot
  **A4：**横830dot×縦1203dot
- カラー／モノクロの選択：カラーのみ（携帯電話側の条件により、表示できない場合があります）
- 保存先：（保存先のフォルダがない場合は、この機能は使えません。このフォルダは携帯電話側で作成していただく必要があります）
  **NTTドコモ**：PRIVATE￥DOCOMO￥STILLまたは、MOBILE￥DOCOMO￥STILL
  **SoftBank（3G）**：PRIVATE￥VODAFONE￥My Items￥Pictures、
  PRIVATE￥MYFOLDER￥My Items￥Pictures、
  または、MOBILE￥ VODAFONE￥My Items￥Pictures
  **SoftBank（PDC）**：PRIVATE￥SDJPHONE￥ﾃﾞｰﾀﾌｫﾙﾀﾞ￥ﾋﾟｸﾁｬｰ
  **au**：PRIVATE￥AU_INOUT￥または、MOBILE￥AU_INOUT
- 保存ファイル名：
  **NTTドコモ**：STILxxxx.JPG（xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）
  **SoftBank・au**：SCANxxxx.JPG（xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）
  （携帯電話の操作で、フォルダを作成していただく必要があります）

**1** **メモリーカードを取り付ける**
**（☞142ページ）**

**2** **原稿をセットする（☞111ページ）**

**3** **待受画面で ◆ を押し、「ケータイリンク」を選ぶ**

**4** **◆ を押し、◆ で「待受画像保存」を選ぶ**

**5** **◆ を押し、原稿の設定を確認する**

- はじめは「Ｌ判」に設定されています。「A4」に変更するときは、（設定変更）◆ の順に押し、◆ で「A4」を選んで ◆ を押します。設定が終わったら、（設定完了）を押してください。
- 設定を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

**そのままスキャンするとき**

**6**  **を押す**

↓

原稿台使用時は読み取りが終了したら
◆ **を押す**

- メモリーカードにデータが保存されます。
- UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのときは、メモリーカードにデータが保存されます。
- 原稿台使用時に、続けて原稿を読み込むときは、くり返しカラースタートボタンを押してください。

→つづき

**見てからスキャンでスキャンするとき**

UX-MF80CL/UX-MF80CW をお使いの場合は、**ADF使用時は、見てからスキャンは使用できません。**

**6** **見てからスキャンをご利用のときは、（見てから）を押す**

・見てからスキャンの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

**7** **モノクロスタート または カラースタート を押す**

・スキャンが始まります。終了すると、スキャンデータがディスプレイに表示されます。

**8** **ディスプレイでスキャンデータを確認し、確認が終わったら、（決定）を押す**

・　でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。
・続けて原稿を読み込むときは、原稿を新しくセットしてから  を押してください。

**9** 原稿台使用時は、

**を押す**

・メモリーカードにデータが保存されます。

■ **待受画像保存の設定項目について待受画像を保存する前に、「原稿サイズ」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」の3項目を変更することができます。**

| |
|---|
| **原稿サイズ**<br>「L判」または「A4」のいずれかに設定できます。 |
| **原稿種類**<br>「文字」または「写真」のいずれかに設定できます。 |
| **カラー圧縮率**<br>「高い」、「標準」、「低い」のいずれかに設定できます。圧縮率が低いほど画質は高く、データサイズは大きくなります。 |

**お知らせ**

●メモリーカードに「STIL9999.xxx」または「SCAN9999.xxx」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。
●データを回転させても、回転前の状態で保存されます。

## メモリーカードの画像をプリントする

携帯電話からメモリーカードに保存された画像（JPEG形式）を、本機から選択してプリントできます。

**1** **メモリーカードを取り付ける**
**（☞142ページ）**

**2** **待受画面で を押し、**
**「ケータイリンク」を選ぶ**

**3** **を押し、**
**で「フォトプリント」を選ぶ**

**4** **を押す**

**5** **でプリントしたい画像を選び、**
**ダイヤルボタンで枚数（1～99）を入力する**

- 選択されている画像に ✔ が付きます。
- で枚数を選ぶこともできます。
- プリントするすべての画像について、上記の操作を行います。

**6** **を押す**

- 現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（☞151～152ページ）。

**7** **を押す**

- 選択した画像データがプリントされます。

**■ 途中でやめるときは**

停止 または （プリント中止）を押します。

**■ 1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**■ 画像の表示方法を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（拡大表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

**■ 画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、 を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

**■ 画像をすべて選択してプリントするには**

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で「全画像選択」を選ぶ

③ を押す

④ すべての画像のプリント枚数（1～99）をダイヤルボタンまたは で入力する
ただし、セットできるフォト用紙や光沢紙の最大枚数は30枚です。

⑤ を押す

## メモリーカードの電話帳を取り込む

携帯電話からメモリーカードに保存された電話帳データ（vCARD形式）を、本機に取り込むことができます。miniSDカードのご利用時は、専用のアダプタが必要です。

**1** メモリーカードを取り付ける
（☞142ページ）

**2** 待受画面で を押し、「ケータイリンク」を選ぶ

**3** を押し、で「電話帳取り込み」を選ぶ

**4** を押し、で取り込みたいデータを選ぶ

**5** を押し、登録する内容を確認する

**6** （登録）を押す

- メモリーカードから親機へ電話帳データが取り込まれます。
- 電話帳データは1件ずつ取り込みます。続けて取り込むときは、手順4～6をくり返します。

### ■ 1つの電話帳データに複数の相手先が保存されているときは

一覧にファイル名が表示されます。選んで を押すと、その電話帳データの中に保存されている相手先がすべて表示されます。手順４～６の操作で登録することができます。

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

- 絵文字や特殊文字は親機には取り込めません（スペースに置きかわります）。
- 親機の電話帳にない項目を取り込むことはできません。
- 電話帳には200件まで登録できます。
- 読みの項目がないデータを取り込むことはできません。
- 携帯番号とメールアドレスの両方ともないデータを取り込むことはできません。
- 電話番号やメールアドレスが複数保存されていても、取り込むことができるのは、それぞれの先頭の１件のみになります。
- メモリーカードに保有されている電話帳データは、200件までしか読み込めません。200件以上データがあるときは、必要ないデータをメモリーカードから消去してください。

## 赤外線で受信した画像をプリントする（見てからフォトプリント）

**1** **プリント用紙をセットする**
**（☞42〜43ページ）**

（☞42〜43ページ）

**2** 赤外線受信 **を押す**

・「赤外線受信待ち中」と表示され、受信待ち状態になります。

**3** 携帯電話側で
**プリントしたい画像を選び、**
**赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けながら、赤外線送信する**

・赤外線送信の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**4** 送信が完了すると本機のディスプレイに画像が表示されるので、
**（プリント）を押す**

・（戻る）を押すと、「赤外線受信待ち」に戻ります。
・プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します(☞151〜152ページ)。
ただし日付印刷は設定できません。

### ■ 途中でやめるときは

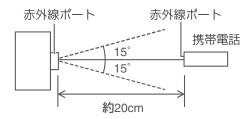
停止 を押します。送信が中断されるので、もう一度手順3以降の操作をしてください。
もしくは携帯電話側で送信を中断してください。

### ■ 画像のサイズについて

赤外線を利用して本機で扱える画像サイズは、以下のとおりです。

・縦長の画像のとき
縦 4096ドット × 横 3072ドット以下
・横長の画像のとき
縦 3072ドット × 横 4096ドット以下

また、ファイルサイズが3MBを超える画像は受信することができません。

### ■ 赤外線の送受信範囲について

赤外線の受信範囲は、上下左右15°以内で、約20cm以内の距離です（送受信できる距離は周囲の環境により変わることがあります）。

## 携帯電話の電話帳を赤外線で転送する

**1** 赤外線受信 **を押す**

・「赤外線受信待ち中」と表示され、受信待ち状態になります。

**2** 携帯電話側で
**送信したい電話帳を選び、赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けながら、赤外線送信する**

・赤外線送信の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
・電話帳は1件ずつ送信します。複数の転送には対応していません。

**3** 「詳細表示」が表示されたら
**（登録）を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

# スキャンの機能を使う

本機のスキャン機能で読み取ったデータを、パソコンなどに送ることができます。

- 本機でスキャンしたデータをパソコンに送る（USB接続時 ☞下記／LAN接続時 ☞169ページ）
- 本機でスキャンしたデータをメモリーカードに送る（☞171ページ）
- 本機でスキャンしたデータを電子メールで送る（LAN接続時のみ）（☞173～175ページ）

## 読み取ったデータをパソコンに送る（スキャン to PC）（USB接続時）

本機で読み取ったデータを、USB接続しているパソコンに送ることができます（スキャン to PC機能）。
あらかじめ、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧のうえ、パソコン側でスキャナドライバの設定や、ボタンマネージャのインストールおよび設定をしておいてください。

**1** スキャンしたい原稿をセットする（☞111ページ）

**2** 待受画面で ◎ を押し､「スキャン」を選ぶ

**3** ◎ を押し、◎ で「ローカルPCへ送る」を選ぶ

**4** ◎ を押し、◎ でスキャン設定を選ぶ

**5** ◎ を押す

・パソコン側で設定していない項目を選んだときは動作しません。
・TWAIN 対応のアプリケーションを登録した設定を選んだときは、アプリケーションが起動し、さらに ◎ を押すと読み取りが始まります。ただし、ボタンマネージャをインストールしている場合は、もう一度 ◎ を押さなくても、読み取りが始まります。
・「スキャナとカメラウィザード」を登録した設定を選んだときは、パソコン側から「スキャナとカメラウィザード」が起動しますので、パソコン側で読み取りを開始してください。

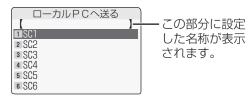
■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **スキャン項目に名称を設定するときは**

「SC1」～「SC6」の各スキャン項目に、任意の名称を設定することができます。対応するアプリケーション名などに設定しておくと便利です。
① スキャン設定を選ぶ手順（☞左記手順4）で（名称変更）を押す
② ◎ で「登録」を選び、◎ を押す
③ ダイヤルボタンで名称を入力する（☞88～91ページ）
最大全角８文字まで入力できます。
④ ◎ を押す

また、設定した名称を消去するときは、下記の操作で消去します。
① スキャン項目を選ぶ手順（☞左記手順4）で（名称変更）を押す
② ◎ で「消去」を選び、◎ を押す
③ ◎ で「する」を選び、◎ を押す

## 読み取ったデータをパソコンに送る（スキャン to PC機能）（LAN接続時）

本機で読み取ったデータを、ネットワーク上のパソコンまたは指定のFTPサーバーへ送ることができます（スキャン to PC機能）。
あらかじめ、パソコンのWeb画面（デスクトップの「UXMFXX-XXXXXXXX-Web設定」※をクリックすると開きます）とネットワークツールで設定を確認しておいてください。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。
※XX-XXXXXXXXの部分は、製品ごとに異なります。

**1** スキャンしたい原稿をセットする
（☞111ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

**2** 待受画面で を押し、「スキャン」を選ぶ

**3** を押し、
で「ネットワークPCへ送る」を選ぶ

**4** を押し、 で接続先を選ぶ

・接続先がパソコンの場合は、パソコンでネットワークツールが起動している必要があります。

**5** を押し、設定を確認する

・（設定変更）を押すと、「ファイル形式」、「画質」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」、「PDF回転」の設定を変更することができます。
　で項目を選び、 を押して設定します。
　設定が終わったら、（設定完了）を押してください。
　設定項目の内容については、「スキャンの設定項目について」（☞175ページ）をご覧ください。
・設定を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

そのままスキャンするとき

**6** モノクロスタート または カラースタート を押す

↓

原稿台使用時は読み取りが終了したら
を押す
（「接続先」として選んだパソコンにデータが送られます）

・UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのときは、「接続先」として選んだパソコンにデータが送られます。
・原稿台使用時に、続けて原稿を読み込むときは、モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンを押します（１枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・「ファイル形式」を「PDF」に設定している場合に複数の原稿を読み込むときは、（設定変更）を押すと、１枚ごとに「PDF回転」の設定を変更することができます。ただし、UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをご使用の場合は、設定を変更することはできません。
・カラースタートは、JPEG、PDF形式のファイルに対応しています。モノクロスタートは、TIFF、PDF形式のファイルに対応しています。

次ページへ→

→つづき

見てからスキャンでスキャンするとき

UX-MF80CL/UX-MF80CW をお使いの場合は、**ADF使用時は、見てからスキャンは使用できません。**

**6** **見てからスキャンをご利用のときは、（見てから）を押す**

・見てからスキャンの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

**7** **モノクロスタート または カラースタート を押す**

・スキャンが始まります。終了すると、スキャンデータがディスプレイに表示されます。

**8** **ディスプレイでスキャンデータを確認し、確認が終わったら、（決定）を押す**

・でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。
・続けてスキャンするときは、原稿を新しくセットしてから モノクロスタート または カラースタート を押してください。

**9** 原稿台使用時は、**を押す**

・「接続先」として選んだパソコンにデータが送られます。

■ **FTPサーバーにデータを送るときは**

あらかじめ宛先を登録しておいてください。
登録のしかたについては、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」の「FTPリストページについて」をご覧ください。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●PDF形式のデータを回転させたときは、回転した状態でデータが送られます。それ以外の形式では、回転させても回転前の状態でデータが送られます。

# 読み取ったデータを外部メモリーに保存する

本機で読み取ったデータを、取り付けているメモリーカードやUSBメモリーに保存することができます。

- データの保存先：PRIVATE￥SHARP￥DOCUMENT
- 保存ファイル名：SCANxxxx.JPG/PDF/TIFF
  （xxxxには、保存した順に0001～9999の数字が入ります）

**1** 外部メモリーを取り付ける
（☞142～143ページ）

**2** スキャンしたい原稿をセットする
（☞111ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

**3** 待受画面で を押し､｢スキャン｣を選ぶ

**4** を押し、
で「外部メモリー」を選ぶ

**5** を押し、設定を確認する

・（設定変更）を押すと､｢ファイル形式｣､｢画質｣､｢原稿種類｣､｢カラー圧縮率｣､｢PDF回転｣の設定を変更することができます。
で項目を選び、 を押して設定します。設定が終わったら､（設定完了）を押してください。
設定項目の内容については､｢スキャンの設定項目について｣（☞175ページ）をご覧ください。

・設定を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

そのままスキャンするとき

**6**  または を押す

↓

原稿台使用時は読み取りが終了したら
を押す
（メモリーカードにデータが送られます）

・UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのときは、外部メモリーにデータが送られます。
・原稿台使用時に、続けて原稿を読み込むときは、モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンを押します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・「ファイル形式」を「PDF」に設定している場合に複数の原稿を読み込むときは、（設定変更）を押すと、1枚ごとに「PDF回転」の設定を変更することができます。ただし、UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをご使用の場合は、設定を変更することはできません。
・カラースタートは、JPEG、PDF形式のファイルに対応しています。モノクロスタートは、TIFF、PDF形式のファイルに対応しています。

次ページへ→

→つづき

見てからスキャンでスキャンするとき

UX-MF80CL/UX-MF80CW をお使いの場合は、**ADF使用時は、見てからスキャンは使用できません。**

**6** **見てからスキャンをご利用のときは、（見てから）を押す**

・見てからスキャンの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

**7** **モノクロスタート または カラースタート を押す**

・スキャンが始まります。終了すると、スキャンデータがディスプレイに表示されます。

**8** **ディスプレイでスキャンデータを確認し、確認が終わったら、（決定）を押す**

・ でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。
・続けてスキャンするときは、原稿を新しくセットしてから モノクロスタート または カラースタート を押してください。

**9** 原稿台使用時は、**を押す**

・外部メモリーにデータが保存されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

- 外部メモリーに「SCAN9999.xxx」ファイルが保存されている場合は、「外部メモリーにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。
- パソコンと本機をUSB接続で使用しているときにこの機能を使用すると、パソコンから外部メモリーが見えなくなります。こんなときは、いったん外部メモリーを本機から抜き取ってもう一度挿入してください。
- パソコンと本機をLAN接続で使用しているときにこの機能を使用すると、パソコンから外部メモリーの中は見えますが、ファイルが読み取り専用になります。この機能の使用が終わると、再びファイルが書き込み可能になります。
- PDF形式のデータを回転させたときは、回転した状態でデータが保存されます。それ以外の形式では回転させても回転前の状態でデータが保存されます。

## 読み取ったデータを電子メールで送る（スキャン to E-mail）（LAN接続時のみ）

本機で読み取ったデータを、電子メール（E-mail）で送ることができます（スキャン to E-mail機能）。
あらかじめ、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧のうえ「E-mail 設定ページについて」の設定をしておいてください。

### 1 スキャンしたい原稿をセットする（☞111ページ）

・一度に99枚まで読み取れます。

### 2 待受画面で を押し、「スキャン」を選ぶ

### 3 を押し、 で「E-mail送信」を選ぶ

### 4 を押し、宛先を指定する

・電話帳にメールアドレスを登録している相手の方が表示されますので、 で宛先を選び、 で選択します。複数の宛先を指定する場合は、同じ操作を繰り返してください。選択を完了するときは（宛先指定完了）を押します。
・電話帳にメールアドレスを登録している相手の方がいないときは、送信できません。

### 5 または （宛先指定完了）を押し、設定を確認する

・（設定変更）を押すと、「ファイル形式」、「画質」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」、「PDF回転」の設定を変更することができます。
 で項目を選び、 を押して設定します。設定が終わったら、（設定完了）を押してください。
設定項目の内容については、「スキャンの設定項目について」（☞175ページ）をご覧ください。
・設定を元に戻すときは、（初期値に戻す）を押します。

**そのままスキャンするとき**

### 6 モノクロスタート または カラースタート を押す

↓

原稿台使用時は読み取りが終了したら
**を押す、**
（「宛先」として選んだパソコンにデータが送られます）

・UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのときは、設定した宛先にデータが送られます。
・原稿台使用時に、続けて原稿を読み込むときは、モノクロスタートボタンまたはカラースタートボタンを押します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・「ファイル形式」を「PDF」に設定している場合に複数の原稿を読み込むときは、（設定変更）を押すと、1枚ごとに「PDF回転」の設定を変更することができます。ただし、UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをご使用の場合は、設定を変更することはできません。
・カラースタートは、JPEG、PDF形式のファイルに対応しています。モノクロスタートは、TIFF、PDF形式のファイルに対応しています。
・ファイル形式の設定が「JPEG（カラー）」のときは、読み取り後に、設定した宛先にデータが送られます。

次ページへ→

→つづき

**見てからスキャンでスキャンするとき**

UX-MF80CL/UX-MF80CW をお使いの場合は、**ADF使用時は、見てからスキャンは使用できません。**

**6** **見てからスキャンをご利用のときは、（見てから）を押す**

・見てからスキャンの設定になります。やめるときは、もう一度（見てから）を押してください。

**7** **モノクロスタート または カラースタート を押す**

・スキャンが始まります。終了すると、スキャンデータがディスプレイに表示されます。

**8** **ディスプレイでスキャンデータを確認し、確認が終わったら、（決定）を押す**

・ でデータの表示部分を上下左右に動かします。
・（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
・（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
・データがうまく読み取れなかったり、原稿を変えたりするときは、もう一度原稿をセットして（読み直す）を押してください。
・続けてスキャンするときは、原稿を新しくセットしてから モノクロスタート または カラースタート を押してください。

**9** 原稿台使用時は、 **を押す**

・設定した宛先にデータが送られます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●PDF形式のデータを回転させたときは、回転した状態でデータが送られます。それ以外の形式では、回転させても回転前の状態でデータが送られます。

■ 電話帳から宛先を検索してメールを送るときは

① 宛先を選ぶ操作（☞173ページの手順4）で、(サブメニュー）を押す
② を押す
③ 相手先の名前の「読み」を入力する
④ を押す
入力された「読み」に最も近い相手先が選択されます。
⑤ 目的の相手先が選ばれていないときは、で選ぶ
⑥ 173ページの手順5から操作する

■ スキャンの設定項目について

スキャンする前に、「ファイル形式」、「画質」、「原稿種類」、「カラー圧縮率」、「PDF回転」の5項目を変更することができます。

| ファイル形式 |
|---|
| 「PDF」、「JPEG（カラー）」、「TIFF（モノクロ）」のいずれかに設定できます。<br>カラーで読み取るときは「JPEG（カラー）」または「PDF」、モノクロで読み取るときは「PDF」または「TIFF（モノクロ）」に設定してください。 |
| **画質** |
| 「150dpi」、「300dpi」、「600dpi」のいずれかに設定できます。<br>数字が大きいほど画質は高く、データサイズは大きくなります。 |
| **原稿種類** |
| 「文字」または「写真」のいずれかに設定できます。<br>原稿の内容がおもに文字のときは「文字」に、写真などの画像が含まれているときは「写真」に設定してください。 |
| **カラー圧縮率(カラー送信時のみ)** |
| 「高い」、「標準」、「低い」のいずれかに設定できます。<br>圧縮率が低いほど画質は高く、データサイズは大きくなります。<br>ファイル形式が「TIFF（モノクロ）」のときは設定できません。<br>「PDF」でもモノクロスタートボタンを押したときは固定になります。 |
| **PDF回転** |
| 「回転なし」、「右90°回転」、「左90°回転」、「右180°回転」のいずれかに設定できます。<br>ファイル形式がPDF以外のときは、この設定は使用できません。 |

■ ファイル形式の違いについて

TIFF、PDF、JPEGの３種類です。それぞれ設定できる内容が違います。

| | カラー／モノクロ | 画質 | 原稿種類 | カラー圧縮率 | PDF回転 |
|---|---|---|---|---|---|
| TIFF | モノクロ | ○ | ○ | × | × |
| PDF | カラー／モノクロ | ○ | ○ | ○（カラー時のみ） | ○ |
| JPEG | カラー | ○ | ○ | ○ | × |

# 電子ファイルを使う

電子ファイルでは、スキャンした画像や受信したファクス、赤外線通信で受信した画像データを外部メモリーに保存して、本機で確認することができます。
また、電子ファイルで保存したデータをパソコンで確認することもできます（LAN接続時のみ）。

● データの保存先
スキャンデータ　　：PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥SCAN
受信ファクスデータ：PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥FAX
赤外線通信データ　：PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥PHOTO
※ パソコンなどでこのフォルダ内の編集・削除・名前の変更などをすると、本機で正しく動作しなくなります。

● 保存時に作成されるフォルダ名・ファイル名について

スキャンデータ

フォルダ名：「データを保存した日時」の名前で作成されます。1件ごとにフォルダが作成されます。
（例）　2007年9月14日午後3時45分50秒　→　「070914154550」フォルダ

ファイル名：上記フォルダ内に、「データを保存した日時」が含まれた名前で保存されます。
連続してスキャンされた場合は、連番として同フォルダに1件ずつ保存されます。
（例）　PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥SCAN￥070914154550￥ SCAN_070914154550_01.JPG

受信ファクスデータ

フォルダ名：「データを保存した日時」の名前で作成されます。1件ごとにフォルダが作成されます。
（例）　2007年9月14日午後3時45分50秒　→　「070914154550」フォルダ

ファイル名：上記フォルダ内に、「ファクスを受信した日時」が含まれた名前で保存されます。
連続してスキャンされた場合は、連番として同フォルダに1件ずつ保存されます。
（例）　受信した日時が、2007年9月14日午前9時23分11秒のとき
PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥FAX￥070914154550￥FAX_070914092311_01.JPG

赤外線通信データ

ファイル名：「データを保存した日時の名前」が含まれた名前で保存されます。
（例）　PRIVATE￥SHARP￥MIRAKURU￥PHOTO￥ PHOTO_070914154550.JPG

※ 本機の時刻設定を正しくしておくことをおすすめします。





## 電子ファイルにデータを保存する

電子ファイル機能で使用するデータを、スキャン機能やファクス、赤外線通信を使って保存することができます。スキャンデータやファクスデータはそれぞれ最大999件まで、赤外線通信データは最大999枚まで保存できます（外部メモリーの残量により、少なくなる場合があります）。

**1** 外部メモリーを取り付ける
（☞142～143ページ）

**2** 待受画面で ファイル を押す

**3** ✥ を押し、「ファイルする」を選ぶ

**4** ✥ を押す

次ページへ→

→つづき

**スキャンデータから保存するとき**

**5** を押し、「スキャナから」を選ぶ

↓

を押す

↓

「読み取ったデータを外部メモリーに保存する」（☞171ページ）の手順5～8を行う

・ファイル形式を変更することはできません。

**受信ファクスデータから保存するとき**

**5** を押し、「受信FAXから」を選ぶ

↓

を押す

↓

で保存したいファクスを選ぶ

・ を押すと、受信ファクスの内容が確認できます。

↓

（ファイル）を押す

**赤外線通信データから保存するとき**

**5** を押し、「赤外線通信から」を選ぶ

↓

を押す

↓

携帯電話側で

外部メモリーに保存したい画像を選び、赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けながら、赤外線送信する

↓

を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●モノクロの受信ファクスデータを電子ファイルで保存すると、JPEGファイルで保存されるため、元のデータと画質が変わることがあります。

## 本機で電子ファイルのデータをプリントまたは確認する

電子ファイル機能で使用するデータを、本機のディスプレイで確認することができます。

**1** 外部メモリーを取り付ける

（☞142～143ページ）

**2** 待受画面で ファイル を押す

**3** を押し、「ファイルを見る」を選ぶ

**4** を押す

**スキャンデータからプリントまたは確認するとき**

**5** を押し、「スキャナから」を選ぶ

↓

を押す

↓

外部メモリーに保存されたスキャンデータが表示される

**受信ファクスデータからプリントまたは確認するとき**

**5** を押し、「受信FAXから」を選ぶ

↓

を押す

↓

外部メモリーに保存された受信ファクスデータが表示される

次ページへ→

→つづき

**赤外線通信データからプリントまたは確認するとき**

## 5 を押し、「赤外線通信から」を選ぶ

↓

を押す

↓

外部メモリーに保存された赤外線通信のデータが表示される

## 6 データの一覧が表示されたら、プリントまたは確認したい画像を選ぶ

- スキャンデータや受信ファクスデータは、ページ数が複数の場合は、1ページ目の画像が一覧に表示されます。
- 一覧表示される画像の順番は、保存した日付の新しい順になります。
- 1 ページが A4 サイズより長いスキャンデータや受信ファクスデータがある場合は、A4サイズまでしか表示されません。ただし、プリントは行うことができます。

**データをプリントするとき**

## 7 （プリント）を押す

- 現在のプリント設定が表示されます。プリントの設定を変更するときは、（設定変更）を押して、プリント設定メニューを表示します（スキャンデータ ☞135ページ、受信ファクスデータ ☞135ページ、赤外線通信データ ☞151～152ページ）。
- スキャンデータの「画質」は、「ふつう」「はやい」のほかに「きれい」（高画質でプリントするとき）が選べます。

## 8 を押す

- 印刷が開始されます。

**データを確認するとき**

## 7 を押す

## 8 ディスプレイでデータを確認する

- （ボタン切替）→（倍率切替）で、データ表示部分の倍率を切り替えます。押すたびに表示倍率が切り替わります（7段階）。
- （ボタン切替）→（回転）で、データ表示部分を回転させます。押すたびに表示部分が右回りに90度ずつ回転します。
- （プリント）を押すと、表示中の画像を印刷できます。

## 9 確認が終わったら、停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。プリント開始後は （プリント中止）でも中止します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

■ **画像の表示を切り替えるには**

画像表示中に （一覧表示）／（標準表示）のいずれかを押すと、押したボタンの表示方法に切り替わります。

■ **画像を指定して表示させるには**

保存されている画像の位置を指定して、その画像を表示させることができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で選ぶ

**先頭へ移動／末尾へ移動：**
保存されている画像のうち、先頭または末尾のものを表示します。

**指定位置へ移動：**
ダイヤルボタンで入力した位置の画像を表示します。

③「指定位置へ移動」を選んだときは、 を押したあとダイヤルボタン、または で移動する位置を指定する

④ を押す

■ **選択した画像を消去するには**

選択されている画像を、消去することができます。

① 画像の表示中に （サブメニュー）を押す

② で「消去」を選ぶ

③ を押す

④ （消去）を押す

**お知らせ**

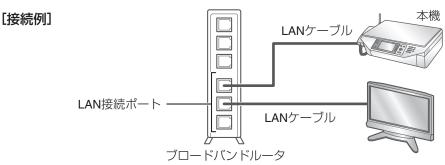
●電子ファイルのデータはパソコンで確認したり、プリントしたりすることができます。詳しくは付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」をご覧ください。

●電子ファイルのデータは、フォトプリント機能（☞141～158ページ）で確認、プリントすることはできません。

●受信ファクスデータをプリントするとき、「縮小受信」（☞270ページ）が「あり」に設定されていれば、自動的に縮小してプリントされます。

# TVでフォト機能を使う

携帯電話やデジタルカメラで撮影した写真がWebブラウザを搭載したテレビで見られます。また、気に入った写真はプリントすることができます。
テレビとLAN接続されている必要があります。61ページの接続例を参考に、テレビと本機をLAN接続してください。

［接続例］

## TVでフォトを使用する

画像データをプリントするときは、あらかじめ用紙の種類などを設定しておきます（プリントの設定を変更するときは ☞182ページ）。

**1** 本機に外部メモリーを取り付ける（☞142～143ページ）

**2** （登録/機能）を押し、
で「パソコン関連設定」を選ぶ

登録/機能
5 プリンタメンテナンス
6 ダイヤルイン機能
7 各種プリント
8 FAX/録音設定
9 全消去メニュー
0 パソコン関連設定

**3** を押し、
で「TVでフォト情報表示」を選ぶ

**4** を押す

**5** インターネット対応テレビのWebブラウザを起動する

**6** Webブラウザに、手順4で確認したアドレスを入力する

・アドレスの入力には、入力履歴などを使うと便利です。入力履歴のアドレスには「http://」が付いていることがあります。手順4の画面の表示とは異なりますが、そのまま使えます。
・工場出荷時は、ネットワークの設定を自動で行う設定となっていますので、アドレスが変わることがあります。

次ページへ→

→つづき

**7** 外部メモリー内の画像データが一覧表示される

・アドレスの入力を間違えたときはエラーになりますので、正しく入力してください。
・一覧表示される画像の順番は、保存した日付の新しい順になります。
・表示される画像は、JPEG 形式の画像ファイルのみです。それ以外の形式のファイルは表示されません。JPEGファイルがない場合は、エラーが表示されます。
・サムネイル画像が含まれていないJPEG ファイルの場合は、「？」が表示されます。

データをプリントするとき

・プリントの設定（用紙の種類、用紙サイズなど）は、あらかじめ変更しておきます（☞182ページ）。

**5** プリントしたい画像を、一覧表示から選びチェックボックスをクリックしてチェックする

・プリントしたい画像は、複数チェックして、まとめてプリントすることもできます。

**6** 「印刷」ボタンを押す

・選択した画像がプリントされます。

**7** 印刷が終わったら、ブラウザを閉じて終了する

データを確認するとき

**5** 確認したい画像を、一覧表示から選び、クリックする

FLOWER.JPG, 2007/07/27 11:22:20, 294x386ﾋﾟｸｾﾙ, 577KB
一覧に戻る

・この画面で「印刷」ボタンを押すと、拡大表示された画像だけ印刷することができます。

**6** 確認が終わったら、ブラウザを閉じて終了する

■ アドレスを入力しても「TVでフォト」が表示されないときは

「外部メモリーアクセス設定」を「ネットワーク接続PCのみ許可」に設定してください（☞67ページ）。

■ プリントの設定を変更するときは

かんたんフォトプリントの設定を変更します。

① 待受画面で を押し、「フォトプリント」を選ぶ
② を押す
③ （設定変更）を押す
④ 現在の設定が表示されるので、 （設定変更）を押す
⑤ 設定を変更する（☞151～152ページ）
⑥ 設定の変更が終わったら、（設定完了）を押す
⑦ 停止 を押す

**お知らせ**

●本商品で扱える画像サイズは次のとおりです。
縦長の画像のとき：
最大：縦4096ドット×横3072ドット
最小：縦32ドット×横32ドット
横長の画像のとき：
最大：縦3072ドット×横4096ドット
最小：縦32ドット×横32ドット
また、ファイルサイズが6MBを超える画像は表示されません。
●DCF 規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記のサイズ以外の画像、正しく表示されない画像は、印刷できません。
●画像の表示中や印刷中に、メモリーカードやUSBメモリーを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

# 子機のモーニングコールを利用する

子機で、モーニングコールを設定することができます。設定時刻になると、「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴ってお知らせします（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します）。

## モーニングコールを設定する

**1** を押し、
で「アラームセッテイ」を選ぶ

チャクシンナリワケ
▶アラームセッテイ

**2** を押し、
で「アラームジコク」を選ぶ

▶アラームジ゛コク
セッテイ

**3** を押す

**4** アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

・すでに設定している時刻を変更するときは、で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

**5** を押す

・「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、マークが表示されます。

### ■ 途中でやめるときは

切 を押します。

### ■ 毎日モーニングコールをご利用になるときは

モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

## モーニングコールを解除する

**1** を押し、
で「アラームセッテイ」を選ぶ

チャクシンナリワケ
▶アラームセッテイ

**2** を押し、で「セッテイ」を選ぶ

アラームジ゛コク
▶セッテイ

**3** を押し、で「カイジョ」を選ぶ

**4** を押す

・「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、マークが消えます。

### ■ モーニングコールの音を途中で止めるときは

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器から取り上げても止まります）。このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

**お知らせ**

●子機の時計を設定（☞47ページ）していないときは、モーニングコールの設定はできません。
●子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、モーニングコールを設定してください。
●アラーム音は、子機で設定した着信音量と同じ大きさで鳴ります。「キリ」に設定しているときは「ショウ」の大きさで鳴ります。

# 親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは で選びます。

工場出荷時は に設定されています。

## FAX／録音メモリー選択

| | |
|---|---|
| はたらき | 受信ファクスおよび録音データを本体のメモリーに保存するか、お客様の用意されたメモリーカードやUSBメモリーに保存するかを設定します。<br>・**本体メモリー**　受信ファクスおよび録音データを本体のメモリーに保存します。<br>・**外部メモリー**　受信ファクスおよび録音データをメモリーカードやUSBメモリーに保存します。<br>●本機とパソコンをUSBで接続している場合に、メモリーカードに保存するように設定したときは、パソコン側からメモリーカードを見ることはできません。<br>●本機とパソコンをLANで接続している場合は、パソコン側からメモリーカード内のファイルを書き込むことができません（読み取り専用になります）。<br>●外部メモリーにするには、メモリーカードを挿入してから、設定を行ってください。<br>●外部メモリーに設定した状態で、メモリーカードを取り外すと、本体メモリーに保存する設定に変更されます。<br>●外部メモリーでは、ファクス受信メモリーは PRIVATE¥SHARP¥FAXフォルダ内に、録音メモリーは PRIVATE¥SHARP¥RECフォルダ内に、それぞれ保存されます。パソコンでこのフォルダのデータの削除・編集や追加などを行うと、本機で正しく動作しなくなります。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→「**FAX/ 録音設定**」を選ぶ → → 「**FAX ／録音メモリー選択**」を選ぶ<br> <br>→ → 1：本体メモリー　2：外部メモリー　のどちらかを選ぶ → → 停止<br> |

・（登録/機能）→（FAX/録音メモリー選択）と順に押すことで、「FAX／録音メモリー選択」画面を表示することもできます。

## リストプリント画質

| | |
|---|---|
| はたらき | 「各種プリント」でプリントするときの画質を設定できます。<br>・**ふつう**　標準的な画質で印刷します。<br>・**はやい**　画質は落ちますが、「ふつう」より早く印刷します。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→「**各種プリント**」を選ぶ → → 「**リストプリント画質**」を選ぶ<br> <br>→ → 1：ふつう　2：はやい　のどちらかを選ぶ → → 停止<br> |

**■ 途中でやめるときは**

停止 を押します。

**■ 1つ前に戻るときは**

(戻る) を押します。

# 子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

## クイック通話

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。電話をかけるときは、この機能は働きません。<br>**・セッテイ**　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。<br>**・カイジョ**　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。 |
| 手順 | 子機で設定します<br>➡「**システムセッテイ**」を選ぶ ➡ ➡「**クイックツウワ**」を選ぶ ➡➡ ➡<br>「**カイジョ**」<br>「**セッテイ**」<br>のどちらかを選ぶ ➡ |

## キータッチ音

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。<br>**・セッテイ**　子機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。<br>**・カイジョ**　「ピッ」という音（キータッチトーン）は鳴りません。 |
| 手順 | 子機で設定します<br>➡「**システムセッテイ**」を選ぶ ➡ ➡「**キータッチトーン**」を選ぶ ➡➡ ➡<br>「**カイジョ**」<br>「**セッテイ**」<br>のどちらかを選ぶ ➡ |

## 液晶画面（LCD）コントラストの調整

| | |
|---|---|
| はたらき | 液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。 |
| 手順 | 子機で設定します<br>➡「**システムセッテイ**」を選ぶ ➡ ➡「**LCD コントラスト**」を選ぶ ➡➡ ➡<br> で調整する ➡ |

**■ 途中でやめるときは**

 を押します。

## 電波サポート

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。<br>ただし、連続通話時間が以下のようになります。<br>・ ジドウ（電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定）：約４～６時間<br>・ カイジョ：約６時間<br>・ セッテイ：約４時間 |
| 手順 | 子機で設定します<br>➡「**システムセッテイ**」を選ぶ ➡ ➡「**デンパサポート**」を選ぶ ➡ ➡ ➡ 「**ジドウ**」「**カイジョ**」「**セッテイ**」いずれかを選ぶ ➡ |

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

# 伝言メモを録音する

**FAX／録音メモリーが本体の場合：**
伝言メモは、1件につき最大約21分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大30件までです。

**FAX／録音メモリーが外部メモリーの場合：**
伝言メモは、１件につき最大約60分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大50件までです（録音時間は、お使いの外部メモリーにより異なります）。

**1** **受話器を取る**

**2** 今から録音 留守 **を押す**

**3** **受話器で伝言を録音する**

**4** 録音が終わったら

**を押し、**
**受話器を置く**

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

**■ 伝言メモを再生するには**

録音された伝言メモは、留守録メッセージと同じように未再生の録音として登録されます。

親機： 再生 ボタンを押す

子機： ① を押し、 で「ルスバンデンワ」を選ぶ

② を押し、 で「サイセイ」を選ぶ

③ を押す

**■ 再生中の操作について**（☞106ページ）

**■ 伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

**■ 録音したデータを外部メモリーに保存するには**

外部メモリーが本機に挿入されていることを確認してから、以下の操作を行ってください。

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「録音データの外部メモリー保存」を選ぶ

③ を押す

④ 保存が完了したことを確認し、  を押す

# 通話内容を録音する（今から録音）

通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモのかわりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができるので便利です。
録音できる件数は留守録等、他の録音と合わせて本体メモリーでは最大30件、外部メモリーでは最大50件までです。

## 親機で録音する

**1** 通話中に

 **を押す**

・録音が始まります。

**2** 録音が終わったら

停止 **を押す**

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。
・メモリーがいっぱいになると、自動的に終了します。

■ **通話中に録音内容を再生するときは（**☞190ページ**）**

■ **通話が終わったあとで録音内容を再生するときは（**☞106～108ページ**）**

■ **録音内容を消去するときは（**☞109ページ**）**

## 子機で録音する

**1** 通話中に

 **を押し、**

**で「イマカラロクオン」を選ぶ**

モトﾞッテ　ロクオン
▶イマカラ　ロクオン

**2** **を押す**

・録音が始まります。
・キータッチ音を 「セッテイ」に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

**3** 録音が終わったら

迷惑電話 **を押す**

・メモリーがいっぱいになると、エラー音が鳴って自動的に終了します。
・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

**お知らせ**

●すべての録音を合わせて最大約21分間録音できます（メモリー受信データがない場合）。
●外部メモリーの場合、通話録音は1件につき最大約60分間録音できます。
●内線通話（☞75～77ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
●ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
●１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、本体メモリーでは30件、外部メモリーでは50件録音できないこともあります。

# 通話内容を録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、約45秒前から「戻って録音」するまでの通話内容を、さかのぼって録音します。
しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、通話内容をさかのぼって録音することができます。また、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使い方もできます。
通話が終わったあとで再生することもできます。

## 親機で録音する

**1** 通話中に

**（迷惑電話）を押す**

**2** **で「戻って録音」を選ぶ**

**3** **を押す**

■ **親機で通話中に「戻って録音」を再生するときは**
**（☞190ページ）**

■ **通話終了後、親機で「戻って録音」を再生するときは**

再生 を押します（未再生録音の頭から再生します）。

■ **親機で「戻って録音」の内容を消すときは**

「戻って録音」を再生中に（消去）を2回押します。

■ **「戻って録音」の仕組みについて**

本機では、つねに通話内容を約45秒間、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。
一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、メモリーに保存し直すので消えません（「戻って録音」の内容を消去するには ☞上記）。

■ **「保存中です」とディスプレイに表示されているときは**

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、電話の着信以外の操作はできません。
また、このときの着信音は、他の着信音に設定していても親機は 「電話ベル音」になります。子機は鳴りません。

## 子機で録音する

**1** 通話中に

迷惑電話
 **を押し、**

**で「モドッテロクオン」を選ぶ**

▶ﾓﾄﾞｯﾃ ﾛｸｵﾝ
ｲﾏｶﾗ ﾛｸｵﾝ

**2** **を押す**

・キータッチ音を 「セッテイ」に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

■ **通話画面に戻るときは**

戻って録音を行う前に、 を押します（戻って録音を行うと、途中でやめることはできません）。

■ **子機で通話中に「戻って録音」を再生するときは**
**（☞190ページ）**

■ **通話終了後、子機で「戻って録音」を再生するときは**

① を押し、 で「ルスバンデンワ」を選ぶ
② を押し、 で「サイセイ」を選ぶ
③ を押す

■ **子機で「戻って録音」の内容を消すときは**

「戻って録音」を再生中に 0ﾜ を2回押します。

**お知らせ**

●内線通話（☞75～77ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。

# 録音した内容を通話中に再生する

留守番電話の内容や通話録音した内容を、通話中に再生することができます。

## 親機で再生する

**1** 通話中に

**［再生］を押す**

・通話中の再生では、未再生、再生済みに関わらず、最新の録音内容から再生されます。

**2 再生が終わると、下記の画面が表示されます**

聞き直す　　　　：［再生］
再生した録音消去：［消去］

・聞き直すときは ［再生］ を押してください。
・再生した録音を消去するときは、［ ］（消去）を2回押してください。
・終了するときは、［停止］ を押してください。

■ **再生を途中でやめるときは**

［停止］ を押します。

■ **再生中にできる操作について**
（☞106ページ）

■ **録音再生中の通話について（親機）**

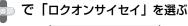
親機で通話中に録音した内容を再生したときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。

## 子機で再生する

**1** 通話中に

 **を押し、**

**［上下］で「ロクオンサイセイ」を選ぶ**

**2 ［決定］を押す**

・通話中の再生では、未再生、再生済みに関わらず、最新の録音内容から再生されます。

■ **再生を途中でやめるときは**

［通話］ を押します。

■ **再生中にできる操作について**
（☞108ページ）

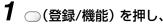
■ **録音再生中の通話について（子機）**

子機で通話中に録音した内容を再生したときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。

# 外出先から用件や伝言を聞く

外出先から録音されたメッセージを聞くなどの操作ができます（リモート操作）。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

## 暗証番号を登録する

**1** 
（登録/機能）を押し、
で「FAX/録音設定」を選ぶ

**2** を押し、 「留守録設定」を選ぶ

FAX/録音設定
1 ＦＡＸ設定
2 留守録設定
3 ＦＡＸ／録音ﾒﾓﾘｰ選択
4 録音ﾃﾞｰﾀの外部ﾒﾓﾘｰ保存
5 メモリー残量表示

**3** を押し、
で「留守録暗証番号」を選ぶ

**4** を押し、 で「登録」を選ぶ

**5** を押す

**6** ダイヤルボタンで
暗証番号を入れる（４ケタ）

・番号を押しまちがえたときは、（取消）を押して、もう一度入れ直します。

**7** を押す

**8** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。番号入力時は（取消）を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① （登録/機能）を押し、 で「FAX/録音設定」を選ぶ

② を押し、 で「留守録設定」を選ぶ

③ を押し、 で「留守録暗証番号」を選ぶ

④ を押し、 で「消去」を選ぶ

⑤ を押し、 で「する」を選ぶ

⑥ を押す

⑦ 停止 を押す

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

# 外出先からリモート操作する

**1** **自宅に電話をかける**

・ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください）。

**2** **応答メッセージが聞こえている間に**
**# を押す**

・# を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 # を押してください。

**3** **暗証番号（4ケタ）を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

**4** **# を押す**

**5** 音声メッセージを聞いたあと
**リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

（例）録音内容を聞くときは、1 # と押します。

**6** リモート操作が終わったら
**電話を切る**

■ リモート操作表

| 操作内容 | リモート操作番号 |
|---|---|
| 録音内容を聞くには | 1 # |
| 早聞きや遅聞きをするには | 再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）→（早聞きに戻る） |
| 今聞いている録音内容を聞き直すには | 再生中に 3 # |
| 今聞いている録音内容の１件前を聞くには | 再生中に 3 # 3 # |
| 次の録音内容を聞くには | 再生中に 4 # |
| 止めるには | 再生中に 5 # |
| 再生済みの録音内容を消すには | 停止中に 0 1 # |
| 録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません） | 停止中に 0 2 # |
| 留守を設定／解除するには | 停止中に 6 # |

■ 暗証番号を押すときは

●10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。192ページの手順3からやり直してください（2回まちがえると電話は切れます）。

●番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直してください（2回まちがえると電話は切れます）。

■ 録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

| 1件目 再生スミ | 2件目 未再生 | 3件目 未再生 | 4件目 再生スミ | 5件目 未再生 | 6件目 未再生 |
|---|---|---|---|---|---|

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

| 1件目 再生スミ | 2件目 未再生 | 3件目 未再生 | 4件目 再生スミ | 5件目 未再生 | 6件目 未再生 |
|---|---|---|---|---|---|

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音（再生されていない録音）があるときは、着信音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します(☞ 103ページ)。

■ トールセーバー機能の使いかた

着信音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。３回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

**お知らせ**

●外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」（☞ 293～294ページ）をご利用ください。

●暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

●操作は１分以内に行ってください（１分以上あけると電話が切れます）。

# 子機を増設する

## 増設できる子機について

### 増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
  UX-MF70CL／UX-MF80CLはあと３台まで、UX-MF70CW／UX-MF80CWはあと２台まで増設できます。
- 増設できる子機は、JD-KS17、JD-KS15、JD-KS25、JD-KS11、JD-KS21です（☞265ページ）。他の子機は増設できませんのでご注意ください（2008年3月現在）。
- **JD-KS17の機能は付属の子機と同等です。**
- 子機を増設する方法は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。また、操作ガイド（☞56ページ）から操作する方法もあります。
- 増設登録中は、電話を受けることを含むすべての操作を行うことができません。

●本機に増設した場合の機能比較

| | 機種名<br>機能名 | 付属の子機 | JD-KS17（付属の子機と同等） | JD-KS25 | JD-KS15 | JD-KS21 | JD-KS11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話機能 | 電話帳機能 | ○（100人×1番号） | ○（100人×1番号） | ○（100人×2番号） | ○（100人×1番号） | ○（100人×2番号） | ○（100人×1番号） |
| | 液晶表示※1 | カナ表示 | カナ表示 | 漢字表示 | カナ表示 | 漢字表示 | カナ表示 |
| | 電話帳転送（親機⇔子機） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 誰からコール | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| | 再ダイヤル | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） |
| | 優先呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | モーニングコール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 子機間通話 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 電波サポート機能 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 常に設定※2 |
| ナンバーディスプレイ関連 | 番号・名前表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 着信記録 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 着信鳴り分け | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | キャッチホン・ディスプレイ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ネーム･ディスプレイ | × | × | ○ | × | ○ | × |
| 設定関連 | 液晶バックライト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 受話音量切換 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 |
| | 時計転送機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×※3 |

※1：親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機で漢字を入力することができません。
※2：JD-KS11を増設すると、電波サポートが常に設定されます。このため、連続通話時間は約4時間になります。
※3：JD-KS11 を増設してお使いの場合は、JD-KS11 の時計設定で時刻の設定をしないか、本体の時計バックアップを [使用しない] に設定してお使いください。

# プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

## 親機での操作

**1** 受話器を取り、各種サービスにダイヤルする

・受話器を置いたまま電話をかけるときは、オンフックボタンを押します。

**2** （トーン）を押す

・これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。
・このあと、アナウンスにしたがって操作します。

## 子機での操作

**1** 充電器から取って （通話）を押し、各種サービスにダイヤルする

・子機を置いたまま電話をかけるときは、オンフックボタンを押します。

**2** （トーン）を押す

・これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。
・このあと、アナウンスにしたがって操作します。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。

ダイヤル回線でご契約されている方でも、（トーン）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

**お知らせ**

●サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先にお問い合わせください。

# キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

## 親機での操作

**1** 通話中に着信音が聞こえたら

**を押す**

・キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

**2 相手の方とお話しする**

**3** もとの通話に戻るときはもう一度

**を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞215ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞273ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

## 子機での操作

**1** 通話中に着信音が聞こえたら

**を押す**

・キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

**2 相手の方とお話しする**

**3** もとの通話に戻るときはもう一度

**を押す**

**お知らせ**

●ファクス受信中に電話がかかってくると、用紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
●キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
●親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
●子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
●キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
●キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は働きません（戻って録音を除く）。
●キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます（☞217ページ）。

# 携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。
電源を入れたあとに設定していれば（☞29ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、下記の手順で設定してください。

**ひかり電話では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください（[使用しない]のままでお使いください）。**

携帯とくとくダイヤル機能を使えば、発信ごとのダイヤル操作や個別の電話帳に登録をしなくても、あらかじめ登録しておいた「事業者識別番号」を自動的につけて、携帯電話へ発信します。

**IP電話をご利用の方へ**

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線で発信する必要があります。
携帯電話に発信するときだけ自動的に一般回線にするときは、「IP電話利用」（☞274ページ）の設定を「あり」にしてください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

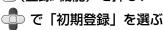
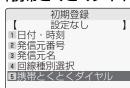
## 携帯とくとくダイヤル機能とは

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は、携帯とくとくダイヤル機能を、利用しない設定（「設定なし」）になっています。

**（例）「NTT東日本0036」を設定したとき**

**※携帯とくとくダイヤル設定マーク（ ）が親機ディスプレイに表示されます。**

## 携帯とくとくダイヤル機能を設定する

**1** （登録/機能）を押し、
で「初期登録」を選ぶ

**2** を押し、
で「携帯とくとくダイヤル」を選ぶ

**NTT東日本、NTT西日本のサービスをご利用の場合**

**3** を押し、 で
「NTT東日本0036」または
「NTT西日本0039」を選ぶ

・NTT東日本のサービスはNTT東日本サービス提供エリア内のみとなります。
・NTT西日本のサービスはNTT西日本サービス提供エリア内のみとなります。

**NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者をご利用の場合**

**3** を押し、 で「その他事業者」を選ぶ
↓
を押し、事業者識別番号を入れる（最大6ケタ）

事業者識別番号指定
事業者識別番号=

・最初の2桁に0を入力してください

■ **途中でやめるときは**
停止を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
（戻る）を押します。番号入力時は（取消）を押します。

■ **携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**
サービス業者を選ぶ手順（☞上記手順3）で「設定なし」を選び、 を押します。

**4** を押す

**5** 停止 を押す

・事業者番号が正しく設定されていないときなど、電話がかからないことがあります。
・携帯電話をお持ちの方は、設定したあと、携帯電話へ電話をかけてお確かめになることをおすすめします。

IP電話をお使いで、携帯電話へのダイヤルをIP電話ではなく携帯とくとくダイヤルでご利用になる場合は、「IP電話利用」（☞274ページ）の設定を「あり」にしてください。

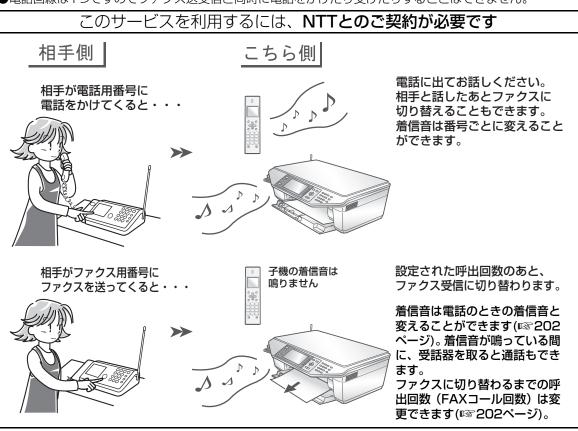
■ **一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

**お知らせ**
●ひかり電話をご利用の場合は、携帯とくとくダイヤル機能はご利用になれません。
●通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
●通話先·通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
●携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
●本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
●本サービスは、マイラインの対象になりません。
●他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

# 1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。
**ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用ください。**
●電話回線は1つですのでファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、**NTTとのご契約が必要です**

■ **設定される番号について**

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、最初の電話番号（契約者回線番号）を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号（ダイヤルイン追加番号）に設定することをおすすめします。また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

| 電話用番号 | 最初の番号（契約者回線番号） |
|---|---|
| ファクス用番号 | 追加された番号（ダイヤルイン追加番号） |

| 親機用番号 | 最初の番号（契約者回線番号） |
|---|---|
| 子機用番号 | 追加された番号（ダイヤルイン追加番号） |
| 2台目以降の子機番号 | どちらでも可 |

**お知らせ**

●「ダイヤルインサービス（PB方式）」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
●他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
●モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
●ホームテレホンや構内交換機をお使いの場合は、ご利用になれません。
●他のサービスとの併用については、NTT窓口へご確認ください。
●ISDN回線のときは、ターミナルアダプター（TA）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

# 1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）

[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
[ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）のご利用の手順]

**1** NTTと契約する（有料）
右記NTT窓口にお申し込みください。

**2** サービス開始の連絡を待つ

**3** 本機の設定をする（☞下記）
必ずサービスの開始後に行ってください

サービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
**116**（通話料金無料）
受付時間　午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

・ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用のときは、VoIPルータの設定も必要となります。詳しくはNTT窓口、もしくは116番へお問い合わせください。

## モデムダイヤルインサービスを設定する

**1** （登録/機能）を押し、
で「ダイヤルイン機能」を選ぶ

**2** を押し、
で「ダイヤルイン機能」を選ぶ

**3** を押し、
で「使用する」を選ぶ
・モデムダイヤルインを利用しないときは、「使用しない」を選びます。

**4** を押す
・選んだ項目に設定されます。

**5** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

■ 設定内容を表示するときは
① （登録/機能）を押し、 で「ダイヤルイン機能」を選ぶ
② を押し、 で「設定内容表示」を選ぶ
③ を押す

## モデムダイヤルインサービスで使用するダイヤルイン番号を登録する

必ずモデムダイヤルインサービスの設定を「使用する」に設定してください（☞200ページ）。

**1** （登録/機能）を押し、
で「ダイヤルイン機能」を選ぶ

**2** を押し、
で「番号登録」を選ぶ

**3** を押し、登録したい番号を選ぶ

・電話（TEL）1～5 ：電話番号
FAX ：ファクス専用番号

**4** 電話番号を登録するときは
を押し、で登録したい電話機の組み合わせを選ぶ

| 01 | 親機 | 07 | 子機1～4 |
|---|---|---|---|
| 02 | 子機1 | 08 | 親機、子機1 |
| 03 | 子機2 | 09 | 親機、子機2 |
| 04 | 子機3 | 10 | 親機、子機3 |
| 05 | 子機4 | 11 | 親機、子機4 |
| 06 | 親機、子機1～4 | | |

・手順3で「FAX」を選んだ場合は、この操作は必要ありません。

**5** を押し、ダイヤルイン番号を入れる

**6** を押す

**7** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
（戻る）を押します。

■ **設定内容を消去するには**
① （登録/機能）を押し、で「ダイヤルイン機能」を選ぶ
② を押し、で「番号クリア」を選ぶ
③ を押し、消去したい番号を選ぶ
④ を押し、で「する」を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 停止 を押す

■ **設定した内容を表示するには**
① （登録/機能）を押し、で「ダイヤルイン機能」を選ぶ
② を押し、で「設定内容表示」を選ぶ
③ を押す

**お知らせ**
- ダイヤルイン機能を設定したときは、着信時にどの電話番号（電話（TEL）1～5）に着信しているのかが表示されます。
- 電話（TEL）1～5に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードのFAX専用ではなく、ダイヤルインのFAXを設定することをおすすめします。
- ダイヤルイン番号を設定した子機を優先呼出（☞71ページ）にすると、設定したダイヤルイン番号に電話がかかってきたときのみ、優先呼出が働きます。
- 電話（TEL）1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。

## FAXコール回数を設定する

追加された番号が、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。
必ずモデムダイヤルインサービスの設定を「使用する」にしてください（☞200ページ）。

**1** （登録/機能）を押し、
で「ダイヤルイン機能」を選ぶ

**2** を押し、
で「FAXコール回数」を選ぶ

**3** を押し、コール回数を入れる
・0、2～6のいずれかに設定できます。

**4** を押す

**5** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

## 親機のダイヤルイン鳴り分けの設定をする

モデムダイヤルインサービスで追加した番号に電話がかかってきたとき、それぞれの番号専用の着信音を鳴らす設定ができます（ダイヤルイン鳴り分け）。
ただし、「誰からコール」（☞213ページ）との併用はできません。**ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を「使用しない」に設定してください。**

**1** （登録/機能）を押し、
で「ダイヤルイン機能」を選ぶ

**2** を押し、
で「ダイヤルイン着信音」を選ぶ

**3** を押し、設定したい番号を選ぶ
・TEL2～5：電話番号
FAX：　　ファクス専用番号
・201ページの手順3～4で、親機に割り振られた番号を選んでください。
・「TEL1」に登録した番号の着信音を変更したい場合は、「親機の着信音の種類を変える」で変更してください（☞49ページ）。

**4** を押し、 で着信音を選ぶ
・「電話ベル音」、「鳥の声」、「電子音」、「バッハのインベンション」、「ジュ・ト・ブ」、「シンフォニー 40番」「なし」のいずれかを選べます。
・ダイヤルイン鳴り分けを解除するときは、「なし」を選んでください。

**5** を押す

**6** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

**お知らせ**

●ナンバー・ディスプレイ（☞210ページ）を契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け（☞211ページ）と同時に設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

## 子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。

**1** を押し、

で「チャクシンナリワケ」を選ぶ

チャクシンネイロ
▶チャクシンナリワケ

**2** を押し、

で「ダイヤルインナリワケ」を選ぶ

ケンガ゛イナリワケ
▶ダ゛イヤルインナリワケ

**3** を押し、

で設定したい番号を選ぶ（TEL2〜5）

・201ページの手順3〜4で、割り振られた子機で設定してください。
・「TEL1」に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください（☞50ページ）。

**4** を押し、 で着信音を選ぶ

・鳴り分けできる着信音は、子機の着信音と同じです（☞50ページ）。

**5** を押す

■ **途中でやめるとき**は

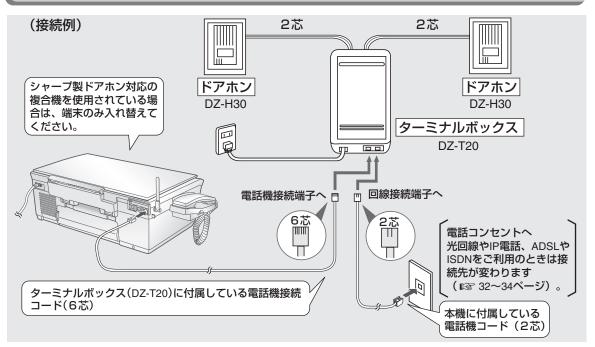
切 を押します。

**お知らせ**

●親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴り、登録した子機からは着信音は鳴りません。登録した子機に着信音を鳴らしたいときは、内線通話を終了してください。

# ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

## ドアホンをつなぐとき

■ 光回線やIP電話、ADSLやISDNをご利用のときは（☞32～34ページ）

■ DZ-T20またはDZ-T30と接続できるドアホン

現在お使いのドアホンが下記の機種の場合、ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30（テレビドアホン用）をお求めいただくとお使いいただけます。

| メーカー名 | 適合するドアホン（室外機の機種名）2008年10月現在 |
|---|---|
| シャープ | DZ-H20　DZ-H21　DZ-H22　DZ-H23　DZ-H30-T |
| アイホン | IF-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC PP-IF IE-JEX IE-5DY IE-NXUG IE-NXUB IE-NXUM IE-NXUY IE-NXUC |
| 岩通 | ドアホンN |
| ＮＴＴ | E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン |
| パイオニア | TF-DR2 |
| パナソニック | VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B |
| 富士通 | FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D |

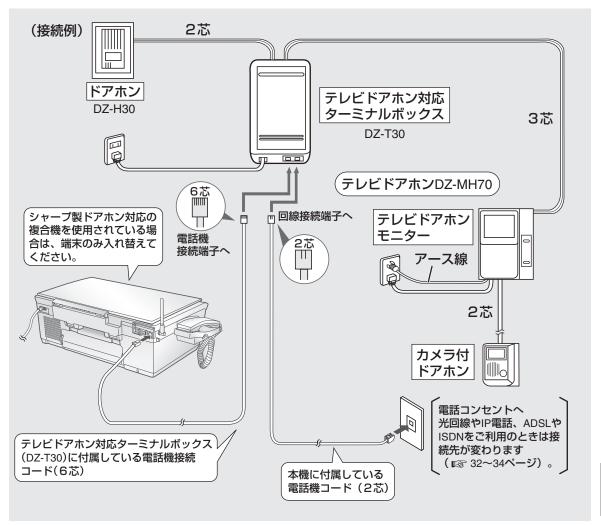
■ DZ-T40と接続できるドアホン

現在お使いのドアホンが下記の機種の場合、ターミナルボックスDZ-T40をお求めいただくとお使いいただけます。

| メーカー名 | 適合するドアホン（室外機の機種名）2008年10月現在 |
|---|---|
| シャープ | DZ-H30-T |
| アイホン | 【テレビドアホン】：KD-55　KD-66　JES-1A-T　JES-1AK-T　JES-1AE-T<br>【ドアホン】：IF-DA　IF-DAW　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-DAIE-NXUシリーズ |

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません。
※DZ-T40のドアホン1はカメラ付ドアホン専用です。カメラのないドアホンは接続できません。
　詳しくはDZ-T40の取扱説明書をご覧ください。

## カメラ付ドアホンをつなぐとき

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

■ 光回線やIP電話、ADSLやISDNをご利用のときは（☞32〜34ページ）

**お知らせ**

●カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
●カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

# ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

## 親機でドアホンと話す

**1** ドアホンの着信音が鳴ったら、
**受話器を取る**

**2** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

■ **ドアホンの着信音について**
ドアホン１とドアホン２の着信音は鳴り方が違います。

| 親機 | | |
|---|---|---|
| 親機 | ドアホン１ | ピン ポン |
| | ドアホン２ | ピン ポン ピン ポン |

■ **着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと**
10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

**お知らせ**

- ●親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ●ドアホン通話の保留はできません。
- ●留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ●ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても、通話はできません。
- ●子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
- ●ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ●ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ●ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。
- ●三者通話中は、ドアホンとの通話はできません。
- ●DZ-T40をお使いの場合、ドアホンモニターで応答しても、再び親機／子機の着信音が鳴ることがあります。このとき、ドアホンモニターで通話中だと、親機／子機で応答しても通話できません。ドアホンモニターの通話が終わっているときは、親機／子機で通話できます。

## 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

**1** 電話の着信音が聞こえたら
**受話器を戻す**

・受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。

**2** **受話器を取る**

・受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

## 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が聞こえたら20秒以内に
［内線/保留］ **を押す**

・通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

**2** 電話の相手の方との通話に戻るときは
［内線/保留］ **を押す**

・電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

## 親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が…
「ピンポン」と聞こえたときは
［1］ **を押す**
「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは
［2］ **を押す**

・［1］または［2］（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンと交互にお話しができます。

## 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が聞こえたら20秒以内に
**受話器を戻す**

・内線通話は切れます。

**2** **受話器を取る**

## 子機でドアホンと話す

**1** ドアホンの着信音が鳴ったら、
**充電器から取って**
通話 **を押す**

**2** 通話が終わったら
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

■ **ドアホンの着信音について**

ドアホン１とドアホン２の着信音は鳴り方が違います。

| 子機 | ドアホン１ | ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ |
|---|---|---|
| | ドアホン２ | ピロリロ　ピロリロ |

■ **着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと**

10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

**お知らせ**

●親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
●ドアホン通話の保留はできません。
●留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
●ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。
●子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
●ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
●ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
●ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。
●三者通話中は、ドアホンとの通話はできません。
●DZ-T40をお使いの場合、ドアホンモニターで応答しても、再び親機／子機の着信音が鳴ることがあります。このとき、ドアホンモニターで通話中だと、親機／子機で応答しても通話できません。ドアホンモニターの通話が終わっているときは、親機／子機で通話できます。

## 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

**1** 「ピピッ」という音が聞こえたら

切 **を押して、** 通話 **を押す**

- 切 を押すと、ドアホン通話が切れます。
- 通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

## 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が聞こえたら20秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

- 通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

**2** 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア 保留 **を２回押す**

- 電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

## 子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が…

「ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ」と聞こえたときは

1ア **を押す**

「ピロリロ ピロリロ」と聞こえたときは

2カ **を押す**

- 1ア または 2カ （またはキャッチボタン）を押すごとに、2台のドアホンと交互にお話しができます。

## 子機間で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの着信音が聞こえたら20秒以内に

切 **を押す**

- 内線通話は切れます。

**2** 通話 **を押す**

# ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。
親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を交互に表示します。
子機では電話帳に登録している名前を表示します。

このサービスをご利用の際は、利用契約が必要ですので、詳しくはNTTの窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。
ナンバー・ディスプレイの初期設定は「使用する」になっています。

## ナンバー・ディスプレイを利用設定する

設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

**1** （登録/機能）を押し、
＃を４回押す

**2** で「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

**3** を押し、
でいずれかの設定を選ぶ

・工場出荷時は「使用する」になっています。
・**ナンバー・ディスプレイを利用しないとき**は、「使用しない」を選びます。

**4** を押す

・選んだ項目に設定されます。

**5** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「使用しない」に設定してください。
●ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。

## 誰からコールを設定したときは

かかってきた相手の電話の種類にあわせ、音声でお知らせすることができます。電話帳に登録した相手からなら登録したお名前、非通知からなら非通知と読み上げます。

## 着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、着信の種類に合わせて着信音の鳴り方を変えてお知らせします（☞224〜225ページ）。ただし、誰からコール（☞213ページ）との併用はできません。

## 非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知（「184をダイヤル」または、「通常非通知」（回線ごと非通知））で、電話をかけてくると、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます（☞226〜227ページ）。

## 公衆電話お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます（☞226〜227ページ）。

## 表示圏外お断りを設定したときは

相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたとき、また、サービスの契約条件等により番号が表示できないとき（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます（☞226〜227ページ）。

## お断りする番号を登録したときは

あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます（☞228ページ）。

## 電話を受ける番号を登録したときは

あらかじめ登録した番号以外から電話がかかってきたとき、こちら側では着信音を鳴らさずに、お断りメッセージを流すことができます（☞229〜230ページ）。

## 迷惑電話をお断りしたときは

迷惑電話拒否機能を使って迷惑電話をお断りすると、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降同じ番号からの着信をお断りします（☞232〜233ページ）。お断りした番号が、非通知、公衆電話、表示圏外の場合は、約2時間同じ種別の着信をお断りします。

**お知らせ**

- ●ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信音の回数（☞102ページ）を２回以上に設定してください。
- ●ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- ●相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなることがあります。
- ●１本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。

## 電話がかかってきたときの画面表示について

| 表　示 | 着　信　情　報 |
|---|---|
| 親機　子機<br>「0387654321」など<br>（電話番号） | 相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します）。 |
| 親機<br>「池田 悟」など<br>（相手の方の名前）<br>子機<br>「イケダ サトシ」など<br>（相手の方の名前） | 親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、名前と電話番号を交互に表示します（子機では名前のみ）。親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。<br>**親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。** |
| 親機<br>「非通知」<br>子機<br>「ヒツウチ」 | 相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します）。 |
| 親機<br>「表示圏外」<br>子機<br>「ヒョウジケンガイ」 | 相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）。 |
| 親機<br>「公衆電話」<br>子機<br>「コウシュウデンワ」 | 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。<br>公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。 |
| 親機<br>「外線使用中」<br>子機<br>「チャクシン」 | 着信音が鳴る前に、NTT から相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。 |

## 電話をかけてきた相手を音声でお知らせする（誰からコール）

電話がかかってきたとき、親機の電話帳で登録した相手の名前や、非通知、公衆電話などの種類を、音声でお知らせします。最初は 「使用する」に設定されています。

| 聞こえてくる音声 | 着信情報 |
|---|---|
| 「お電話です」 | 電話帳に登録されている相手からの電話で、「読み」が音声で読み上げられない相手からの電話 |
| 「○○さんです」または「○○です」※1、※2 | 電話帳に登録されている相手の方からの電話 |
| 「非通知です」 | 相手の方が自分の番号を通知していない電話 |
| 「公衆です」 | 相手の方が公衆電話を使ってかけた電話 |
| 「圏外です」 | 相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけた電話 |
| 音声読み上げなし | ナンバー･ディスプレイを設定していないとき、または<br>電話帳に登録されていない相手からの電話 |

※1 親機の電話帳に登録されている名前を読み上げます。子機の電話帳にのみ登録されている名前は読み上げません。

※2 読み上げかたはおしゃべり電話帳と同じです。アクセントの位置を変更したいときは、87ページをご覧ください。

### 誰からコールを設定する

誰からコールの使用する／使用しないを設定することができます。最初は「使用する」に設定されています。

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「誰からコール」を選ぶ

**3** を押し、 で
「使用する」または「使用しない」を選ぶ

・ナンバー･ディスプレイを利用しないときは、「使用しない」を選びます。

**4** を押す

・誰からコールを「使用する」に設定すると、ディスプレイに 誰からコール と表示されます。ただし、着信音を鳴らさない設定にしているとき（☞49ページ）は、表示されません。

**5** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●誰からコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか読み上げられないことがあります。「親機の電話帳でかける」（☞97ページ）の手順1〜2の操作をして確かめてください。

●誰からコールの音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

●LAN 使用時は誰からコールの音声が少し聞きづらくなることがあります。LAN使用が終わると元に戻ります。

●誰からコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固定の着信音で鳴ります。

●誰からコールを使用しているときは、着信鳴り分けは使用できません。

●誰からコールを使用しているときは、ダイヤルイン鳴り分けは使用できません。ただし、ナンバー･ディスプレイを設定していないとき、または電話帳に登録されていない相手の方からの電話のときは、ダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。

●内線通話中やドアホン通話中での電話や、キャッチホンでは、誰からコールは働きません。

●コピー中やプリント中は誰からコールは働きません（通常の着信音が鳴ります）。コピーやプリントが終了すると、誰からコールが働きます。

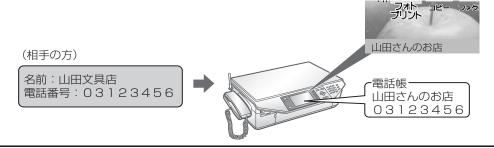
# ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話に出る前に、かけてきた方の名前や会社名を画面に表示させることができます。（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ表示されます。）
子機はネーム・ディスプレイに対応していません（通常の着信と同じ表示になります）。

**このサービスをご利用の際は、ネーム・ディスプレイの利用契約のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。**
**サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください（☞210ページ）。**

## 電話がかかってきたときの画面表示について

| ディスプレイ表示 | | 着　信　情　報 |
|---|---|---|
| 親　機 | 子　機 | |
| 池田 商店 ⇔ 0387654321 | 0387654321 | 電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を交互に表示します。このとき子機は番号のみを表示します。 |

● かかってきた電話番号が電話帳に登録している方と一致したときは、親機の電話帳に登録している名前を表示します（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても発信者番号が親機の電話帳に登録している電話番号と一致すると親機の電話帳に登録している名前を表示します）。親機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。

**お知らせ**

● **電話をかけてきた方が発信者名を表示する設定にしていない場合、名前は表示されません。**ただし、その場合でも、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。
● 親機の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
● ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
● 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
● 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、画面上に「※」を表示します。
● キャッチホン・ディスプレイ（☞215～217ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

# キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます（設定は親機で行います）。
また、子機の電話帳に登録されている相手の方からの場合は、電話帳に登録されている名前を表示します。

**■ このサービスをご利用の際は、①～③のサービスへの利用契約が必要です。**

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※ ③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

**■ サービスを契約したあとは、２つの設定をする必要があります。**

下記の設定で、必ずキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定してください。
また、ナンバー・ディスプレイが「使用する」になっていることを確認してください（☞210ページ）。

## キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「使用する」にしてください（はじめは、「使用しない」に設定されています）。
※ サービスを契約しているのに、「使用しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

**1** （登録/機能）を押し、# を４回押す

**2** で「キャッチホン」を選ぶ

特別設定
2 ＦＡＸ
3 音量調整
4 回避チャンネル設定
5 時計転送
6 ナンバー・ディスプレイ
7 キャッチホン

**3** を押し、で
「キャッチホン・ディスプレイ」を選ぶ

**4** を押し、
で「使用する」を選ぶ

・キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、「使用しない」を選びます。

**5** を押す

**6** 停止 を押す

**■ 途中でやめるときは**
停止 を押します。

**■ １つ前に戻るときは**
（戻る）を押します。

**お知らせ**

- ●キャッチホン・ディスプレイのサービスをご利用のときに電話を受けると、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります（通話中にかかってきた電話に出ても出なくても、記録は残ります）。（☞218、222ページ）
- ●保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
- ●キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ●キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
  - ・ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
  - ・キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、電話がかかってきても割り込み音は入らず、キャッチホンⅡセンターに転送されます。そのため、キャッチホン・ディスプレイの番号は表示されません。
  - ・親機のキャッチボタンまたは子機のカナ／キャッチボタンを利用したときは、「おまかせ受信」機能が働きません（ファクス受信するときは、128ページの操作を行って受信してください）。
- ●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- ●キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「使用しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの着信音が鳴ります。
- ●キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断りや公衆電話お断り、表示圏外お断り、お断り番号などは働きません（相手の方にメッセージは聞こえません）。
- ●キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「使用しない」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
- ●１本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- ●通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- ●キャッチホン着信時には、１秒程度の無音状態が発生します。
  また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なりますと電話番号の表示ができないことがあります。

## 通話中に電話がかかってきたときの画面表示について

| 表　示 | 着　信　情　報 |
|---|---|
| 親 機　子 機<br>**「0387654321」**など<br>**（電話番号）** | 相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します）。 |
| 親 機<br>**「池田 悟」**など<br>**（相手の方の名前）**<br>子 機<br>**「イケダ サトシ」**など<br>**（相手の方の名前）** | 親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、名前と電話番号を交互に表示します（子機では名前のみ）。親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。<br>**親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。** |
| 親 機<br>**「非通知」**<br>子 機<br>**「ヒツウチ」** | 相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します）。 |
| 親 機<br>**「表示圏外」**<br>子 機<br>**「ヒョウジケンガイ」** | 相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）。 |
| 親 機<br>**「公衆電話」**<br>子 機<br>**「コウシュウデンワ」** | 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。<br>公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。 |

**お知らせ**

- ●キャッチホン･ディスプレイの割り込み着信表示は、約20秒間表示されたあと、着信通話表示に戻ります。
- ●次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
  - ・大きな声で通話しているとき
  - ・周囲が騒がしいとき
  - ・設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき

# 親機で着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイやネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ（☞210～217ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大30件まで記録されます。着信記録の番号や、電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。30件を超えると古い着信記録から消去されます。
また、着信記録の番号にファクスを送る、着信記録の番号を電話帳に登録する、などの操作ができます。

## 着信記録を表示する

**1** （電話帳）を押し、
（再ダイヤル）を押す

・（登録/機能）を押しても同様の操作が行えます。

**2** （着信記録）を押して、
着信記録一覧を表示する

・着信した相手の方の番号（電話帳に登録しているときやネーム・ディスプレイを利用されているときは名前）と日付・時刻を表示します。
・で１件古い着信記録、で１件新しい着信記録が選択されます。

■ **着信記録の表示をやめるときは**
停止 を押します。

■ **着信記録の一覧をプリントするときは**
①（登録/機能）を押し、で「各種プリント」を選ぶ
②を押し、で「着信記録リスト」を選ぶ
③を押し、で「する」を選ぶ
④を押す

■ **親機の着信記録を１件ずつ消去するときは**
①（電話帳）を押し、（再ダイヤル）を押す
②（着信記録）を押して着信記録一覧を表示する
③で、消去する着信記録を選び、（消去）を押す
④もう一度、（消去）を押す
（選択されている着信記録が一件、消去されます。）
⑤停止 を押す

■ **親機の着信記録をすべて消すときは**
①（登録/機能）を押し、で「全消去メニュー」を選ぶ
②を押し、で「着信記録」を選ぶ
③を押し、で「全消去する」を選ぶ
④を押す

## 着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大30件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。

**1** **(電話帳)を押し、**
**(再ダイヤル)を押す**

・(登録/機能)を押しても同様の操作が行えます。

**2** **(着信記録)を押す**

・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します(親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します)。

**3** **で相手の方を選ぶ**

・で1件古い着信記録、で1件新しい着信記録が選択されます。

**4** **受話器を取る**

**5** **相手の方とお話しする**

・ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**6** 通話が終わったら
**受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**

相手先を選択しているときは(戻る)または停止を、通話中は受話器を戻します。

■ **184(非通知)や186(通知)などをつけて着信記録で電話をかけるには**

① 受話器を取る
② 184や186などをダイヤルする
③ (電話帳)を押し、(再ダイヤル)を押す
④ (着信記録)を押し、で相手の方を選ぶ
⑤ を押す
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら受話器を戻す

**お知らせ**

- 着信記録は親機と子機で別々に記録しています。
- 着信を受けられなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 「非通知お断り」、「公衆電話お断り」、「表示圏外お断り」、「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。

## 着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大30件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

### 1 原稿をセットする（☞111ページ）

・送信する面を下にしてセットします。

### 2 （電話帳）を押し、（再ダイヤル）を押す

・（登録/機能）を押しても同様の操作が行えます。

### 3 （着信記録）を押す

・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します（親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します）。

### 4 で選び、を押す

ファクス送信
相手先番号
0312345678

複数枚送信するときは
１枚目読込み終了後に
続けて読込めます

・で１件古い着信記録、で１件新しい着信記録が選択されます。

### 5 モノクロスタート または カラースタート を押す

**UX-MF80CL／UX-MF80CWでADFをお使いのとき**
→続いて手順7へ

・モノクロ送信をするときはモノクロスタートボタンを、カラー送信するときはカラースタートボタンを押してください。
モノクロ送信時の画質を選ぶときは、（画質）を押します。詳しくは、「ファクス送信時の画質について」（☞120ページ）をご覧ください。
・原稿台使用時に複数の原稿があるときは、読み込みが終了したあと、次の原稿をセットして、もう一度モノクロスタートボタン、またはカラースタートボタンを押します（1枚目を読み込んだときと同じボタンを押してください）。
・読み込みを途中でやめるときは、（読込み中止）を押します。

### 6 原稿台使用時は、読み込みが終了したら  を押す

### 7 送信が始まる

・送信を途中でやめるときは、停止 を押します。このとき、FAX自動再ダイヤルの設定（☞121ページ）が「する」になっていると、FAX送信待ちの状態になります。送信を取り消すには、（送信待ちリスト）を押してから、を2回押します。
・ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

**■ 途中でやめるときは**

停止 を押します。

**■「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞256ページ）**

**お知らせ**

●着信記録は親機と子機で別々に記録しています。
●着信を受けられなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」、「公衆電話お断り」、「表示圏外お断り」、「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
●親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
●読み込み中にメモリーがいっぱいになると、読み込みの終了した分の原稿を送信します。メモリーがいっぱいの状態で、１枚も読み込めなかったときは待受画面に戻ります。

## 着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

**1** （電話帳）を押し、
（再ダイヤル）を押す

・（登録/機能）を押しても同様の操作が行えます。

**2** （着信記録）を押す

**3** で登録する番号を選ぶ

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録が選択されます。

**4** （電話帳登録）を押す

**5** 名前を入れる
（最大全角10文字／半角20文字）

・名前の入力を省略するときは、 を押して手順8に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。

**6** を押す

・「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
・名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

**7** 「読み」が正しければ
を押す

**8** 電話番号を確認して
を押す

**9** メールアドレスを入れる
（最大半角50文字）

・メールアドレスの入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

**10** を押す

**11** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
（戻る）または（取消）を押します。

■ **文字を入力するときは（☞88〜91ページ）**

■ **親機の電話帳の内容を１件ずつ消すときは（☞85ページ）**

■ **親機の電話帳の内容をすべて消去するときは（☞266ページ）**

**お知らせ**
●発信電話番号情報がない場合は、電話帳に登録することはできません。

# 子機で着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイやキャッチホン・ディスプレイ（☞210〜217ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や電話帳に登録している名前を、ディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。
また、着信記録の番号に電話をかける、着信記録の番号を電話帳に登録する、などの操作ができます。

## 着信記録を表示する

**1** を2回押す

着信記録
012345678
11月 1日 15:00

・最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

**2** で選ぶ

・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

切 を押します。

■ **子機の着信記録を1件だけ消すときは**

① を2回押す
② で番号を選び、 を押す
③ で「ショウキョ」を選ぶ
④ を2回押す

■ **子機の着信記録をすべて消すときは**

① を押し、 で「ショウキョ」を選ぶ
② を押し、 で「チャクシンキロク」を選ぶ
③ を2回押す

## 着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。

**1** を2回押す

着信記録
012345678
11月 1日 15:00

・最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
・再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

**2** で選び、通話 を押す

・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。

**3** 通話が終わったら
**充電器に戻す**

・充電器に戻さないときは、切 を押します。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **184（非通知）や186（通知）をつけて着信記録で電話をかけるには（特番ダイヤル）**

① を2回押す
② で番号を選び、 を押す
③ で「トクバンダイヤル」を選び、 を押す
④ 184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して 通話 を押す
⑤ 通話が終わったら充電器に戻す

**お知らせ**

●発信電話番号情報がない場合は、電話をかけることはできません。
●着信記録は親機と子機で別々に記録しています。
●電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」、「公衆電話お断り」、「表示圏外お断り」、「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。

## 着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。

**1** を2回押す

着信記録
012345678
11月 1日 15:00

**2** で登録する番号を選び、
を押す

**3** で「トウロク」を選び、
を押す

トクバ゛ンダ゛イヤル
▶トウロク

**4** 名前を入れる（最大12文字）

ナマエ カ ナ
ミウラ サオ█

・名前の入力を省略するときは機能ボタンを2回押すと登録を完了します。

**5** を2回押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

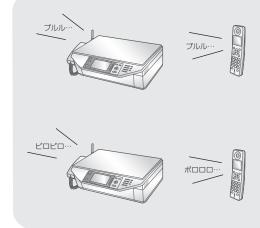
■ **子機の電話帳の内容を消すときは**
（☞93ページ）

■ **文字を入力するときは**（☞94～96ページ）

**お知らせ**

●発信電話番号情報がない場合は、電話帳に登録することはできません。
●登録中に電話がかかってくると、登録は中止されます。はじめからやり直してください。

# 着信鳴り分けを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、「電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。
はじめは、親機は「なし」、子機は「解除」に設定されています。
着信鳴り分けは、「誰からコール」（☞213ページ）との併用はできません。はじめは、「誰からコール」を使用する設定になっていますので、着信鳴り分けを使用するときは、**必ず「誰からコール」を「使用しない」に設定してください。**

**着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき**

親機では、49ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、50ページで設定した着信音が鳴ります。

**着信鳴り分けを設定した相手の方のとき**

親機では、着信の種類に合わせて224ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて225ページで設定した着信音が鳴ります。

## 親機の鳴り分けを設定する

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「鳴り分け時の着信音」を選ぶ

着信設定
1 親機着信音選択
2 鳴り分け時の着信音
3 お断り設定
4 選んで着信設定

**3** を押し、
で鳴り分けをしたい項目を選ぶ

・「電話帳」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」の4項目から選べます。

**4** を押し、
で着信音を選ぶ

・「電話ベル音」、「鳥の声」、「電子音」、「バッハのインベンション」、「ジュ・ト・ブ」、「シンフォニー 40番」のいずれかを選べます。着信鳴り分けを取り消すときは、「なし」を選んでください。

**5** を押す

**6** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
（戻る）を押します。

**お知らせ**

●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
●ダイヤルイン鳴り分けと同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。

## 子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４項目ごとに着信音を変えることができます。

**1**  **を押し、**

 **で「チャクシンナリワケ」を選ぶ**

チャクシンネイロ
▶チャクシンナリワケ

**2**  **を押し、**

 **で鳴り分けをしたい項目を選ぶ**

・「デンワチョウナリワケ」、「ヒツウチナリワケ」、「コウシュウナリワケ」、「ケンガイナリワケ」の4項目から選べます。
・「ダイヤルインナリワケ」については203ページをご覧ください。

**3**  **を押す**

・すでに設定している場合は、設定している着信音が鳴ります。

**4**  **で着信音を選ぶ**

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。

| | |
|---|---|
| 01 | 「プルルルル　プルルルル」 |
| 02 | 「ポロロロ　ポロロロ」 |
| 03 | 「ピロン　ピロン」 |
| 04 | 「ショートメロディー①」 |
| 05 | 「ショートメロディー②」 |
| 06 | 「ショートメロディー③」 |
| 07 | 「ショートメロディー④」 |
| 08 | 「ショートメロディー⑤」 |
| 09 | 「ジムノペティ」 |
| 10 | 「ジュピター」 |

**5**  **を押す**

・「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定され、待受画面に戻ります。

**■ 途中でやめるときは**

（切）を押します。

**■ 子機の着信鳴り分けを解除するときは**

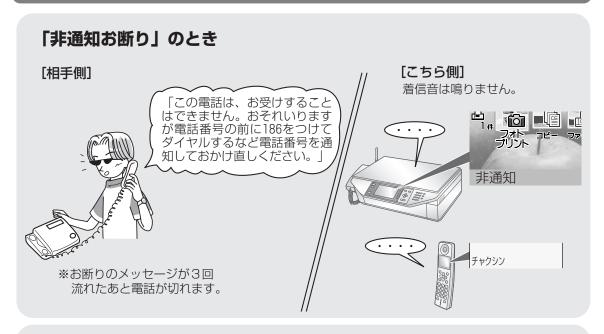
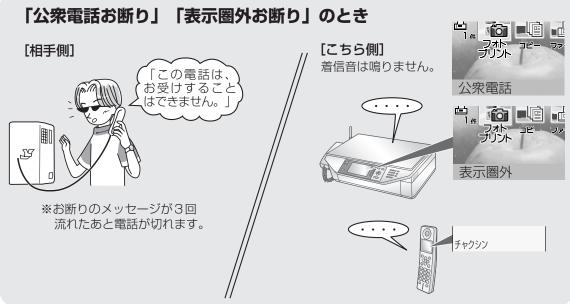
着信音を選ぶ手順（左記手順４）で、「ピピッ」と鳴るまで を押して、 を押します。

**お知らせ**

●かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。
●ダイヤルイン鳴り分けと同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。

# 着信お断りを使う

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では着信音は鳴りません。
お買い求め時は「なし」に設定されています。

## お断りに設定すると

**お知らせ**

- お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

## 非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する

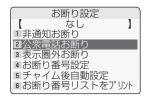
**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

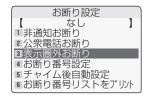
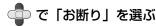
**2** を押し、
で「お断り設定」を選ぶ

### 非通知お断りを設定するとき

**3** を押し、
で「非通知お断り」を選ぶ

### 公衆電話お断りを設定するとき

**3** を押し、
で「公衆電話お断り」を選ぶ

### 表示圏外お断りを設定するとき

**3** を押し、
で「表示圏外お断り」を選ぶ

**4** を押し、
で「お断り」を選ぶ

・「なし」　：
お断りを使用しません。
・「お断り」：
お断りメッセージを流して、電話を切ります。

**5** を押す

・お断りを設定すると、ディスプレイに お断り が表示されます。

**6** 停止 を押す

・「お断り」にしたときは相手の方には着信音が2回鳴ったあと、メッセージ（☞226ページ）が３回流れて電話が切れます。

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

**お知らせ**

●非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、お断りのメッセージは流れません。

# 特定番号お断りを使う

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージ（「この電話は、お受けすることはできません。」）を流すことができます。

## お断りしたい番号を登録する

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「お断り設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「お断り番号設定」を選ぶ

お断り設定
1 非通知お断り
2 公衆電話お断り
3 表示圏外お断り
4 お断り番号設定
5 チャイム後自動設定
6 お断り番号リストをﾌﾟﾘﾝﾄ

**4** を押す

**5** （新規登録）を押す

**6** 電話番号を入れる（最大20ケタ）

・電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、着信音が鳴ります。
・番号を入れまちがえたときは、（取消）を押して、もう一度入れ直します。

**7** を押す

・手順5～7をくり返して、最大30件までの番号を登録できます。
・ディスプレイに お断り が表示されます。

**8** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）または（取消）を押します。

■ 登録したお断り番号を1件ずつ消すときは
① （登録/機能）を押し、で「着信設定」を選ぶ
② を押し、で「お断り設定」を選ぶ
③ を押し、で「お断り番号設定」を選ぶ
④ を押す
⑤ で消去するお断り番号を選ぶ
⑥ （消去）を2回押す
（続けて他の登録番号を消すときは、⑤～⑥をくり返す）
⑦ 停止 を押す

■ 登録したお断り番号をすべて消すときは
① （登録/機能）を押し、で「全消去メニュー」を選ぶ
② を押し、で「お断り番号」を選ぶ
③ を押し、で「全消去する」を選ぶ
④ を押す

■ お断り番号リストをプリントするには
① （登録/機能）を押し、で「各種プリント」を選ぶ
② を押し、で「お断り番号リスト」を選ぶ
③ を押し、で「する」を選ぶ
④ を押す

**お知らせ**
●お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイが点灯します）。
●お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
●お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
●お断りする番号からの着信があった場合の着信音の回数は2回です。変更することはできません。

# 登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です**

あらかじめ登録した相手先からのみ電話を受けられるように設定ができます（選んで着信）。
登録した相手先以外からの電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へ留守応答メッセージを流すことができます。その場合は、スピーカーから相手の声は聞こえません。
時間設定、曜日設定することで、たとえばお子様がひとりで留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使い方ができます。
登録できる番号は最大5件です。

## 着信させる番号を登録する

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「選んで着信設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「選んで着信番号設定」を選ぶ

**4** を押し、（新規登録）を押す

・登録できる番号は最大5件です。

**電話帳から登録するとき**

**5** （電話帳）を押し、
で登録したい相手を選ぶ

・電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
・電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。

**直接番号を入力して登録するとき**

**5** 電話番号を入れる（最大20ケタ）

・番号を入れまちがえたときは、（取消）を押して、もう一度入れ直します。

**6** を押し、停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

## 登録した番号を消去する

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「選んで着信設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「選んで着信番号設定」を選ぶ

**4** を押し、
で消去したい番号を選ぶ

**5** （消去）を2回押す

**6** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

■ 登録した番号をすべて消すときは

① （登録/機能）を押し、 で「全消去メニュー」を選ぶ
② を押し、 で「選んで着信番号」を選ぶ
③ を押し、 で「全消去する」を選ぶ
④ を押す

## 選んで着信を設定する

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「選んで着信設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「選んで着信機能」を選ぶ

**4** を押し、
で「常時着信規制」を選ぶ

**5** を押す

**6** 停止 を押す

■ 途中でやめるときは
停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは
（戻る）を押します。

## 特定の時間だけ選んで着信を行う

**1** （登録/機能）を押し、
で「着信設定」を選ぶ

**2** を押し、
で「選んで着信設定」を選ぶ

**3** を押し、
で「選んで着信機能」を選ぶ

**4** を押し、
で「タイマー着信規制」を選ぶ

**5** を押し、ダイヤルボタンで
開始時刻と終了時刻を入れる

タイマー動作
12:00-22:00
選んで着信開始時間
時刻は24時間制

- 開始時間と終了時間を同じ時刻に設定すると、24時間の設定になります（設定中は常に 選んで着信 が表示されます）。
- 数字を入れまちがえたときは （戻る）を押して、もう一度入れ直します。
- 登録できるのは時間のみです（分は登録できません）。
- 日をまたいで時間を設定したときに、曜日設定の範囲を越える場合は、「曜日設定」が優先されます。

**6** を押し、 で曜日を選ぶ

- 「毎日」、「月曜日－金曜日」、「月曜日－土曜日」のいずれかを選べます。

**7** を押す

- 設定時間になると、ディスプレイに 選んで着信 と表示されます。

■ 設定した内容を表示するには

① （登録/機能）を押し、 で「着信設定」を選ぶ

② を押し、 で「選んで着信設定」を選ぶ

③ を押し、 で「選んで着信設定内容」を選ぶ

④ を押す

⑤ 確認したら 停止 を押す

■ 選んで着信を解除するときは

① （登録/機能）を押し、 で「着信設定」を選ぶ

② を押し、 で「選んで着信設定」を選ぶ

③ を押し、 で「選んで着信機能」を選ぶ

③ を押し、 で「使用しない」を選ぶ

④ を押す

⑤ 停止 を押す

**お知らせ**

●FAX専用（☞271ページ）に設定しているときは、選んで着信は設定できません。

●日付・時刻を設定していないと選んで着信は設定できません。

●選んで着信の番号が登録されていないときは、着信があってもこちらの着信音は鳴らず、留守録応答のみが動作します。

●非通知・公衆電話・表示圏外お断り（☞227ページ）や、特定番号お断り（☞228ページ）が設定されているときは、お断り登録を優先し、お断りメッセージが流れます。

# 迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

**ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします**

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り）することができます。
ナンバー・ディスプレイ（☞210ページ）をご契約でないときもお使いいただけますが、ナンバー・ディスプレイをご利用のときは次の機能がお使いいただけます。

- 電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降同じ番号からの着信をお断りします。
- 非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約2時間同じ種別の着信をお断りします。

## 親機で設定する

**1** 通話中に

（迷惑電話）を押す

**チャイムでお断りを設定するとき**

**2** ABC 2 を押す

・チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切ります。

**メッセージでお断りを設定するとき**

**2** DEF 3 を押す

・「この電話はお受けすることができません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。

**録音でお断りを設定するとき**

**2** GHI 4 を押す

・この機能を操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます。

## 子機で設定する

**1** 通話中に

迷惑電話 を押す

**チャイムでお断りを設定するとき**

**2** で「チャイムデオコトワリ」を選び、

を押す

・チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切ります。

**メッセージでお断りを設定するとき**

**2** で「メッセージオコトワリ」を選び、

を押す

・「この電話はお受けすることができません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。

**録音でお断りを設定するとき**

**2** で「ロクオンデオコトワリ」を選び、

を押す

・この機能を操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます。

■ **まちがえて操作してしまったときは**

**「チャイムでお断り」の操作をしたとき：**

親機では、チャイムが鳴ってから10秒以内に 停止 を押します。このときは自動的に特定番号や非通知などのお断り設定をしません。
子機では、自動的に設定することを止められません。

**「メッセージでお断り」、「録音でお断り」の操作をしたとき：**

親機では、お断りメッセージが流れている間に、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

子機では、「メッセージでお断り」を操作したときは、お断りメッセージが流れている間に 通話 または スピーカーホン 発信/パ。 を押します。

「録音でお断り」を操作したときは、通話 を押してください。

■ **相手先の番号が、まちがえてお断り番号として登録されてしまったときは**

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞228ページ）。

■ **非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが、まちがえて設定されてしまったときは**

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、あらためて「なし」に設定してください（☞227ページ）。

■ **「チャイム後自動設定」を変更するには**

「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは「する」に設定されています。

① （登録/機能）を押し、 で「着信設定」を選ぶ

② を押し、 で「お断り設定」を選ぶ

③ を押し、 で「チャイム後自動設定」を選ぶ

④ を押し、 で「する」または「しない」のいずれかを選ぶ

⑤ を押す

⑥ 停止 を押す

**お知らせ**

- ●ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- ●キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- ●こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」や「録音でお断り」を設定することはできません。また、「チャイムでお断り」を設定すると、「チャイム後自動設定」を「する」に設定していても、自動的にお断りは設定されません。

# 声が聞こえにくいときは

51ページの操作で、受話音量、スピーカーの音量を調整しても、まだ声が聞こえにくいときは、次の操作で音量を変更してください。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

## 親機送話音量を調整する

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録/機能） → # ▶▶I を4回押す → 「**音量調整**」を選ぶ → → 「**親機送話音量切替**」を選ぶ ≫<br>≫ → 1：**小** 2：**標準** 3：**大** から選ぶ → → ●終了するときは 停止 を押す。 |

## 子機送話音量を調整する

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録/機能） → # ▶▶I を4回押す → 「**音量調整**」を選ぶ → → 「**子機送話音量切替**」を選ぶ ≫<br>≫ → 1：**小** 2：**標準** 3：**大** から選ぶ → → ●終了するときは 停止 を押す。 |

## 子機受話音量を調整する

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ # を4回押す →「**音量調整**」を選ぶ → ◆ →「**子機受話音量切替**」を選ぶ<br>→ ◆ → 1：**小** 2：**標準** 3：**大** から選ぶ → ◆ →<br>●終了するときは 停止 を押す。 |

## 子機受話音質を調整する

| | |
|---|---|
| はたらき | 子機でお話し中に、聞こえる相手の方の声の音質を、親機で切り替えることができます。<br>すべての子機の音質が変わります。個別に切り替えたいときは、52 ページをご覧ください。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ # を4回押す →「**音量調整**」を選ぶ → ◆ →「**子機受話音質切替**」を選ぶ<br>→ ◆ → 1：**低い** 2：**標準** 3：**高い** から選ぶ → ◆ →<br>●終了するときは 停止 を押す。 |

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●回線調整（☞272ページ）の設定を「小」にすると、親機の送話・子機の送話・受話音量がすべて「小」に変更されます（「標準」にすると、すべて「標準」に変更されます）。変更する場合は、あらためて個別に設定を変更してください。

●音量を「大」にすると、回線の状況によっては、音が割れたり響いたりすることがあります。こんなときは音量を「標準」にしてください。

# 印刷の画質が悪いときは

印刷物に横縞が目立つなど、コピーやプリント時の画質に問題があるときは、下記の操作でカートリッジクリーニングやプリンタの位置調整を行ってください。

## カートリッジクリーニングをする

インクカートリッジクリーニングは、悪くなった画質を向上させる操作です。
図のような状態になったら操作してください。

**1** **A4サイズの新しい普通紙をセットする**
**(☞43ページ)**

**2** **(登録/機能)を押し、**
**で「プリンタメンテナンス」を選ぶ**

**3** **を押し、で**
**「カートリッジクリーニング」を選ぶ**

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジ クリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

**4** **を押し、でクリーニングのレベルを選ぶ**

・レベル1～3を選択します。レベルが高くなるにつれて細部にわたりクリーニングしますが、インクの使用量とクリーニングにかかる時間が増えます。レベル1はインクの使用量、時間ともに最少です。レベル1のクリーニングを行っても画質が不十分なときに、レベル2もしくはレベル3を実行してください。

**5** **を押し、で「する」を選ぶ**

**6** **を押す**

・カートリッジクリーニングが始まります。終了するとクリーニング結果がプリントされます。
・横縞やカスレが無ければ問題ありません。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890!@#$%^&*()+-=[]{}/\?.,
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890!@#$%^&*()+-=[]{}/\?.,
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890!@#$%^&*()+-=[]{}/\?.,
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890!@#$%^&*()+-=[]{}/

・各レベルでクリーニングを行っても画質が改善されない場合は、インクカートリッジまたは本体プリンタに問題がある可能性があります。その場合は、診断ページをプリントしてください(☞237ページ)。

**お知らせ**

●過剰なカートリッジクリーニングはお控えください。やり過ぎると、悪影響が出ることがあります。

## プリンタ位置調整をする

カートリッジクリーニングをしても画質が改善しないときに操作してください。プリントしながら、プリンタの位置調整を自動で行います。
文字や線が２重に印刷されていたり、印刷位置がずれているときは、この機能を実行することによって改善される場合があります。

**1** A4サイズの新しい普通紙をセットする（☞43ページ）

**2** （登録/機能）を押し、
で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

**3** を押し、
で「プリンタ位置調整」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジクリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

**4** を押し、で「する」を選ぶ

**5** を押す

・調整が始まり、テストパターンをプリントします。調整中やプリント中は、プリンタカバーを開けないでください。
・テストパターンのプリントが完了すると、自動的にプリンタの位置調整が完了します。

**お知らせ**

●インクカートリッジを交換したときは、必ずプリンタ位置調整を行ってください。

## 診断ページをプリントする

印刷の状態（インクカートリッジのノズルの状態）を確認するための、診断ページをプリントする操作です。カートリッジクリーニングを数回実施しても、印刷の画質が良くないときに、診断ページをプリントして確認してください。

**1** A4サイズの新しい普通紙をセットする（☞43ページ）

**2** （登録/機能）を押し、
で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

**3** を押し、
で「診断ページプリント」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジクリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

**4** を押し、で「する」を選ぶ

**5** を押す

・診断ページがプリントされます。下図Aのように、プリントされたパターンに印刷されていない部分がたくさんあるときはインクカートリッジのインクが無くなっているか、カートリッジの不具合などが考えられます。
下図Bのような状態であれば、印刷状態に問題はありません。

A（印刷されていない部分がある状態）

B（正常な状態）

・正常であっても数本のラインが抜けることもありますが、印刷画質に影響はありません。

## プリンタリセットをする

プリンタエラーが発生したときや、詰まった用紙を取りのぞいたあとに操作してください。

**1** （登録/機能）を押し、
で「プリンタメンテナンス」を選ぶ

**2** を押し、
で「プリンタリセット」を選ぶ

プリンタメンテナンス
1 インク残量確認
2 カートリッジクリーニング
3 プリンタ位置調整
4 診断ページプリント
5 プリンタリセット

**3** を押し、で「する」を選ぶ

**4** を押す

・プリンタリセットを行います。

■ **インクの残量を確認するときは**

① （登録/機能）を押し、で「プリンタメンテナンス」を選ぶ
② を押し、で「インク残量確認」を選ぶ
③ を押す
インク残量（めやす）が表示されます。

（例）

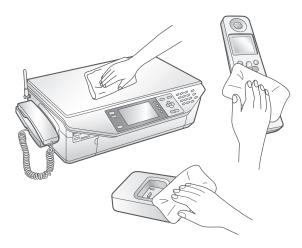
④ 停止 を押す

**お知らせ**

●用紙詰まり、プリンタエラーの状態になったときは、できるだけすみやかにプリンタリセットを行ってください。エラー状態で放置されると、インクカートリッジのノズルが乾いてしまい、カートリッジクリーニング（☞236ページ）が必要になることがあります。

# お手入れのしかた

## 親機や子機本体、充電器を清掃する

親機の表面や、子機･充電器の表面のお手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。

汚れのひどいときは、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
内部の機構にはさわらないようにしてください。

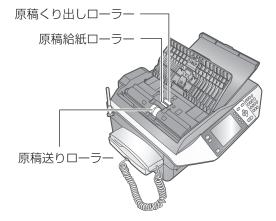
## 原稿台・原稿読み取り部を清掃する

ガラス面は、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。

原稿台のガラス面や、ADFの原稿読み取り部（UX-MF80CL／UX-MF80CWのみ）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。こまめにお手入れしてください。

## ADFを清掃する（UX-MF80CL／UX-MF80CWのみ）

**1** カバーを開ける

**2** ローラーを乾いた柔らかい布でふく

- 原稿給紙ローラーと原稿くり出しローラーは、回しながらふいてください。
- 原稿送りローラーは、回さずにふいてください。
- 汚れのひどいときは、水を含ませて硬くしぼった布でふいてください。

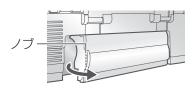
**お知らせ**

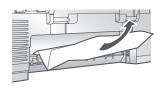
●アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください（変色、変形、変質や故障の原因になります）。

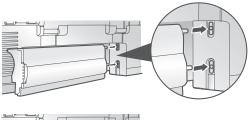
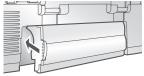
# 用紙や原稿が詰まったときは

## 用紙が詰まったときは

下記の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

### 1 本体背面のUターンユニットを取り外す

・左側のノブを持って、右側に寄せてから右手前に引くようにして取り外します。

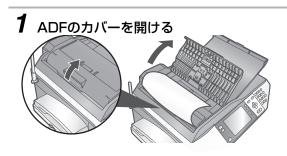
### 2 詰まった紙を取り除く

・ゆっくりと用紙が破れないように取り除きます。破れたときは、紙片が親機の中に残らないように取り除いてください。

### 3 Uターンユニットを取り付ける

・右側の突起を、親機背面の穴に差し込んでから、「カチッ」と音がするまで左側を押し込みます。
・Uターンユニットは確実に取り付けてください。Uターンユニットがゆるんでいると、用紙が詰まる原因になります。

### 4 プリンタリセット（☞238ページ）を行う

・待受画面に戻っていないときは、停止 を押してください。

## 原稿が詰まったときは（UX-MF80CL／UX-MF80CWのみ）

ADFに原稿が詰まったときは、下記の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

### 1 ADFのカバーを開ける

### 2 原稿カバーを開けて、詰まった原稿を取り除く

・ゆっくりと原稿が破れないように取り除きます。原稿は、必ず矢印の方向へ引いてください。
・破れたときは、紙片がADFの中に残らないように取り除いてください。

### 3 原稿カバーを閉じたあと、ADFのカバーを閉じる

・カバーが正しく閉じていないと、原稿が詰まる原因となることがあります。「カチッ」と音がするまで、カバーの両端を押して閉じてください。

**お知らせ**

●プリンタの前面（用紙トレイ側）から用紙を引き出さないでください。故障の原因となる場合があります。
●待機画面に「用紙が詰まっています」と表示されている場合は、プリンタ内に用紙がないことを確認してからプリンタリセットを行ってください。

# こんなときは（親機）

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 動作しない | | ●電話機コードや電源コードがはずれていませんか？<br>→電話機コード、電源コードをしっかりと接続します。それでも動作しないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。<br>全く動作しないときなど、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。 | 27 ～ 28<br>263 |
| 電話を… | かけられない／受けられない | ●親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？<br>→正しく接続します。<br>●停電になっていませんか？<br>→停電のときは電話をかけることはできません。<br>●子機を使用していませんか？<br>→使用が終わってから電話をかけます。<br>●IP 電話やひかり電話をお使いになっていませんか？<br>→ IP電話やひかり電話をお使いのときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。<br>●ひかり電話をお使いのときに携帯とくとくダイヤルを設定していませんか？<br>→携帯電話に電話がつながらなくなりますので、携帯とくとくダイヤルを［設定なし］に設定してください。 | 27 ～ 28<br>261<br>－<br>－<br>198 |
| 着信音が… | 鳴らない（聞こえにくい） | ●着信音を「切」に設定していませんか？（着信音が小さすぎませんか？）<br>→着信音の音量を変えます。<br>●子機を優先呼出に設定していませんか？<br>→優先呼出を解除します。<br>●「受信モード」の設定を「FAX専用」に設定していませんか？<br>→「設定しない」に設定します。 | 49<br>71<br>271 |
| | 設定している音とちがう | ●ナンバー･ディスプレイを契約しているときは､着信鳴り分けの機能が働いている可能性があります。 | 224 |
| スピーカー音が… | 聞こえにくい | ●音量の設定が小さくなっていませんか？<br>→適当な大きさに調節します。 | 51 |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| おしゃべり電話帳、誰からコールの音声が聞き取りにくい | | ●親機のスピーカー音量を大きくしたり、アクセントを変更します。<br>●音声合成システムで作った音なので、肉声に比べると聞き取りにくいことがあります。<br>●LAN 使用時は誰からコールの音声が少し聞きづらくなることがあります。LAN使用が終わると元に戻ります。 | 51、87<br>—<br><br> |
| 通話中に… | 相手の方の声が聞こえにくい | ●受話音量が小さすぎませんか？<br>→受話音量を大きくします。 | 51 |
| | こちら側の声が相手の方に届かない | ●受話器の下の穴（マイク）を手でふさいでいませんか？<br>→ふさがないように正しく持ちます。<br>●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。<br>→送話音量を大きくします。 | —<br>234 |
| 通話中や相手の方が保留中に… | 突然ファクス受信に切り替わる | ●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。<br>→頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。 | 270 |
| 用紙が… | よく詰まる（送り込まれない） | ●用紙をよくさばいてからセットしていますか？<br>→よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。<br>●用紙を入れすぎていませんか？<br>→一度に入れすぎないようにしてください。<br>●用紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社推奨品をお使いください。<br>●本体背面の U ターンユニットがゆるんでいませんか？<br>→取り付け直します。 | —<br>41<br>264～265<br>240 |
| | 白紙で出てくる | ●ファクス受信をしているときは、相手の方が原稿の裏表をまちがえてセットしているかもしれません。<br>→相手の方に確認します。<br>●原稿が表向きにセットされていませんか？<br>→原稿の送る面を裏向きにセットします。<br>●インク残量が少なくなっていませんか?<br>→インクカートリッジを交換してください。 | —<br>111<br>39～40 |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ADF で原稿が送り込まれない | | ●ADFのローラーが汚れていませんか？<br>→ローラーを清掃してください。 | 239 |
| コピーが… | 画像が悪い | ●原稿台（ガラス面）が汚れていませんか？<br>→汚れをふき取ります。<br>●用紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社の推奨品をご使用ください。<br>●インクカートリッジは当社の指定品をお使いですか?<br>→当社の指定品をご使用ください。<br>●ADF を使用した場合、先端部に色ムラが出ることがあります。<br>→原稿台を使用してください。 | 239<br>264<br>265<br>111 |
| | できない | ●原稿によっては、見てからコピーができないことがあります。<br>→通常のコピーをしてください。<br>●原稿によっては、複数枚のコピーができないことがあります。<br>→1枚ずつコピーしてください。 | 112<br>112 |
| ファクスを… | 送れない | ●電話機コードは正しく接続されていますか？<br>→正しく接続します。<br>●回線種別は合っていますか？<br>→正しく設定します。<br>●原稿が表向きにセットされていませんか？<br>→原稿を裏向きにセットします。<br>●相手の方のファクスの用紙がなくなっているかもしれません。<br>→相手の方に確認します。<br>●相手の方のファクスのメモリーに空き容量が無いかもしれません。<br>→相手の方に確認します。 | 27<br>35<br>111<br>—<br>— |
| | 受けられない | ●電話機コードは正しく接続されていますか？<br>→正しく接続します。<br>●メモリーがいっぱいになっていませんか？<br>→受信データを消去します。<br>不要な録音を消去します。<br>●留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがります。<br>→それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。 | 27<br>109、140<br>269 |

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。251 ページも参照してください。

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ファクスを送信したが… | 相手の方の用紙に何もプリントされない | ●原稿が表向きにセットされていませんか？<br>→原稿の送る面を裏向きにセットします。 | 111 |
| | 相手の方に届いたファクスの画像が悪い | ●原稿台（ガラス面）が汚れていませんか？<br>→汚れをふき取ります。<br>●ADF を使用した場合、先端部に色ムラがでることがあります。<br>→原稿台を使用してください。 | 239<br><br>111 |
| | 「応答がありません」と表示される | ●電話帳を使ってファクスを送るときは、相手の方がファクス受信に切り替わっていないと送れないことがあります。<br>→相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します（「FAX自動再ダイヤル」を「する」に設定されているときは、最大3回まで自動で再送信します）。 | ― |
| | 「通信エラー」と表示されている | ●ファクス送信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態（用紙がないなど）によって正しく送信できないことがあります。<br>→相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。<br>●キャッチホンをご利用のときでファクス通信中に、他の方から着信がありませんでしたか？<br>→相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。 | ―<br><br>― |
| ファクスを受信したが… | 受信内容が白紙になっている | ●相手の方がファクスを送るときに原稿の向きを裏表逆にセットしている場合もあります。<br>→相手の方に確認します。 | ― |
| | ファクスの画像が悪い | ●用紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社の推奨品をご使用ください。<br>●インクカートリッジは当社の指定品をお使いですか?<br>→当社の指定品をお使いください。<br>●雷が鳴っていませんでしたか？<br>→回線の状態が悪くなっていることがあります。相手の方に、もう一度送信を依頼します。<br>●キャッチホンを利用していませんか？（受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。）<br>→相手の方に、もう一度送信を依頼します。 | 264<br><br>265<br><br>―<br><br>― |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ファクスを受信したが… | 「通信エラー」と表示されている | ●ファクス受信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態によって正しく受信できないことがあります。<br>→相手の方に、もう一度送信を依頼します。 | ― |

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。251 ページも参照してください。

| こんなときは | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| プリントできない | ●電源コードがはずれていませんか？<br>→電源コードをしっかりと接続します。 | 28 |
| | ●メモリーカードやUSBメモリーは正しく接続されていますか？<br>→メモリーカードやUSBメモリーを正しく接続します。 | 142、143 |
| | ●インクカートリッジは正しく取り付けられていますか？<br>→インクカートリッジを正しく取り付けます。 | 37 ～ 38 |
| | ●プリンタカバーは閉じていますか？<br>→プリンタカバーを閉じます。 | 37 |
| | ●用紙トレイに用紙をセットしていますか？<br>→用紙をセットします。 | 42 ～ 43 |
| | ●「プリンタエラーです」と表示されていませんか?<br>→プリンタ内に用紙が詰まっていないことを確認してから、プリンタリセットをします。 | 238 |
| プリントの画質が悪い | ●インクカートリッジのクリーニングを行います。 | 236 |
| | ●プリンタ位置調整を行います。 | 237 |
| | ●用紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社の推奨品をご使用ください。 | 264 |
| | ●インクカートリッジは当社の指定品をお使いですか?<br>→当社の指定品をお使いください。 | 265 |
| | ●インクカートリッジがインク残量不足になっていませんか？<br>→インク残量不足になっているカートリッジがあれば交換します。 | 39 ～ 40 |
| | ●インクカートリッジの使用期限が過ぎていませんか？ | ― |
| | ●インクカートリッジを取り付けてから6カ月以上経過していませんか？ | ― |
| | ●使用したインクカートリッジを保管するときに、インクカートリッジカバーを付けていませんでしたか？<br>→インクカートリッジの品質が低下している場合があります。当社指定の新しいインクカートリッジと交換してください。 | 40 |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| プリントの画質が悪い | | ●プリント時に用紙の後端に近い部分でスジやムラが発生する場合があります。また用紙が反った状態で印刷するとプリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 | ― |
| 留守モードに設定しても… | 用件録音できない（用件録音されていない） | ●メモリーがいっぱいになっていませんか？<br>→受信データを消去します。<br>不要な録音を消去します。 | 109、140 |
| | 留守モードを解除して再生しても留守ボタンが2回点滅している | ●未再生の録音がありませんか？<br>→未再生の録音を再生します。 | 106 |
| ディスプレイに FAX 専用の表示が出ない | | ●留守モードに設定していませんか？<br>→留守設定を解除します。 | 104 |
| FAX 専用にしているのに、着信時、留守の応答メッセージが流れてしまう | | ●留守モードに設定していませんか？<br>→留守設定を解除します。 | 104 |
| リモート操作で応答メッセージが流れない | | ●暗証番号を登録していますか？<br>→暗証番号を登録します。 | 191 |

# こんなときは（子機）

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 動作しない | | ●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。<br>●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機をセットして充電します。 | 44<br><br>45 |
| 電話を… | かけられない／受けられない | ●親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？<br>→正しく接続します。<br>●停電になっていませんか？<br>→停電のときは電話をかけることはできません。<br>●別の所で親機や他の子機を使用していませんか？<br>→使用が終わってから電話をかけます。<br>●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。<br>●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機をセットして充電します。<br>●親機から離れすぎていませんか？<br>→電波が届く範囲で使います。<br>●電波が干渉しやすい環境で使っていませんか？<br>→少し動かしてみるか、場所を少し移動してみます。 | 27 ～ 28<br><br>261<br><br>—<br><br>44<br><br>45<br><br>15<br><br>— |

※ ADSL をご利用の場合、ADSL の影響を受けて上記の現象が起こることがあります。251 ページも参照してください。

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 充電が… | できない | ●充電器の電源コードがコンセントから外れていませんか？<br>→正しく接続します。<br>●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。 | 45<br><br>44 |
| 登録していた日時が、自動的に変更される | | ●親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。たとえ親機の日時登録がまちがっていても、親機の登録が優先されます。<br>→親機の日時登録を正しく設定してください。<br>→親機の日時登録を転送したくないときは、時計バックアップを [使用しない] に設定してください。 | <br><br>47<br><br>273 |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 着信音が… | 鳴らない（聞こえにくい） | ●着信音を「キリ」や「ショウ」に設定していませんか？<br>→着信音の音量を変えます。 | 50 |
| | | ●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。 | 44 |
| | | ●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機をセットして充電します。 | 45 |
| | | ●親機や他の子機、PHS、携帯電話の充電器などと一緒に置いていませんか？<br>→できるだけ離して設置してください。 | — |
| | 設定している音とちがう | ●ナンバー･ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分け機能が働いている場合があります。<br>→着信鳴り分けを解除します。 | 225 |
| スピーカー音が… | 聞こえにくい | ●音量の設定が小さくなっていませんか？<br>→適当な大きさに調節します。 | 52 |
| 通話中に… | 相手の方の声が聞こえにくい | ●受話音量が小さすぎませんか？<br>→受話音量を大きくします。 | 52、235 |
| | こちら側の声が相手の方に届かない | ●子機の送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？<br>→ふさがないように正しく持ちます。 | — |
| | | ●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。<br>→送話音量を大きくします。 | 234 |
| | 雑音が入る | ●親機と子機が離れすぎていませんか？<br>→雑音が入らない位置で子機を使用します。 | — |
| | | ●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？<br>→他の電気製品から離れて子機を使用します。 | — |
| | | ●親機のアンテナに電源コードや電話機コードを巻き付けていませんか？<br>→アンテナから電源コード、電話機コードを取ります。 | — |
| 通話中や相手の方が保留中に… | 突然ファクス受信に切り替わる | ●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。<br>→頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします（ファクスを受けるときは機能ボタンを押します）。 | 270 |

# こんなときは（ナンバー・ディスプレイ）

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ナンバー・ディスプレイで… | 相手の方の電話番号が表示されない | ●ナンバー・ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 | 210 |
| | | ●ナンバー・ディスプレイの設定を「使用する」にしていますか？<br>→上記の設定に変更します。 | 210 |
| | | ●ISDN をご利用で、ターミナルアダプタ（TA）が「ナンバーディスプレイを使用しない」設定になっていませんか？<br>→ターミナルアダプタ（TA）の設定を変更してください。 | — |
| | 電話帳に登録した相手の方の着信音が変わらない（着信鳴り分けができない） | ●着信鳴り分けの設定を「あり」にしていますか？<br>→「あり」に設定します。 | 224 |
| | | ●電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？<br>→着信鳴り分け機能をご使用のときは、相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。 | 82、92 |
| | こちら側の電話番号が相手の方の電話機等に表示されない | ●こちら側の電話番号を相手の方の電話機やファクシミリに表示する（通知する）／しないは、こちら側で現在お選びの通知方法によります。<br>また、相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用になっていることが必要です。 | — |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ネーム・ディスプレイで… | 相手の方の名前や電話番号が表示されない | ●ネーム･ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー･ディスプレイの契約とネーム・ディスプレイの契約が必要です。 | 214 |
| | | ●相手の方が発信者名の通知を申し込んでいないときは表示されません。ただし、電話番号が親機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機の電話帳に登録している名前を表示します。 | — |
| | | ●相手の方が公衆電話･携帯電話･PHSや国際電話から電話をかけていませんか？<br>→相手の方が公衆電話・携帯電話・PHSや国際電話から電話をかけているときは、発信者名は表示されません。 | — |
| キャッチホン・ディスプレイで… | 相手の方の電話番号が表示されない | ●キャッチホン･ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー･ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンⅡ、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。 | 215 |
| | | ●キャッチホン・ディスプレイとナンバー･ディスプレイを正しく設定していますか？<br>→ナンバー・ディスプレイを「使用する」、キャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定します。 | 210、215 |

# こんなときは（光回線/IP電話/ADSL/ISDN）

●光回線、ADSL、ISDN、IP電話をご利用の場合、ファクスを正しく設定し、動作に必要なサービス（ナンバー・ディスプレイなど）を契約していても、下記の現象が発生することがあります。

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ひかり電話などの光回線を使っていると… | 電話をかけられない | ●携帯とくとくダイヤル機能を設定していませんか？<br>→ひかり電話をお使いの場合、携帯とくとくダイヤル機能を使用すると、携帯に電話をかけられません。 | 198 |
| | 特定の番号だけつながらない | ●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。 | ― |
| | ナンバー・ディスプレイが動作しない<br>ダイヤルインサービス（マイナンバー／追加番号）が動作しない | ●VoIPアダプタの設定が必要です。<br>→契約内容の確認や、VoIPアダプタの設定方法については契約電話会社にお問い合わせください。 | ― |
| IP 電話／ADSL を使っていると… | 電話をかけられない | ●契約されている回線種別が合っていないと、0120（フリーダイヤル）などの番号にかからないことがあります。<br>→契約されている回線種別に設定してください。<br>●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。 | 35<br>― |
| | ファクスの送受信ができない<br>ナンバーディスプレイが動作しない | ●スプリッタを含む ADSL 機器を取り外して、ファクスを送受信できるかどうかを確認してください。<br>→送信できるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。送信できないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。<br>●IP フォンや BB フォンは、インターネット回線を使用するため、回線の状態によっては送信できないことがあります。 | ―<br>287<br>― |

| こんなときは | | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| IP 電話／ADSL を使っていると… | 電話の声が聞こえにくい・雑音が入る<br>受話器を取ると「キーン」という音が出る | ●スプリッタを含む ADSL 機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。<br>→改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。<br>●「回線調整」の設定を変更してください。それでも改善しないときは、ターミナルアダプタ（TA）のメーカーへお問い合わせください。 | ー<br>287<br>272 |
| | 着信音の鳴り方がおかしい | ●通常より短い間隔や、長い間隔で着信音が鳴ることがあります。 | ー |
| ADSLを使っていると… | 電話をかけられない | ●契約されている回線種別が合っていないと、0120（フリーダイヤル）などの番号にかからないことがあります。<br>→契約されている回線種別に設定してください。 | 35 |
| | ナンバー・ディスプレイが動作しない | ●スプリッタを含む ADSL 機器を取り外して、改善されるか確認してください。<br>→改善されるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。 | ー<br>287 |
| | 電話の声が聞こえにくい・雑音が入る | ●スプリッタを含む ADSL 機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるかどうかを確認してください。<br>→改善されるときは、ADSL各サービス会社にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。<br>●特別設定の「回線調整」を「小」に設定すると改善されることがあります。 | ー<br>287<br>272 |
| ISDN を使っていると… | 電話の声が聞こえにくい・雑音が入る | ●ターミナルアダプター（TA）の送話・受話音量を調節してください。それでも改善しないときは、ターミナルアダプタ（TA）のメーカーへお問い合わせください。 | ー |

# こんなときは（パソコン接続）

## USB接続でお使いのとき

| こんなときは | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| インストールできない | ●管理者（Administrator）権限でログオンしていますか？<br>→USB接続でお使いになるときは、管理者（Administrator）権限でログオンしてください。<br>●画面で指示がある前に、USB ケーブルを接続していませんか？<br>→USBケーブルは、「USBケーブルを接続してください。」というメッセージが表示されてから接続してください。間違えて接続してしまったときは、一度ケーブルを抜き、パソコンを再起動して、はじめからやり直してください。 | ー<br>60 |
| インストールしても<br>パソコンが本機を認識しない | ●USB ケーブルは認証されたものをお使いですか？<br>→認証された 5m 以内のケーブルをお使いください。認証されていないケーブルでは、正しく動作しないことがあります。<br>●本機とパソコンを、USB ハブなどを経由して接続していませんか？<br>→USB 接続でお使いになるときは、本機とパソコンを直接USBケーブルで接続してください。<br>●パソコンで「SHARP UX-MF70/80 Series」プリンタアイコンが表示されていますか？<br>→プリンタアイコンが表示されていないときは、正しくインストールされていません。再度インストールし直してください。 | ー<br>ー<br>ー |
| CD-ROM 内の電子マニュアルを開けない | ●Adobe Readerがパソコンにインストールされていますか？<br>→CD-ROMのインストール画面から、「電子マニュアル」→「マニュアルが開けない場合」とクリックし、「AdobeRdr810_ja_jp」アイコンをダブルクリックして、Adobe Readerをインストールしてください。 | ー |

## LAN接続でお使いのとき

| こんなときは | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| インストールできない | ●管理者（Administrator）権限でログオンしていますか？<br>→LAN接続でお使いになるときは、管理者（Administrator）権限でログオンしてください。<br>●ファイアウォールソフトが干渉していませんか？<br>→パソコンのファイアウォールソフトと、ブロードバンドルータなどのファイアウォール機能が干渉してインストールできないことがあります。パソコンのファイアウォールソフトを一時的に停止してみてください。<br>→パソコンのファイアウォールソフトや、Windows® XP SP2のファイアウォール機能をお使いのときは、それぞれの取扱説明書やサポート情報などを参考に、一時的にそれらを停止してみてください。 | ー<br>ー |
| インストールしても パソコンが本機を 認識しない | ●パソコンと本機が同じネットワークで接続されていることをご確認ください。<br>●LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXのストレートケーブルをお使いですか？<br>→LAN ケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルがあります。本機の接続にはストレートケーブルをお使いください。<br>●お使いの接続機器に問題があるかもしれません。<br>→正しくインストールしても、パソコンが本機を認識しないときは、ブロードバンドルータの取扱説明書をご覧いただき、再起動などをしてみてください。<br>→IPアドレスを確認してください。 | ー<br>ー<br>ー |
| デスクトップ上の WEB、FTP アイコンを削除してしまった | ●下記の操作でアイコンを作成してください。<br>①「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「SHARP　UX-MF70_80」→「LAN」の順にクリックする<br>②「UX-MFXX-XXXXXXXX-FTP」または「UX-MFXX-XXXXXXXX-WEB」のいずれかを右クリックする（XX-XXXXXXXXの部分は、製品ごとに異なります）<br>③「送る」→「デスクトップ（ショートカットを作成）」をクリックする | ー |

※インストールに関するお問い合わせのときは、ネットワークでのDHCPサーバ機能の使用の有無、お使いのWindows®、サービスパックのバージョン、本機のネットワーク情報を事前にご確認ください。

| こんなときは | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| **デスクトップ上のWEB アイコンをダブルクリックすると、「アクセス制限されています」と表示される** | ●本機の「ネットワークアクセス制限」の設定が「インストールPCのみ許可」になっていませんか？<br>→設定を「制限なし」にしてください。 | 67 |
| | ●Windows Vista®またはWindows®XP SP2のファイアウォール設定を変更する必要があります。<br>→Windows Vista®またはWindows® XP SP2をお使いの場合、ドライバをインストールしているパソコンであっても、WEB画面が正しく表示されないことがあります。このときは、Windows® XP SP2のファイアウォール設定で、「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。 | – |

※インストールに関するお問い合わせのときは、ネットワークでのDHCPサーバ機能の使用の有無、お使いのWindows®、サービスパックのバージョン、本機のネットワーク情報を事前にご確認ください。

# こんなときは（エラー表示／アラーム音）

## 親機を使っているとき

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 受信 FAX があります | ●内容を確認していないファクスの受信データがあります。<br>→受信したデータを表示してください。必要に応じて、不要なデータは消去してください。 | 130 |
| 通信エラー　1～15 | ●回線の状態などで送信や受信ができていないことがあります。<br>→相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（通信エラー1～15の番号が表示されますが、これは弊社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、ご相談窓口までご連絡ください）。<br>（操作ガイド）を押すと、操作手順を表示できます。 | – |
| | ●相手側のファクスがカラープリント対応機（ITU-T準拠カラーファクシミリ）でないときは、カラー送信をすると通信エラーになり、「相手機にカラー通信機能がありません」と表示します。 | – |
| プリンタエラーです | ●プリンタにエラーが起こっています。<br>→プリンタ内に用紙が詰まっていないことを確認してから、プリンタリセットをします。 | 238 |
| 用紙が詰まっています | ●詰まった用紙を取り除いたあと、プリンタリセットをしてください。 | 238、240 |
| インクを<br>セットしてください | ●インクカートリッジが2つともセットされていません。<br>→インクカートリッジをセットします。<br>1つ取り付けると表示は消えますが、インクバックアップモードで印刷しますので、できるだけ早く2つのインクを取り付けてください。 | 37～38 |
| ○○インクが残り<br>少なくなりました<br>早めにインクを交換して<br>ください | ●インクカートリッジのインク残量が残り少なくなっています。<br>→新しいインクカートリッジを準備します（できるだけ早めに新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします）。 | 39～40、265 |
| インクの残量が不明です | ●他のプリンタなどで以前に使用されたことのあるインクはインク残量を表示することはできません。 | – |
| インクを確認<br>してください | ●保護シールは、はがされていますか？インクカートリッジを一度取り外して確認してください。<br>→保護シールをはがしてからインクカートリッジを取り付けます。 | 37 |

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| プリンタ位置調整が必要です | ●インクカートリッジを取付・交換したあと、プリンタ位置調整をするまで表示されます。<br>→◯（操作ガイド）を押し、画面のメッセージにしたがってプリンタ位置調整の操作をします。または「プリンタ位置調整をする」の操作をします。プリンタ位置調整には、記録紙が1枚必要になります。 | 37、39、237 |
| 応答がありません | ●相手の方がファクス受信に切り替わっていません。 | － |
| 受信メモリーが一杯です ➜操作ガイド 不要な受信ファクスを消去してください | ●ファクスの受信件数が30件または受信枚数が60枚になっていませんか？<br>→受信した内容を消去します。<br>→「FAX／録音メモリー選択」で、録音メモリーを外部メモリーに変更（メモリーカードが必要）することができます。 | 140<br>184 |
| スキャナエラーです | ●読み取り中にエラーが起こっています。<br>→本体の電源を入れ直してください。 | － |
| FAX 送信待ち中です | ●自動再ダイヤル待ちのFAXがあります。<br>→「送信待ちリスト」で確認して、中止することができます。 | 121 |
| 原稿が詰まっています（UX-MF80CL／UX-MF80CW のみ） | ●ADFに原稿が詰まっています。<br>→ADFから詰まった原稿を取り除いてください。 | 240 |
| 発信音が検出できませんでした | ●電話回線から発信音が検出できませんでした。<br>→電話回線を確認してください。 | 35 |
| 同報送信エラーがありました | ●同報送信で正しく送信できなかった相手先があります。<br>→同報結果リストをディスプレイで確認、またはプリントで詳細を確認してください。 | 125 |
| 読込みをキャンセルしました | ●ADFを使用してファクスを送信するときに、原稿読み込みメモリーがいっぱいの状態で約3分間放置すると表示されます。 | － |
| 録音メモリーが一杯です ➜操作ガイド 不要な録音を消去してください | ●録音件数が30件になっていませんか？<br>→不要な録音メッセージを消去します。<br>→「FAX／録音メモリー選択」で、録音メモリーを外部メモリーに変更（メモリーカードが必要）することができます。 | 109<br>184 |
| 受信／録音メモリー不足です ➜操作ガイド 不要な受信ファクスや録音を消去してください | ●不要なデータを消去してメモリー残量を増やします。<br>→受信した内容を消去します。<br>→不要な録音メッセージを消去します。<br>→「FAX／録音メモリー選択」で、録音メモリーを外部メモリーに変更（メモリーカードが必要）することができます。<br>●録音時間が合わせて21分を超えていませんか？<br>→不要な録音メッセージを消去します。<br>◯（操作ガイド）を押すと、操作手順を表示できます。 | 140<br>109<br>184<br><br><br><br>109 |

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 受信／録音メモリー不足です インクが少なくなって います | ●インク不足が原因で、プリントできない受信データが留まっています。<br>→新しいインクカートリッジを準備します。 | 39 ～ 40、265 |
| 外線自動応答中 | ●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。 | － |
| 外線使用中（１～４） | ●子機を使用中です（子機番号を表示します）。<br>→子機の使用が終わるまでお待ちください。 | － |

## メモリーカード／USBメモリーを使っているとき

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 外部メモリーが読込めません | ●メモリーカードやUSBメモリーを正しく読み取れません。<br>→メモリーカードやUSBメモリーを一度取り外してから、もう一度取り付けてください。それでも改善されないときは、メモリーカードやUSBメモリー、またはカードスロットが故障している場合があります。<br>→当社推奨のメモリーカードやUSBメモリーを使用しているか、ご確認ください。 | 142<br>141 |
| 外部メモリーが入っていません | ●メモリーカードやUSBメモリーが取り付けられていません。<br>→メモリーカードやUSBメモリーを取り付けてください。 | 142 |
| この外部メモリーには保存できません | ●スキャンデータを保存する先のフォルダがありません。<br>→パソコンまたは携帯電話の操作でフォルダを作成してください。 | － |
| 外部メモリーにファイルが作成できません | ●メモリーカードに「PDFDC999.PDF」「STIL9999.＊＊＊」「SCAN9999.＊＊＊」というファイルが保存されているため、それ以上データを保存できません。<br>→携帯電話、パソコンなどでそのファイルを削除してください。 | － |
| 外部メモリーが一杯になりました | ●メモリーカードやUSBメモリーの容量がいっぱいになっています。<br>→携帯電話、パソコンなどでデータを消去するか、新しいメモリーカードをお使いください。 | － |

## LAN接続で使っているとき

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| サーバーの接続に失敗しました | ●設定が正しくないため、データをパソコンやサーバーに送信できません。<br>→スキャナで読み取ったデータをパソコンに送っている場合は、そのパソコンにネットワークツールが起動しているか確認してください。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」の「ネットワークツールについて（LAN接続時のみ）」をご覧ください。<br>→FTPやE-mail 設定が正しいか、Web画面で確認してください。詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」の「接続PC（FTP）リストページについて」および「E-mail 設定ページについて」をご覧ください。<br>→プロバイダによっては、送信ポート番号を指定している場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダへご確認ください。 | － |

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ネットワークに異常が発生しました | ●本機のネットワーク機能に異常が発生しています。<br>→いったん電源コンセントを抜き、もう一度差し直してください。 | － |
| 通信中にエラーが発生しました | ●ネットワークに障害があるため、データの通信中にエラーが発生しています。<br>→LANケーブルやその他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。 | － |
| サーバー名が見つかりません | ●接続先が見つからないため、データを送信できません。<br>→スキャナで読み取ったデータをパソコンに送っている場合は、送信先のパソコンが起動しているか確認してください。<br>→FTPやE-mail 設定が正しいか、Web画面で確認してください。<br>詳しくは、付属のCD-ROM内の「UX-MF70／UX-MF80シリーズ パソコン活用マニュアル」の「接続PC（FTP）リストページについて」および「E-mail 設定ページについて」をご覧ください。<br>→プロバイダによっては、送信ポート番号を指定している場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダへご確認ください。 | － |

## 子機を使っているとき

| 表示／アラーム音 | ●原因　→対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 「ピーピー」 | ●親機や増設子機が使用中です。<br>●親機の電源コードを接続してください。<br>●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい場所では使用しないでください。<br>●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 | －<br>28<br>15<br><br>－ |
| 「ピピピピ」 | ●名前の文字数やアラーム時刻の設定などが登録範囲を超えています。 | － |
| 「ピピッ……ピピッ……」 | ●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。<br>長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。 | 44～45 |
| 子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる | ●雑音の少ないところでご使用ください。<br>●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。 | －<br>272 |

# 停電になったときは

停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

| | |
|---|---|
| **電話** | ●電話を使用することはできません。通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。<br>●各種サービスは働きません。<br>●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 |
| **留守番** | ●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。<br>●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。<br>●停電になっても、録音内容は消えません。 |
| **ファクス** | ●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。<br>●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。<br>送信のときは、復旧したあと再送信してください。<br>受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。<br>●受信したデータは、停電になっても消えません。 |
| **コピー・プリント** | ●停電中は、コピーやプリントはできません。復旧後あらためてコピーしてください。<br>●紙づまりした場合は、用紙を取り除いてから、プリンタリセットを行ってください。 |
| **登録した内容** | ●電話帳などに登録されている内容は、内蔵のメモリーで保持されていますので消えません。<br>●日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください。 |

# 故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
・ボタンが全く効かない。
・電話帳リストなどをプリントするとデータがみだれている。
・コピーやプリントができない状態が続く。
・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。
修理やアフターサービスをお申しつけになる前に、下記の操作をお試しください。

## 親機をリセットする

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機をリセットしてください。

**1** 停止 **を約10秒以上押したままにする**

**2** 「再起動します しばらくお待ちください」と表示されたら
停止 **から指を離す**
・自動的に再起動が行われます。

■ **リセットしたあとの登録内容について**
登録した内容は消えません。

■ **リセットできないときは**
停止 を約10秒以上押したままにしても再起動しない場合は、本機の電源を入れ直してください（☞下記）。

## 電源を入れ直してみる

差し込みプラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。これだけで症状が改善することがあります。

● **電話帳以外初期化や電話帳全消去をすることで、症状が改善することもあります（☞266ページ）。電話帳や登録設定した内容は消去されます。**

それでも症状が改善されないときは**強制リセット**を行ってみてください（☞263ページ）。

● 強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、親機のすべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。（☞268ページ）

## 親機を強制リセットする

**強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、親機のすべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻ります。**

**1** **親機の差し込みプラグを電源コンセントから抜き取る**

**2** **停止 と モノクロスタート を同時に押したまま、差し込みプラグを電源コンセントに差し込む**

**3** **ディスプレイに「メモリークリア中」と表示されるまで 停止 と モノクロスタート を押したままにする**

**4** **停止 と モノクロスタート から指を離す**

■ **強制リセットしたあとの登録設定内容について**

強制リセット後の主な登録設定内容は、268ページの表の「初期値」になります。
子機の登録設定内容は変更されません。

**お知らせ**

- 電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください。
- 強制リセットをしたあと、自動的に回線種別の設定を行います。
  電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。
- LAN 接続しているときは、強制リセットをしたあと、LAN接続用のドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。

- 強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、お買いあげの販売店へお申しつけください。

# 別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。このカラー液晶ファクシミリ複合機を長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や指定品、推奨品をお使いください。純正品以外の充電池や指定品以外のインクカートリッジ、推奨品以外の用紙を使用されるとプリントがかすれたり、薄くプリントされたりすることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。もし、お近くでご購入できない場合は、シャープドキュメントシステム㈱通信販売センター（フリーダイヤル 0120-478-120　月～金 9:00 ～ 17:00)、シャープ いい暮らしストア（https://store.sharp.co.jp/）でもご購入いただけます。

● 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめのうえ、お買い求めください。

■ **普通紙**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| PP110MA4 | 250枚 | A4 | 630円（税抜価格600円） | シャープドキュメントシステム㈱ |

■ **フォト用紙／写真用紙（印画紙ベース）**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| Q8855A | 20枚 | A4 | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| Q8859A | 100枚 | L判 | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| Q8857A | 20枚 | 切り取り後<br>10×15cm | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| Q8858A | 40枚 | L判 | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |
| IJ200KA2 | 20枚 | A4 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ200KA5 | 50枚 | A4 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ200KL1 | 100枚 | L判 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ200KL2 | 200枚 | L判 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ200SL1 | 100枚 | L判 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ200K2L | 20枚 | 2L判 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |

■ **光沢紙（紙ベース）**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| IJ189KLZ | 150枚 | L判 | オープン価格 | シャープドキュメントシステム㈱ |

■ **コート紙**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| Q6593A | 200枚 | A4 | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード㈱ |

■ **マット紙**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| IJ185GA4 | 100枚 | A4 | 682円(税抜価格650円) | シャープドキュメントシステム㈱ |
| IJ185GB5 | 100枚 | B5 | 525円(税抜価格500円) | シャープドキュメントシステム㈱ |

■ **シール用紙**

| 形名 | 枚数 | サイズ | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| CJ2870S | 10枚 | ハガキ | 472円(税抜価格450円) | ヒサゴ㈱ |
| 29331 | 12枚 | ハガキ | 525円(税抜価格500円) | エーワン㈱ |

■ インクカートリッジ（指定品）

本機を永く愛用していただくためにも、指定品のインクカートリッジをご使用ください。

| 形名 | 製品番号 | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|
| HP130　プリントカートリッジ　黒（増量） | C8767HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード(株) |
| HP131　プリントカートリッジ　黒 | C8765HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード(株) |
| HP134　プリントカートリッジ　カラー（増量） | C9363HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード(株) |
| HP135　プリントカートリッジ　カラー | C8766HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード(株) |
| HP138　プリントカートリッジ　フォトカラー | C9369HJ | オープン価格 | 日本ヒューレット・パッカード(株) |

■ 子機用充電池（ニッケル水素充電池）

| 形名 | 部品コード | 流通コード | 希望小売価格 | メーカー |
|---|---|---|---|---|
| A-002 | UBATMA002AFZZ | 142 932 0070 | 1,800円（税抜価格1,715円） | シャープエンジニアリング㈱ |

●当社の純正品以外の充電池をご使用になると、事故や故障の原因となることがあります。

■ デジタルコードレス増設子機

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| JD-KS17 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| JD-KS25 | 19,950円（税抜価格19,000円） |
| JD-KS15 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| JD-KS21 | 19,950円（税抜価格19,000円） |
| JD-KS11 | 16,800円（税抜価格16,000円） |

■ テレビドアホンユニット

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| DZ-MH70 | 57,750円（税抜価格55,000円） |

■ テレビドアホン対応ターミナルボックス（ドアホン接続用）

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| DZ-T30-W（白） | 14,490円（税抜価格13,800円） |

■ ドアホン

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| DZ-H30-T（ブラウン） | 4,200円（税抜価格4,000円） |

■ ターミナルボックス（ドアホン接続用）

| 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|
| DZ-T20-WH（白） | 10,500円（税抜価格10,000円） |
| DZ-T40 | 16,800円（税抜価格16,000円） |

■ 延長コード（モジュラープラグつき）

| 種類 | 部品コード | 流通コード | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|
| 5ｍ（2芯）（白） | QCNWG0121AFSA | 142 512 0331 | 535円（税抜価格510円） |
| 10m（2芯）（白） | QCNWG0122AFSA | 142 512 0332 | 819円（税抜価格780円） |
| （NTTの電話回線と、ターミナルボックスDZ-T20/DZ-T30を接続するコードです。） | | | |
| 5ｍ（6芯）（グレー） | QCNWG0282AFSA | 142 512 0668 | 1,050円（税抜価格1,000円） |
| 10m（6芯）（グレー） | QCNWG0283AFSA | 142 512 0669 | 1,890円（税抜価格1,800円） |
| （ターミナルボックスDZ-T20と、このカラー液晶ファクシミリ複合機の親機を接続するコードです。） | | | |
| 5ｍ（6芯）（白） | QCNWG0321AFSA | 142 512 0776 | 1,050円（税抜価格1,000円） |
| 10m（6芯）（白） | QCNWG0322AFSA | 142 512 0777 | 1,890円（税抜価格1,800円） |
| （ターミナルボックスDZ-T30と、このカラー液晶ファクシミリ複合機の親機を接続するコードです。） | | | |

**お知らせ**

●希望小売価格は2008年3月現在のものです。

# 登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

**電話帳以外を初期化すると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音や受信データがすべて消去され、工場出荷時の内容（☞268 ページ）に戻ります。**

## 親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外初期化）

**1** （登録/機能）を押し、
＃ を４回押す

**2** で「電話帳以外初期化」を選ぶ

特別設定
3 音量調整
4 回避チャンネル設定
5 時計転送
6 ナンバー・ディスプレイ
7 キャッチホン
8 電話帳以外初期化

**3** を押し、 で「する」を選ぶ

**4** を押す

・電話帳の内容を除いて工場出荷時の設定に戻ります。

**5** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

**お知らせ**

●電話帳以外初期化を行ったあと、自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。
●LAN 接続しているときは、プリンタドライバを再インストールしてください。

## 親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳全消去）

**1** （登録/機能）を押し、
で「全消去メニュー」を選ぶ

**2** を押し、 で「電話帳」を選ぶ

**3** を押し、 で「全消去する」を選ぶ

**4** を押す

・電話帳がすべて消えます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

## 子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

**1** を押し、

で「システムセッテイ」を選ぶ

デ゛ンワチョウテンソウ
▶システムセッテイ

**2** を押し、

で「トウロクショキカ」を選ぶ

デ゛ンハ゜サホ゜ート
▶トウロクショキカ

**3** を2回押す

・子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

**お知らせ**

●子機の登録初期化を行うと、子機の電話帳のデータもすべて消去され、あらかじめ登録されている「≫ジホウ117」「≫テンキヨホウ177」の2件のみになります。

# 初期設定（工場出荷時）一覧表

| 分類 | 項目 | 初期値 | 選択項目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 日時 | 日付・時刻の設定 | 親機：未登録<br>子機：未登録 | 初期登録 | 28、47 |
| | モーニングコール | カイジョ | セッテイ／カイジョ | 183 |
| 音量・音の種類・音の回数 | 着信音量 | 親機：3<br>子機：ヒョウジュン | 親機：５段階<br>子機：ショウ／ヒョウジュン／ダイ／キリ | 49 ～ 50 |
| | 受話音量 | 親機：2<br>子機：2 | 親機：５段階<br>子機：４段階 | 51 ～ 52 |
| | スピーカー音量 | 親機：3<br>子機：2 | 親機：５段階<br>子機：４段階 | 51 ～ 52 |
| | 着信音の種類 | 親機：電話ベル音<br>子機：パターン1 | 親機：6 種類<br>子機：10 種類 | 49 ～ 50 |
| | 留守モード時のコール回数 | ４回 | ①トールセーバー<br>②回数選択（01 ～ 25 回） | 102 ～ 103 |
| | 親機キータッチ音 | あり | ①あり／②なし | 272 |
| | 子機キータッチトーン | セッテイ | セッテイ／カイジョ | 185 |
| 送信 | あなたの名前（発信元名） | 未登録 | 初期登録 | 54 |
| | あなたの番号（発信元番号） | 未登録 | 初期登録 | 53 |
| 画面 | バックライトの明るさ調整 | 4 | ８段階 | 23 |
| | バックライト点灯時間設定 | ３分 | １～５分 | 23 |
| パソコン関連設定 | DHCP による自動取得 | する | ①する／②しない | 66 |
| | パソコン接続設定 | 接続しない | ①接続する／②接続しない | 66 |
| | 外部メモリー書き込み設定 | 書き込み禁止 | ①書き込み禁止／<br>②書き込み許可 | 67 |
| 特別設定 | お声拝聴 | あり | ①あり／②なし | 269 |
| | おまかせ受信（親機／子機） | あり | ①あり／②なし | 270 |
| | 発信音検出 | あり | ①あり／②なし | 271 |
| | キャッチホン切替時間 | 0.8 秒 | ①0.4秒／②0.6秒／③0.8秒 | 273 |
| | IP 電話利用 | なし | ①あり／②なし | 274 |

## ■別途付加サービスが必要な機能

| 分類 | 項目 | 初期値 | 選択項目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| ナンバー・ディスプレイ | ナンバー・ディスプレイ | 使用する | ①使用する／②使用しない | 210 |
| | キャッチホン・ディスプレイ | 使用しない | ①使用する／②使用しない | 215 |

# 特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは （十字キー） で選びます。
工場出荷時は （網掛け） に設定されています。

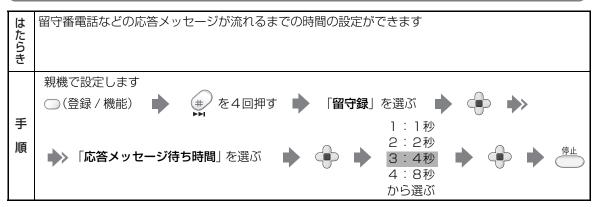
## 発信音待ち時間

| | |
|---|---|
| はたらき | 応答メッセージが流れ終わってから、録音開始音（「ピー」という音）が流れるまでの時間を設定します。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録／機能） ➡ ＃ を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡➡<br>➡➡ 「**発信音待ち時間**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡ １：１秒 ／ ２：２秒 ／ ３：４秒 から選ぶ ➡ （十字キー） ➡ 停止 |

## お声拝聴

| | |
|---|---|
| はたらき | 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。<br>・**あり**　留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。<br>・**なし**　留守録設定中でも応答メッセージと相手の方の録音中の声は聞こえません。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録／機能） ➡ ＃ を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡➡<br>➡➡ 「**お声拝聴**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡ １：あり ／ ２：なし のどちらかを選ぶ ➡ （十字キー） ➡ 停止 |

## 応答メッセージ待ち時間

| | |
|---|---|
| はたらき | 留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録／機能） ➡ ＃ を４回押す ➡ 「**留守録**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡➡<br>➡➡ 「**応答メッセージ待ち時間**」を選ぶ ➡ （十字キー） ➡ １：１秒 ／ ２：２秒 ／ ３：４秒 ／ ４：８秒 から選ぶ ➡ （十字キー） ➡ 停止 |

■ **途中でやめるときは**

停止 **を押します。**

■ **１つ前に戻るときは**

（戻る）を押します。

## おまかせ受信

| | |
|---|---|
| はたらき | 相手の方が自動送信でファクスを送られてきたとき、電話に出ると、自動的にファクス受信に切り替えます。<br>・**あり**　電話に出たとき、「ポー・ポー・ポー…」というファクスの自動送信音が聞こえると、自動的にファクス受信します。<br>・**なし**　「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえても自動的にファクス受信に切り替わりません。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） ➡ を４回押す ➡ 「**FAX**」を選ぶ ➡ ➡<br>➡ 「**おまかせ受信**」を選ぶ ➡ ➡ １：あり　２：なし　のどちらかを選ぶ ➡ ➡ 停止 |

## 縮小受信

| | |
|---|---|
| はたらき | 受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、受信ファクスを自動的に約95%に縮小してプリントします。<br>・**あり**　自動的に約95%に縮小してプリントします。<br>・**なし**　縮小せずにプリントします。<br>相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、２枚に分かれてプリントされることがあります。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） ➡ を４回押す  「**FAX**」を選ぶ ➡  ➡<br>➡ 「**縮小受信**」を選ぶ ➡ ➡ １：あり　２：なし　のどちらかを選ぶ ➡ ➡ 停止 |

## 受信モード

| | |
|---|---|
| はたらき | ファクスのみ受信する設定ができます。<br>・**FAX専用**　FAX 専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わる機能です。<br>FAX専用に設定すると、ディスプレイに FAX専用 と表示されます（留守設定時は表示されません）。<br>・**設定しない**　電話もファクスも受信します。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ # を4回押す →「**FAX**」を選ぶ → ✥ →「**受信モード**」を選ぶ ⇒<br>⇒ ✥ → 1：FAX 専用 2：設定しない から選ぶ → ✥ → 停止 |

## FAX自動送信時の発信音検出

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機の電話帳や再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。<br>自動送信がうまくできないときは、この設定を「なし」にしてください。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ # を４回押す →「**FAX**」を選ぶ → ✥ ⇒<br>⇒「**発信音検出**」を選ぶ → ✥ → 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ → ✥ → 停止 |

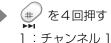
## キータッチ音

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の設定をします。<br>**・あり**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。<br>**・なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ ＃ を４回押す → 「**音量調整**」を選ぶ →<br>→ 「**キータッチ音**」を選ぶ → → 1：あり　2：なし　のどちらかを選ぶ  停止 |

## 回線調整

| | |
|---|---|
| はたらき | 光回線や、ADSLをご利用時、NTTのISDN回線（INSネット64）でターミナルアダプタ（TA）をご利用時は、電話の音量が大きくなりすぎたりハウリングを起こしやすくなったりすることがあります。こんなときに設定します。<br>「小」に設定すると、親機や子機の外線通話時の送受話音量を小さくすることができます。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能）→ ＃ を４回押す → 「**音量調整**」を選ぶ <br>→ 「**回線調整**」を選ぶ  → 1：標準　2：小　のどちらかを選ぶ → → 停止<br>※「小」に設定すると、「親機送話音量」、「子機送話音量」、「子機受話音量」の設定（☞234 ～ 235 ページ）が自動的に「小」に変更されます（「標準」にすると、「標準」に変更されます）。 |

## 回避チャンネル設定

| | |
|---|---|
| はたらき | 他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。子機を使用中に変更することはできません。<br>工場出荷時の設定は「チャンネル6」です。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） を４回押す → 「**回避チャンネル設定**」を選ぶ <br> → 1：チャンネル 1　2：チャンネル 6　3：チャンネル 11　から選ぶ    停止<br>※ 無線 LAN を使用している場合、無線 LAN が使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。 |

## 時計バックアップ

| | |
|---|---|
| はたらき | 停電などで親機の日時登録が消えたときに、子機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったり、子機の日時登録が消えたときに、親機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったりする機能の設定ができます。親機や子機の日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは、日時を転送できません。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） →  を４回押す → 「**時計転送**」を選ぶ →  <br>「**時計バックアップ**」を選ぶ → → 1：使用する　2：使用しない　のどちらかを選ぶ →  → 停止 |

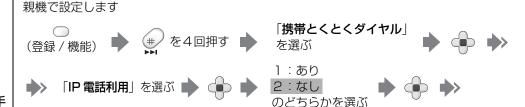
## ナンバー・ディスプレイ

| | |
|---|---|
| はたらき | ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、「使用する」に設定します。<br>構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線通話としてお使いのときは「使用しない」に設定します。 |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） →  を４回押す  「**ナンバー・ディスプレイ**」を選ぶ  <br>1：使用する　2：使用しない　のどちらかを選ぶ    停止 |

## キャッチホン切替時間

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機のキャッチボタンや子機のカナ／キャッチボタンを押したときに回線を開放する時間を設定します。（交換機の種類などにより、カナ／キャッチボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。） |
| 手順 | 親機で設定します<br>（登録 / 機能） → を４回押す  「**キャッチホン**」を選ぶ <br>「**キャッチホン切替時間**」を選ぶ →  → 1：0.4 秒　2：0.6 秒　3：0.8 秒　のいずれかを選ぶ  停止 |

## IP電話利用

| | |
|---|---|
| はたらき | IP電話をご利用の方が携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信するための設定が必要です（通常の発信はIP電話を利用して行われます）。ただし、ひかり電話などのIP電話サービスの種類によっては携帯とくとくダイヤルをご利用できません。詳しくはIP電話の契約会社にご相談ください。<br>**・あり**　指定した事業者を選択するのに必要なIP電話機に設定されているIP電話機能の解除番号（最大6ケタ）を登録します。<br>**・なし**　IP電話を利用しません。<br>IP電話をご利用でない方は、この設定を「なし」にしてお使いください。 |
| 手順 | 親機で設定します<br><br><br>「あり」を選んだとき　IP 電話を利用せずに、NTT などの一般電話回線で発信するための、IP 電話機能の解除番号を入力する（最大 6 ケタ）。初めは「0000」が入力されていますので番号を入力しなおしてください。<br><br><br>「なし」を選んだとき<br><br> |

## 携帯番号帯

**はたらき**

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる電話番号の頭4ケタを追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、新たに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。
あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。

**手順**

親機で設定します

（登録／機能）→ を４回押す → 「**携帯とくとく ダイヤル**」を選ぶ →

→ 「**携帯番号帯**」を選ぶ → →

新たに番号を追加するとき（新規登録）

登録済みの番号を消去するとき 番号を選んで（消去）

（新規登録）を押したとき → 利用対象となる電話番号の頭４ケタを入力 → → 停止

（消去）を押したとき → もう一度（消去）→ 停止

## デモ起動

**はたらき**

親機の液晶画面に商品をご紹介するためのデモを表示させます。

- **しない**　デモを表示しません。
- **する（回線種連動）**　回線種別が設定されていないときは、親機の液晶画面にデモを表示します。
- **する（常に実行）**　親機の液晶画面にデモを表示します。

**手順**

親機で設定します

（登録／機能）→ を４回押す → 「**デモ起動**」を選ぶ →  

1：しない
2：する（回線種連動）
3：する（常に実行）
のいずれかを選ぶ →  →  停止

# 仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

| | |
|---|---|
| 形名 | UX-MF70CL／UX-MF70CW<br>UX-MF80CL／UX-MF80CW<br>送受信兼用卓上型 |
| 使用回線 | 一般加入電話回線、NCC回線帯域、<br>Fネット（16Hz対応のみ） |
| 圧縮方式 | カラー：JPEG<br>モノクロ：MH・MR・MMR・独自圧縮 |
| 通信モード | G3・ECM ＊1 |
| 走査方式 | 密着イメージセンサー方式 |
| 走査線密度 | モノクロ送信時<br>主：8本／mm（普通字、小さな字、精細、写真）<br>副：3.85本／mm（普通字）<br>7.7本／mm（小さな字、写真）<br>15.4本／mm（精細）＊2<br>カラー送信時<br>主：200dpi 副：200dpi |
| 記録方式 | サーマルインクジェット記録方式 |
| 表示装置 | 4.3型カラー ASV液晶ディスプレイ<br>（バックライト付き） 漢字表示 |
| 通信速度 | 9600／7200／4800／2400 bit/s：<br>自動フォールバック |
| 電送時間 | 約9秒 ＊3 |
| 中間調伝送 | 有り（64階調） |
| 用紙サイズ | A4サイズ |
| 読み取り有効幅 | 204mm |
| 受信メモリー | A4標準原稿 約60枚（普通字モード時）＊4 |

■ コードレス部（子機）

| | |
|---|---|
| 充電完了時間 | 約10時間 |
| 使用可能時間（充電完了後） | 待受時＊5<br>標準設定時：約200時間<br>通話時：約6時間 ＊6 |
| 表示装置 | 液晶ディスプレイ カナ2行＋ピクト |
| 増設可能子機 | JD-KS11、JD-KS15、JD-KS17、<br>JD-KS21、JD-KS25 |

■ 電話部

| | 親機 | 子機 |
|---|---|---|
| ダイヤル形式 | 押しボタン式パルスダイヤル／<br>押しボタン式トーンダイヤル | |
| 選択信号種別 | DP信号（10PPS／20PPS）／<br>PB信号（DTMF） | |
| 電話番号の記憶容量 | 電話帳：200人分<br>（32桁以内）<br>再ダイヤル：10局 | 電話帳：100人分<br>（24桁以内）<br>再ダイヤル：10局 |

■ プリンタ部

| | |
|---|---|
| 印刷方式 | サーマルインクジェット方式 |
| 印刷解像度＊7 | 最大4800×1200dpi |
| 用紙セット枚数＊8 | 普通紙：100枚<br>ハガキ：30枚 |
| インク種類 | 6色（カラー・フォト＊9）／<br>4色（カラー・黒） |

■ スキャナ部

| | |
|---|---|
| 解像度 | 最大1200×1200dpi（ソフト補間含む）<br>最大600×600dpi（光学解像度） |
| センサー | CIS |
| 階調 | RGB各16bit入力／8bit出力 |
| 原稿サイズ | 最大A4またはレターサイズ |

■ コピー部

| | |
|---|---|
| 拡大・縮小 | 任意倍率<br>25%～400%（1%刻みで設定可能）<br>固定倍率<br>等倍、A4⇒ハガキ、A4⇒B5、A4⇒L判、<br>A4⇒A5、A5⇒A4、L判⇒A4、<br>L判⇒ハガキ、B5⇒A4、ハガキ⇒A4 |
| 連続コピー枚数 | 99枚 |
| 用紙サイズ | A4、A5、B5、L判、2L判、ハガキ |

■ ネットワーク部

| | |
|---|---|
| インターフェース | 10BASE-T／100BASE-TX |

＊1 本機で送受信できるのは、相手機もG3規格のファクシミリに限られます。
＊2 ITU-T(国際規格)準拠
＊3 A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で高速モード（9600 bit／s）、独自圧縮で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊4 ファクス受信と留守録は同じメモリーを使用するため、記載の枚数や時間は、一方に何も保存されていない場合のものです。
＊5 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊6「電波サポート」を「設定」にした場合は、子機の連続通話時間が約4時間になります。また、「自動」にした場合は、約4～6時間になります。
＊7 主走査×副走査。
＊8 普通紙、ハガキ以外の用紙については、取扱説明書本文にてご確認ください。
＊9 フォトインクは別売です。使用できるフォトインクについては、265ページをご覧ください。

■ 共通部

| | 親機 | 子機 | 充電器 |
|---|---|---|---|
| **寸法** | UX-MF70CL／UX-MF70CW：<br>495（幅）×337（奥行）×<br>160（高さ）mm　アンテナ除く、<br>突起部除く<br>UX-MF80CL／UX-MF80CW：<br>495（幅）×348（奥行）×<br>188（高さ）mm　アンテナ除く、<br>突起部除く | 44（幅）×35（奥行）×<br>169（高さ）mm | 75（幅）×93（奥行）×<br>27（高さ）mm |
| **質量** | UX-MF70CL／UX-MF70CW：<br>約6.3kg<br>インクカートリッジ含む<br>UX-MF80CL／UX-MF80CW：<br>約6.9kg<br>インクカートリッジ含む | 約150g<br>充電池含む | 約130g |
| **電源** | AC100V±10V　50／60Hz | DC3.6V、600mAh<br>（ニッケル水素電池）＊1 | 入力：AC100V±10V<br>50／60Hz |
| **消費電力（100VAC）** | 約3.4W（待機時）＊2<br>約40W（コピー動作時）＊3 | 約0.7W（待機時）<br>約0.9W（急速充電中） | |
| **直流抵抗** | 177Ω | ― | ― |
| **静電容量** | 1μF以下 | ― | ― |
| **使用環境** | 温度　5℃～35℃＊4　相対湿度　30%～85%RH | | |

■ 留守録部

| | |
|---|---|
| **用件録音時間** | 約21分 ＊5 （オリジナルメッセージ、受信データ含む）<br>用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。 |

＊1 充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、お買い上げ販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。
＊2 バックライト消灯時。パソコン接続設定を「接続しない」にしているとき。
＊3 A4 サイズを画質「ふつう」でカラーコピーしているとき（給紙、排紙は除く）。
＊4 室温 15 ℃以下の環境では、場合によりプリント画質が劣化するおそれがあります。
＊5 ファクス受信と留守録は同じメモリーを使用するため、記載の枚数や時間は、一方に何も保存されていない場合のものです。

# 区点コード一覧表

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます（親機のみ）。

| 区点1〜3桁目 | 区点4桁目 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | | (スペース) | 、 | 。 | ， | ． | ・ | ： | ； | ？ |
| 011 | ！ | ゛ | ゜ | ´ | ｀ | ¨ | ＾ | ￣ | ＿ | ヽ |
| 012 | ヾ | ゝ | ゞ | 〃 | 仝 | 々 | 〆 | 〇 | ー | ― |
| 013 | ‐ | ／ | ＼ | ～ | ‖ | ｜ | … | ‥ | ‘ | ’ |
| 014 | “ | ” | （ | ） | 〔 | 〕 | ［ | ］ | ｛ | ｝ |
| 015 | 〈 | 〉 | 《 | 》 | 「 | 」 | 『 | 』 | 【 | 】 |
| 016 | ＋ | － | ± | × | ÷ | ＝ | ≠ | ＜ | ＞ | ≦ |
| 017 | ≧ | ∞ | ∴ | ♂ | ♀ | ° | ′ | ″ | ℃ | ￥ |
| 018 | ＄ | ￠ | ￡ | ％ | ＃ | ＆ | ＊ | ＠ | § | ☆ |
| 019 | ★ | ○ | ● | ◎ | ◇ | | | | | |
| 020 | | ◆ | □ | ■ | △ | ▲ | ▽ | ▼ | ※ | 〒 |
| 021 | → | ← | ↑ | ↓ | 〓 | | | | | |
| 022 | | | | | | | ∈ | ∋ | ⊆ | ⊇ |
| 023 | ⊂ | ⊃ | ∪ | ∩ | | | | | | |
| 024 | | | ∧ | ∨ | ￢ | ⇒ | ⇔ | ∀ | ∃ | |
| 025 | | | | | | | | | | |
| 026 | ∠ | ⊥ | ⌒ | ∂ | ∇ | ≡ | ≒ | ≪ | ≫ | √ |
| 027 | ∽ | ∝ | ∵ | ∫ | ∬ | | | | | |
| 028 | | | Å | ‰ | ♯ | ♭ | ♪ | † | ‡ | ¶ |
| 029 | | | | | ◯ | | | | | |
| 030 | | | | | | | | | | |
| 031 | | | | | | | ０ | １ | ２ | ３ |
| 032 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | | | | |
| 033 | | | | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ | Ｆ | Ｇ |
| 034 | Ｈ | Ｉ | Ｊ | Ｋ | Ｌ | Ｍ | Ｎ | Ｏ | Ｐ | Ｑ |
| 035 | Ｒ | Ｓ | Ｔ | Ｕ | Ｖ | Ｗ | Ｘ | Ｙ | Ｚ | |
| 036 | | | | | | ａ | ｂ | ｃ | ｄ | ｅ |
| 037 | ｆ | ｇ | ｈ | ｉ | ｊ | ｋ | ｌ | ｍ | ｎ | ｏ |
| 038 | ｐ | ｑ | ｒ | ｓ | ｔ | ｕ | ｖ | ｗ | ｘ | ｙ |
| 039 | ｚ | | | | | | | | | |
| 040 | | ぁ | あ | ぃ | い | ぅ | う | ぇ | え | ぉ |
| 041 | お | か | が | き | ぎ | く | ぐ | け | げ | こ |
| 042 | ご | さ | ざ | し | じ | す | ず | せ | ぜ | そ |
| 043 | ぞ | た | だ | ち | ぢ | っ | つ | づ | て | で |
| 044 | と | ど | な | に | ぬ | ね | の | は | ば | ぱ |
| 045 | ひ | び | ぴ | ふ | ぶ | ぷ | へ | べ | ぺ | ほ |
| 046 | ぼ | ぽ | ま | み | む | め | も | ゃ | や | ゅ |
| 047 | ゆ | ょ | よ | ら | り | る | れ | ろ | ゎ | わ |
| 048 | ゐ | ゑ | を | ん | | | | | | |
| 049 | | | | | | | | | | |
| 050 | | ァ | ア | ィ | イ | ゥ | ウ | ェ | エ | ォ |
| 051 | オ | カ | ガ | キ | ギ | ク | グ | ケ | ゲ | コ |
| 052 | ゴ | サ | ザ | シ | ジ | ス | ズ | セ | ゼ | ソ |
| 053 | ゾ | タ | ダ | チ | ヂ | ッ | ツ | ヅ | テ | デ |
| 054 | ト | ド | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | バ | パ |
| 055 | ヒ | ビ | ピ | フ | ブ | プ | ヘ | ベ | ペ | ホ |
| 056 | ボ | ポ | マ | ミ | ム | メ | モ | ャ | ヤ | ュ |
| 057 | ユ | ョ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | ロ | ヮ | ワ |
| 058 | ヰ | ヱ | ヲ | ン | ヴ | ヵ | ヶ | | | |
| 059 | | | | | | | | | | |
| 060 | | Α | Β | Γ | Δ | Ε | Ζ | Η | Θ | Ι |
| 061 | Κ | Λ | Μ | Ν | Ξ | Ο | Π | Ρ | Σ | Τ |
| 062 | Υ | Φ | Χ | Ψ | Ω | | | | | |
| 063 | | | | α | β | γ | δ | ε | ζ | η |
| 064 | θ | ι | κ | λ | μ | ν | ξ | ο | π | ρ |
| 065 | σ | τ | υ | φ | χ | ψ | ω | | | |
| 070 | | А | Б | В | Г | Д | Е | Ё | Ж | З |
| 071 | И | Й | К | Л | М | Н | О | П | Р | С |
| 072 | Т | У | Ф | Х | Ц | Ч | Ш | Щ | Ъ | Ы |
| 073 | Ь | Э | Ю | Я | | | | | | |
| 074 | | | | | | | | | | а |
| 075 | б | в | г | д | е | ё | ж | з | и | й |
| 076 | к | л | м | н | о | п | р | с | т | у |
| 077 | ф | х | ц | ч | ш | щ | ъ | ы | ь | э |
| 078 | ю | я | | | | | | | | |
| 079 | | | | | | | | | | |
| 080 | | ─ | │ | ┌ | ┐ | ┘ | └ | ├ | ┬ | ┤ |
| 081 | ┴ | ┼ | ━ | ┃ | ┏ | ┓ | ┛ | ┗ | ┣ | ┳ |
| 082 | ┫ | ┻ | ╋ | ┠ | ┯ | ┨ | ┷ | ┿ | ┝ | ┰ |
| 083 | ┥ | ┸ | ╂ | | | | | | | |
| | | | | | ーーあーー | | | | | |
| 160 | | 亜 | 唖 | 娃 | 阿 | 哀 | 愛 | 挨 | 姶 | 逢 |
| 161 | 葵 | 茜 | 穐 | 悪 | 握 | 渥 | 旭 | 葦 | 芦 | 鯵 |
| 162 | 梓 | 圧 | 斡 | 扱 | 宛 | 姐 | 虻 | 飴 | 絢 | 綾 |
| 163 | 鮎 | 或 | 粟 | 袷 | 安 | 庵 | 按 | 暗 | 案 | 闇 |
| 164 | 鞍 | 杏 | | | | | | | | |
| | | | | | ーーいーー | | | | | |
| 164 | | | 以 | 伊 | 位 | 依 | 偉 | 囲 | 夷 | 委 |
| 165 | 威 | 尉 | 惟 | 意 | 慰 | 易 | 椅 | 為 | 畏 | 異 |
| 166 | 移 | 維 | 緯 | 胃 | 萎 | 衣 | 謂 | 違 | 遺 | 医 |
| 167 | 井 | 亥 | 域 | 育 | 郁 | 磯 | 一 | 壱 | 溢 | 逸 |
| 168 | 稲 | 茨 | 芋 | 鰯 | 允 | 印 | 咽 | 員 | 因 | 姻 |
| 169 | 引 | 飲 | 淫 | 胤 | 蔭 | | | | | |
| 170 | | 院 | 陰 | 隠 | 韻 | 吋 | | | | |
| | | | | | ーーうーー | | | | | |
| 170 | | | | | | | 右 | 宇 | 烏 | 羽 |
| 171 | 迂 | 雨 | 卯 | 鵜 | 窺 | 丑 | 碓 | 臼 | 渦 | 嘘 |
| 172 | 唄 | 欝 | 蔚 | 鰻 | 姥 | 厩 | 浦 | 瓜 | 閏 | 噂 |
| 173 | 云 | 運 | 雲 | | | | | | | |
| | | | | | ーーえーー | | | | | |
| 173 | | | | 荏 | 餌 | 叡 | 営 | 嬰 | 影 | 映 |
| 174 | 曳 | 栄 | 永 | 泳 | 洩 | 瑛 | 盈 | 穎 | 頴 | 英 |
| 175 | 衛 | 詠 | 鋭 | 液 | 疫 | 益 | 駅 | 悦 | 謁 | 越 |
| 176 | 閲 | 榎 | 厭 | 円 | 園 | 堰 | 奄 | 宴 | 延 | 怨 |
| 177 | 掩 | 援 | 沿 | 演 | 炎 | 焔 | 煙 | 燕 | 猿 | 縁 |
| 178 | 艶 | 苑 | 薗 | 遠 | 鉛 | 鴛 | 塩 | | | |
| | | | | | ーーおーー | | | | | |
| 178 | | | | | | | | 於 | 汚 | 甥 |
| 179 | 凹 | 央 | 奥 | 往 | 応 | | | | | |
| 180 | | 押 | 旺 | 横 | 欧 | 殴 | 王 | 翁 | 襖 | 鴬 |
| 181 | 鴎 | 黄 | 岡 | 沖 | 荻 | 億 | 屋 | 憶 | 臆 | 桶 |
| 182 | 牡 | 乙 | 俺 | 卸 | 恩 | 温 | 穏 | 音 | | |
| | | | | | ーーかーー | | | | | |
| 182 | | | | | | | | | 下 | 化 |
| 183 | 仮 | 何 | 伽 | 価 | 佳 | 加 | 可 | 嘉 | 夏 | 嫁 |
| 184 | 家 | 寡 | 科 | 暇 | 果 | 架 | 歌 | 河 | 火 | 珂 |
| 185 | 禍 | 禾 | 稼 | 箇 | 花 | 苛 | 茄 | 荷 | 華 | 菓 |
| 186 | 蝦 | 課 | 嘩 | 貨 | 迦 | 過 | 霞 | 蚊 | 俄 | 峨 |
| 187 | 我 | 牙 | 画 | 臥 | 芽 | 蛾 | 賀 | 雅 | 餓 | 駕 |
| 188 | 介 | 会 | 解 | 回 | 塊 | 壊 | 廻 | 快 | 怪 | 悔 |
| 189 | 恢 | 懐 | 戒 | 拐 | 改 | | | | | |
| 190 | | 魁 | 晦 | 械 | 海 | 灰 | 界 | 皆 | 絵 | 芥 |
| 191 | 蟹 | 開 | 階 | 貝 | 凱 | 劾 | 外 | 咳 | 害 | 崖 |
| 192 | 慨 | 概 | 涯 | 碍 | 蓋 | 街 | 該 | 鎧 | 骸 | 浬 |
| 193 | 馨 | 蛙 | 垣 | 柿 | 蛎 | 鈎 | 劃 | 嚇 | 各 | 廓 |
| 194 | 拡 | 撹 | 格 | 核 | 殻 | 獲 | 確 | 穫 | 覚 | 角 |
| 195 | 赫 | 較 | 郭 | 閣 | 隔 | 革 | 学 | 岳 | 楽 | 額 |
| 196 | 顎 | 掛 | 笠 | 樫 | 橿 | 梶 | 鰍 | 潟 | 割 | 喝 |
| 197 | 恰 | 括 | 活 | 渇 | 滑 | 葛 | 褐 | 轄 | 且 | 鰹 |
| 198 | 叶 | 椛 | 樺 | 鞄 | 株 | 兜 | 竃 | 蒲 | 釜 | 鎌 |
| 199 | 噛 | 鴨 | 栢 | 茅 | 萱 | | | | | |
| 200 | | 粥 | 刈 | 苅 | 瓦 | 乾 | 侃 | 冠 | 寒 | 刊 |
| 201 | 勘 | 勧 | 巻 | 喚 | 堪 | 姦 | 完 | 官 | 寛 | 干 |
| 202 | 幹 | 患 | 感 | 慣 | 憾 | 換 | 敢 | 柑 | 桓 | 棺 |
| 203 | 款 | 歓 | 汗 | 漢 | 澗 | 潅 | 環 | 甘 | 監 | 看 |
| 204 | 竿 | 管 | 簡 | 緩 | 缶 | 翰 | 肝 | 艦 | 莞 | 観 |
| 205 | 諌 | 貫 | 還 | 鑑 | 間 | 閑 | 関 | 陥 | 韓 | 館 |
| 206 | 舘 | 丸 | 含 | 岸 | 巌 | 玩 | 癌 | 眼 | 岩 | 翫 |
| 207 | 贋 | 雁 | 頑 | 顔 | 願 | | | | | |
| | | | | | ーーきーー | | | | | |
| 207 | | | | | | 企 | 伎 | 危 | 喜 | 器 |
| 208 | 基 | 奇 | 嬉 | 寄 | 岐 | 希 | 幾 | 忌 | 揮 | 机 |
| 209 | 旗 | 既 | 期 | 棋 | 棄 | | | | | |
| 210 | | 機 | 帰 | 毅 | 気 | 汽 | 畿 | 祈 | 季 | 稀 |
| 211 | 紀 | 徽 | 規 | 記 | 貴 | 起 | 軌 | 輝 | 飢 | 騎 |
| 212 | 鬼 | 亀 | 偽 | 儀 | 妓 | 宜 | 戯 | 技 | 擬 | 欺 |
| 213 | 犠 | 疑 | 祇 | 義 | 蟻 | 誼 | 議 | 掬 | 菊 | 鞠 |
| 214 | 吉 | 吃 | 喫 | 桔 | 橘 | 詰 | 砧 | 杵 | 黍 | 却 |
| 215 | 客 | 脚 | 虐 | 逆 | 丘 | 久 | 仇 | 休 | 及 | 吸 |
| 216 | 宮 | 弓 | 急 | 救 | 朽 | 求 | 汲 | 泣 | 灸 | 球 |
| 217 | 究 | 窮 | 笈 | 級 | 糾 | 給 | 旧 | 牛 | 去 | 居 |
| 218 | 巨 | 拒 | 拠 | 挙 | 渠 | 虚 | 許 | 距 | 鋸 | 漁 |
| 219 | 禦 | 魚 | 亨 | 享 | 京 | | | | | |
| 220 | | 供 | 侠 | 僑 | 兇 | 競 | 共 | 凶 | 協 | 匡 |
| 221 | 卿 | 叫 | 喬 | 境 | 峡 | 強 | 彊 | 怯 | 恐 | 恭 |
| 222 | 挟 | 教 | 橋 | 況 | 狂 | 狭 | 矯 | 胸 | 脅 | 興 |
| 223 | 蕎 | 郷 | 鏡 | 響 | 饗 | 驚 | 仰 | 凝 | 尭 | 暁 |
| 224 | 業 | 局 | 曲 | 極 | 玉 | 桐 | 粁 | 僅 | 勤 | 均 |
| 225 | 巾 | 錦 | 斤 | 欣 | 欽 | 琴 | 禁 | 禽 | 筋 | 緊 |
| 226 | 芹 | 菌 | 衿 | 襟 | 謹 | 近 | 金 | 吟 | 銀 | |
| | | | | | ーーくーー | | | | | |
| 226 | | | | | | | | | | 九 |
| 227 | 倶 | 句 | 区 | 狗 | 玖 | 矩 | 苦 | 躯 | 駆 | 駈 |
| 228 | 駒 | 具 | 愚 | 虞 | 喰 | 空 | 偶 | 寓 | 遇 | 隅 |
| 229 | 串 | 櫛 | 釧 | 屑 | 屈 | | | | | |
| 230 | | 掘 | 窟 | 沓 | 靴 | 轡 | 窪 | 熊 | 隈 | 粂 |
| 231 | 栗 | 繰 | 桑 | 鍬 | 勲 | 君 | 薫 | 訓 | 群 | 軍 |
| 232 | 郡 | | | | | | | | | |
| | | | | | ーーけーー | | | | | |
| 232 | | 卦 | 袈 | 祁 | 係 | 傾 | 刑 | 兄 | 啓 | 圭 |
| 233 | 珪 | 型 | 契 | 形 | 径 | 恵 | 慶 | 慧 | 憩 | 掲 |
| 234 | 携 | 敬 | 景 | 桂 | 渓 | 畦 | 稽 | 系 | 経 | 継 |
| 235 | 繋 | 罫 | 茎 | 荊 | 蛍 | 計 | 詣 | 警 | 軽 | 頚 |
| 236 | 鶏 | 芸 | 迎 | 鯨 | 劇 | 戟 | 撃 | 激 | 隙 | 桁 |
| 237 | 傑 | 欠 | 決 | 潔 | 穴 | 結 | 血 | 訣 | 月 | 件 |
| 238 | 倹 | 倦 | 健 | 兼 | 券 | 剣 | 喧 | 圏 | 堅 | 嫌 |
| 239 | 建 | 憲 | 懸 | 拳 | 捲 | | | | | |
| 240 | | 検 | 権 | 牽 | 犬 | 献 | 研 | 硯 | 絹 | 県 |
| 241 | 肩 | 見 | 謙 | 賢 | 軒 | 遣 | 鍵 | 険 | 顕 | 験 |
| 242 | 鹸 | 元 | 原 | 厳 | 幻 | 弦 | 減 | 源 | 玄 | 現 |
| 243 | 絃 | 舷 | 言 | 諺 | 限 | | | | | |
| | | | | | ーーこーー | | | | | |
| 243 | | | | | | 乎 | 個 | 古 | 呼 | 固 |
| 244 | 姑 | 孤 | 己 | 庫 | 弧 | 戸 | 故 | 枯 | 湖 | 狐 |
| 245 | 糊 | 袴 | 股 | 胡 | 菰 | 虎 | 誇 | 跨 | 鈷 | 雇 |
| 246 | 顧 | 鼓 | 五 | 互 | 伍 | 午 | 呉 | 吾 | 娯 | 後 |
| 247 | 御 | 悟 | 梧 | 檎 | 瑚 | 碁 | 語 | 誤 | 護 | 醐 |
| 248 | 乞 | 鯉 | 交 | 佼 | 侯 | 候 | 倖 | 光 | 公 | 功 |
| 249 | 効 | 勾 | 厚 | 口 | 向 | | | | | |
| 250 | | 后 | 喉 | 坑 | 垢 | 好 | 孔 | 孝 | 宏 | 工 |
| 251 | 巧 | 巷 | 幸 | 広 | 庚 | 康 | 弘 | 恒 | 慌 | 抗 |
| 252 | 拘 | 控 | 攻 | 昂 | 晃 | 更 | 杭 | 校 | 梗 | 構 |
| 253 | 江 | 洪 | 浩 | 港 | 溝 | 甲 | 皇 | 硬 | 稿 | 糠 |
| 254 | 紅 | 紘 | 絞 | 綱 | 耕 | 考 | 肯 | 肱 | 腔 | 膏 |
| 255 | 航 | 荒 | 行 | 衡 | 講 | 貢 | 購 | 郊 | 酵 | 鉱 |
| 256 | 砿 | 鋼 | 閤 | 降 | 項 | 香 | 高 | 鴻 | 剛 | 劫 |
| 257 | 号 | 合 | 壕 | 拷 | 濠 | 豪 | 轟 | 麹 | 克 | 刻 |
| 258 | 告 | 国 | 穀 | 酷 | 鵠 | 黒 | 獄 | 漉 | 腰 | 甑 |
| 259 | 忽 | 惚 | 骨 | 狛 | 込 | | | | | |
| 260 | | 此 | 頃 | 今 | 困 | 坤 | 墾 | 婚 | 恨 | 懇 |
| 261 | 昏 | 昆 | 根 | 梱 | 混 | 痕 | 紺 | 艮 | 魂 | |
| | | | | | ーーさーー | | | | | |
| 261 | | | | | | | | | | 些 |
| 262 | 佐 | 叉 | 唆 | 嵯 | 左 | 差 | 査 | 沙 | 瑳 | 砂 |
| 263 | 詐 | 鎖 | 裟 | 坐 | 座 | 挫 | 債 | 催 | 再 | 最 |
| 264 | 哉 | 塞 | 妻 | 宰 | 彩 | 才 | 採 | 栽 | 歳 | 済 |
| 265 | 災 | 采 | 犀 | 砕 | 砦 | 祭 | 斎 | 細 | 菜 | 裁 |
| 266 | 載 | 際 | 剤 | 在 | 材 | 罪 | 財 | 冴 | 坂 | 阪 |
| 267 | 堺 | 榊 | 肴 | 咲 | 崎 | 埼 | 碕 | 鷺 | 作 | 削 |
| 268 | 咋 | 搾 | 昨 | 朔 | 柵 | 窄 | 策 | 索 | 錯 | 桜 |
| 269 | 鮭 | 笹 | 匙 | 冊 | 刷 | | | | | |
| 270 | | 察 | 拶 | 撮 | 擦 | 札 | 殺 | 薩 | 雑 | 皐 |
| 271 | 鯖 | 捌 | 錆 | 鮫 | 皿 | 晒 | 三 | 傘 | 参 | 山 |
| 272 | 惨 | 撒 | 散 | 桟 | 燦 | 珊 | 産 | 算 | 纂 | 蚕 |
| 273 | 讃 | 賛 | 酸 | 餐 | 斬 | 暫 | 残 | | | |
| | | | | | ーーしーー | | | | | |
| 273 | | | | | | | | 仕 | 仔 | 伺 |
| 274 | 使 | 刺 | 司 | 史 | 嗣 | 四 | 士 | 始 | 姉 | 姿 |
| 275 | 子 | 屍 | 市 | 師 | 志 | 思 | 指 | 支 | 孜 | 斯 |
| 276 | 施 | 旨 | 枝 | 止 | 死 | 氏 | 獅 | 祉 | 私 | 糸 |
| 277 | 紙 | 紫 | 肢 | 脂 | 至 | 視 | 詞 | 詩 | 試 | 誌 |
| 278 | 諮 | 資 | 賜 | 雌 | 飼 | 歯 | 事 | 似 | 侍 | 児 |
| 279 | 字 | 寺 | 慈 | 持 | 時 | | | | | |
| 280 | | 次 | 滋 | 治 | 爾 | 璽 | 痔 | 磁 | 示 | 而 |
| 281 | 耳 | 自 | 蒔 | 辞 | 汐 | 鹿 | 式 | 識 | 鴫 | 竺 |
| 282 | 軸 | 宍 | 雫 | 七 | 叱 | 執 | 失 | 嫉 | 室 | 悉 |
| 283 | 湿 | 漆 | 疾 | 質 | 実 | 蔀 | 篠 | 偲 | 柴 | 芝 |
| 284 | 屡 | 蕊 | 縞 | 舎 | 写 | 射 | 捨 | 赦 | 斜 | 煮 |
| 285 | 社 | 紗 | 者 | 謝 | 車 | 遮 | 蛇 | 邪 | 借 | 勺 |
| 286 | 尺 | 杓 | 灼 | 爵 | 酌 | 釈 | 錫 | 若 | 寂 | 弱 |
| 287 | 惹 | 主 | 取 | 守 | 手 | 朱 | 殊 | 狩 | 珠 | 種 |
| 288 | 腫 | 趣 | 酒 | 首 | 儒 | 受 | 呪 | 寿 | 授 | 樹 |
| 289 | 綬 | 需 | 囚 | 収 | 周 | | | | | |
| 290 | | 宗 | 就 | 州 | 修 | 愁 | 拾 | 洲 | 秀 | 秋 |
| 291 | 終 | 繍 | 習 | 臭 | 舟 | 蒐 | 衆 | 襲 | 讐 | 蹴 |
| 292 | 輯 | 週 | 酋 | 酬 | 集 | 醜 | 什 | 住 | 充 | 十 |
| 293 | 従 | 戎 | 柔 | 汁 | 渋 | 獣 | 縦 | 重 | 銃 | 叔 |
| 294 | 夙 | 宿 | 淑 | 祝 | 縮 | 粛 | 塾 | 熟 | 出 | 術 |
| 295 | 述 | 俊 | 峻 | 春 | 瞬 | 竣 | 舜 | 駿 | 准 | 循 |
| 296 | 旬 | 楯 | 殉 | 淳 | 準 | 潤 | 盾 | 純 | 巡 | 遵 |
| 297 | 醇 | 順 | 処 | 初 | 所 | 暑 | 曙 | 渚 | 庶 | 緒 |
| 298 | 署 | 書 | 薯 | 藷 | 諸 | 助 | 叙 | 女 | 序 | 徐 |
| 299 | 恕 | 鋤 | 除 | 傷 | 償 | | | | | |
| 300 | | 勝 | 匠 | 升 | 召 | 哨 | 商 | 唱 | 嘗 | 奨 |
| 301 | 妾 | 娼 | 宵 | 将 | 小 | 少 | 尚 | 庄 | 床 | 廠 |
| 302 | 彰 | 承 | 抄 | 招 | 掌 | 捷 | 昇 | 昌 | 昭 | 晶 |
| 303 | 松 | 梢 | 樟 | 樵 | 沼 | 消 | 渉 | 湘 | 焼 | 焦 |
| 304 | 照 | 症 | 省 | 硝 | 礁 | 祥 | 称 | 章 | 笑 | 粧 |
| 305 | 紹 | 肖 | 菖 | 蒋 | 蕉 | 衝 | 裳 | 訟 | 証 | 詔 |
| 306 | 詳 | 象 | 賞 | 醤 | 鉦 | 鍾 | 鐘 | 障 | 鞘 | 上 |
| 307 | 丈 | 丞 | 乗 | 冗 | 剰 | 城 | 場 | 壌 | 嬢 | 常 |
| 308 | 情 | 擾 | 条 | 杖 | 浄 | 状 | 畳 | 穣 | 蒸 | 譲 |
| 309 | 醸 | 錠 | 嘱 | 埴 | 飾 | | | | | |
| 310 | | 拭 | 植 | 殖 | 燭 | 織 | 職 | 色 | 触 | 食 |
| 311 | 蝕 | 辱 | 尻 | 伸 | 信 | 侵 | 唇 | 娠 | 寝 | 審 |
| 312 | 心 | 慎 | 振 | 新 | 晋 | 森 | 榛 | 浸 | 深 | 申 |
| 313 | 疹 | 真 | 神 | 秦 | 紳 | 臣 | 芯 | 薪 | 親 | 診 |
| 314 | 身 | 辛 | 進 | 針 | 震 | 人 | 仁 | 刃 | 塵 | 壬 |
| 315 | 尋 | 甚 | 尽 | 腎 | 訊 | 迅 | 陣 | 靭 | | |
| | | | | | ーーすーー | | | | | |
| 315 | | | | | | | | | 笥 | 諏 |
| 316 | 須 | 酢 | 図 | 厨 | 逗 | 吹 | 垂 | 帥 | 推 | 水 |
| 317 | 炊 | 睡 | 粋 | 翠 | 衰 | 遂 | 酔 | 錐 | 錘 | 随 |
| 318 | 瑞 | 髄 | 崇 | 嵩 | 数 | 枢 | 趨 | 雛 | 据 | 杉 |
| 319 | 椙 | 菅 | 頗 | 雀 | 裾 | | | | | |
| 320 | | 澄 | 摺 | 寸 | | | | | | |
| | | | | | ーーせーー | | | | | |
| 320 | | | | | 世 | 瀬 | 畝 | 是 | 凄 | 制 |
| 321 | 勢 | 姓 | 征 | 性 | 成 | 政 | 整 | 星 | 晴 | 棲 |
| 322 | 栖 | 正 | 清 | 牲 | 生 | 盛 | 精 | 聖 | 声 | 製 |
| 323 | 西 | 誠 | 誓 | 請 | 逝 | 醒 | 青 | 静 | 斉 | 税 |
| 324 | 脆 | 隻 | 席 | 惜 | 戚 | 斥 | 昔 | 析 | 石 | 積 |
| 325 | 籍 | 績 | 脊 | 責 | 赤 | 跡 | 蹟 | 碩 | 切 | 拙 |
| 326 | 接 | 摂 | 折 | 設 | 窃 | 節 | 説 | 雪 | 絶 | 舌 |
| 327 | 蝉 | 仙 | 先 | 千 | 占 | 宣 | 専 | 尖 | 川 | 戦 |
| 328 | 扇 | 撰 | 栓 | 栴 | 泉 | 浅 | 洗 | 染 | 潜 | 煎 |
| 329 | 煽 | 旋 | 穿 | 箭 | 線 | | | | | |
| 330 | | 繊 | 羨 | 腺 | 舛 | 船 | 薦 | 詮 | 賎 | 践 |
| 331 | 選 | 遷 | 銭 | 銑 | 閃 | 鮮 | 前 | 善 | 漸 | 然 |
| 332 | 全 | 禅 | 繕 | 膳 | 糎 | | | | | |
| | | | | | ーーそーー | | | | | |
| 332 | | | | | | 噌 | 塑 | 岨 | 措 | 曾 |
| 333 | 曽 | 楚 | 狙 | 疏 | 疎 | 礎 | 祖 | 租 | 粗 | 素 |
| 334 | 組 | 蘇 | 訴 | 阻 | 遡 | 鼠 | 僧 | 創 | 双 | 叢 |
| 335 | 倉 | 喪 | 壮 | 奏 | 爽 | 宋 | 層 | 匝 | 惣 | 想 |
| 336 | 捜 | 掃 | 挿 | 掻 | 操 | 早 | 曹 | 巣 | 槍 | 槽 |
| 337 | 漕 | 燥 | 争 | 痩 | 相 | 窓 | 糟 | 総 | 綜 | 聡 |
| 338 | 草 | 荘 | 葬 | 蒼 | 藻 | 装 | 走 | 送 | 遭 | 鎗 |
| 339 | 霜 | 騒 | 像 | 増 | 憎 | | | | | |
| 340 | | 臓 | 蔵 | 贈 | 造 | 促 | 側 | 則 | 即 | 息 |
| 341 | 捉 | 束 | 測 | 足 | 速 | 俗 | 属 | 賊 | 族 | 続 |
| 342 | 卒 | 袖 | 其 | 揃 | 存 | 孫 | 尊 | 損 | 村 | 遜 |
| | | | | | ーーたーー | | | | | |
| 343 | 他 | 多 | 太 | 汰 | 詑 | 唾 | 堕 | 妥 | 惰 | 打 |
| 344 | 柁 | 舵 | 楕 | 陀 | 駄 | 騨 | 体 | 堆 | 対 | 耐 |
| 345 | 岱 | 帯 | 待 | 怠 | 態 | 戴 | 替 | 泰 | 滞 | 胎 |
| 346 | 腿 | 苔 | 袋 | 貸 | 退 | 逮 | 隊 | 黛 | 鯛 | 代 |
| 347 | 台 | 大 | 第 | 醍 | 題 | 鷹 | 滝 | 瀧 | 卓 | 啄 |
| 348 | 宅 | 托 | 択 | 拓 | 沢 | 濯 | 琢 | 託 | 鐸 | 濁 |
| 349 | 諾 | 茸 | 凧 | 蛸 | 只 | | | | | |
| 350 | | 叩 | 但 | 達 | 辰 | 奪 | 脱 | 巽 | 竪 | 辿 |
| 351 | 棚 | 谷 | 狸 | 鱈 | 樽 | 誰 | 丹 | 単 | 嘆 | 坦 |
| 352 | 担 | 探 | 旦 | 歎 | 淡 | 湛 | 炭 | 短 | 端 | 箪 |
| 353 | 綻 | 耽 | 胆 | 蛋 | 誕 | 鍛 | 団 | 壇 | 弾 | 断 |
| 354 | 暖 | 檀 | 段 | 男 | 談 | | | | | |
| | | | | | ーーちーー | | | | | |
| 354 | | | | | | 値 | 知 | 地 | 弛 | 恥 |
| 355 | 智 | 池 | 痴 | 稚 | 置 | 致 | 蜘 | 遅 | 馳 | 築 |
| 356 | 畜 | 竹 | 筑 | 蓄 | 逐 | 秩 | 窒 | 茶 | 嫡 | 着 |
| 357 | 中 | 仲 | 宙 | 忠 | 抽 | 昼 | 柱 | 注 | 虫 | 衷 |
| 358 | 註 | 酎 | 鋳 | 駐 | 樗 | 瀦 | 猪 | 苧 | 著 | 貯 |
| 359 | 丁 | 兆 | 凋 | 喋 | 寵 | | | | | |
| 360 | | 帖 | 帳 | 庁 | 弔 | 張 | 彫 | 徴 | 懲 | 挑 |
| 361 | 暢 | 朝 | 潮 | 牒 | 町 | 眺 | 聴 | 脹 | 腸 | 蝶 |
| 362 | 調 | 諜 | 超 | 跳 | 銚 | 長 | 頂 | 鳥 | 勅 | 捗 |
| 363 | 直 | 朕 | 沈 | 珍 | 賃 | 鎮 | 陳 | | | |
| | | | | | ーーつーー | | | | | |
| 363 | | | | | | | | 津 | 墜 | 椎 |
| 364 | 槌 | 追 | 鎚 | 痛 | 通 | 塚 | 栂 | 掴 | 槻 | 佃 |
| 365 | 漬 | 柘 | 辻 | 蔦 | 綴 | 鍔 | 椿 | 潰 | 坪 | 壷 |
| 366 | 嬬 | 紬 | 爪 | 吊 | 釣 | 鶴 | | | | |
| | | | | | ーーてーー | | | | | |
| 366 | | | | | | | 亭 | 低 | 停 | 偵 |
| 367 | 剃 | 貞 | 呈 | 堤 | 定 | 帝 | 底 | 庭 | 廷 | 弟 |
| 368 | 悌 | 抵 | 挺 | 提 | 梯 | 汀 | 碇 | 禎 | 程 | 締 |
| 369 | 艇 | 訂 | 諦 | 蹄 | 逓 | | | | | |
| 370 | | 邸 | 鄭 | 釘 | 鼎 | 泥 | 摘 | 擢 | 敵 | 滴 |
| 371 | 的 | 笛 | 適 | 鏑 | 溺 | 哲 | 徹 | 撤 | 轍 | 迭 |
| 372 | 鉄 | 典 | 填 | 天 | 展 | 店 | 添 | 纏 | 甜 | 貼 |
| 373 | 転 | 顛 | 点 | 伝 | 殿 | 澱 | 田 | 電 | | |
| | | | | | ーーとーー | | | | | |
| 373 | | | | | | | | | 兎 | 吐 |
| 374 | 堵 | 塗 | 妬 | 屠 | 徒 | 斗 | 杜 | 渡 | 登 | 菟 |
| 375 | 賭 | 途 | 都 | 鍍 | 砥 | 砺 | 努 | 度 | 土 | 奴 |
| 376 | 怒 | 倒 | 党 | 冬 | 凍 | 刀 | 唐 | 塔 | 塘 | 套 |
| 377 | 宕 | 島 | 嶋 | 悼 | 投 | 搭 | 東 | 桃 | 梼 | 棟 |
| 378 | 盗 | 淘 | 湯 | 涛 | 灯 | 燈 | 当 | 痘 | 祷 | 等 |
| 379 | 答 | 筒 | 糖 | 統 | 到 | | | | | |
| 380 | | 董 | 蕩 | 藤 | 討 | 謄 | 豆 | 踏 | 逃 | 透 |
| 381 | 鐙 | 陶 | 頭 | 騰 | 闘 | 働 | 動 | 同 | 堂 | 導 |
| 382 | 憧 | 撞 | 洞 | 瞳 | 童 | 胴 | 萄 | 道 | 銅 | 峠 |
| 383 | 鴇 | 匿 | 得 | 徳 | 涜 | 特 | 督 | 禿 | 篤 | 毒 |
| 384 | 独 | 読 | 栃 | 橡 | 凸 | 突 | 椴 | 届 | 鳶 | 苫 |
| 385 | 寅 | 酉 | 瀞 | 噸 | 屯 | 惇 | 敦 | 沌 | 豚 | 遁 |
| 386 | 頓 | 呑 | 曇 | 鈍 | | | | | | |
| | | | | | ーーなーー | | | | | |
| 386 | | | | | 奈 | 那 | 内 | 乍 | 凪 | 薙 |
| 387 | 謎 | 灘 | 捺 | 鍋 | 楢 | 馴 | 縄 | 畷 | 南 | 楠 |
| 388 | 軟 | 難 | 汝 | | | | | | | |
| | | | | | ーーにーー | | | | | |
| 388 | | | | 二 | 尼 | 弐 | 迩 | 匂 | 賑 | 肉 |
| 389 | 虹 | 廿 | 日 | 乳 | 入 | | | | | |
| 390 | | 如 | 尿 | 韮 | 任 | 妊 | 忍 | 認 | | |
| | | | | | ーーぬ～のーー | | | | | |
| 390 | | | | | | | | | 濡 | 禰 |
| 391 | 祢 | 寧 | 葱 | 猫 | 熱 | 年 | 念 | 捻 | 撚 | 燃 |
| 392 | 粘 | 乃 | 廼 | 之 | 埜 | 嚢 | 悩 | 濃 | 納 | 能 |
| 393 | 脳 | 膿 | 農 | 覗 | 蚤 | | | | | |
| | | | | | ーーはーー | | | | | |
| 393 | | | | | | 巴 | 把 | 播 | 覇 | 杷 |
| 394 | 波 | 派 | 琶 | 破 | 婆 | 罵 | 芭 | 馬 | 俳 | 廃 |
| 395 | 拝 | 排 | 敗 | 杯 | 盃 | 牌 | 背 | 肺 | 輩 | 配 |
| 396 | 倍 | 培 | 媒 | 梅 | 楳 | 煤 | 狽 | 買 | 売 | 賠 |
| 397 | 陪 | 這 | 蝿 | 秤 | 矧 | 萩 | 伯 | 剥 | 博 | 拍 |
| 398 | 柏 | 泊 | 白 | 箔 | 粕 | 舶 | 薄 | 迫 | 曝 | 漠 |
| 399 | 爆 | 縛 | 莫 | 駁 | 麦 | | | | | |
| 400 | | 函 | 箱 | 硲 | 箸 | 肇 | 筈 | 櫨 | 幡 | 肌 |
| 401 | 畑 | 畠 | 八 | 鉢 | 溌 | 発 | 醗 | 髪 | 伐 | 罰 |
| 402 | 抜 | 筏 | 閥 | 鳩 | 噺 | 塙 | 蛤 | 隼 | 伴 | 判 |
| 403 | 半 | 反 | 叛 | 帆 | 搬 | 斑 | 板 | 氾 | 汎 | 版 |
| 404 | 犯 | 班 | 畔 | 繁 | 般 | 藩 | 販 | 範 | 釆 | 煩 |
| 405 | 頒 | 飯 | 挽 | 晩 | 番 | 盤 | 磐 | 蕃 | 蛮 | |
| | | | | | ーーひーー | | | | | |
| 405 | | | | | | | | | | 匪 |
| 406 | 卑 | 否 | 妃 | 庇 | 彼 | 悲 | 扉 | 批 | 披 | 斐 |
| 407 | 比 | 泌 | 疲 | 皮 | 碑 | 秘 | 緋 | 罷 | 肥 | 被 |
| 408 | 誹 | 費 | 避 | 非 | 飛 | 樋 | 簸 | 備 | 尾 | 微 |
| 409 | 枇 | 毘 | 琵 | 眉 | 美 | | | | | |
| 410 | | 鼻 | 柊 | 稗 | 匹 | 疋 | 髭 | 彦 | 膝 | 菱 |
| 411 | 肘 | 弼 | 必 | 畢 | 筆 | 逼 | 桧 | 姫 | 媛 | 紐 |
| 412 | 百 | 謬 | 俵 | 彪 | 標 | 氷 | 漂 | 瓢 | 票 | 表 |
| 413 | 評 | 豹 | 廟 | 描 | 病 | 秒 | 苗 | 錨 | 鋲 | 蒜 |
| 414 | 蛭 | 鰭 | 品 | 彬 | 斌 | 浜 | 瀕 | 貧 | 賓 | 頻 |
| 415 | 敏 | 瓶 | | | | | | | | |
| | | | | | ーーふーー | | | | | |
| 415 | | | 不 | 付 | 埠 | 夫 | 婦 | 富 | 冨 | 布 |
| 416 | 府 | 怖 | 扶 | 敷 | 斧 | 普 | 浮 | 父 | 符 | 腐 |
| 417 | 膚 | 芙 | 譜 | 負 | 賦 | 赴 | 阜 | 附 | 侮 | 撫 |
| 418 | 武 | 舞 | 葡 | 蕪 | 部 | 封 | 楓 | 風 | 葺 | 蕗 |
| 419 | 伏 | 副 | 復 | 幅 | 服 | | | | | |
| 420 | | 福 | 腹 | 複 | 覆 | 淵 | 弗 | 払 | 沸 | 仏 |
| 421 | 物 | 鮒 | 分 | 吻 | 噴 | 墳 | 憤 | 扮 | 焚 | 奮 |
| 422 | 粉 | 糞 | 紛 | 雰 | 文 | 聞 | | | | |
| | | | | | ーーへーー | | | | | |
| 422 | | | | | | | 丙 | 併 | 兵 | 塀 |
| 423 | 幣 | 平 | 弊 | 柄 | 並 | 蔽 | 閉 | 陛 | 米 | 頁 |
| 424 | 僻 | 壁 | 癖 | 碧 | 別 | 瞥 | 蔑 | 箆 | 偏 | 変 |
| 425 | 片 | 篇 | 編 | 辺 | 返 | 遍 | 便 | 勉 | 娩 | 弁 |
| 426 | 鞭 | | | | | | | | | |
| | | | | | ーーほーー | | | | | |
| 426 | | 保 | 舗 | 鋪 | 圃 | 捕 | 歩 | 甫 | 補 | 輔 |
| 427 | 穂 | 募 | 墓 | 慕 | 戊 | 暮 | 母 | 簿 | 菩 | 倣 |
| 428 | 俸 | 包 | 呆 | 報 | 奉 | 宝 | 峰 | 峯 | 崩 | 庖 |
| 429 | 抱 | 捧 | 放 | 方 | 朋 | | | | | |
| 430 | | 法 | 泡 | 烹 | 砲 | 縫 | 胞 | 芳 | 萌 | 蓬 |
| 431 | 蜂 | 褒 | 訪 | 豊 | 邦 | 鋒 | 飽 | 鳳 | 鵬 | 乏 |
| 432 | 亡 | 傍 | 剖 | 坊 | 妨 | 帽 | 忘 | 忙 | 房 | 暴 |
| 433 | 望 | 某 | 棒 | 冒 | 紡 | 肪 | 膨 | 謀 | 貌 | 貿 |
| 434 | 鉾 | 防 | 吠 | 頬 | 北 | 僕 | 卜 | 墨 | 撲 | 朴 |
| 435 | 牧 | 睦 | 穆 | 釦 | 勃 | 没 | 殆 | 堀 | 幌 | 奔 |
| 436 | 本 | 翻 | 凡 | 盆 | | | | | | |
| | | | | | ーーまーー | | | | | |
| 436 | | | | | 摩 | 磨 | 魔 | 麻 | 埋 | 妹 |
| 437 | 昧 | 枚 | 毎 | 哩 | 槙 | 幕 | 膜 | 枕 | 鮪 | 柾 |
| 438 | 鱒 | 桝 | 亦 | 俣 | 又 | 抹 | 末 | 沫 | 迄 | 侭 |
| 439 | 繭 | 麿 | 万 | 慢 | 満 | | | | | |
| 440 | | 漫 | 蔓 | | | | | | | |
| | | | | | ーーみーー | | | | | |
| 440 | | | | 味 | 未 | 魅 | 巳 | 箕 | 岬 | 密 |
| 441 | 蜜 | 湊 | 蓑 | 稔 | 脈 | 妙 | 粍 | 民 | 眠 | |
| | | | | | ーーむーー | | | | | |
| 441 | | | | | | | | | | 務 |
| 442 | 夢 | 無 | 牟 | 矛 | 霧 | 鵡 | 椋 | 婿 | 娘 | |
| | | | | | ーーめーー | | | | | |
| 442 | | | | | | | | | | 冥 |
| 443 | 名 | 命 | 明 | 盟 | 迷 | 銘 | 鳴 | 姪 | 牝 | 滅 |
| 444 | 免 | 棉 | 綿 | 緬 | 面 | 麺 | | | | |
| | | | | | ーーもーー | | | | | |
| 444 | | | | | | | 摸 | 模 | 茂 | 妄 |
| 445 | 孟 | 毛 | 猛 | 盲 | 網 | 耗 | 蒙 | 儲 | 木 | 黙 |
| 446 | 目 | 杢 | 勿 | 餅 | 尤 | 戻 | 籾 | 貰 | 問 | 悶 |
| 447 | 紋 | 門 | 匁 | | | | | | | |
| | | | | | ーーやーー | | | | | |
| 447 | | | | 也 | 冶 | 夜 | 爺 | 耶 | 野 | 弥 |
| 448 | 矢 | 厄 | 役 | 約 | 薬 | 訳 | 躍 | 靖 | 柳 | 薮 |
| 449 | 鑓 | | | | | | | | | |
| | | | | | ーーゆーー | | | | | |
| 449 | | 愉 | 愈 | 油 | 癒 | | | | | |
| 450 | | 諭 | 輸 | 唯 | 佑 | 優 | 勇 | 友 | 宥 | 幽 |
| 451 | 悠 | 憂 | 揖 | 有 | 柚 | 湧 | 涌 | 猶 | 猷 | 由 |
| 452 | 祐 | 裕 | 誘 | 遊 | 邑 | 郵 | 雄 | 融 | 夕 | |
| | | | | | ーーよーー | | | | | |
| 452 | | | | | | | | | | 予 |
| 453 | 余 | 与 | 誉 | 輿 | 預 | 傭 | 幼 | 妖 | 容 | 庸 |
| 454 | 揚 | 揺 | 擁 | 曜 | 楊 | 様 | 洋 | 溶 | 熔 | 用 |
| 455 | 窯 | 羊 | 耀 | 葉 | 蓉 | 要 | 謡 | 踊 | 遥 | 陽 |
| 456 | 養 | 慾 | 抑 | 欲 | 沃 | 浴 | 翌 | 翼 | 淀 | |
| | | | | | ーーらーー | | | | | |
| 456 | | | | | | | | | | 羅 |
| 457 | 螺 | 裸 | 来 | 莱 | 頼 | 雷 | 洛 | 絡 | 落 | 酪 |
| 458 | 乱 | 卵 | 嵐 | 欄 | 濫 | 藍 | 蘭 | 覧 | | |
| | | | | | ーーりーー | | | | | |
| 458 | | | | | | | | | 利 | 吏 |
| 459 | 履 | 李 | 梨 | 理 | 璃 | | | | | |
| 460 | | 痢 | 裏 | 裡 | 里 | 離 | 陸 | 律 | 率 | 立 |
| 461 | 葎 | 掠 | 略 | 劉 | 流 | 溜 | 琉 | 留 | 硫 | 粒 |
| 462 | 隆 | 竜 | 龍 | 侶 | 慮 | 旅 | 虜 | 了 | 亮 | 僚 |
| 463 | 両 | 凌 | 寮 | 料 | 梁 | 涼 | 猟 | 療 | 瞭 | 稜 |
| 464 | 糧 | 良 | 諒 | 遼 | 量 | 陵 | 領 | 力 | 緑 | 倫 |
| 465 | 厘 | 林 | 淋 | 燐 | 琳 | 臨 | 輪 | 隣 | 鱗 | 麟 |
| | | | | | ーーる～れーー | | | | | |
| 466 | 瑠 | 塁 | 涙 | 累 | 類 | 令 | 伶 | 例 | 冷 | 励 |
| 467 | 嶺 | 怜 | 玲 | 礼 | 苓 | 鈴 | 隷 | 零 | 霊 | 麗 |
| 468 | 齢 | 暦 | 歴 | 列 | 劣 | 烈 | 裂 | 廉 | 恋 | 憐 |
| 469 | 漣 | 煉 | 簾 | 練 | 聯 | | | | | |
| 470 | | 蓮 | 連 | 錬 | | | | | | |
| | | | | | ーーろーー | | | | | |
| 470 | | | | | 呂 | 魯 | 櫓 | 炉 | 賂 | 路 |
| 471 | 露 | 労 | 婁 | 廊 | 弄 | 朗 | 楼 | 榔 | 浪 | 漏 |
| 472 | 牢 | 狼 | 篭 | 老 | 聾 | 蝋 | 郎 | 六 | 麓 | 禄 |
| 473 | 肋 | 録 | 論 | | | | | | | |
| | | | | | ーーわーー | | | | | |
| 473 | | | | 倭 | 和 | 話 | 歪 | 賄 | 脇 | 惑 |
| 474 | 枠 | 鷲 | 亙 | 亘 | 鰐 | 詫 | 藁 | 蕨 | 椀 | 湾 |
| 475 | 碗 | 腕 | | | | | | | | |
| 476 | | | | | | | | | | |
| 477 | | | | | | | | | | |
| 478 | | | | | | | | | | |
| 479 | | | | | | | | | | |
| 480 | | 弌 | 丐 | 丕 | 个 | 丱 | 丶 | 丼 | 丿 | 乂 |
| 481 | 乖 | 乘 | 亂 | 亅 | 豫 | 亊 | 舒 | 弍 | 于 | 亞 |
| 482 | 亟 | 亠 | 亢 | 亰 | 亳 | 亶 | 从 | 仍 | 仄 | 仆 |
| 483 | 仂 | 仗 | 仞 | 仭 | 仟 | 价 | 伉 | 佚 | 估 | 佛 |
| 484 | 佝 | 佗 | 佇 | 佶 | 侈 | 侏 | 侘 | 佻 | 佩 | 佰 |
| 485 | 侑 | 佯 | 來 | 侖 | 儘 | 俔 | 俟 | 俎 | 俘 | 俛 |
| 486 | 俑 | 俚 | 俐 | 俤 | 俥 | 倚 | 倨 | 倔 | 倪 | 倥 |
| 487 | 倅 | 伜 | 俶 | 倡 | 倩 | 倬 | 俾 | 俯 | 們 | 倆 |
| 488 | 偃 | 假 | 會 | 偕 | 偐 | 偈 | 做 | 偖 | 偬 | 偸 |
| 489 | 傀 | 傚 | 傅 | 傴 | 傲 | | | | | |
| 490 | | 僉 | 僊 | 傳 | 僂 | 僖 | 僞 | 僥 | 僭 | 僣 |
| 491 | 僮 | 價 | 僵 | 儉 | 儁 | 儂 | 儖 | 儕 | 儔 | 儚 |
| 492 | 儡 | 儺 | 儷 | 儼 | 儻 | 儿 | 兀 | 兒 | 兌 | 兔 |
| 493 | 兢 | 竸 | 兩 | 兪 | 兮 | 冀 | 冂 | 囘 | 册 | 冉 |
| 494 | 冏 | 冑 | 冓 | 冕 | 冖 | 冤 | 冦 | 冢 | 冩 | 冪 |
| 495 | 冫 | 决 | 冱 | 冲 | 冰 | 况 | 冽 | 凅 | 凉 | 凛 |
| 496 | 几 | 處 | 凩 | 凭 | 凰 | 凵 | 凾 | 刄 | 刋 | 刔 |
| 497 | 刎 | 刧 | 刪 | 刮 | 刳 | 剏 | 剄 | 剋 | 剌 | 剞 |
| 498 | 剔 | 剪 | 剴 | 剩 | 剳 | 剿 | 剽 | 劍 | 劔 | 劒 |
| 499 | 剱 | 劈 | 劑 | 辧 | 辨 | | | | | |
| 500 | | 辯 | 劬 | 劭 | 劼 | 劵 | 勁 | 勍 | 勗 | 勞 |
| 501 | 勣 | 勦 | 飭 | 勠 | 勳 | 勵 | 勸 | 勹 | 匆 | 匈 |

| 区点1～3桁目 | 区点4桁目 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 502 | 甸 | 匍 | 匐 | 匏 | 匕 | 匚 | 匣 | 匯 | 匱 | 匳 |
| 503 | 匸 | 區 | 卆 | 卅 | 丗 | 卉 | 卍 | 凖 | 卞 | 卩 |
| 504 | 卮 | 夘 | 卻 | 卷 | 厂 | 厖 | 厠 | 厦 | 厥 | 厮 |
| 505 | 厰 | 厶 | 參 | 簒 | 雙 | 叟 | 曼 | 燮 | 叮 | 叨 |
| 506 | 叭 | 叺 | 吁 | 吽 | 呀 | 听 | 吭 | 吼 | 吮 | 吶 |
| 507 | 吩 | 吝 | 呎 | 咏 | 呵 | 咎 | 呟 | 呱 | 呷 | 呰 |
| 508 | 咒 | 呻 | 咀 | 呶 | 咄 | 咐 | 咆 | 哇 | 咢 | 咸 |
| 509 | 咥 | 咬 | 哄 | 哈 | 咨 | | | | | |
| 510 | | 咫 | 哂 | 咤 | 咾 | 咼 | 哘 | 哥 | 哦 | 唏 |
| 511 | 唔 | 哽 | 哮 | 哭 | 哺 | 哢 | 唹 | 啀 | 啣 | 啌 |
| 512 | 售 | 啜 | 啅 | 啖 | 啗 | 唸 | 唳 | 啝 | 喙 | 喀 |
| 513 | 咯 | 喊 | 喟 | 啻 | 啾 | 喘 | 喞 | 單 | 啼 | 喃 |
| 514 | 喩 | 喇 | 喨 | 嗚 | 嗅 | 嗟 | 嗄 | 嗜 | 嗤 | 嗔 |
| 515 | 嘔 | 嗷 | 嘖 | 嗾 | 嗽 | 嘛 | 嗹 | 噎 | 噐 | 營 |
| 516 | 嘴 | 嘶 | 嘲 | 嘸 | 噫 | 噤 | 嘯 | 噬 | 噪 | 嚆 |
| 517 | 嚀 | 嚊 | 嚠 | 嚔 | 嚏 | 嚥 | 嚮 | 嚶 | 嚴 | 囂 |
| 518 | 嚼 | 囁 | 囃 | 囀 | 囈 | 囎 | 囑 | 囓 | 囗 | 囮 |
| 519 | 囹 | 圀 | 囿 | 圄 | 圉 | | | | | |
| 520 | | 圈 | 國 | 圍 | 圓 | 團 | 圖 | 嗇 | 圜 | 圦 |
| 521 | 圷 | 圸 | 坎 | 圻 | 址 | 坏 | 坩 | 埀 | 垈 | 坡 |
| 522 | 坿 | 垉 | 垓 | 垠 | 垳 | 垤 | 垪 | 垰 | 埃 | 埆 |
| 523 | 埔 | 埒 | 埓 | 堊 | 埖 | 埣 | 堋 | 堙 | 堝 | 塲 |
| 524 | 堡 | 塢 | 塋 | 塰 | 毀 | 塒 | 堽 | 塹 | 墅 | 墹 |
| 525 | 墟 | 墫 | 墺 | 壞 | 墻 | 墸 | 墮 | 壅 | 壓 | 壑 |
| 526 | 壗 | 壙 | 壘 | 壥 | 壜 | 壤 | 壟 | 壯 | 壺 | 壹 |
| 527 | 壻 | 壼 | 壽 | 夂 | 夊 | 夐 | 夛 | 梦 | 夥 | 夬 |
| 528 | 夭 | 夲 | 夸 | 夾 | 竒 | 奕 | 奐 | 奎 | 奚 | 奘 |
| 529 | 奢 | 奠 | 奧 | 奬 | 奩 | | | | | |
| 530 | | 奸 | 妁 | 妝 | 佞 | 侫 | 妣 | 妲 | 姆 | 姨 |
| 531 | 姜 | 妍 | 姙 | 姚 | 娥 | 娟 | 娑 | 娜 | 娉 | 娚 |
| 532 | 婀 | 婬 | 婉 | 娵 | 娶 | 婢 | 婪 | 媚 | 媼 | 媾 |
| 533 | 嫋 | 嫂 | 媽 | 嫣 | 嫗 | 嫦 | 嫩 | 嫖 | 嫺 | 嫻 |
| 534 | 嬌 | 嬋 | 嬖 | 嬲 | 嫐 | 嬪 | 嬶 | 嬾 | 孃 | 孅 |
| 535 | 孀 | 孑 | 孕 | 孚 | 孛 | 孥 | 孩 | 孰 | 孳 | 孵 |
| 536 | 學 | 斈 | 孺 | 宀 | 它 | 宦 | 宸 | 寃 | 寇 | 寉 |
| 537 | 寔 | 寐 | 寤 | 實 | 寢 | 寞 | 寥 | 寫 | 寰 | 寶 |
| 538 | 寳 | 尅 | 將 | 專 | 對 | 尓 | 尠 | 尢 | 尨 | 尸 |
| 539 | 尹 | 屁 | 屆 | 屎 | 屓 | | | | | |
| 540 | | 屐 | 屏 | 孱 | 屬 | 屮 | 乢 | 屶 | 屹 | 岌 |
| 541 | 岑 | 岔 | 妛 | 岫 | 岻 | 岶 | 岼 | 岷 | 峅 | 岾 |
| 542 | 峇 | 峙 | 峩 | 峽 | 峺 | 峭 | 嶌 | 峪 | 崋 | 崕 |
| 543 | 崗 | 嵜 | 崟 | 崛 | 崑 | 崔 | 崢 | 崚 | 崙 | 崘 |
| 544 | 嵌 | 嵒 | 嵎 | 嵋 | 嵬 | 嵳 | 嵶 | 嶇 | 嶄 | 嶂 |
| 545 | 嶢 | 嶝 | 嶬 | 嶮 | 嶽 | 嶐 | 嶷 | 嶼 | 巉 | 巍 |
| 546 | 巓 | 巒 | 巖 | 巛 | 巫 | 已 | 巵 | 帋 | 帚 | 帙 |
| 547 | 帑 | 帛 | 帶 | 帷 | 幄 | 幃 | 幀 | 幎 | 幗 | 幔 |
| 548 | 幟 | 幢 | 幤 | 幇 | 幵 | 并 | 幺 | 麼 | 广 | 庠 |
| 549 | 廁 | 廂 | 廈 | 廐 | 廏 | | | | | |
| 550 | | 廖 | 廣 | 廝 | 廚 | 廛 | 廢 | 廡 | 廨 | 廩 |
| 551 | 廬 | 廱 | 廳 | 廰 | 廴 | 廸 | 廾 | 弃 | 弉 | 彝 |
| 552 | 彜 | 弋 | 弑 | 弖 | 弩 | 弭 | 弸 | 彁 | 彈 | 彌 |
| 553 | 彎 | 弯 | 彑 | 彖 | 彗 | 彙 | 彡 | 彭 | 彳 | 彷 |
| 554 | 徃 | 徂 | 彿 | 徊 | 很 | 徑 | 徇 | 從 | 徙 | 徘 |
| 555 | 徠 | 徨 | 徭 | 徼 | 忖 | 忻 | 忤 | 忸 | 忱 | 忝 |
| 556 | 悳 | 忿 | 怡 | 恠 | 怙 | 怐 | 怩 | 怎 | 怱 | 怛 |
| 557 | 怕 | 怫 | 怦 | 怏 | 怺 | 恚 | 恁 | 恪 | 恷 | 恟 |
| 558 | 恊 | 恆 | 恍 | 恣 | 恃 | 恤 | 恂 | 恬 | 恫 | 恙 |
| 559 | 悁 | 悍 | 惧 | 悃 | 悚 | | | | | |
| 560 | | 悄 | 悛 | 悖 | 悗 | 悒 | 悧 | 悋 | 惡 | 悸 |
| 561 | 惠 | 惓 | 悴 | 忰 | 悽 | 惆 | 悵 | 惘 | 慍 | 愕 |
| 562 | 愆 | 惶 | 惷 | 愀 | 惴 | 惺 | 愃 | 愡 | 惻 | 惱 |
| 563 | 愍 | 愎 | 慇 | 愾 | 愨 | 愧 | 慊 | 愿 | 愼 | 愬 |
| 564 | 愴 | 愽 | 慂 | 慄 | 慳 | 慷 | 慘 | 慙 | 慚 | 慫 |
| 565 | 慴 | 慯 | 慥 | 慱 | 慟 | 慝 | 慓 | 慵 | 憙 | 憖 |
| 566 | 憇 | 憬 | 憔 | 憚 | 憊 | 憑 | 憫 | 憮 | 懌 | 懊 |
| 567 | 應 | 懷 | 懈 | 懃 | 懆 | 憺 | 懋 | 罹 | 懍 | 懦 |
| 568 | 懣 | 懶 | 懺 | 懴 | 懿 | 懽 | 懼 | 懾 | 戀 | 戈 |
| 569 | 戉 | 戍 | 戌 | 戔 | 戛 | | | | | |
| 570 | | 戞 | 戡 | 截 | 戮 | 戰 | 戲 | 戳 | 扁 | 扎 |
| 571 | 扞 | 扣 | 扛 | 扠 | 扨 | 扼 | 抂 | 抉 | 找 | 抒 |
| 572 | 抓 | 抖 | 拔 | 抃 | 抔 | 拗 | 拑 | 抻 | 拏 | 拿 |
| 573 | 拆 | 擔 | 拈 | 拜 | 拌 | 拊 | 拂 | 拇 | 抛 | 拉 |
| 574 | 挌 | 拮 | 拱 | 挧 | 挂 | 挈 | 拯 | 拵 | 捐 | 挾 |
| 575 | 捍 | 搜 | 捏 | 掖 | 掎 | 掀 | 掫 | 捶 | 掣 | 掏 |
| 576 | 掉 | 掟 | 掵 | 捫 | 捩 | 掾 | 揩 | 揀 | 揆 | 揣 |
| 577 | 揉 | 插 | 揶 | 揄 | 搖 | 搴 | 搆 | 搓 | 搦 | 搶 |
| 578 | 攝 | 搗 | 搨 | 搏 | 摧 | 摯 | 摶 | 摎 | 攪 | 撕 |
| 579 | 撓 | 撥 | 撩 | 撈 | 撼 | | | | | |
| 580 | | 據 | 擒 | 擅 | 擇 | 撻 | 擘 | 擂 | 擱 | 擧 |
| 581 | 舉 | 擠 | 擡 | 抬 | 擣 | 擯 | 攬 | 擶 | 擴 | 擲 |
| 582 | 擺 | 攀 | 擽 | 攘 | 攜 | 攅 | 攤 | 攣 | 攫 | 攴 |
| 583 | 攵 | 攷 | 收 | 攸 | 畋 | 效 | 敖 | 敕 | 敍 | 敘 |
| 584 | 敞 | 敝 | 敲 | 數 | 斂 | 斃 | 變 | 斛 | 斟 | 斫 |
| 585 | 斷 | 旃 | 旆 | 旁 | 旄 | 旌 | 旒 | 旛 | 旙 | 无 |
| 586 | 旡 | 旱 | 杲 | 昊 | 昃 | 旻 | 杳 | 昵 | 昶 | 昴 |
| 587 | 昜 | 晏 | 晄 | 晉 | 晁 | 晞 | 晝 | 晤 | 晧 | 晨 |
| 588 | 晟 | 晢 | 晰 | 暃 | 暈 | 暎 | 暉 | 暄 | 暘 | 暝 |
| 589 | 曁 | 暹 | 曉 | 暾 | 暼 | | | | | |
| 590 | | 曄 | 暸 | 曖 | 曚 | 曠 | 昿 | 曦 | 曩 | 曰 |
| 591 | 曵 | 曷 | 朏 | 朖 | 朞 | 朦 | 朧 | 霸 | 朮 | 朿 |
| 592 | 朶 | 杁 | 朸 | 朷 | 杆 | 杞 | 杠 | 杙 | 杣 | 杤 |
| 593 | 枉 | 杰 | 枩 | 杼 | 杪 | 枌 | 枋 | 枦 | 枡 | 枅 |
| 594 | 枷 | 柯 | 枴 | 柬 | 枳 | 柩 | 枸 | 柤 | 柞 | 柝 |
| 595 | 柢 | 柮 | 枹 | 柎 | 柆 | 柧 | 檜 | 栞 | 框 | 栩 |
| 596 | 桀 | 桍 | 栲 | 桎 | 梳 | 栫 | 桙 | 档 | 桷 | 桿 |
| 597 | 梟 | 梏 | 梭 | 梔 | 條 | 梛 | 梃 | 檮 | 梹 | 桴 |
| 598 | 梵 | 梠 | 梺 | 椏 | 梍 | 桾 | 椁 | 棊 | 椈 | 棘 |
| 599 | 椢 | 椦 | 棡 | 椌 | 棍 | | | | | |
| 600 | | 棔 | 棧 | 棕 | 椶 | 椒 | 椄 | 棗 | 棣 | 椥 |
| 601 | 棹 | 棠 | 棯 | 椨 | 椪 | 椚 | 椣 | 椡 | 棆 | 楹 |
| 602 | 楷 | 楜 | 楸 | 楫 | 楔 | 楾 | 楮 | 椹 | 楴 | 椽 |
| 603 | 楙 | 椰 | 楡 | 楞 | 楝 | 榁 | 楪 | 榲 | 榮 | 槐 |
| 604 | 榿 | 槁 | 槓 | 榾 | 槎 | 寨 | 槊 | 槝 | 榻 | 槃 |
| 605 | 榧 | 樮 | 榑 | 榠 | 榜 | 榕 | 榴 | 槞 | 槨 | 樂 |
| 606 | 樛 | 槿 | 權 | 槹 | 槲 | 槧 | 樅 | 榱 | 樞 | 槭 |
| 607 | 樔 | 槫 | 樊 | 樒 | 櫁 | 樣 | 樓 | 橄 | 樌 | 橲 |
| 608 | 樶 | 橸 | 橇 | 橢 | 橙 | 橦 | 橈 | 樸 | 樢 | 檐 |
| 609 | 檍 | 檠 | 檄 | 檢 | 檣 | | | | | |
| 610 | | 檗 | 蘗 | 檻 | 櫃 | 櫂 | 檸 | 檳 | 檬 | 櫞 |
| 611 | 櫑 | 櫟 | 檪 | 櫚 | 櫪 | 櫻 | 欅 | 蘖 | 櫺 | 欒 |
| 612 | 欖 | 鬱 | 欟 | 欸 | 欷 | 盜 | 欹 | 飮 | 歇 | 歃 |
| 613 | 歉 | 歐 | 歙 | 歔 | 歛 | 歟 | 歡 | 歸 | 歹 | 歿 |
| 614 | 殀 | 殄 | 殃 | 殍 | 殘 | 殕 | 殞 | 殤 | 殪 | 殫 |
| 615 | 殯 | 殲 | 殱 | 殳 | 殷 | 殼 | 毆 | 毋 | 毓 | 毟 |
| 616 | 毬 | 毫 | 毳 | 毯 | 麾 | 氈 | 氓 | 气 | 氛 | 氤 |
| 617 | 氣 | 汞 | 汕 | 汢 | 汪 | 沂 | 沍 | 沚 | 沁 | 沛 |
| 618 | 汾 | 汨 | 汳 | 沒 | 沐 | 泄 | 泱 | 泓 | 沽 | 泗 |
| 619 | 泅 | 泝 | 沮 | 沱 | 沾 | | | | | |
| 620 | | 沺 | 泛 | 泯 | 泙 | 泪 | 洟 | 衍 | 洶 | 洫 |
| 621 | 洽 | 洸 | 洙 | 洵 | 洳 | 洒 | 洌 | 浣 | 涓 | 浤 |
| 622 | 浚 | 浹 | 浙 | 涎 | 涕 | 濤 | 涅 | 淹 | 渕 | 渊 |
| 623 | 涵 | 淇 | 淦 | 涸 | 淆 | 淬 | 淞 | 淌 | 淨 | 淒 |
| 624 | 淅 | 淺 | 淙 | 淤 | 淕 | 淪 | 淮 | 渭 | 湮 | 渮 |
| 625 | 渙 | 湲 | 湟 | 渾 | 渣 | 湫 | 渫 | 湶 | 湍 | 渟 |
| 626 | 湃 | 渺 | 湎 | 渤 | 滿 | 渝 | 游 | 溂 | 溪 | 溘 |
| 627 | 滉 | 溷 | 滓 | 溽 | 溯 | 滄 | 溲 | 滔 | 滕 | 溏 |
| 628 | 溥 | 滂 | 溟 | 潁 | 漑 | 灌 | 滬 | 滸 | 滾 | 漿 |
| 629 | 滲 | 漱 | 滯 | 漲 | 滌 | | | | | |
| 630 | | 漾 | 漓 | 滷 | 澆 | 潺 | 潸 | 澁 | 澀 | 潯 |
| 631 | 潛 | 濳 | 潭 | 澂 | 潼 | 潘 | 澎 | 澑 | 濂 | 潦 |
| 632 | 澳 | 澣 | 澡 | 澤 | 澹 | 濆 | 澪 | 濟 | 濕 | 濬 |
| 633 | 濔 | 濘 | 濱 | 濮 | 濛 | 瀉 | 瀋 | 濺 | 瀑 | 瀁 |
| 634 | 瀏 | 濾 | 瀛 | 瀚 | 潴 | 瀝 | 瀘 | 瀟 | 瀰 | 瀾 |
| 635 | 瀲 | 灑 | 灣 | 炙 | 炒 | 炯 | 烱 | 炬 | 炸 | 炳 |
| 636 | 炮 | 烟 | 烋 | 烝 | 烙 | 焉 | 烽 | 焜 | 焙 | 煥 |
| 637 | 煕 | 熈 | 煦 | 煢 | 煌 | 煖 | 煬 | 熏 | 燻 | 熄 |
| 638 | 熕 | 熨 | 熬 | 燗 | 熹 | 熾 | 燒 | 燉 | 燔 | 燎 |
| 639 | 燠 | 燬 | 燧 | 燵 | 燼 | | | | | |
| 640 | | 燹 | 燿 | 爍 | 爐 | 爛 | 爨 | 爭 | 爬 | 爰 |
| 641 | 爲 | 爻 | 爼 | 爿 | 牀 | 牆 | 牋 | 牘 | 牴 | 牾 |
| 642 | 犂 | 犁 | 犇 | 犒 | 犖 | 犢 | 犧 | 犹 | 犲 | 狃 |
| 643 | 狆 | 狄 | 狎 | 狒 | 狢 | 狠 | 狡 | 狹 | 狷 | 倏 |
| 644 | 猗 | 猊 | 猜 | 猖 | 猝 | 猴 | 猯 | 猩 | 猥 | 猾 |
| 645 | 獎 | 獏 | 默 | 獗 | 獪 | 獨 | 獰 | 獸 | 獵 | 獻 |
| 646 | 獺 | 珈 | 玳 | 珎 | 玻 | 珀 | 珥 | 珮 | 珞 | 璢 |
| 647 | 琅 | 瑯 | 琥 | 珸 | 琲 | 琺 | 瑕 | 琿 | 瑟 | 瑙 |
| 648 | 瑁 | 瑜 | 瑩 | 瑰 | 瑣 | 瑪 | 瑶 | 瑾 | 璋 | 璞 |
| 649 | 璧 | 瓊 | 瓏 | 瓔 | 珱 | | | | | |
| 650 | | 瓠 | 瓣 | 瓧 | 瓩 | 瓮 | 瓲 | 瓰 | 瓱 | 瓸 |
| 651 | 瓷 | 甄 | 甃 | 甅 | 甌 | 甎 | 甍 | 甕 | 甓 | 甞 |
| 652 | 甦 | 甬 | 甼 | 畄 | 畍 | 畊 | 畉 | 畛 | 畆 | 畚 |
| 653 | 畩 | 畤 | 畧 | 畫 | 畭 | 畸 | 當 | 疆 | 疇 | 畴 |
| 654 | 疊 | 疉 | 疂 | 疔 | 疚 | 疝 | 疥 | 疣 | 痂 | 疳 |
| 655 | 痃 | 疵 | 疽 | 疸 | 疼 | 疱 | 痍 | 痊 | 痒 | 痙 |
| 656 | 痣 | 痞 | 痾 | 痿 | 痼 | 瘁 | 痰 | 痺 | 痲 | 痳 |
| 657 | 瘋 | 瘍 | 瘉 | 瘟 | 瘧 | 瘠 | 瘡 | 瘢 | 瘤 | 瘴 |
| 658 | 瘰 | 瘻 | 癇 | 癈 | 癆 | 癜 | 癘 | 癡 | 癢 | 癨 |
| 659 | 癩 | 癪 | 癧 | 癬 | 癰 | | | | | |
| 660 | | 癲 | 癶 | 癸 | 發 | 皀 | 皃 | 皈 | 皋 | 皎 |
| 661 | 皖 | 皓 | 皙 | 皚 | 皰 | 皴 | 皸 | 皹 | 皺 | 盂 |
| 662 | 盍 | 盖 | 盒 | 盞 | 盡 | 盥 | 盧 | 盪 | 蘯 | 盻 |
| 663 | 眈 | 眇 | 眄 | 眩 | 眤 | 眞 | 眥 | 眦 | 眛 | 眷 |
| 664 | 眸 | 睇 | 睚 | 睨 | 睫 | 睛 | 睥 | 睿 | 睾 | 睹 |
| 665 | 瞎 | 瞋 | 瞑 | 瞠 | 瞞 | 瞰 | 瞶 | 瞹 | 瞿 | 瞼 |
| 666 | 瞽 | 瞻 | 矇 | 矍 | 矗 | 矚 | 矜 | 矣 | 矮 | 矼 |
| 667 | 砌 | 砒 | 礦 | 砠 | 礪 | 硅 | 碎 | 硴 | 碆 | 硼 |
| 668 | 碚 | 碌 | 碣 | 碵 | 碪 | 碯 | 磑 | 磆 | 磋 | 磔 |
| 669 | 碾 | 碼 | 磅 | 磊 | 磬 | | | | | |
| 670 | | 磧 | 磚 | 磽 | 磴 | 礇 | 礒 | 礑 | 礙 | 礬 |
| 671 | 礫 | 祀 | 祠 | 祗 | 祟 | 祚 | 祕 | 祓 | 祺 | 祿 |
| 672 | 禊 | 禝 | 禧 | 齋 | 禪 | 禮 | 禳 | 禹 | 禺 | 秉 |
| 673 | 秕 | 秧 | 秬 | 秡 | 秣 | 稈 | 稍 | 稘 | 稙 | 稠 |
| 674 | 稟 | 禀 | 稱 | 稻 | 稾 | 稷 | 穃 | 穗 | 穉 | 穡 |
| 675 | 穢 | 穩 | 龝 | 穰 | 穹 | 穽 | 窈 | 窗 | 窕 | 窘 |
| 676 | 窖 | 窩 | 竈 | 窰 | 窶 | 竅 | 竄 | 窿 | 邃 | 竇 |
| 677 | 竊 | 竍 | 竏 | 竕 | 竓 | 站 | 竚 | 竝 | 竡 | 竢 |
| 678 | 竦 | 竭 | 竰 | 笂 | 笏 | 笊 | 笆 | 笳 | 笘 | 笙 |
| 679 | 笞 | 笵 | 笨 | 笶 | 筐 | | | | | |
| 680 | | 筺 | 笄 | 筍 | 笋 | 筌 | 筅 | 筵 | 筥 | 筴 |
| 681 | 筧 | 筰 | 筱 | 筬 | 筮 | 箝 | 箘 | 箟 | 箍 | 箜 |
| 682 | 箚 | 箋 | 箒 | 箏 | 筝 | 箙 | 篋 | 篁 | 篌 | 篏 |
| 683 | 箴 | 篆 | 篝 | 篩 | 簑 | 簔 | 篦 | 篥 | 籠 | 簀 |
| 684 | 簇 | 簓 | 篳 | 篷 | 簗 | 簍 | 篶 | 簣 | 簧 | 簪 |
| 685 | 簟 | 簷 | 簫 | 簽 | 籌 | 籃 | 籔 | 籏 | 籀 | 籐 |
| 686 | 籘 | 籟 | 籤 | 籖 | 籥 | 籬 | 籵 | 粃 | 粐 | 粤 |
| 687 | 粭 | 粢 | 粫 | 粡 | 粨 | 粳 | 粲 | 粱 | 粮 | 粹 |
| 688 | 粽 | 糀 | 糅 | 糂 | 糘 | 糒 | 糜 | 糢 | 鬻 | 糯 |
| 689 | 糲 | 糴 | 糶 | 糺 | 紆 | | | | | |
| 690 | | 紂 | 紜 | 紕 | 紊 | 絅 | 絋 | 紮 | 紲 | 紿 |
| 691 | 紵 | 絆 | 絳 | 絖 | 絎 | 絲 | 絨 | 絮 | 絏 | 絣 |
| 692 | 經 | 綉 | 絛 | 綏 | 絽 | 綛 | 綺 | 綮 | 綣 | 綵 |
| 693 | 緇 | 綽 | 綫 | 總 | 綢 | 綯 | 緜 | 綸 | 綟 | 綰 |
| 694 | 緘 | 緝 | 緤 | 緞 | 緻 | 緲 | 緡 | 縅 | 縊 | 縣 |
| 695 | 縡 | 縒 | 縱 | 縟 | 縉 | 縋 | 縢 | 繆 | 繦 | 縻 |
| 696 | 縵 | 縹 | 繃 | 縷 | 縲 | 縺 | 繧 | 繝 | 繖 | 繞 |
| 697 | 繙 | 繚 | 繹 | 繪 | 繩 | 繼 | 繻 | 纃 | 緕 | 繽 |
| 698 | 辮 | 繿 | 纈 | 纉 | 續 | 纒 | 纐 | 纓 | 纔 | 纖 |
| 699 | 纎 | 纛 | 纜 | 缸 | 缺 | | | | | |
| 700 | | 罅 | 罌 | 罍 | 罎 | 罐 | 网 | 罕 | 罔 | 罘 |
| 701 | 罟 | 罠 | 罨 | 罩 | 罧 | 罸 | 羂 | 羆 | 羃 | 羈 |
| 702 | 羇 | 羌 | 羔 | 羞 | 羝 | 羚 | 羣 | 羯 | 羲 | 羹 |
| 703 | 羮 | 羶 | 羸 | 譱 | 翅 | 翆 | 翊 | 翕 | 翔 | 翡 |
| 704 | 翦 | 翩 | 翳 | 翹 | 飜 | 耆 | 耄 | 耋 | 耒 | 耘 |
| 705 | 耙 | 耜 | 耡 | 耨 | 耿 | 耻 | 聊 | 聆 | 聒 | 聘 |
| 706 | 聚 | 聟 | 聢 | 聨 | 聳 | 聲 | 聰 | 聶 | 聹 | 聽 |
| 707 | 聿 | 肄 | 肆 | 肅 | 肛 | 肓 | 肚 | 肭 | 冐 | 肬 |
| 708 | 胛 | 胥 | 胙 | 胝 | 胄 | 胚 | 胖 | 脉 | 胯 | 胱 |
| 709 | 脛 | 脩 | 脣 | 脯 | 腋 | | | | | |
| 710 | | 隋 | 腆 | 脾 | 腓 | 腑 | 胼 | 腱 | 腮 | 腥 |
| 711 | 腦 | 腴 | 膃 | 膈 | 膊 | 膀 | 膂 | 膠 | 膕 | 膤 |
| 712 | 膣 | 腟 | 膓 | 膩 | 膰 | 膵 | 膾 | 膸 | 膽 | 臀 |
| 713 | 臂 | 膺 | 臉 | 臍 | 臑 | 臙 | 臘 | 臈 | 臚 | 臟 |
| 714 | 臠 | 臧 | 臺 | 臻 | 臾 | 舁 | 舂 | 舅 | 與 | 舊 |
| 715 | 舍 | 舐 | 舖 | 舩 | 舫 | 舸 | 舳 | 艀 | 艙 | 艘 |
| 716 | 艝 | 艚 | 艟 | 艤 | 艢 | 艨 | 艪 | 艫 | 舮 | 艱 |
| 717 | 艷 | 艸 | 艾 | 芍 | 芒 | 芫 | 芟 | 芻 | 芬 | 苡 |
| 718 | 苣 | 苟 | 苒 | 苴 | 苳 | 苺 | 莓 | 范 | 苻 | 苹 |
| 719 | 苞 | 茆 | 苜 | 茉 | 苙 | | | | | |
| 720 | | 茵 | 茴 | 茖 | 茲 | 茱 | 荀 | 茹 | 荐 | 荅 |
| 721 | 茯 | 茫 | 茗 | 茘 | 莅 | 莚 | 莪 | 莟 | 莢 | 莖 |
| 722 | 茣 | 莎 | 莇 | 莊 | 荼 | 莵 | 荳 | 荵 | 莠 | 莉 |
| 723 | 莨 | 菴 | 萓 | 菫 | 菎 | 菽 | 萃 | 菘 | 萋 | 菁 |
| 724 | 菷 | 萇 | 菠 | 菲 | 萍 | 萢 | 萠 | 莽 | 萸 | 蔆 |
| 725 | 菻 | 葭 | 萪 | 萼 | 蕚 | 蒄 | 葷 | 葫 | 蒭 | 葮 |
| 726 | 蒂 | 葩 | 葆 | 萬 | 葯 | 葹 | 萵 | 蓊 | 葢 | 蒹 |
| 727 | 蒿 | 蒟 | 蓙 | 蓍 | 蒻 | 蓚 | 蓐 | 蓁 | 蓆 | 蓖 |
| 728 | 蒡 | 蔡 | 蓿 | 蓴 | 蔗 | 蔘 | 蔬 | 蔟 | 蔕 | 蔔 |
| 729 | 蓼 | 蕀 | 蕣 | 蕘 | 蕈 | | | | | |
| 730 | | 蕁 | 蘂 | 蕋 | 蕕 | 薀 | 薤 | 薈 | 薑 | 薊 |
| 731 | 薨 | 蕭 | 薔 | 薛 | 藪 | 薇 | 薜 | 蕷 | 蕾 | 薐 |
| 732 | 藉 | 薺 | 藏 | 薹 | 藐 | 藕 | 藝 | 藥 | 藜 | 藹 |
| 733 | 蘊 | 蘓 | 蘋 | 藾 | 藺 | 蘆 | 蘢 | 蘚 | 蘰 | 蘿 |
| 734 | 虍 | 乕 | 虔 | 號 | 虧 | 虱 | 蚓 | 蚣 | 蚩 | 蚪 |
| 735 | 蚋 | 蚌 | 蚶 | 蚯 | 蛄 | 蛆 | 蚰 | 蛉 | 蠣 | 蚫 |
| 736 | 蛔 | 蛞 | 蛩 | 蛬 | 蛟 | 蛛 | 蛯 | 蜒 | 蜆 | 蜈 |
| 737 | 蜀 | 蜃 | 蛻 | 蜑 | 蜉 | 蜍 | 蛹 | 蜊 | 蜴 | 蜿 |
| 738 | 蜷 | 蜻 | 蜥 | 蜩 | 蜚 | 蝠 | 蝟 | 蝸 | 蝌 | 蝎 |
| 739 | 蝴 | 蝗 | 蝨 | 蝮 | 蝙 | | | | | |
| 740 | | 蝓 | 蝣 | 蝪 | 蠅 | 螢 | 螟 | 螂 | 螯 | 蟋 |
| 741 | 螽 | 蟀 | 蟐 | 雖 | 螫 | 蟄 | 螳 | 蟇 | 蟆 | 螻 |
| 742 | 蟯 | 蟲 | 蟠 | 蠏 | 蠍 | 蟾 | 蟶 | 蟷 | 蠎 | 蟒 |
| 743 | 蠑 | 蠖 | 蠕 | 蠢 | 蠡 | 蠱 | 蠶 | 蠹 | 蠧 | 蠻 |
| 744 | 衄 | 衂 | 衒 | 衙 | 衞 | 衢 | 衫 | 袁 | 衾 | 袞 |
| 745 | 衵 | 衽 | 袵 | 衲 | 袂 | 袗 | 袒 | 袮 | 袙 | 袢 |
| 746 | 袍 | 袤 | 袰 | 袿 | 袱 | 裃 | 裄 | 裔 | 裘 | 裙 |
| 747 | 裝 | 裹 | 褂 | 裼 | 裴 | 裨 | 裲 | 褄 | 褌 | 褊 |
| 748 | 褓 | 襃 | 褞 | 褥 | 褪 | 褫 | 襁 | 襄 | 褻 | 褶 |
| 749 | 褸 | 襌 | 褝 | 襠 | 襞 | | | | | |
| 750 | | 襦 | 襤 | 襭 | 襪 | 襯 | 襴 | 襷 | 襾 | 覃 |
| 751 | 覈 | 覊 | 覓 | 覘 | 覡 | 覩 | 覦 | 覬 | 覯 | 覲 |
| 752 | 覺 | 覽 | 覿 | 觀 | 觚 | 觜 | 觝 | 觧 | 觴 | 觸 |
| 753 | 訃 | 訖 | 訐 | 訌 | 訛 | 訝 | 訥 | 訶 | 詁 | 詛 |
| 754 | 詒 | 詆 | 詈 | 詼 | 詭 | 詬 | 詢 | 誅 | 誂 | 誄 |
| 755 | 誨 | 誡 | 誑 | 誥 | 誦 | 誚 | 誣 | 諄 | 諍 | 諂 |
| 756 | 諚 | 諫 | 諳 | 諧 | 諤 | 諱 | 謔 | 諠 | 諢 | 諷 |
| 757 | 諞 | 諛 | 謌 | 謇 | 謚 | 諡 | 謖 | 謐 | 謗 | 謠 |
| 758 | 謳 | 鞫 | 謦 | 謫 | 謾 | 謨 | 譁 | 譌 | 譏 | 譎 |
| 759 | 證 | 譖 | 譛 | 譚 | 譫 | | | | | |
| 760 | | 譟 | 譬 | 譯 | 譴 | 譽 | 讀 | 讌 | 讎 | 讒 |
| 761 | 讓 | 讖 | 讙 | 讚 | 谺 | 豁 | 谿 | 豈 | 豌 | 豎 |
| 762 | 豐 | 豕 | 豢 | 豬 | 豸 | 豺 | 貂 | 貉 | 貅 | 貊 |
| 763 | 貍 | 貎 | 貔 | 豼 | 貘 | 戝 | 貭 | 貪 | 貽 | 貲 |
| 764 | 貳 | 貮 | 貶 | 賈 | 賁 | 賤 | 賣 | 賚 | 賽 | 賺 |
| 765 | 賻 | 贄 | 贅 | 贊 | 贇 | 贏 | 贍 | 贐 | 齎 | 贓 |
| 766 | 賍 | 贔 | 贖 | 赧 | 赭 | 赱 | 赳 | 趁 | 趙 | 跂 |
| 767 | 趾 | 趺 | 跏 | 跚 | 跖 | 跌 | 跛 | 跋 | 跪 | 跫 |
| 768 | 跟 | 跣 | 跼 | 踈 | 踉 | 跿 | 踝 | 踞 | 踐 | 踟 |
| 769 | 蹂 | 踵 | 踰 | 踴 | 蹊 | | | | | |
| 770 | | 蹇 | 蹉 | 蹌 | 蹐 | 蹈 | 蹙 | 蹤 | 蹠 | 踪 |
| 771 | 蹣 | 蹕 | 蹶 | 蹲 | 蹼 | 躁 | 躇 | 躅 | 躄 | 躋 |
| 772 | 躊 | 躓 | 躑 | 躔 | 躙 | 躪 | 躡 | 躬 | 躰 | 軆 |
| 773 | 躱 | 躾 | 軅 | 軈 | 軋 | 軛 | 軣 | 軼 | 軻 | 軫 |
| 774 | 軾 | 輊 | 輅 | 輕 | 輒 | 輙 | 輓 | 輜 | 輟 | 輛 |
| 775 | 輌 | 輦 | 輳 | 輻 | 輹 | 轅 | 轂 | 輾 | 轌 | 轉 |
| 776 | 轆 | 轎 | 轗 | 轜 | 轢 | 轣 | 轤 | 辜 | 辟 | 辣 |
| 777 | 辭 | 辯 | 辷 | 迚 | 迥 | 迢 | 迪 | 迯 | 邇 | 迴 |
| 778 | 逅 | 迹 | 迺 | 逑 | 逕 | 逡 | 逍 | 逞 | 逖 | 逋 |
| 779 | 逧 | 逶 | 逵 | 逹 | 迸 | | | | | |
| 780 | | 遏 | 遐 | 遑 | 遒 | 逎 | 遉 | 逾 | 遖 | 遘 |
| 781 | 遞 | 遨 | 遯 | 遶 | 隨 | 遲 | 邂 | 遽 | 邁 | 邀 |
| 782 | 邊 | 邉 | 邏 | 邨 | 邯 | 邱 | 邵 | 郢 | 郤 | 扈 |
| 783 | 郛 | 鄂 | 鄒 | 鄙 | 鄲 | 鄰 | 酊 | 酖 | 酘 | 酣 |
| 784 | 酥 | 酩 | 酳 | 酲 | 醋 | 醉 | 醂 | 醢 | 醫 | 醯 |
| 785 | 醪 | 醵 | 醴 | 醺 | 釀 | 釁 | 釉 | 釋 | 釐 | 釖 |
| 786 | 釟 | 釡 | 釛 | 釼 | 釵 | 釶 | 鈞 | 釿 | 鈔 | 鈬 |
| 787 | 鈕 | 鈑 | 鉞 | 鉗 | 鉅 | 鉉 | 鉤 | 鉈 | 銕 | 鈿 |
| 788 | 鉋 | 鉐 | 銜 | 銖 | 銓 | 銛 | 鉚 | 鋏 | 銹 | 銷 |
| 789 | 鋩 | 錏 | 鋺 | 鍄 | 錮 | | | | | |
| 790 | | 錙 | 錢 | 錚 | 錣 | 錺 | 錵 | 錻 | 鍜 | 鍠 |
| 791 | 鍼 | 鍮 | 鍖 | 鎰 | 鎬 | 鎭 | 鎔 | 鎹 | 鏖 | 鏗 |
| 792 | 鏨 | 鏥 | 鏘 | 鏃 | 鏝 | 鏐 | 鏈 | 鏤 | 鐚 | 鐔 |
| 793 | 鐓 | 鐃 | 鐇 | 鐐 | 鐶 | 鐫 | 鐵 | 鐡 | 鐺 | 鑁 |
| 794 | 鑒 | 鑄 | 鑛 | 鑠 | 鑢 | 鑞 | 鑪 | 鈩 | 鑰 | 鑵 |
| 795 | 鑷 | 鑽 | 鑚 | 鑼 | 鑾 | 钁 | 鑿 | 閂 | 閇 | 閊 |
| 796 | 閔 | 閖 | 閘 | 閙 | 閠 | 閨 | 閧 | 閭 | 閼 | 閻 |
| 797 | 閹 | 閾 | 闊 | 濶 | 闃 | 闍 | 闌 | 闕 | 闔 | 闖 |
| 798 | 關 | 闡 | 闥 | 闢 | 阡 | 阨 | 阮 | 阯 | 陂 | 陌 |
| 799 | 陏 | 陋 | 陷 | 陜 | 陞 | | | | | |
| 800 | | 陝 | 陟 | 陦 | 陲 | 陬 | 隍 | 隘 | 隕 | 隗 |
| 801 | 險 | 隧 | 隱 | 隲 | 隰 | 隴 | 隶 | 隸 | 隹 | 雎 |
| 802 | 雋 | 雉 | 雍 | 襍 | 雜 | 霍 | 雕 | 雹 | 霄 | 霆 |
| 803 | 霈 | 霓 | 霎 | 霑 | 霏 | 霖 | 霙 | 霤 | 霪 | 霰 |
| 804 | 霹 | 霽 | 霾 | 靄 | 靆 | 靈 | 靂 | 靉 | 靜 | 靠 |
| 805 | 靤 | 靦 | 靨 | 勒 | 靫 | 靱 | 靹 | 鞅 | 靼 | 鞁 |
| 806 | 靺 | 鞆 | 鞋 | 鞏 | 鞐 | 鞜 | 鞨 | 鞦 | 鞣 | 鞳 |
| 807 | 鞴 | 韃 | 韆 | 韈 | 韋 | 韜 | 韭 | 齏 | 韲 | 竟 |
| 808 | 韶 | 韵 | 頏 | 頌 | 頸 | 頤 | 頡 | 頷 | 頽 | 顆 |
| 809 | 顏 | 顋 | 顫 | 顯 | 顰 | | | | | |
| 810 | | 顱 | 顴 | 顳 | 颪 | 颯 | 颱 | 颶 | 飄 | 飃 |
| 811 | 飆 | 飩 | 飫 | 餃 | 餉 | 餒 | 餔 | 餘 | 餡 | 餝 |
| 812 | 餞 | 餤 | 餠 | 餬 | 餮 | 餽 | 餾 | 饂 | 饉 | 饅 |
| 813 | 饐 | 饋 | 饑 | 饒 | 饌 | 饕 | 馗 | 馘 | 馥 | 馭 |
| 814 | 馮 | 馼 | 駟 | 駛 | 駝 | 駘 | 駑 | 駭 | 駮 | 駱 |
| 815 | 駲 | 駻 | 駸 | 騁 | 騏 | 騅 | 駢 | 騙 | 騫 | 騷 |
| 816 | 驅 | 驂 | 驀 | 驃 | 騾 | 驕 | 驍 | 驛 | 驗 | 驟 |
| 817 | 驢 | 驥 | 驤 | 驩 | 驫 | 驪 | 骭 | 骰 | 骼 | 髀 |
| 818 | 髏 | 髑 | 髓 | 體 | 髞 | 髟 | 髢 | 髣 | 髦 | 髯 |
| 819 | 髫 | 髮 | 髴 | 髱 | 髷 | | | | | |
| 820 | | 髻 | 鬆 | 鬘 | 鬚 | 鬟 | 鬢 | 鬣 | 鬥 | 鬧 |
| 821 | 鬨 | 鬩 | 鬪 | 鬮 | 鬯 | 鬲 | 魄 | 魃 | 魏 | 魍 |
| 822 | 魎 | 魑 | 魘 | 魴 | 鮓 | 鮃 | 鮑 | 鮖 | 鮗 | 鮟 |
| 823 | 鮠 | 鮨 | 鮴 | 鯀 | 鯊 | 鮹 | 鯆 | 鯏 | 鯑 | 鯒 |
| 824 | 鯣 | 鯢 | 鯤 | 鯔 | 鯡 | 鰺 | 鯲 | 鯱 | 鯰 | 鰕 |
| 825 | 鰔 | 鰉 | 鰓 | 鰌 | 鰆 | 鰈 | 鰒 | 鰊 | 鰄 | 鰮 |
| 826 | 鰛 | 鰥 | 鰤 | 鰡 | 鰰 | 鱇 | 鰲 | 鱆 | 鰾 | 鱚 |
| 827 | 鱠 | 鱧 | 鱶 | 鱸 | 鳧 | 鳬 | 鳰 | 鴉 | 鴈 | 鳫 |
| 828 | 鴃 | 鴆 | 鴪 | 鴦 | 鶯 | 鴣 | 鴟 | 鵄 | 鴕 | 鴒 |
| 829 | 鵁 | 鴿 | 鴾 | 鵆 | 鵈 | | | | | |
| 830 | | 鵝 | 鵞 | 鵤 | 鵑 | 鵐 | 鵙 | 鵲 | 鶉 | 鶇 |
| 831 | 鶫 | 鵯 | 鵺 | 鶚 | 鶤 | 鶩 | 鶲 | 鷄 | 鷁 | 鶻 |
| 832 | 鶸 | 鶺 | 鷆 | 鷏 | 鷂 | 鷙 | 鷓 | 鷸 | 鷦 | 鷭 |
| 833 | 鷯 | 鷽 | 鸚 | 鸛 | 鸞 | 鹵 | 鹹 | 鹽 | 麁 | 麈 |
| 834 | 麋 | 麌 | 麒 | 麕 | 麑 | 麝 | 麥 | 麩 | 麸 | 麪 |
| 835 | 麭 | 靡 | 黌 | 黎 | 黏 | 黐 | 黔 | 黜 | 點 | 黝 |
| 836 | 黠 | 黥 | 黨 | 黯 | 黴 | 黶 | 黷 | 黹 | 黻 | 黼 |
| 837 | 黽 | 鼇 | 鼈 | 皷 | 鼕 | 鼡 | 鼬 | 鼾 | 齊 | 齒 |
| 838 | 齔 | 齣 | 齟 | 齠 | 齡 | 齦 | 齧 | 齬 | 齪 | 齷 |
| 839 | 齲 | 齶 | 龕 | 龜 | 龠 | | | | | |
| 840 | | 堯 | 槇 | 遙 | 瑤 | 凜 | 熙 | | | |

# 登録／設定早見表

親機では次の登録／設定、機能選択が行えます。

## 親機登録／設定項目一覧表

（登録/機能）を押したあと、ダイヤルボタンを押して登録・設定の項目を選ぶことができます。

（例）「発信元番号」の項目を選ぶには

| 区分 | | 機能名／機能の説明 | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 初期登録 | | **日付・時刻**<br>日付と時刻を登録できます。 | （登録/機能） 1 1 | 47 |
| 初期登録 | | **発信元番号**<br>ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。 | （登録/機能） 1 2 | 53 |
| 初期登録 | | **発信元名**<br>ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。 | （登録/機能） 1 3 | 54 |
| 初期登録 | | **回線種別選択**<br>電話回線の種別を設定できます。 | （登録/機能） 1 4 | 35 |
| 初期登録 | 携帯とくとくダイヤル | **NTT東日本0036**<br>事業者識別番号をNTT東日本（0036）に設定できます。<br>※ご利用になれるのは、NTT東日本サービス提供エリア内のみです。 | （登録/機能） 1 5 1 | 198 |
| 初期登録 | 携帯とくとくダイヤル | **NTT西日本0039**<br>事業者識別番号をNTT西日本（0039）に設定できます。<br>※ご利用になれるのは、NTT西日本サービス提供エリア内のみです。 | （登録/機能） 1 5 2 | 198 |
| 初期登録 | 携帯とくとくダイヤル | **その他事業者**<br>NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者識別番号を登録することができます。 | （登録/機能） 1 5 3 | 198 |
| 初期登録 | 携帯とくとくダイヤル | **設定なし**<br>携帯とくとくダイヤル機能の設定解除ができます。 | （登録/機能） 1 5 4 | 198 |
| 着信設定 | | **親機着信音選択**<br>親機の着信音を設定できます。 | （登録/機能） 2 1 | 49 |
| 着信設定 | 鳴り分け時の着信音 | **電話帳**<br>電話帳に登録した相手の方からの電話に対して、着信鳴り分けを設定できます。 | （登録/機能） 2 2 1 | 224 |
| 着信設定 | 鳴り分け時の着信音 | **非通知**<br>非通知の電話に対して、着信鳴り分けを設定できます。 | （登録/機能） 2 2 2 | 224 |
| 着信設定 | 鳴り分け時の着信音 | **公衆電話**<br>公衆電話からの電話に対して、着信鳴り分けを設定できます。 | （登録/機能） 2 2 3 | 224 |
| 着信設定 | 鳴り分け時の着信音 | **表示圏外**<br>表示圏外からの電話に対して、着信鳴り分けを設定できます。 | （登録/機能） 2 2 4 | 224 |

| 機能名／機能の説明 | | | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 着信設定 | お断り設定 | **非通知お断り**<br>「非通知お断り」をする・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 2 3 1 | 227 |
| | | **公衆電話お断り**<br>「公衆電話お断り」をする・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 2 3 2 | 227 |
| | | **表示圏外お断り**<br>「表示圏外お断り」をする・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 2 3 3 | 227 |
| | | **お断り番号設定**<br>「お断り番号」を設定できます。 | (登録 / 機能) 2 3 4 | 228 |
| | | **チャイム後自動設定**<br>「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 2 3 5 | 233 |
| | | **お断り番号リストをプリント**<br>お断り番号に登録した電話番号のリストをプリントできます。 | (登録 / 機能) 2 3 6 | 228 |
| | 選んで着信設定 | **選んで着信機能**<br>選んで着信機能の設定をする・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 2 4 1 | 229 |
| | | **選んで着信番号設定**<br>選んで着信機能で着信させる番号を登録できます。 | (登録 / 機能) 2 4 2 | 229 |
| | | **選んで着信設定内容**<br>選んで着信機能の設定内容を表示できます。 | (登録 / 機能) 2 4 3 | 229 |
| | **誰からコール**<br>誰からコールの設定ができます。 | | (登録 / 機能) 2 5 | 213 |
| 電話帳 | **一覧表示**<br>親機の電話帳に登録されている相手先の一覧を確認できます。 | | (登録 / 機能) 3 1 | 83 |
| | **新規登録**<br>親機の電話帳に登録できます。 | | (登録 / 機能) 3 2 | 82 |
| | **子機転送**<br>親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。 | | (登録 / 機能) 3 3 | 99 |
| | **おしゃべり電話帳**<br>おしゃべり電話帳を使用する・使用しないを設定できます。 | | (登録 / 機能) 3 4 | 86 |
| | **外部メモリーへの一括保存**<br>親機からメモリーカードへ電話帳データを一括で保存することができます。 | | (登録 / 機能) 3 5 | 83 |
| | **外部メモリーから一括読込**<br>メモリーカードから親機へ「外部メモリーへの一括保存」で保存した電話帳データを一括で読み込むことができます。 | | (登録 / 機能) 3 6 | 83 |
| | **電話帳リストをプリント**<br>親機の電話帳に登録した電話番号や相手名（宛名）のリストをプリントできます。 | | (登録 / 機能) 3 7 | 83 |
| 画面設定 | **バックライト明るさ調整**<br>親機のディスプレイの明るさを調整できます。 | | (登録 / 機能) 4 1 | 23 |
| | **省電力モード移行時間**<br>親機のディスプレイが消灯するまでの時間を設定できます。 | | (登録 / 機能) 4 2 | 23 |
| | **配色設定**<br>親機のディスプレイの色を変更できます。 | | (登録 / 機能) 4 3 | 23 |
| | **壁紙設定**<br>親機のディスプレイの壁紙を変更できます。 | | (登録 / 機能) 4 4 | 24 |

| | 機能名／機能の説明 | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| プリンタメンテナンス | **インク残量確認**<br>インクの残量を確認することができます。 | (登録 / 機能) 5 1 | 238 |
| | **カートリッジクリーニング**<br>インクカートリッジのクリーニングを行います。 | (登録 / 機能) 5 2 | 236 |
| | **プリンタ位置調整**<br>プリントヘッドの位置を調整できます。 | (登録 / 機能) 5 3 | 237 |
| | **診断ページプリント**<br>印刷品質の診断ページをプリントできます。 | (登録 / 機能) 5 4 | 237 |
| | **プリンタリセット**<br>プリンタの状態を初期状態に戻すことができます。 | (登録 / 機能) 5 5 | 238 |
| ダイヤルイン機能 | **番号登録**<br>ダイヤルインに追加する番号を登録できます。 | (登録 / 機能) 6 1 | 201 |
| | **番号クリア**<br>ダイヤルインに追加した番号を削除できます。 | (登録 / 機能) 6 2 | 201 |
| | **ダイヤルイン機能**<br>ダイヤルイン機能の設定ができます。 | (登録 / 機能) 6 3 | 200 |
| | **FAXコール回数**<br>ダイヤルインのFAX切替コール回数を設定できます。 | (登録 / 機能) 6 4 | 202 |
| | **ダイヤルイン着信音**<br>ダイヤルインで追加した番号の着信音を設定できます。 | (登録 / 機能) 6 5 | 202 |
| | **設定内容表示**<br>ダイヤルインの設定内容を表示できます。 | (登録 / 機能) 6 6 | 201 |
| 各種プリント | **着信記録リスト**<br>記録されている着信記録のリストをプリントできます。 | (登録 / 機能) 7 1 | 218 |
| | **電話帳リスト**<br>親機の電話帳に登録した電話番号や相手名（宛名）のリストをプリントできます。 | (登録 / 機能) 7 2 | 83 |
| | **お断り番号リスト**<br>お断り番号に登録した電話番号のリストをプリントできます。 | (登録 / 機能) 7 3 | 228 |
| | **通信結果リスト**<br>ファクス送受信の通信結果表をプリントできます。 | (登録 / 機能) 7 4 | 120 |
| | **同報送信結果リスト**<br>同報送信の結果表をプリントできます。 | (登録 / 機能) 7 5 | 125 |
| | **リストプリント画質**<br>「リストプリント」でプリントするときの画質を設定できます。 | (登録 / 機能) 7 6 | 184 |

<table>
<tr><th colspan="3">機能名／機能の説明</th><th>操作</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="14">FAX／録音設定</td><td rowspan="6">FAX設定</td><td>FAX受信方法　見てからFAX受信プリント<br>ファクスを受信したあとに、内容を確認してから印刷するように設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 1 1</td><td>129</td></tr>
<tr><td>FAX受信方法　受信後自動プリント<br>ファクスを受信したあとに、自動でプリントするように設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 1 2</td><td>133</td></tr>
<tr><td>受信後自動プリント設定　用紙種別<br>「受信後自動プリント」でプリントするときの用紙種別を設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 2 1</td><td>134</td></tr>
<tr><td>受信後自動プリント設定　プリント画質<br>「受信後自動プリント」でプリントするときの画質を設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 2 2</td><td>134</td></tr>
<tr><td>受信後自動プリント設定<br>プリント後本体メモリー自動消去<br>「受信後自動プリント」でプリントしたあと、メモリーからデータを自動で消去する・しないの設定ができます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 2 3</td><td>133</td></tr>
<tr><td>FAX自動再ダイヤル<br>ファクスを送信できなかったときに、自動的に再ダイヤルで送信する・しないの設定ができます。</td><td>(登録 / 機能) 8 1 3</td><td>121</td></tr>
<tr><td rowspan="3">留守録設定</td><td>留守時コール回数<br>留守モード時の着信音の回数を設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 2 1</td><td>102</td></tr>
<tr><td>応答メッセージ<br>留守録音時の応答メッセージを設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 2 2</td><td>101</td></tr>
<tr><td>留守録暗証番号<br>外出先からのリモート操作に必要な暗証番号を設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 2 3</td><td>191</td></tr>
<tr><td colspan="2">FAX／録音メモリー選択<br>受信ファクスや留守録音を保存する場所を、本体メモリー・外部メモリーのどちらかに設定できます。</td><td>(登録 / 機能) 8 3</td><td>184</td></tr>
<tr><td colspan="2">録音データの外部メモリー保存<br>本体メモリーに録音されている内容を外部メモリーに保存することができます。</td><td>(登録 / 機能) 8 4</td><td>103</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリー残量表示<br>ファクスの受信件数、留守録音の件数、メモリーの残量（%）を表示することができます。</td><td>(登録 / 機能) 8 5</td><td>131</td></tr>
<tr><td rowspan="3">全消去メニュー</td><td colspan="2">一般録音<br>録音されている内容をすべて消去することができます。</td><td>(登録 / 機能) 9 1</td><td>109</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信記録<br>着信記録をすべて消去することができます。</td><td>(登録 / 機能) 9 2</td><td>218</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信FAX<br>すべての受信ファクスを消去することができます。</td><td>(登録 / 機能) 9 3</td><td>140</td></tr>
</table>

| | | 機能名／機能の説明 | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 全消去メニュー | | **確認済受信FAX**<br>ディスプレイで確認したファクスをすべて消去することができます。 | (登録 / 機能) 9 4 | 140 |
| | | **お断り番号**<br>登録したお断り番号をすべて消去することができます。 | (登録 / 機能) 9 5 | 228 |
| | | **選んで着信番号**<br>「選んで着信」に登録した番号をすべて消去することができます。 | (登録 / 機能) 9 6 | 229 |
| | | **電話帳**<br>親機の電話帳の内容をすべて消去することができます。 | (登録 / 機能) 9 7 | 266 |
| パソコン関連設定 | ネットワーク設定 | **DHCPによる自動取得**<br>本機をパソコンに接続したとき、IPアドレスなどを自動で取得するかを設定できます。 | (登録 / 機能) 0 1 1 | 66 |
| | | **IPアドレス**<br>パソコンとの接続時に必要なIPアドレスを入力できます。 | (登録 / 機能) 0 1 2 | 65 |
| | | **サブネットマスク**<br>パソコンとの接続時に必要なサブネットマスクの番号を入力できます。 | (登録 / 機能) 0 1 3 | 65 |
| | | **デフォルトゲートウェイ**<br>パソコンとの接続時に必要なデフォルトゲートウェイの番号を入力できます。 | (登録 / 機能) 0 1 4 | 65 |
| | | **DNS（プライマリ）**<br>DNSサーバーの番号を入力できます。 | (登録 / 機能) 0 1 5 | 65 |
| | | **DNS（セカンダリ）**<br>DNSサーバーの番号を入力できます。 | (登録 / 機能) 0 1 6 | 65 |
| | | **ネットワーク情報表示**<br>ネットワーク関連の設定内容を表示できます。 | (登録 / 機能) 0 2 | 66 |
| | | **ネットワーク設定初期化**<br>ネットワーク関連の設定内容を初期化できます。 | (登録 / 機能) 0 3 | 66 |
| | | **パソコン接続設定**<br>お使いの状況に合わせて、パソコンに接続する・しないの設定ができます。 | (登録 / 機能) 0 4 | 66 |
| | | **外部メモリー書き込み設定**<br>本機に取り付けているメモリーカードなどに、パソコンからのデータ書き込みを禁止する・許可するの設定ができます。 | (登録 / 機能) 0 5 | 67 |
| | | **外部メモリーアクセス設定**<br>本機に取り付けているメモリーカードなどを、USB接続のパソコンからのみ読み込めるようにするか、LAN接続のパソコンからのみ読み込めるようにするかの設定ができます。 | (登録 / 機能) 0 6 | 67 |
| | | **ネットワークアクセス制限**<br>本機に取り付けているメモリーカードなどを、本機のドライバをインストールしたパソコンからのみ読み込めるようにするか、ネットワーク上のすべてのパソコンから読み込めるようにするかの設定ができます。 | (登録 / 機能) 0 7 | 67 |
| | | **TVでフォト情報表示**<br>「TVでフォト」を使用するのに必要なアドレスを表示できます。 | (登録 / 機能) 0 8 | 180 |

# 子機機能項目一覧表

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

| 機能名 | 機能の説明 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ルスバンデンワ　サイセイ | 録音されている内容を再生できます。 | 108 |
| ルスバンデンワ　ルスセッテイキリカエ | 留守番電話を設定できます。 | 101 |
| ルスバンデンワ　ゼンショウキョ | 留守録メッセージをすべて消去できます。 | 109 |
| ユウセンヨビダシ | 優先呼出の設定ができます。 | 71 |
| チャクシンオンリョウ | 着信音の大きさを変更できます。 | 50 |
| チャクシンネイロ | 着信音の種類を変更できます。 | 50 |
| チャクシンナリワケ | 着信鳴り分け機能の設定ができます。 | 225 |
| アラームセッテイ | アラームを鳴らす時刻などの設定ができます。 | 183 |
| デンワチョウテンソウ | 電話帳を親機や別の子機に転送できます。 | 100 |
| システムセッテイ　ニチジトウロク | 日付・時刻を登録できます。 | 47 |
| システムセッテイ　キータッチトーン | ボタン操作音の設定ができます。 | 185 |
| システムセッテイ　クイックツウワ | クイック通話の設定ができます。 | 185 |
| システムセッテイ　シヨウシャヒョウジ | 子機の使用者名を登録できます。 | 55 |
| システムセッテイ　LCDコントラスト | ディスプレイのコントラストを調整できます。 | 185 |
| システムセッテイ　デンパサポート | 電波サポートの設定ができます。 | 186 |
| システムセッテイ　トウロクショキカ | 登録した内容をすべて工場出荷時の内容に戻すことができます。 | 267 |
| ショウキョ　サイダイヤル | 再ダイヤルをすべて消去できます。 | 74 |
| ショウキョ　チャクシンキロク | 着信記録をすべて消去できます。 | 222 |
| ショウキョ　デンワチョウ | 電話帳をすべて消去できます。 | 93 |

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 保証書（別添）

● 保証書は「お買いあげ日·販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
● 保証期間
お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

● 当社は、カラー液晶ファクシミリ複合機の補修用性能部品を製造打切後、７年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（☞287 ページ）にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは　出張修理

● こんなときは（☞241 ～ 260 ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### ご連絡していただきたい内容

品　　　名：カラー液晶ファクシミリ複合機
形　　　名：UX-MF70CL／UX-MF70CW
UX-MF80CL／UX-MF80CW
お買いあげ日（年月日）
故障の状況（できるだけ具体的に）
ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前
電話番号

**便利メモ**　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

| お買いあげ日 | 販売店名 |
| --- | --- |
| 年　月　日 | 電話（　　）　― |

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

| | |
| --- | --- |
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。 |

**愛情点検**

**長年ご使用のカラー液晶ファクシミリ複合機の点検を！**

**このような症状はありませんか？**

●電源コードが異常に熱い
●コゲくさい臭いがする
●電源コードに深いキズや変形がある
●その他の異常や故障がある

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口のご案内

**修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。**
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。  **シャープサポートページ** http://www.sharp.co.jp/support/mirakuru/

## 使用方法・お買い物相談など

**【お客様相談センター】**

**0120 - 663 - 700**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

| | 電　話 | ファックス |
|---|---|---|
| 東日本相談室→ | 043 - 351 - 1822 | 043 - 299 - 8280 |
| 西日本相談室→ | 06 - 6792 - 1583 | 06 - 6792 - 5993 |

受付時間　●月曜～土曜:9:00～18:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　（年末年始を除く）

## 修理のご相談など

**【修理相談センター】**(沖縄・奄美地区を除く)

**0570 - 02 - 4649**
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

| | PHS／IP電話 | ファックス |
|---|---|---|
| 東日本地区→ | 043 - 299 - 3863 | 043 - 299 - 3865 |
| 西日本地区→ | 06 - 6792 - 5511 | 06 - 6792 - 3221 |
| 沖縄・奄美地区→ | 「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:30) | |

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～18:00　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.10）

## 補足　持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

### 地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜：9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：9:00～17:40（祝日など弊社休日を除く）

**北陸地区**
- **金　沢** サービスセンター：076 - 249 - 2434
  〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

**近畿地区**
- **京　都** サービスセンター：075 - 672 - 2378
  〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
- **大　阪** テクニカルセンター：06 - 6794 - 5611
  〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
- **阪　神** サービスセンター：06 - 6422 - 0455
  〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

**中国地区**
- **広　島** サービスセンター：082 - 874 - 8149
  〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

**四国地区**
- **高　松** サービスセンター：087 - 823 - 4901
  〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

**九州地区**
- **福　岡** サービスセンター：092 - 572 - 4652
  〒812-0881　福岡市博多区井相田2-12-1

**沖縄・奄美地区**
- **那　覇** サービスセンター：098 - 861 - 0866
  〒900-0002　那覇市曙2-10-1

**北海道地区**
- **札　幌** サービスセンター：011 - 641 - 4685
  〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17

**東北地区**
- **仙　台** サービスセンター：022 - 288 - 9142
  〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27

**関東地区**
- **宇都宮** サービスセンター：028 - 637 - 1179
  〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
- **さいたま** サービスセンター：048 - 666 - 7987
  〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
- **東東京** サービスセンター：03 - 5692 - 7765
  〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
- **多　摩** サービスセンター：042 - 548 - 1391
  〒190-0023　立川市柴崎町6-10-17
- **千　葉** サービスセンター：047 - 368 - 4766
  〒270-2231　松戸市稔台6-6-1
- **横　浜** サービスセンター：045 - 753 - 4647
  〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

**東海地区**
- **静　岡** サービスセンター：054 - 344 - 5781
  〒424-0067　静岡市清水区鳥坂1170-1
- **名古屋** サービスセンター：052 - 332 - 2623
  〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.10）

# さくいん

## 【き】



## 【く】



## 【け】



## 【こ】



## 【さ】



## 【し】



## 【す】



## 【せ】

## 【そ】



## 【た】



## 【ち】



## 【つ】



## 【て】



## 【と】



## 【な】



## 【に】



## 【ね】

## 【り】



## 【る】



## 【ろ】

# リモート操作手順カード

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→ # を押す

3.応答メッセージが止まったら

→ □□□□（暗証番号）と # を押す

4.音声メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○○○○

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。　（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

**本機の使用周波数に関わるご注意**

切り取って、増設した親機や充電器の近くに貼ってお使いください。

**本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

リモート操作番号
録音内容を聞くには 1 #
早聞きや遅聞きをするには 再生中に 1 #（早聞き）
1 #（遅聞き）
1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには 再生中に 3 #
今聞いている録音内容の1件前を聞くには 再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには 再生中に 4 #
止めるには 再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには 停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには 停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには 停止中に 6 #

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。

**シャープサポートページ**
**http://www.sharp.co.jp/support/mirakuru/**

## 使用方法・お買い物相談など

**【お客様相談センター】**

**0120 - 663 - 700**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

| | 電　話 | ファックス |
|---|---|---|
| 東日本相談室→ | 043 - 351 - 1822 | 043 - 299 - 8280 |
| 西日本相談室→ | 06 - 6792 - 1583 | 06 - 6792 - 5993 |

**受付時間**　●月曜～土曜:**9:00～18:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**　（年末年始を除く）

## 修理のご相談など

**【修理相談センター】**（沖縄・奄美地区を除く）

**0570 - 02 - 4649**
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

| | PHS／IP電話 | ファックス |
|---|---|---|
| 東日本地区→ | 043 - 299 - 3863 | 043 - 299 - 3865 |
| 西日本地区→ | 06 - 6792 - 5511 | 06 - 6792 - 3221 |
| 沖縄・奄美地区→ | 「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:30） | |

**受付時間**　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～18:00**　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.10）


# シャープ株式会社

本　　　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地


お客様へ・・・・お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

| お買いあげ日 | 年　　月　　日 |
|---|---|
| お買いあげ店名 | |
| | 電話　（　　　）　ー |

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。


Printed in Malaysia
UX-MF70CL/UX-MF70CW UX-MF80CL/UX-MF80CW 08K⑤ TINSJ4580XHTD